

はじめに

この冊子には、2021 年度の S セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）が記載されています。

『科目紹介』では、授業計画時点での時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい・最新の情報は、UTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開・更新していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。

それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』の I－4 に掲載されている、(表 2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

S セメスター（S1・S2 ターム）科目紹介

この電子ブックには S セメスター（S1・S2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4～7 月
S1	S1 ターム	概ね 4～5 月
S2	S2 ターム	概ね 6～7 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科
総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻
表象文化論コース
超域文科化学専攻
比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻
アジア・日本文化研究コース
その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は17組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目 1 単位または 2 単位で、計 5 単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列 S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列 W（アカデミック・ライティング）に分けられます（その他に総合科目 L 系列 3 単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業です。英語二列 S も同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施します。英語二列 W は、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施します。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」のシラバスが掲載されています。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列 S」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS ログイン後の「履修登録」画面より自分のクラスを確認してください（授業期間開始までには UTAS に反映されます。）。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」の 3 科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の 4 つのグループにあらかじめ分けられています。「(クラス指定総合科目 L)」と記載されている部分については、総合科目 L 系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列 S	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目 L)	英語二列 S	英語一列②
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列 S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目 L)
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列①	英語一列②	英語二列 S
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス				
≪ 英語一列①（教養英語） ≫				
目標・概要	教養英語は本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科学、文科学を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』を使用して行う授業である。クラスは学生の習熟度に合わせて3段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。			
授業の方法	・教養英語が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。 ・教養英語では習熟度に応じて3つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。 グループ1（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。 グループ2（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。 グループ3（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それをもとにした発展的な活動を含むこともある。 ・授業で使用される Zoom ミーティング URL、具体的な授業の方法とスケジュール（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）については各クラスの ITC-LMS のページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。			
成績評価方法	平常点5割、定期試験（統一試験）5割で評価が決定される。 ・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり50点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。 ・各クラスにおける平常点の評価方法については担当教員から説明を受けること。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養英語読本Ⅰ 著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編） 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-082132-2			
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/			
≪ 英語特別クラス ≫				
非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列①」「英語二列」「総合科目Ⅰ系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は掲示を参照し、教務課前期課程の窓口で申し出ること。				
授業科目名	担当教員	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	S1	火 3	1 年文一二（13,24-25）文三（11,17）理一（1-4,9,18-19）理二三（7,13）
			火 4	1 年文一二（6,8,18）文三（5,7,12）理一（20,30-31,34-35）理二三（11,18,22）
			水 2	1 年文一二（5,15,19,26）文三（6,19）理一（7,12,23,28,36）理二三（6,23）
			水 3	1 年文一二（11,16,22）文三（10,14）理一（13,17,25,37,39）理二三（19-20）
		S2	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17）
			火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
			水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
			水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)				
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.		
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
30377	S 1	火 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30379	S 1	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30380	S 1	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30381	S 1	火 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30383	S 1	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30384	S 1	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30385	S 1	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30386	S 1	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30387	S 1	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30388	S 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30389	S 1	火 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30390	S 1	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30391	S 1	火 3	沈 尚玉	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30392	S 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30492	S 1	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30493	S 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30494	S 1	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30495	S 1	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30497	S 1	火 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30498	S 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30499	S 1	火 4	沈 尚玉	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30500	S 1	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30501	S 1	火 4	Kartika Diana	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30502	S 1	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30503	S 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30504	S 1	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30505	S 1	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30506	S 1	火 4	DIETZ Richard	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30618	S 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30619	S 1	水 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30620	S 1	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30621	S 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30622	S 1	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30623	S 1	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30624	S 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)

外国語（英語二列 S）

30625	S 1	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30626	S 1	水 2	沈 尚玉	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30628	S 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30629	S 1	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30630	S 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30632	S 1	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30633	S 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30711	S 1	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30712	S 1	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30713	S 1	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30714	S 1	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30715	S 1	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30716	S 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30717	S 1	水 3	沈 尚玉	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30718	S 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30719	S 1	水 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30720	S 1	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30721	S 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30722	S 1	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30723	S 1	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30725	S 1	水 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30726	S 1	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
40154	S 2	火 3	ナオミ パーマン	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40155	S 2	火 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40156	S 2	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40157	S 2	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40158	S 2	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40160	S 2	火 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40161	S 2	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40162	S 2	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40163	S 2	火 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40166	S 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40167	S 2	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40168	S 2	火 3	沈 尚玉	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40169	S 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40170	S 2	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40178	S 2	火 4	沈 尚玉	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40179	S 2	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40180	S 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40181	S 2	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40182	S 2	火 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40185	S 2	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40186	S 2	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)

外国語（英語二列 S）

40187	S 2	火 4	Kartika Diana	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40188	S 2	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40189	S 2	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40190	S 2	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40191	S 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40192	S 2	火 4	DIETZ Richard	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40193	S 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40214	S 2	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40215	S 2	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40216	S 2	水 2	沈 尚玉	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40217	S 2	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40218	S 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40219	S 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40220	S 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40222	S 2	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40223	S 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40224	S 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40225	S 2	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40226	S 2	水 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40227	S 2	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40228	S 2	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40230	S 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40233	S 2	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40234	S 2	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40235	S 2	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40236	S 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40237	S 2	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40238	S 2	水 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40239	S 2	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40240	S 2	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40241	S 2	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40243	S 2	水 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40244	S 2	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40245	S 2	水 3	沈 尚玉	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40246	S 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40247	S 2	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)			開講区分	S
授業の目標・概要	This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.			
授業の方法	Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.			
成績評価方法	Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.			
関連ホームページ	http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス	
30048	月 2	Kartika Diana	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30049	月 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30050	月 2	片山 晶子	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30052	月 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30053	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30054	月 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30055	月 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30056	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30057	月 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30058	月 2	沈 尚玉	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30059	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)	
30846	木 2	沈 尚玉	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30847	木 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30848	木 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30849	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30850	木 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30851	木 2	BROOKS Britton	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30852	木 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30853	木 2	片山 晶子	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30854	木 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)	
30913	木 3	沈 尚玉	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30914	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30915	木 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30917	木 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30918	木 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30919	木 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30920	木 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30921	木 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30922	木 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	
30923	木 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)	

31025	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31026	金 1	Kartika Diana	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31027	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31028	金 1	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31029	金 1	DIETZ Richard	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31030	金 1	ナオミ バーマン	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31031	金 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31032	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31116	金 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31118	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31119	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31120	金 3	Kartika Diana	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31121	金 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31122	金 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31123	金 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31124	金 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)		開講区分	S
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision. Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation. Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities. http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/		
授業の方法			
成績評価方法			
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30071	月 2	SEDDON Ryan John	1 年 理一(5,13,19)
30072	月 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(5,13,19)
30073	月 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(5,13,19)
30074	月 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(5,13,19)
30075	月 2	船田 なつの	1 年 理一(5,13,19)
30076	月 2	BROOKS Britton	1 年 理一(5,13,19)
30077	月 2	マニナン ジョン	1 年 理一(5,13,19)
30118	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30120	月 3	マニナン ジョン	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30122	月 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30123	月 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30124	月 3	ナオミ バーマン	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30125	月 3	AKINDELE Tito	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30126	月 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30127	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30128	月 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30129	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30130	月 3	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30131	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30132	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30133	月 3	神島 智子	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30211	月 4	マニナン ジョン	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30212	月 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30213	月 4	神島 智子	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30214	月 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30215	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30216	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30217	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30218	月 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30284	火 1	神島 智子	1 年 理一(10)理二三(12,19)

30285	火 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30286	火 1	SEDDON Ryan John	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30288	火 1	マニナン ジョン	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30289	火 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30290	火 1	BROOKS Britton	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30571	水 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(6,22,32,38)
30572	水 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(6,22,32,38)
30573	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(6,22,32,38)
30574	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(6,22,32,38)
30576	水 1	ナオミ バーマン	1 年 理一(6,22,32,38)
30577	水 1	SEDDON Ryan John	1 年 理一(6,22,32,38)
30578	水 1	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(6,22,32,38)
30579	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(6,22,32,38)
30884	木 2	船田 なつの	1 年 理一(26)
30885	木 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理一(26)
30886	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(26)
31047	金 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(5-6,18)
31048	金 1	神島 智子	1 年 理二三(5-6,18)
31049	金 1	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理二三(5-6,18)
31050	金 1	船田 なつの	1 年 理二三(5-6,18)
31051	金 1	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(5-6,18)
31052	金 1	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(5-6,18)
31053	金 1	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理二三(5-6,18)
31154	金 3	ナオミ バーマン	1 年 理二三(7,22)
31155	金 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(7,22)
31156	金 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理二三(7,22)
31157	金 3	AKINDELE Tito	1 年 理二三(7,22)
31158	金 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理二三(7,22)
31195	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31196	金 4	船田 なつの	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31197	金 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31198	金 4	AKINDELE Tito	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31199	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31200	金 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31201	金 4	マニナン ジョン	1 年 理一(37)理二三(16,24)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語			開講区分	S
授業の目標・概要				
一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。 なお、L系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。				
成績評価方法				
教科書				
平常点および試験によって行う。なお、1年生Sセメスターの一列・二列には同一の成績がつく。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編				
関連ホームページ				
http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30090	月 2	ドイツ語一列①	大石 紀一郎	1 年 理一(32)
30652	月 2	ドイツ語一列①	森井 裕一	1 年 文三(15)
30154	月 3	ドイツ語一列①	三宅 晶子	1 年 理一(29)
30197	月 4	ドイツ語一列①	石原 あえか	1 年 文一二(21)
30429	火 3	ドイツ語一列①	竹峰 義和	1 年 文三(16)
30445	火 3	ドイツ語一列①	稲葉 治朗	1 年 理一(31)
30446	火 3	ドイツ語一列①	平松 英人	1 年 理一(33)
31163	火 4	ドイツ語一列①	森 芳樹	1 年 理二三(19)
31389	火 6	ドイツ語一列①	高橋 宗五	1 年 文科 理科（オンライン）
30673	水 2	ドイツ語一列①	石田 勇治	1 年 理二三(20)
30740	水 3	ドイツ語一列①	田中 純	1 年 理一(30)
30863	木 2	ドイツ語一列①	森 芳樹	1 年 文一二(20)
30864	木 2	ドイツ語一列①	長木 誠司	1 年 文一二(22)
30883	木 2	ドイツ語一列①	一條 麻美子	1 年 理一(28)
30272	木 4	ドイツ語一列①	高橋 宗五	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
31161	金 3	ドイツ語一列①	川喜田 敦子	1 年 理二三(17)
31162	金 3	ドイツ語一列①	梶谷 真司	1 年 理二三(18)
30198	月 4	ドイツ語二列	有信 真美菜	1 年 文一二(22)
30225	月 4	ドイツ語二列	石田 勇治	1 年 理二三(20)
30672	火 1	ドイツ語二列	瀬尾 文子	1 年 理二三(17)
30962	火 1	ドイツ語二列	I・カウフマン	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
30444	火 3	ドイツ語二列	久保 哲司	1 年 理一(28)
30491	火 4	ドイツ語二列	久保 哲司	1 年 文一二(20)
30548	火 5	ドイツ語二列	金 志成	1 年 理二三(18)
30067	水 2	ドイツ語二列	有信 真美菜	1 年 文三(15)
30422	水 3	ドイツ語二列	石原 あえか	1 年 文一二(21)
30869	木 2	ドイツ語二列	竹峰 義和	1 年 文三(16)
30887	木 2	ドイツ語二列	稲葉 治朗	1 年 理一(31)
30888	木 2	ドイツ語二列	大石 紀一郎	1 年 理一(32)
31391	木 6	ドイツ語二列	有信 真美菜	1 年 文科 理科（オンライン）
30520	金 3	ドイツ語二列	瀬尾 文子	1 年 理二三(19)

基礎科目 ドイツ語

31150	金 3	ドイツ語二列	工藤 達也	1 年 理一(33)
30089	金 4	ドイツ語二列	工藤 達也	1 年 理一(30)
31194	金 4	ドイツ語二列	三宅 晶子	1 年 理一(29)

基礎科目 フランス語

フランス語			開講区分	S
授業の目標・概要				
文科学クラス、理科学クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科学は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理科学には、文科学の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。				
成績評価方法				
平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。				
教科書				
授業中に指示をする。／Will specify at class time				
関連ホームページ				
http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30065	月 2	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 文一二(24)
30068	月 2	フランス語一列①	大森 晋輔	1 年 文三(18)
30092	月 2	フランス語一列①	桑田 光平	1 年 理一(37)
30158	月 3	フランス語一列①	今橋 映子	1 年 理一(38)
30159	月 3	フランス語一列①	伊達 聖伸	1 年 理一(39)
30199	月 4	フランス語一列①	佐々木 悠介	1 年 文一二(23)
30207	月 4	フランス語一列①	藤岡 俊博	1 年 文三(17)
30208	月 4	フランス語一列①	森元 庸介	1 年 文三(19)
30209	月 4	フランス語一列①	郷原 佳以	1 年 文三(20)
30273	火 1	フランス語一列①	COUCHOT Herve	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30451	火 3	フランス語一列①	治山 純子	1 年 理二三(21)
30452	火 3	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 理二三(23)
30453	火 3	フランス語一列①	関俣 賢一	1 年 理二三(24)
30508	火 4	フランス語一列①	赤羽 悠	1 年 文一二(25)
30509	火 4	フランス語一列①	松村 剛	1 年 文一二(26)
30510	火 4	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 文一二(27)
30511	火 4	フランス語一列①	関俣 賢一	1 年 文一二(28)
30542	火 5	フランス語一列①	星埜 守之	1 年 理一(34)
30543	火 5	フランス語一列①	赤羽 悠	1 年 理一(35)
30544	火 5	フランス語一列①	増田 一夫	1 年 理一(36)
30549	火 5	フランス語一列①	桑田 光平	1 年 理二三(22)
30664	水 2	フランス語二列	星埜 守之	1 年 理一(37)
30665	水 2	フランス語二列	藤岡 俊博	1 年 理一(38)
30666	水 2	フランス語二列	伊達 聖伸	1 年 理一(39)
30763	水 4	フランス語二列	藤岡 俊博	1 年 文三(17)
30865	木 2	フランス語二列	松村 剛	1 年 文一二(23)
30870	木 2	フランス語二列	森元 庸介	1 年 文三(19)
30890	木 2	フランス語二列	渡邊 淳也	1 年 理一(35)
30891	木 2	フランス語二列	坂本 さやか	1 年 理一(36)
30896	木 2	フランス語二列	黒木 秀房	1 年 理二三(22)
30938	木 2	フランス語二列	郷原 佳以	1 年 文三(20)
30932	木 3	フランス語二列	片岡 大右	1 年 文一二(25)

30933	木 3	フランス語二列	松村 剛	1 年 文一二(26)
30934	木 3	フランス語二列	治山 純子	1 年 文一二(27)
30935	木 3	フランス語二列	関俣 賢一	1 年 文一二(28)
30937	木 3	フランス語二列	寺田 寅彦	1 年 文三(18)
30963	木 4	フランス語二列	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30970	木 4	フランス語二列	増田 一夫	1 年 文一二(24)
30987	木 4	フランス語二列	片岡 大右	1 年 理二三(23)
31055	金 1	フランス語二列	坂本 佳子	1 年 理二三(21)
31151	金 3	フランス語二列	渡邊 淳也	1 年 理一(34)
31164	金 3	フランス語二列	鈴木 順子	1 年 理二三(24)

基礎科目 中国語

中国語		開講区分	S	
授業の目標・概要	中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火1 に開講)			
成績評価方法	現時点では対面式の学期末試験が実施できるかどうか判断ができないので、最終的な決定は学期が進んで状況が判明してきた時点で周知する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 著者(訳者) 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・小嶋美由紀・李佳樑 著 出版社 白帝社			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30146	月 3	中国語一列①	大橋 義武	1 年 理一(20)
30206	月 4	中国語一列①	小野 秀樹	1 年 文三(14)
30274	火 1	中国語一列①	毛 興華	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30292	火 1	中国語一列①	山影 統	1 年 理一(22)
30514	火 4	中国語一列①	石村 広	1 年 理一(27)
30519	火 4	中国語一列①	楊 凱栄	1 年 理二三(13)
30584	水 1	中国語一列①	波多野 真矢	1 年 理一(24)
30585	水 1	中国語一列①	小方 伴子	1 年 理一(26)
30644	水 2	中国語一列①	吉川 雅之	1 年 文一二(17)(TLP)
30645	水 2	中国語一列①	波多野 真矢	1 年 文一二(18)
30651	水 2	中国語一列①	伊藤 徳也	1 年 文三(12)(TLP)
30660	水 2	中国語一列①	中村 元哉	1 年 理一(19)
30671	水 2	中国語一列①	小野 秀樹	1 年 理二三(16)
30861	木 2	中国語一列①	下出 宣子	1 年 文一二(14)
30881	木 2	中国語一列①	河野 直恵	1 年 理一(25)
30924	木 3	中国語一列①	下出 宣子	1 年 文一二(16)
30925	木 3	中国語一列①	河野 直恵	1 年 文一二(19)
30949	木 3	中国語一列①	松本 秀士	1 年 理二三(15)
30968	木 4	中国語一列①	渡辺 剛	1 年 文一二(15)
30976	木 4	中国語一列①	菊池 真純	1 年 理一(3)理二三(3)(TLP)
31039	金 1	中国語一列①	王 英輝	1 年 文三(13)
31138	金 3	中国語一列①	韓 燕麗	1 年 文三(11)
31147	金 3	中国語一列①	岩月 純一	1 年 理一(23)
31160	金 3	中国語一列①	朝倉 友海	1 年 理二三(14)
31181	金 4	中国語一列①	田原 史起	1 年 文一二(13)
31193	金 4	中国語一列①	石井 剛	1 年 理一(21)
30084	月 2	中国語二列	大橋 義武	1 年 理一(24)
30085	月 2	中国語二列	賈 黎黎	1 年 理一(25)
30145	月 3	中国語二列	菊池 真純	1 年 理一(19)
30152	月 3	中国語二列	伊藤 徳也	1 年 理一(26)

基礎科目 中国語

30195	月 4	中国語二列	鄧 芳	1 年 文一二(17)(TLP)
30196	月 4	中国語二列	賈 黎黎	1 年 文一二(18)
30205	月 4	中国語二列	李 彦銘	1 年 文三(12)(TLP)
30283	火 1	中国語二列	阿古 智子	1 年 理一(3)理二三(3)(TLP)
30420	火 3	中国語二列	石井 剛	1 年 文一二(16)
30428	火 3	中国語二列	石村 広	1 年 文三(13)
30441	火 3	中国語二列	山影 統	1 年 理一(21)
30489	火 4	中国語二列	山影 統	1 年 文一二(14)
30583	水 1	中国語二列	青木 正子	1 年 理一(23)
30669	水 2	中国語二列	青木 正子	1 年 理二三(14)
30670	水 2	中国語二列	楊 凱榮	1 年 理二三(15)
30709	水 3	中国語二列	張 政遠	1 年 文一二(13)
30727	水 3	中国語二列	中村 元哉	1 年 文一二(19)
30730	水 3	中国語二列	WANG QIN	1 年 文三(11)
30739	水 3	中国語二列	瀬地山 角	1 年 理一(20)
30745	水 3	中国語二列	田原 史起	1 年 理二三(13)
30882	木 2	中国語二列	松本 秀士	1 年 理一(27)
30950	木 3	中国語二列	毛 興華	1 年 理二三(16)
30964	木 4	中国語二列	賈 黎黎	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30975	木 4	中国語二列	松本 秀士	1 年 文三(14)
31144	金 3	中国語二列	吉川 雅之	1 年 理一(22)
31182	金 4	中国語二列	朝倉 友海	1 年 文一二(15)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 ロシア語

ロシア語			開講区分	S
授業の目標・概要 成績評価方法		ロシア語文法の基礎の修得。 定期試験と平常点。 S セメスターの期末テストは、「ロシア語一列」と「ロシア語二列」を1回に統一して行う。 適宜小テストを行うことがある。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ロシア語をはじめよう 著者（訳者） 西中村浩、朝妻恵理子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55504-1		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30114	月 3	ロシア語一列①	奈倉 有里	1 年 理一(4)
30115	月 3	ロシア語一列①	鳥山 祐介	1 年 理一(5)
30275	火 1	ロシア語一列①	丸山 由紀子	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4) (TLP)
30393	火 3	ロシア語一列①	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)
30425	火 3	ロシア語一列①	乗松 亨平	1 年 文三(4)
30516	火 4	ロシア語一列①	鳥山 祐介	1 年 理二三(4)
30683	水 3	ロシア語二列	渡邊 日日	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4) (TLP)
30871	木 2	ロシア語二列	乗松 亨平	1 年 理一(4)
30872	木 2	ロシア語二列	安岡 治子	1 年 理一(5)
30985	木 4	ロシア語二列	安岡 治子	1 年 理二三(4)
31115	金 3	ロシア語二列	奈倉 有里	1 年 文一二(4)
31137	金 3	ロシア語二列	丸山 由紀子	1 年 文三(4)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 スペイン語

スペイン語			開講区分	S
授業の目標・概要				
S セメスターは週2回、A セメスターは週1回の授業が必修です。共通教科書『Brújula』を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習します。同時にスペイン語文化圏の豊かで多彩な文化と社会への関心を深めていきます。S セメスターでは、授業は1週間に2つのクラス（1列／2列）を受講していただきますが、1列／2列において、リレー式で、とくに「文法」（Gramática）の修得を目指して授業をおこないます。また各列において、教科書の「講読」（Diálogo/Lectura）、「練習問題」（Ejercicios）も適宜学習します。文系学生はこの他に、外国人教員が担当するクラス指定の「演習」を履修しなければなりません。理系学生にもこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）を開講します。これらの演習科目では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行います。他にも初級作文と初級会話の科目を開講しているので、積極的に参加してください。スペイン語を集中的に勉強したい学生のためには、インテンシブクラスを週2回開講します。これらを履修すれば、スペイン語の運用能力をいっそう高めることができます。				
成績評価方法				
教科書				
各教師より説明があります。				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤				
著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会				
出版社 朝日出版社				
ISBN 978-4-255-55111-1				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30081	月 2	スペイン語一列①	三浦 航太	1 年 理一(9)
30142	月 3	スペイン語一列①	岡本 年正	1 年 理一(12)
30192	月 4	スペイン語一列①	渡辺 暁	1 年 文一二(11)
31128	火 1	スペイン語一列①	三浦 航太	1 年 文一二(12)
30427	火 3	スペイン語一列①	教員未定	1 年 文三(7)
30436	火 3	スペイン語一列①	三浦 航太	1 年 理一(10)
30438	火 3	スペイン語一列①	半澤 忠彦	1 年 理一(14)
30486	火 4	スペイン語一列①	石橋 純	1 年 文一二(7)
30546	火 5	スペイン語一列①	川崎 義史	1 年 理二三(7)
30582	水 1	スペイン語一列①	三浦 航太	1 年 理一(17)
30617	水 2	スペイン語一列①	川崎 義史	1 年 文一二(9)
30649	水 2	スペイン語一列①	上 英明	1 年 文三(9)
30650	水 2	スペイン語一列①	網野 徹哉	1 年 文三(10)
30658	水 2	スペイン語一列①	石橋 純	1 年 理一(13)
30659	水 2	スペイン語一列①	宮地 隆廣	1 年 理一(18)
30668	水 2	スペイン語一列①	三浦 航太	1 年 理二三(8)
30686	水 3	スペイン語一列①	竹村 文彦	1 年 文一二(10)
30737	水 3	スペイン語一列①	宮地 隆廣	1 年 理一(15)
30738	水 3	スペイン語一列①	三浦 航太	1 年 理一(16)
30741	水 3	スペイン語一列①	久住 真由	1 年 理二三(9)
30742	水 3	スペイン語一列①	石橋 純	1 年 理二三(10)
30743	水 3	スペイン語一列①	和田 佳浦	1 年 理二三(11)
30744	水 3	スペイン語一列①	若林 大我	1 年 理二三(12)
30762	水 4	スペイン語一列①	和田 佳浦	1 年 文三(8)
30876	木 2	スペイン語一列①	網野 徹哉	1 年 理一(11)
30966	木 4	スペイン語一列①	木崎 孝嘉	1 年 文一二(8)
30061	月 2	スペイン語二列	栗林 ゆき絵	1 年 文一二(8)

30082	月 2	スペイン語二列	岡本 年正	1 年 理一(16)
30144	月 3	スペイン語二列	三浦 麻衣子	1 年 理一(18)
30201	月 4	スペイン語二列	岡本 年正	1 年 文三(8)
30202	月 4	スペイン語二列	三浦 麻衣子	1 年 文三(9)
30219	月 4	スペイン語二列	松尾 俊輔	1 年 理一(14)
31183	月 4	スペイン語二列	網野 徹哉	1 年 文三(7)
30291	火 1	スペイン語二列	川上 英	1 年 理一(13)
30487	火 4	スペイン語二列	竹村 文彦	1 年 文一二(9)
30518	火 4	スペイン語二列	半澤 忠彦	1 年 理二三(9)
30547	火 5	スペイン語二列	上 英明	1 年 理二三(11)
30581	水 1	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 理一(10)
30635	水 2	スペイン語二列	竹村 文彦	1 年 文一二(12)
30667	水 2	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 理二三(7)
30766	水 4	スペイン語二列	久住 真由	1 年 理一(11)
30867	木 2	スペイン語二列	若林 大我	1 年 文三(10)
30878	木 2	スペイン語二列	倉田 量介	1 年 理一(15)
30879	木 2	スペイン語二列	愛場 百合子	1 年 理一(17)
30943	木 3	スペイン語二列	若林 大我	1 年 理一(12)
30947	木 3	スペイン語二列	倉田 量介	1 年 理二三(8)
30948	木 3	スペイン語二列	木崎 孝嘉	1 年 理二三(12)
30967	木 4	スペイン語二列	松浦 芳枝	1 年 文一二(10)
30977	木 4	スペイン語二列	若林 大我	1 年 理一(9)
31126	金 3	スペイン語二列	有田 美保	1 年 文一二(7)
31159	金 3	スペイン語二列	三浦 航太	1 年 理二三(10)
30634	金 4	スペイン語二列	三浦 航太	1 年 文一二(11)

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語		開講区分	S	
授業の目標・概要				
●1年生初修クラス 文科生クラス、理科生クラスともに、一列・二列の授業では、共通教材を用いて授業を行います。はじめの数回の授業において文字と発音を完全に習得した後、引き続き、さまざまな文法事項と語彙を学んでいきます。 この授業では、一年間を通じて、基礎文法を完全に習得し、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また簡単な内容ならば、自分の考えや意見を表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか、韓国人教員が担当する「初級（演習）①」を履修し、基礎知識の応用をはかっています。理科生には、文科生の「初級（演習）①」に相当する「初級（演習）」が設けられているので、積極的に参加して下さい。 定期テストと平常点（出席、小テスト、課題など） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ことばの架け橋（精選版） 著者（訳者） 生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル 出版社 白帝社 ISBN 9784863984066				
成績評価方法				
教科書				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30079	月 2	韓国朝鮮語一列①	新井 保裕	1 年 理一(6)
30394	火 3	韓国朝鮮語一列①	河崎 啓剛	1 年 文一二(5)文三(5)
30517	火 4	韓国朝鮮語一列①	三ツ井 崇	1 年 理二三(5)
30910	木 3	韓国朝鮮語二列	河崎 啓剛	1 年 文一二(5)文三(5)
30945	木 3	韓国朝鮮語二列	三ツ井 崇	1 年 理二三(5)
31043	金 1	韓国朝鮮語二列	齊藤 良子	1 年 理一(6)

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	S
授業の目標・概要	●初修クラス 「一、二列」では、発音からはじまり、初級文法を、S セメスターから A セメスターの前半までの期間に習得することが目標です。A セメスター後半は、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、文法知識の整理にあてます。教科書は東京大学イタリア語教材編集委員会編の『イタリア語のスタート』（白水社）と、中級読解用テキスト『ピアッツァ』（東京大学出版会）を使用します。 あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための「演習」が文科生には必修科目として開講されています。理科生は総合科目 L の「イタリア語初級（演習）」として選択できます。積極的に履修・参加して、表現力を身につけてください。 S セメスターの基本的な学習項目は以下のようになります。 1) 発音 2) イタリア語の文の基本的な成り立ち 3) 名詞の性と数 4) 主語人称代名詞と動詞 <i>essere</i> 5) 形容詞 6) 指示代名詞と指示形容詞 7) 動詞 <i>avere</i> 8) 規則動詞の現在活用形 9) 不規則動詞 10) 疑問詞 11) 前置詞と冠詞の結合形 12) 補助動詞 13) 近過去 14) 再帰動詞 15) 未来 ●既修クラス 総合科目 L として開講されている中・上級の演習・会話・作文・表現練習・読解・インテンシヴの授業を組み合わせて受講することが可能です。イタリア語の習得を通して、音楽、芸術、映画、デザインなど、文化のさまざまな分野に関して、新しいテーマを素材に用い、現代社会のさまざまな側面についてもふれます。 ●さらに選択可能な総合科目 L の科目として、初級・中級の会話・作文・表現練習も開講されているので、積極的に受講してください。（意欲的な履修者は、A セメスター以降、選択可能な総合科目 L の科目の中級イタリア語を受講することも可能です。）特に集中的に少人数のクラスでイタリア語を身につけて定着させたい履修者のためのインテンシブコースとして、文法事項の定着練習（1 コマ）とネイティブによる表現力の演習（1 コマ）を初級（1 年生）・中級（2 年生、ただし A セメスタには意欲的な 1 年生も受講可）ともに開講しています。ぜひ積極的に受講してください。 ●S セメスターにはイタリア語初級（第 3 外国語）3 コマが開講されていますが、そのうち 1 コマ（金 5 限）は秋始まりで文法をはじめたい履修者のためのもので、S セメスターはイタリア語初級文法後半になります。詳しくはシラバスを参照のこと。		
成績評価方法 教科書	平常点と定期試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-01763-0		
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30116	月 3	イタリア語一列①	山崎 彩	1 年 理一(7)
30117	月 3	イタリア語一列①	宮坂 真紀	1 年 理一(8)
30223	月 4	イタリア語一列①	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
30395	火 3	イタリア語一列①	藤崎 衛	1 年 文一二(6)
30426	火 3	イタリア語一列①	村松 真理子	1 年 文三(6)
30656	水 2	イタリア語二列	宮坂 真紀	1 年 理一(8)
30773	水 4	イタリア語二列	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
30866	木 2	イタリア語二列	村松 真理子	1 年 文三(6)
30873	木 2	イタリア語二列	山崎 彩	1 年 理一(7)
30911	木 3	イタリア語二列	藤崎 衛	1 年 文一二(6)

基礎科目（日本語）

日本語			開講区分	S	
授業の目標・概要	[注意事項] ・基礎科目一列①、基礎科目二列を、一年次 S セメスターに履修すること。 ・日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列、選択必修科目）の履修方法やカリキュラム等について、基礎科目一列①の初回授業で説明があるので、必ず出席すること。 ・基礎科目一列①、および、基礎科目二列のクラス指定に関して、教養学部 HP や UTAS 上の指示に留意し従うこと。 ・基礎科目一列①、および、基礎科目二列の第 1 週初回授業に関して、教養学部 HP や UTAS 上の指示に留意し従うこと。 ・様々なガイダンス・導入活動のため、基礎科目一列、および、基礎科目二列の初回授業に必ず出席してください。 ・基礎科目二列(S1) の初回授業に必ず出席し日本語能力テストを受験すること。日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、授業開始時に日本語能力テストを受ける必要がある。 ・総合科目 L 系列科目(S1, S2)の希望登録について、UTAS 上の指示にも留意してください。 ----- ● 基礎科目 日本語一列① 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」） 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in Academic Japanese for Arts and Sciences-』 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。 一列授業と二列授業とは、連動しつつ相互に相補的な活動を行う。 『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、『基礎科目 日本語二列 C』（正確な精読、構文・語彙習得中心）、および、『基礎科目 日本語二列 P』（アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心）の授業を行う。 ● 基礎科目 日本語二列 C 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」） 『テーマで考え議論する日本語： 正確な精読、構文・語彙習得中心』 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、構文・語彙増強、正確な精読や要約・ライティング等を行う。 ● 基礎科目 日本語二列 P 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」） 『テーマで考え議論する日本語： アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心』 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。 ----- ○ 総合科目 L 系列 「日本語中級」『滑らかに話すための日本語発音』 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要な発音の習得を目指す。 ○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 3』（S1） 総合科目 L 系列 「日本語上級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 4』（S2） 日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養う。 ○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『論文執筆を戦略的に計画する（準備編）』 ○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『論文執筆を内省的に遂行する（実践編）』 ○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『読解を通じ、日本の歴史を考える』 日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ、日本史における事象やその文化的背景についての理解を深め、現代との関わりについて批判的に検討する。 「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照すること。 全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。				
成績評価方法	その他。／Other				
教科書	※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30311	S	火 2	日本語一列①	藤井 聖子	1 年 文科 理科
31060	S	金 2	日本語一列①	藤井 聖子	1 年 文科 理科
30827	S 1	木 1	日本語二列 C	奥川 育子	1 年 文科 理科
31216	S 1	金 5	日本語二列 C	奥川 育子	1 年 文科 理科
40109	S 2	木 1	日本語二列 P	奥川 育子	1 年 文科 理科
40133	S 2	金 5	日本語二列 P	奥川 育子	1 年 文科 理科

情報

情報		開講区分	S
授業の目標・概要	現代社会においては、すべての人が多様な場と状況において、情報システムとかかわらざるをえない。 その際に正しくかつ適切な対応をするためには、情報の技術面だけでなく、その人間のおよび社会的な側面の正しい理解が必要である。 これは情報社会人の基本的素養であり、“知ることによって無知から自由になることができる”という意味であるリベラルアーツそのものと言うことができる。 本科目の目的は、このような素養を、講義と演習とを通じて身に付けることである。 具体的には ・情報の人間に関連する側面 表現、認知、伝達 ・情報の社会に関連する側面 情報システム、情報関連の法、技術と社会 ・情報の問題解決に関する側面 データと計算のモデル、計算の複雑さ のそれぞれを、独立にではなく、他の側面の理解が可能なレベルまで掘り下げて学ぶ。 この科目の目的は、いわゆる「利用・活用」の方法を習うことではない。 なお、高等学校の教科「情報」で学ぶ項目のうち、機器操作の方法、Web ブラウザ、電子メール、デジタルの概念、著作権・知的財産権の基本、などは「既習」であることを前提とする。 ・成績評価の方法は教員による。 (期末試験のみ、レポートを加味、そのほか)		
成績評価方法			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 情報 第2版 (Introduction to the New Information World, 2nd Edition) 著者(訳者) 山口和紀[編] 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062457-2		
関連ホームページ	http://www.edu.c.u-tokyo.ac.jp/edu/information.html		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30062	月 2	原田 至郎	1 年 文一二(9-11)
30080	月 2	辰己 丈夫	1 年 理一(8,18,34)
30143	月 3	森畑 明昌	1 年 理一(13,21-22)
30149	月 3	辰己 丈夫	1 年 理一(24,33,35-36)
30194	月 4	幸島 明男	1 年 文一二(14,16,20)
30220	月 4	柴山 悦哉	1 年 理一(17)理二三(16,19)
30276	火 1	萩谷 昌己	1 年 文一二(7)文三(6,8,17)
30282	火 1	蓮池 隆	1 年 文三(18-20)
30419	火 3	飯高 隆	1 年 文一二(15,18,26)文三(15)
30490	火 4	飯高 隆	1 年 文一二(17)文三(4,9-10)
30541	火 5	道畑 正岐	1 年 理一(25-27)
30545	火 5	鶴川 始陽	1 年 理二三(4-5,13,15)
30580	水 1	山川 雄司	1 年 理一(7,15,30)
30648	水 2	村上 祐子	1 年 文三(1-3,7,11,14,16)
30655	水 2	金子 知適	1 年 理一(5,29)理二三(22)
30732	水 3	落合 秀也	1 年 理一(1-3,31)理二三(1-3,14)
30759	水 4	柳本 潤、小穴 英廣	1 年 文一二(19,21-22)
30761	水 4	植田 一博	1 年 文一二(23-25)文三(12)
30860	木 2	村上 祐子	1 年 文一二(8,12-13)
30892	木 2	羽山 博	1 年 理一(37)理二三(11,18)
30940	木 3	飯尾 淳	1 年 理一(6,14,19)
30946	木 3	山口 泰	1 年 理二三(6-7,21)
30978	木 4	田中 哲朗	1 年 理一(10-12)

30986	木 4	石井 健太郎	1 年 理二三(10,12,24)
31040	金 1	秋光 淳生	1 年 理一(4,9,16)
31045	金 1	山口 和紀	1 年 理一(38-39)理二三(17)
31136	金 3	川崎 真弘	1 年 文一二(27-28)文三(13)
31149	金 3	蔡 東生	1 年 理一(28)理二三(8-9,23)
31173	金 4	川崎 真弘	1 年 文一二(1-6)文三(5)
31191	金 4	蔡 東生	1 年 理一(20,23,32)理二三(20)
30271	月 6	今泉 允聡 (情報 α)	1 年 文科 理科
31242	金 6	今泉 允聡 (情報 α)	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅰ

身体運動・健康科学実習Ⅰ			開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第1回 教室で教科書を用いた授業（教室は掲示を参照） 第2回 体力テスト 第3回 教室で教科書を用いた授業 種目選択 第4回から 選択した種目での授業 セメスター中に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。共通授業はコミュニケーションプラザ北館3階の身体運動実習室で行う。 この他天候等により体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9号館前の掲示板を見ること。			
授業の方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第3回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/ を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 セメスター中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。 通常授業での説明、教室での授業内容、科学的理解の授業、体力テスト等によって、セメスター末にレポートを提出する。			
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト 4月と12月に行い、評価に含める。 4 レポート 通常授業での説明、教室での授業内容、体力テストの結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会			
履修上の注意	種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。			
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30047	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(4,23)文三(16-17)理一(7,10-11,17,20,26,38)
30430	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文三(18)理一(22-23,29-30,32,34-37,39)
30488	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(13)文三(8,14,19-20) 理一(24-25)理二三(1-3,7,17,21)
30685	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(8,14,27)文三(9) 理一(12,18-19,27)理二三(5-6,8)
30758	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(16)理一(8,13-15)理二三(9-12,14-15)
30845	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5-6,24-25,28)文三(1-5,11) 理一(1-3,6,21)理二三(4,16)
30912	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(9)文三(6)理一(4-5,9,16)理二三(13,18,22-24)
31127	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(11,15,18-20,26)文三(7,10,12,15)理二三(20)
31174	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(7,10,12,17,21-22)文三(13) 理一(28,31,33)理二三(19)

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	S	
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第1回 月曜3限または火曜2限で開講されている総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」の種目選択を実施する場所に集合し（場所は9号館前掲示板を参照）、この授業用に開講されている1種目（開講種目は未定）に登録手続きを行い、担当教員からガイダンスを受ける。 第2回以降 この曜限で開講されている種目での通常授業			
授業の方法	*セメスター中に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。 下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 基本的には自分の身体を動かして実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 セメスター中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくること。			
成績評価方法	通常授業での説明、科学的理解のための共通授業等によって、セメスター末にレポートを提出する。 下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト（未定） 4 レポート 通常授業での説明、共通授業等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会 ISBN			
履修上の注意	1 Aセメスターでクラス指定された「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の履修登録を削除した者（2 Sで履修するために）、および1 Aセメスターの「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の単位未取得者が対象となります。			
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。傷害保険に加入することが望ましい。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30167	月 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科
30312	火 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科

身体運動・健康科学実習（メディカルケア）

身体運動・健康科学実習（メデ icalケア）			開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第3回目までの授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。体力テストは見学する。第3回目の種目選択で、履修する曜限を決め、第4回目以降からそのメディカルケアの曜限で受講する。			
授業の方法	各自の状態に合わせて、実習を行う。 下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくること。セメスター末にレポートを提出する。			
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。 3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会 ISBN			
履修上の注意	第1～3回目まで、クラス指定された身体運動・健康科学実習の授業に参加する。第4回目からメディカルケアコースの曜限に移行する。			
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30009	月 1	身体運動・健康科学実習I（メデ icalケア3）	実技担当	1 年 文科 理科
31803	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ icalケア3）	実技担当	2 年 文科 理科
30239	月 5	身体運動・健康科学実習I（メデ icalケア1）	実技担当	1 年 文科 理科
31804	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ icalケア1）	実技担当	2 年 文科 理科
30293	火 1	身体運動・健康科学実習I（メデ icalケア3）	実技担当	1 年 文科 理科
31805	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ icalケア3）	実技担当	2 年 文科 理科
30586	水 1	身体運動・健康科学実習I（メデ icalケア2）	実技担当	1 年 文科 理科
31806	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ icalケア2）	実技担当	2 年 文科 理科

初年次ゼミナール文科の履修について

初年次ゼミナール文科はクラス指定の必修科目であり、以下の共通目標が定められている。

大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。

「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。

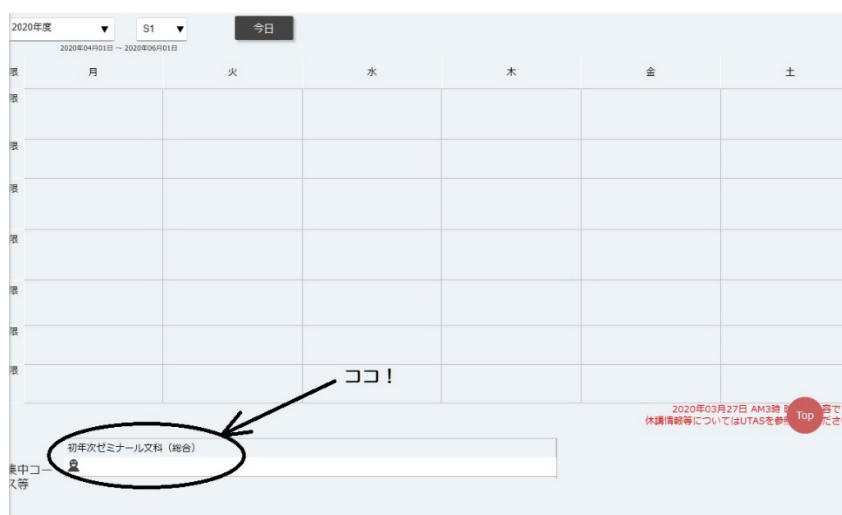
クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。教務課前期課程のホームページに掲載される**【重要】履修登録について**の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。なお、履修希望は必ず第8希望まで登録すること。初年次ゼミナール文科の抽選結果は、抽選で履修が決まる総合科目（英語中級等）の抽選結果より優先される。同じ曜限に他の授業と重複して当選した場合は、初年次ゼミナール文科以外の科目の履修は取り消されるので注意すること。

文科の2年生で初年次ゼミナール文科の単位を未取得の者は、科目登録方法が通常他クラス聴講等の手続きとは異なるので、同じく**【重要】履修登録について**を注意して読んでおくこと。

*教務課前期課程ホームページ：<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html>

第1週は、同一の曜限に開講されるすべての初年次ゼミナール文科の授業合同で、ガイダンス（オンライン）を実施する。ガイダンスのZoomURLは、ITC-LMSにログインした後、時間割の下に表示される「集中コース等」の中にある「初年次ゼミナール文科（総合）」コース（下図参照）に掲載する。各教員のシラバスやITC-LMSコースには、第1週の合同ガイダンスのURLは掲載されないので注意すること。

第2週は、ITC-LMSを介してアカデミックマナーおよびアカデミックスキルに関するレクチャーと情報検索実習を行う。ITC-LMSの「初年次ゼミナール文科（総合）」コースにレクチャー動画へのリンクと課題が掲載される。



(参考) ITC-LMS のログイン後画面上の「初年次ゼミナール文科（総合）」コースの表示位置

動画へのアクセス集中を避けるため、クラスごとに決められた動画視聴・課題提出時期を守るようにしてほし

い。動画視聴と課題提出をもって、2週目の授業に「出席した」とみなす。なお、ITC-LMSの「初年次ゼミナール文科（総合）」のコースには4月3日頃からアクセス可能となる予定である。

第3週からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。UTASにて履修授業を確認し、その授業のシラバスを、PDF版だけでなくオンライン版で必ず確認すること。また別途情報が掲載されているかもしれないので、①ITC-LMSの履修する授業のコースと、②ITC-LMS「初年次ゼミナール文科（総合）」コース、また、③教務課前期課程のホームページを確認しておくこと。

この授業の共通教材として『読む、書く、考えるー東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト』の電子版が全員に配布される。4月12日までにITC-LMS「初年次ゼミナール文科（総合）」コースにアップロードされるので、積極的に利用してほしい。

この授業に関する授業外サポートとして、「ラーニングコモンズ」をオンラインで開く。ラーニングコモンズでは、各授業のティーチング・アシスタント(TA)とは別に、大学院生がラーニングコモンズTAとして待機し、履修生の学習相談や質問に応じる。どの初年次ゼミナール文科の授業を履修している学生でも、予約不要で利用できる場である。開室時間やURL、利用方法等については、ITC-LMSの「初年次ゼミナール文科（総合）」コースで通知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ1	月4・水4	1年文一・二(4,6-7,28), 文三(4,16,18)
グループ2	火1・木2	1年文一・二(10,19,26-27), 文三(7,9,13)
グループ3	火3・木3	1年文一・二(8,12,14,17), 文三(10,12,14)
グループ4	火4・金1	1年文一・二(1-3,5,11,15-16,22), 文三(1-3,11,15)
グループ5	水2・金3	1年文一・二(13,21,24-25), 文三(5,8,20)
グループ6	水3・金4	1年文一・二(9,18,20,23), 文三(6,17,19)

クラス編成によって、上記グループが変更される場合がある、教務課前期課程のホームページに変更のお知らせが出ていないかどうか、学期開始前に必ず確認しておくこと。

グループ1 1年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)

グループ1 1年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31543	月 4	梵字写本を解説せよ	加藤 隆宏	文学部
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 文献学の基礎となる資料の取り扱い方を学ぶ。 インド・中国から伝わる梵字写本経典を用いて、古文書解読の手法を学ぶ。 【学術分野】 人文学・インド哲学 【授業形態】 ディシプリン型			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	梵字・悉曇字・サンスクリット			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31547	月 4	基礎心理学の基礎知識	本吉 勇	心理・教育
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第二回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 代表的な教科書を足がかりに、人間の心や精神を科学的に研究するための基本的な方法を学ぶ。さらに、知覚、認知、記憶、思考、感情など主要な心の機能に関する認知心理学の実験や理論の文献を実際に読み解くことによって、用語や考え方を理解するための初歩的なスキルと批判精神を身につける。 【学術分野】 心理・教育学 【授業形態】 文献批評型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	心理学、人間科学、認知科学、脳科学			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 マイヤーズ心理学			
	著者（訳者） デーヴィッドマイヤーズ			
	出版社 西村書店			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31548	月 4	初期万葉を読む	品田 悦一	国文・漢文
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 『万葉集』収録歌の成立年代は百三十年ほどにわたり、時代によって作風が大きく異なるため、これを四期に区分して把握するのが通例となっている。第一期は壬申の乱以前であり、この期間の歌を特に「初期万葉」と称する。歌はまだ文字に書きとめる習慣がなく、口頭で歌われたり唱えられたりするものが一般的だった。そのことが歌の性質にも反映しているため、後の、書かれた歌に対するのとは違う付き合い方が要求される。さまざまな解釈の可能性を見渡しつつ、よりよい解釈にたどり着くよう各自努力し、初期万葉の世界を満喫する機会として欲しい。 【学術分野】 国文・漢文学 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 万葉集、7世紀後半、宮廷、口誦、舒明天皇 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 万葉集本文編 著者（訳者） 佐竹昭広他2名 出版社 塙書房 ISBN 4-8273-0081-X ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31549	月 4	（未定）	鎌倉 夏来	人文地理学
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 東京の産業地区の中から、調査対象地区（4班で4地区を想定）を選定する。調査方法や既存研究についての講義、地図の分析、統計分析、フィールドワークについての各班の報告・討論、それらをふまえた追加調査、小論文の作成を行う。 【学術分野】 人文地理学 【授業形態】 フィールド型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 人文地理学、産業集積、地域調査、地図 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31550	月 4	指標から社会を見る	岡田 晃枝	国際関係
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国民がどれくらい幸せなのかを示す幸福度、国内社会がどのくらい民主的なのかを示す民主化度、国民がどのくらい自分の将来を自由に選択できる社会かを示す人間開発指数等、社会の質的側面を表す指標に注目する。それらの指標がどのような要素から構成されているかを知り、同程度の国家間の制度や社会状況を比較するなど、学術的な議論ができるようになることを目指す。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 質的データ、量的データ、民主化度、幸福度、人間開発指数、政治的自由 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31544	水 4	見る・書く・考える 美術史学の方法	増記 隆介	文学部
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この講義では、美術史学の基本となる作品を見る方法、見たものを言葉に書く方法、言葉になった作品を論じる方法を学びます。 【学術分野】美術史 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 美術史、絵画、彫刻、日本、東洋 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31579	水 4	日本史論文の読み方・書き方	桜井 英治	歴史学
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学の方法は主に史料の分析と先行研究の検討の2つからなるが、本授業では後者の方法に触れ、その実践力を向上させることを目的とする。具体的には『岩波講座日本歴史』全22巻（岩波書店、2013-2016年）所載の概説的論文のいくつかを読むことを通じて、高校の日本史とは異なる、日本史研究の最新の成果や議論に触れるとともに、あわせて学術論文一般の読み方・書き方を身につける。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 日本史、古代史、中世史、近世史、近現代史 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31580	水 4	北輝次郎『国体論及び純正社会主義』（1906年）を読み、考え、発表し、レポートを書くことを目指す～	岡本 拓司	哲学・科学史
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 基本的な知識のない者がやみくもに問題を立てて解こうとするのは無謀であり、一定の成果を得ても単なる自己満足に終わることが多い。問う前に学ぶことを目指したい。学ぶための材料としては、難物とされる書籍がよく、この初年次ゼミナールで取り上げる書籍はまさにそう呼ばれるにふさわしい特徴を備えている。多くの先達がこの書籍の解釈に挑戦しているが、誤読されている場合が多い。まずは先入観を捨ててこの書籍に向かうことが大切であるが、同時に、執筆中の著者の北がそうしたように、多くの学問的蓄積に依拠して、文章の意味を解き明かそうと努めることが必要である。 【学術分野】 法・政治 社会・社会思想史 歴史学 哲学・科学史 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 天皇、大日本帝国憲法、民主主義、社会主義、進化論、恋愛 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31581	水 4	実践計量言語学	川崎 義史	スペイン語
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、日本語の音象徴という現象の統計分析を通して、小論文執筆に取り組む。具体的には、先行研究のレビュー、データ入手・整理（最も時間と手間がかかる部分）、統計分析を実践する。 最初の数回の授業では、日本語音声学と統計分析手法（Excelを使用）の基礎を理解する。次に、音象徴を扱った先行研究のレビューを通して、論文構成の型を体得する。その後、各自が分析対象を設定し、データ入手・整理、統計分析を行い、途中経過を授業内で発表しクラス全体で議論する。そして、学期末に、調査成果を小論文にまとめる。 【学術分野】 言語学・統計 【授業形態】 ディシプリン型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 言語学、音象徴、相関係数、回帰分析、統計分析 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「あ」は「い」より大きい!? 音象徴で学ぶ音声学入門 著者（訳者） 川原繁人 出版社 ひつじ書房 ISBN 978-4-89476-886-4 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31582	水 4	経済事象における「因果」と「相関」分析	岡地 迪尚	経済・統計
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 経済事象を分析する際においては、複数の事象が単なる相関関係にあるのか、それとも因果関係にあるのか、ということを見出すのは最も重要な分析の一つである。この授業では、実際にエクセルを用いて分析をしながら、我々が経済分析する際にどういう誤りを引き起こす可能性があり、それをどう克服していくべきかを具体的な事例を用いながら学んでいく。 【学術分野】経済・統計 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	経済、計量分析、因果と相関			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「原因と結果」の経済学—データから真実を見抜く思考法 著者（訳者） 中室牧子・津川友介 出版社 ダイアモンド社			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ2 1年 文一ニ(10,19,26-27)文三(7,9,13)

グループ2 1年 文一ニ(10,19,26-27)文三(7,9,13)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31542	火 1	講和・安保の成立に関する外交史料輪読	五百旗頭 薫	法学部
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 戦後日本の対外関係を深く規定したサンフランシスコ平和条約と日米安保条約についての知識を深めると共に、史料に基づく歴史叙述についての理解と経験を得る。 【学術分野】 法・政治 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード サンフランシスコ平和条約、講和、日米安保条約、行政協定、外交史 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31551	火 1	地域研究の方法と貢献——最近の研究書から——	岡田 泰平	歴史学
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 本ゼミは、およそ過去5年間ほどの間に刊行された研究書から歴史学、文化人類学、政治学、地理学等々の結節点にある地域研究という学知の方法を学びます。やや単純化して言うのであれば、①普遍的な理論を援用し事象を説明することよりも、それぞれの地域の実情から理論を捉えなおそうとする、または中程度の説明枠組みを立ち上げようとする、②現地社会に対する深い理解、③現地で使われる（または使われていた）言語の習得、④参与観察や実地調査（フィールドワーク）が往々にして具体的な方法である、が地域研究の共通項として挙げられます。こう言ってしまうと簡単に思えるのですが、現地社会の深い理解や他者の言語の習得には長い時間と多大な努力が必要です。また、他者の社会に入りこんで生活するのは、多くの困難を伴います。21世紀になり、情報の氾濫が顕著です。簡単に情報が手に入るのに、なぜ他者の社会に入りこみ、何を学ぼうとするのでしょうか。なぜ地域研究という知が必要なのでしょう。他方では、2020年代になり、知識の秩序が大きく揺らぎ、真実とは何かが問われています。また環境破壊の影響がますます深刻になりつつあり、もはや近代社会の問題を先送りにすることが許されません。このような危機に対して、地域研究はどのような貢献ができるのでしょうか。これらの問いを考えていきます。 このような大きな問いを、およそ過去5年程に上梓された地域研究の研究書を読み解くことにより学んでいきます。私の専門が東南アジアということもあり、東南アジア関係が多いですが、他地域のものも準備しました。文献のリストは、以下を参照してください。 https://taiheikokada.com/ 授業内容=>2021年Sセメスター 初年次ゼミナール「地域研究の方法と貢献——最近の研究書から——」 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 文献批評型 成績評価方法 出席、発表、コメントシート、アウトラインおよび議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 地域研究、フィールドワーク、東南アジア、他者理解 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31552	火 1	行政権力の政治哲学	國分 功一郎	哲学・科学史
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「民主主義の危機」が近年、マスメディアで盛んに語られている。何ごとかが盛んに語られている時には、そこで問題となっているのが実際には何であるのかを慎重に見極めねばならない。問題が不適切な扱いを受け続けているという事態は決して稀ではないのである。この授業では、大竹弘二氏の『公開性の根源』（2018年、太田出版）を読みながら、いま政治において「危機」として語られているものが、近代の政治哲学によって未解決のままにされた問題であることを見ていきたい。つまりこの授業は哲学に関わるものであると同時に、私たちの同時代的経験を見つめ直すものである。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 哲学、政治哲学、近代哲学、行政、統治、主権 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 公開性の根源——秘密政治の系譜学 著者（訳者） 大竹弘二 出版社 太田出版 ISBN 4778316002 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31553	火 1	社会科学における仮説の設定とその検証：特 にポストコロナの社会を見据えて	木宮 正史	法・政治
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を強調し、学ぶ姿勢の根本的な転換を図る。「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、学ばせる。また、学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解させる。そして「問い」の「答え」を導くに当たり、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃を含む）、議論と根拠の関係、などといったより基礎的な作法の習得、また図書館などの研究リソースの利用方法の習得を全体に対しておこなう。 【この授業の目標・概要】 大学に入って社会科学を専攻するというのがどういうことであるのか、そうした理解の手がかりをつかむことを目標とする。政治学という特定のディシプリンに限定するということではなく、広く社会科学全般の方法論に基づいて政治という現象を理解することを目的とする。そのうえで、以下の点について、各自が、授業における指導や学生相互の評価などを通して、自分の能力を切磋琢磨することを目標とする。但し、本年度は、コロナ禍という状況の中、今まで累積された諸問題がより先鋭的に噴出する状況を迎えている。そうした中で、ポストコロナの社会を見据えた社会科学に関わる仮説を提示し、その検証もしくは反証を行うことを可能な限り考えてもらいたい。 ① 課題の発見能力：自分のオリジナルな課題設定が求められる。「驚き」（自分の持っていた常識では測りきれない現象に直面する）とそれに対する社会科学的な認識（なぜ、そうした「驚くべき」現象が起こったのか。また、なぜ、従来の「常識」では、そうした新しい現象がおこることを予測し、理解することができなかったのか。） ② 仮説の提示能力：問題意識をいかに具体的な仮説に転換することができるか。問題意識を「仮説」という形で設定し直し、それを実証していくという作業に取り組む。仮説というのは、最も簡単な形では、2つの変数（事象）を見つけて、その2つの変数が、どのような条件のもとで、どのような関係（因果関係や相関関係など）にあるのかを提示することである ③ 調査・資料収集能力：いかに「汗を流して」自分の考え方を確かなものにする地道な作業を根気よく行えるか。(1)先行研究にあたる。(作成した文献リストを活用し、重要なものを中心にして当該問題に関して、どのような議論が展開されているのか、どのような争点が存在するのかを中心に整理する。)(2)具体的な資料・データを集めて、それを検討する。仮説を実証するためには、どのような資料やデータが必要なのか。そして、そうした資料やデータはどこから入手するのか。また、そうした資料をどのように解釈するのか。 ④ 発表：いかに相手（特に自分とは意見を異にする人）を納得させられるか。レジュメの書き方や提示資料の選択を工夫することによって、いかに聴衆を飽きさせずに、興味関心を共有できるような発表を行うか。 ⑤ 論文の作成：自分の意見や構想を一方的に発表して、それで自己満足に浸るだけではだめである。自分の意見がなぜ正しいのか、もしくは説得力を持つのかを、具体的な証拠を提示することによって示す。 【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン・フィールド融合型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する 授業のキーワード 社会科学、ポストコロナの社会、仮説、実証もしくは反証、事例比較、相互評価 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31554	火 1	UTAS 参照	UTAS 参照	教養教育高度化機構
授業の目標・概要 ほか UTAS 参照				
31583	木 2	現代史をどう書くか	中野 耕太郎	歴史学
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代史とはどのような学問だろうか？それは古代史や近世史とはどこが違うのだろうか？また、それはいつから始まるのだろうか？こうした問いを糸口に、具体的にはアメリカ合衆国史を題材として、現在の私たちと過去の人々の営みをつなぐ現代史の研究手法を学ぶ。まず、今日のアメリカを考える際に特に重要な問題は何かを討論し、そこで浮かび上がった諸問題を過去に遡って調べていく。その際、先人たちはその問題をどう考えてきたか（先行研究）を整理し、また主要な史料（第一次文献）を実際に読んでみる。そうすることで、独自の主張を説得的に作り上げていくのが目標である。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 現代史、アメリカ史、戦争、ジェンダー 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31584	木 2	文化人類学の考え方ー民族誌的思考力を養うー	箭内 匡	文化人類学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 文化人類学は20世紀初頭から一貫してフィールドワークを基本的な学問的方法として用いてきた。フィールドワークとは一体どんな作業だろうか。一般的な用法に従えば、それは、現実に触れること、その中で、自分が持っていた知識・知見の意味を確かめつつ、研究のためのデータを得ること、ということになるかもしれない。 しかし、「未開」社会の人々の生を理解するという営みから出発した、文化人類学独特のフィールドワークには、それよりもずっと強くかつ重い意味がある。自分とは異なる人々の、異なった考え方や生き方に触れ、それに惹かれること。それを通じて、それまで考えても見なかった仕方で世界を眺め直してみること。こうした文化人類学的フィールドワークの手続きは、今日では、現代を生きる人々のさまざまな現実（企業や工場や高齢者施設、証券取引所や先端科学のラボ、そしてインターネット上のヴァーチャル空間など）にアプローチするために広く用いられている。 本当の意味での文化人類学的フィールドワークは時間のかかる作業であり、初年次ゼミの制約の中で、人類学的な考え方を裏切ることなくその研究手法を身につけることは困難である。そこで、この授業では別の方法でアプローチしてみたい。文化人類学的方法をもっともよく示すものは、文化人類学者が長期間のフィールドワークの経験をもとに、様々な考察を重ねたうえで書いた、「民族誌」と呼ばれるタイプの著作である。この授業では、授業参加者が、自らの関心にあった民族誌的著作を選び、それを自分なりに奥深く咀嚼する中で一ーさらに関連文献を読んだり、オンラインの視聴覚的素材を活用したりする中で（テーマによっては若干のオンラインフィールドワークも行う中で）一ー小論文を作成するという形をとる。それにより、中途半端なフィールドワークをするのよりも確実に、文化人類学的な考え方に接近することができると思われる。 「民族誌的アプローチ」のエッセンスを一言で言えば、生の現実の全体に徹底的に寄り添って考える、ということであり、それについて学ぶことの意味は、必ずしも文化人類学という学問分野に限られるものではない。むしろ、広く学問および人生における様々な「学び」の場面において役立ちうるものだと思う。 【学術分野】文化人類学 【授業形態】ゼミナール型 ※この授業は、ディシプリン・フィールド・文献批評のどれとも関わるが、どのタイプにも当てはまらない。作業の中心は、「文化人類学」という学問分野をぼんやり意識しつつ（強く意識する必要はない）、自分の研究テーマを立て、それを掘り下げ、それについて発表しまた議論し、論文を書く、という作業を行う中で、大学レベルでの「研究」の過程について学ぶことである。 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 民族誌、フィールド、経験、他なるもの、生 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				
31585	木 2	地図から社会を考える	田中 雅大	人文地理学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 情報通信技術（ICT）と地理情報技術（GPS など）の発達・普及に伴い、多種多様なものを「地図で見せる」ことが重要視されるようになった。一方、「地図で見えるようにする」ことには様々な社会的・倫理的問題がつきまとう。また、誰もが「地図による可視化」の恩恵にあずかれるとは限らない。 この授業では、地理学・地図学・地理情報科学の立場から、世の中に存在する様々な地図（新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイトなどで目にする地図）について批判的に思考し、「地図で見せる」ことを重視する社会について考える。具体的には、担当教員による地図批評に関する講義、受講生による研究テーマの設定、先行研究のレビュー、地図批評の実践（必要に応じてフィールドワーク）、それらの結果に関する報告と討論を行う。最終的にそれらを踏まえて小論文を作成してもらう。 【学術分野】人文地理学 【授業形態】ディシプリン型・フィールド型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 地図学、地理情報科学、地図批評、可視化 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				

31586	木 2	「日本人」の世界観とその来歴を問う	徳盛 誠	留学生相談室
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 誰であれこの世界を世界観めきに観ることはできない。自分自身の世界観を認識し問い直すきっかけとして、この日本で共有されてきた世界観とその来歴を問おう。 参加者は古代、中古、中世、近世、近代の五つの班に分かれて、図像や文献の分析を基本とし、各時代に提示された世界観・世界像を調査し報告してもらう。 調査、報告、討議の中で、上記アカデミックスキルを学ぶこともできると考える。 【学術分野】 社会思想史／国際関係／歴史学／国文・漢文学／文化人類学／科学史／人文地理学 【授業形態】 フィールド型／文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 世界観、日本人 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31587	木 2	社会科学入門	西村 弓	法・政治
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 社会科学分野における、課題設定、プレゼンテーション、討論、論文執筆といった学問の基本的な技法の基礎を修得すること。 【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 社会科学入門、法学入門、論文作成、国際法 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

グループ3 1年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)

グループ3 1年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31555	火 3	認知革命とは何か～	岡ノ谷 一夫	心理・教育
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 ハラリの『サピエンス全史』は各界に大きな影響をもたらしている。ここで重要な概念は「認知革命」であるが、実は同書を読んでも「認知革命」が何であり、なぜそれが起こったのかはよくわからない。本ゼミナールでは、前半に『サピエンス全史』の精読を行い、後半に「認知革命」とは何かについて議論する。議論の結果はレポートとしてまとめ提出してもらう。 【学術分野】心理・教育学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31556	火 3	名著から考える世界史	大塚 修	歴史学
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学における重要な作業の一つは、史料を正確に読解・分析し、それに基づいて論じることです。この授業では、歴史学研究で用いられる史料がどのようなものかを実際に体感し、それをどのような手法で扱い、分析していくのかについて学びます。具体的には、高校の世界史に登場する史料の中でも特に著名なもの（例えば池田嘉郎他編『名著で読む世界史 120』山川出版社、2016年に収録されている書物）の中から各自興味のある史料を選び、その日本語訳を一定の分量、通読します。そして、関連研究の成果を参照しながら、史料の性格について考察した上で、その史料を通じてどのような歴史が書けそうか、について考えます。さらに、その成果について報告・討論を行い、小論文を作成する作業を通じて、自分の考えを論理的に発信する能力を向上させることを目指します。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 歴史、世界史、東洋史、西洋史、書物 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31557	火 3	日本語の「常識」を問い直す	矢田 勉	国文・漢文
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 学術研究に第一に求められるものは「客観性」である。しかし、人間の思惟以前の存在を研究対象とする自然科学など以上に、人間の主観性とその産物を研究対象とする人文科学では、何によって客観性が担保されるのかが際どい問題として立ち起こってくる。ともすれば、単に広く人口に膾炙していること、何となく皆がそうだと信じ込んでいることが、客観性の根拠と誤解されることも多い。一方で、正しい科学的手続きの結果として明らかにされてきたことまでも無闇に疑うことは、研究の停滞を招くどころか、時としては思惟を「疑似科学」へと導きかねない原因にもなる。正しい研究の第一歩は、既存の知識がそのいずれに属するのかを正しく峻別する力である。 「日本語」という対象は、日本語母語話者にとっては水や空気と同等のものであり、そのために、ただ何となくそのように信じられている、という事象も多い。科学的な論証手続きが求められる「日本語学」と、場合によっては主観的な物言いが許されている「日本語論」との境界線が分かりづらいこともある。日本語について考え直すことは、そうした、研究に関する基礎的スキルを身につけるのに恰好の訓練である。受講者には、それぞれ担当する日本語に関わる既存知識を再検討する中で、(日本語という)日常不断に接する対象に対する捉え返し、先行言説の批判的再検討、新たな着眼点の発掘、研究成果を簡潔に分かりやすく伝える技法、といった諸能力の涵養も求められる。 これらは、今後、いずれの研究分野に進むに当たっても必要な、「基礎体力」となるであろう。 【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、発表の水準および討議への貢献等の平常点と、小論文とで判断する。 授業のキーワード 日本語 日本語学 日本語論 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31558	火 3	大学で学ぶとは何かを学ぶ試み	大石 紀一郎	ドイツ語
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 大学で学ぶこととはどういうことかを考えるために、これまでの皆さんの学びのあり方を各自が振り返り、新たな学びの可能性を考えることにする。そのために用いる言葉・方法、学ぶ目的、学びの成果の表現について参加者同士が共有して議論し、それぞれの頭の使い方を練習する。 【学術分野】 哲学および文化研究 【授業形態】 ディシプリン型・文献批評型に近い試み 成績評価方法 定期的な出席、順番で担当する授業の「まとめ」の作成と提出、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 学び、自己を振り返る(反省)、方法、討議、言語・文化の相対化 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31559	火 3	国際法の視点から現代の国際的課題を分析する	キハラハント 愛	法・政治
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 世界は今、紛争の形態の変化、テロリズム、増える難民、安全保障制度の変化、気候変動など、様々な課題を抱えている。これらの課題について、法的な観点から考察し、その作業を通じて、文献の批判的な読解、学問的な「問い」の立て方、「問い」への答えの追求の仕方、批判的かつ建設的なディスカッション、研究の過程・結果の報告や論文執筆の方法を学ぶ。 【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と最終課題である小論文とで判断する。 国際法、国際的課題、紛争、難民、人権 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31560	火 3	「グローバル化」における「不平等」と「貧困」を考える～	中西 徹	経済・統計
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「グローバル化」が進む中、ピケティやハラリが指摘したように、地球規模での「不平等」と「貧困」の問題が深刻化しつつある。この授業では、この問題を様々な観点から考察したい。 【学術分野】 経済・統計 【授業形態】 ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 グローバル化、不平等、貧困 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『21世紀の人類のための21の思考』 著者（訳者） ハラリ、ユヴァル・ノア（柴田裕之訳） 出版社 河出書房新社 ISBN 978-4-309-22788-7 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31561	火 3	九鬼周造『「いき」の構造』を読む	星野 太	哲学・科学史
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、九鬼周造の『「いき」の構造』（1930）を対象に、テキストの読み方を学ぶ。この書物は、きわめて濃密に書かれた哲学書でありながら、そのテーマの広がりや流麗な文体によって、一般の読者にも訴えるものとなっている。同時に、こんにちの目で読み返したとき、そこにさまざまな論理的瑕疵が存在することも事実である。いずれにせよ、テキストを批評的に読むという大学での学習の導入として、同書は格好の対象である。 授業の前半では、各章ごとに担当者を決め、『「いき」の構造』を精読する。後半では、同じく担当者を決め、関連文献や二次文献の紹介・要約を中心に行なう。いずれにおいても、参加者には割り当てられた課題の分担と、討議への積極的な参加が求められる。これらの作業を通じて、学術的な調査方法の基礎を身につけることが、本授業の最大の目的である。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型		
成績評価方法	授業のキーワード	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 いき、美学、日本思想、京都学派、九鬼周造 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「いき」の構造 著者（訳者） 九鬼周造 出版社 岩波文庫（改版） ISBN ISBN-10：4003314611／ISBN-13：978-4003314616 その他 第3週までに必ず用意すること。		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31588	木 3	国際関係史への招待——国際関係論と歴史学のあいだ	帶谷 俊輔	国際関係
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国際関係論と歴史学の境界にある学問としての国際関係史について、「問い」の立て方、分析視角の重要性、そして史資料に基づき立論する手法を学ぶ。戦間期の国際関係史についてまずはテキストを正確に読み、そのうえで批判的視点から検討することを求める。さらに、歴史学的手法を身に付けるため、同時代史料のアクセス、読み方についてもその初歩を講義する。史料及びそれを扱った論文の双方を読むことで、歴史研究の作業を追体験してもらったうえで、小論文執筆に取りかかる。 明確な分析視角には政治学や国際関係論の知見が、史資料に基づいた堅実な記述には歴史学の知見・手法が必要であるが、そうした境界領域である国際関係史に親しむことを通じて、関心が広がっていくことを期待したい。 【学術分野】 法・政治 国際関係 歴史学 人文地理学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型		
成績評価方法	授業のキーワード	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 国際関係、外交、歴史、政治学 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 避けられた戦争——1920年代・日本の選択 著者（訳者） 油井大三元 出版社 ちくま新書 ISBN 4480073213		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31589	木 3	ディレンマとつきあう平和構築	中村 長史	教養教育高度化機構
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 武力のせいでは平和がこわれることもある一方で、武力によって平和がつけられることもある。このすっきりとは割り切れないディレンマこそ、戦争と平和の学問として出発した国際政治学が抱え続けてきた最も大きな難問の一つといってよいだろう。そして、このようなディレンマは、国際政治の至るところにみつけることができる。 この授業では、国際政治学の一分野である広義の「平和構築」に焦点を当て、そこにみられるディレンマの分析を通して、国際政治の構造自体を理解することを目指す。具体的には、平和な状態の回復を目指す政策（人道的介入、対テロ武力行使、人道支援、仲介など）、維持を目指す政策（平和維持活動など）、定着を目指す政策（狭義の平和構築活動＝国家建設、国際刑事裁判、和解など）を扱う。 履修者が学期末に到達することを期待される目標は、以下の6点である。 ①平和構築に関する専門的な文献の意義や問題点を指摘することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ②平和構築に関する資料や文献を自ら適切に収集することができる（紛争リサーチで訓練⇒小論文に活かす） ③懐疑的な読者の存在を常に意識して、予想される反論にあらかじめ応答することができる（ディベートで訓練⇒小論文に活かす） ④平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、何が問題かを事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑤平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それが生じる原因を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑥平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それを管理したり解決したりする方法を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 平和構築、国際政治、ディレンマ、紛争リサーチ、ディベート、実証 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				
31590	木 3	UTAS 参照	UTAS 参照	教養教育高度化機構
授業の目標・概要 ほか UTAS 参照				

グループ4 1年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)

グループ4 1年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31562	火 4	学術論文を通して見る歴史学の世界	黛 秋津	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、皆さんがこれまでまず目にしたことがないと思われる「学術論文」について徹底的に見てゆこうと思います。学術論文とは何か、何のために書くのか、どのように書くのか、どのような形式・体裁であるべきか、良い論文と悪い論文の違いは何か、などの様々な問題を、多くの事例に触れながら皆で一緒に考えます。担当教員が歴史学を専門とする関係上、取り上げる論文は歴史学に関わるものが中心です。数多くの歴史学関連の学術論文を目にする中で、学問としての歴史学とはどういうものか、そしてどのような方法で研究すべきなのか、という点についても自ずと理解することになるでしょう。もちろん補足的に、大学で学ぶ学問としての歴史学や歴史研究を行う上で最も重要な「史料」についても解説します。 これから踏み入れることになる学問の世界に、皆さんが着実な一歩を踏み出せるようにすることがこの授業の狙いです。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 歴史学 学術論文 史料 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				
31563	火 4	芥川龍之介を読む	出口 智之	国文・漢文学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 高校の国語科でも多く扱われる教材「羅生門」を書いた芥川龍之介の短篇小説を取上げ、小説テキスト分析の基本的な考え方および文学研究の基礎を実践的に学ぶ。扱う作品については、学生から希望があればそれを生かしつつ、教員からも候補を提示し、最終的には授業の中で決定する。著名作からマイナーな作品まで、様々な芥川作品を読んで作家への理解を深めつつ、これまでの国語とは異なる、創造的な読解の面白さを体感してほしい。 【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 日本近代文学、芥川龍之介、テキスト分析、文芸批評 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				

31564	火 4	哲学の古典を読む	山本 芳久	哲学・科学史
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 哲学の古典を原典に即しながら丁寧に読み解いていく力を身につけていくことを目標とします。具体的には、西洋を代表する哲学書の一つであるトマス・アクィナス(1225-1274)の『神学大全』を、日本語訳で講読します。テーマは「感情について」です。一人では読み解きにくい哲学書を読み解くための技法を、みなさんが毎日抱く具体的な「感情」という身近なテーマに即しながら説明していきます。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型		
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。		
授業のキーワード		西洋哲学、倫理学、キリスト教、トマス・アクィナス、『神学大全』、感情		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook		
		書名 『世界は善に満ちている：トマス・アクィナス哲学講義』		
		著者（訳者） 山本芳久		
		出版社 新潮社		
		ISBN 978-4106038617		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31565	火 4	現代民主主義の思想的問題	森 政稔	社会・社会思想史
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 民主主義とは何か、については高校の公民科教科書などで触れられ、一応は勉強したことになる。しかし、現代世界の政治で実際に民主主義がどのように作用しているのかを考えると、教科書的理解とはまるで異なることが生じているようである。このところ欧州での難民問題、排外主義的ポピュリズムの台頭など、民主主義をめぐる困難な問題が相次ぎ、さらに日本と韓国、中国など東アジアの国々における対立が深まっており、民主主義がこれらの問題に対処できるかどうかが深刻に問われるようになった。本年はそれらと関係の深い現代民主主義の関わるテーマを3つ設定する。 1.近年のポピュリズムを中心とした民主主義の諸問題の検討。民主主義は危機が言われるなかで生き残れるかを考える。 2.ポスト資本主義：資本主義はこれまでどのように変質してきて、これからどのように変化するのかを、社会の多様な側面(労働、地域、エコロジーなど)から考える。 【学術分野】 社会・社会思想史 【授業形態】 文献批評型		
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する		
授業のキーワード		成熟社会、資本主義、ポピュリズム、民主主義、多文化社会、経済発展と民主化		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31566	火 4	確率入門	河合 玲一郎	経済・統計
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 経済、経営、金融、保険といった社会科学分野において、非確定的な現象を統合的に理解するため、日常的に確率モデルが用いられる。また、確率はデータサイエンスの基礎となる重要事項である。この授業では、講義・輪読・演習問題を通して確率モデルの基礎事項を学び、課題を通して特定の結論を導く技能を身に着けることを目指す。 【学術分野】経済・統計 【授業形態】ディシプリン型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 経済・経営・金融・保険、確率モデル、統計学、データサイエンス、微分積分・代数幾何 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31567	火 4	学びの心理学 ー学ぶ・教える・測るー	椿本 弥生	教養教育高度化機構
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 複雑さが増すこの社会において、他者と協調しながら学ぶこと、自らの学びを俯瞰し調整すること、他者の学びを支援すること、よりよく教えることなどの重要性も増している。しかし一方で、学んだり教えたりする行為は、さまざまな心理的・物理的要因などからうまくいかない場合も多いことが明らかになっている。 この授業では、学ぶこと（学習）や教えること（教授）に関わる国内外の研究知見を参考にしながら、これまでも、そしてこれからも私たちの身近な存在であり、教育心理学の代表的な一分野でもある「教授・学習」を研究する方法を習得することを目的とする。具体的には、履修者各自で興味関心を活かした「問い」を設定し、「答え」を明らかにするための小規模な調査を考えて実施してもらう。得られたデータを分析し、「問い」に対する「答え」を導いてほしい。 データ分析に自信がない人も、教員や TA が基本事項を指導したり、文献を紹介したりするため心配しなくてもよい。学びについて学術的に考えてみたい人は積極的に履修してほしい。 【この授業の目標】 以上の概要をふまえて、以下の学習目標を設定する。 ・教授・学習を研究するための問いを設定できる ・問いを明らかにするための研究方法を設定できる ・得られたデータを適切に分析できる ・分析の結果を正しく読み取り、妥当な解釈ができる ・討論や報告によって他者の学習に貢献できる ・学術論文の構造をもった小論文を執筆できる 【学術分野】心理・教育学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 a) 平常点（授業中の活動への参加・グループへの貢献）：40 点満点 b) 小論文：60 点満点 注1) 単位取得のためには、i) a,b ともに 60%以上得点していること、ii) 講義に 2/3 以上出席していること、の両方を満たす必要がある。 注2) 特別な理由なく 30 分以上の遅刻・早退があった場合は、出席とみなさない。 注3) 平常点と小論文の評価基準は、授業内で示す。適切な基準を作成するために、小論文の仮提出を求める場合がある。 授業のキーワード 学びの方法（学習方略）、いかに教えるか（認知支援）、学習・教授効果の測定、高次認知過程、メタ認知、データ分析 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31546	金 1	史料/資料から読む歴史	河野 正	社会科学研究所
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学における重要な2本の柱は、①先行研究の整理と②史料読解である。本ゼミナールでは双方を通じて歴史学の研究手法を初歩的に理解することを目指す。 ①については諸分野の近年の研究成果について検討をおこなう。ここでは、参加者自身が自分の問題関心のもとに文献を自ら探してくることも想定している。②については歴史学研究会編『世界史史料』（岩波書店、2006～2013）所収の史料や教員自身が翻訳した史料など、日本語で読む事ができる史料について読解をおこなう。参加者に対しては①か②について発表を義務付ける。そのため本授業は上で挙げた目標のほか、レジュメ作成や発表方法を身につけることも目標とする。 なお、ゼミナールで取り上げる論文等については参加者自身が探してくることを前提としたいが、昨今の情勢を受け、図書館の利用等に困難が生じる場合は教員側で準備する可能性もある。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型・文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 史料読解、文献購読、一次史料 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31591	金 1	伊東俊太郎『十二世紀ルネサンス』を読む	三村 太郎	哲学・科学史
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史上、ある地域が異文化との交流によって新たなフェーズを迎えることがある。その一つが、十二世紀ルネサンスにおけるヨーロッパでのアラビア語文献を通じたギリシャ科学・哲学文化の受容である。この授業では、十二世紀ルネサンス研究で世界的な業績を上げた伊東俊太郎が、その研究動機など個人的なエピソードを交えつつ十二世紀ルネサンスという事象を縦横無尽に語った『十二世紀ルネサンス』（講談社学術文庫）をともに読みたい。そうすることで、大学での課題探究とは何かを知るきっかけになればと考えている。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 伊東俊太郎、ギリシャ科学、アラビア語翻訳文化、十二世紀ルネサンス 教科書 伊東俊太郎『十二世紀ルネサンス』を用いる。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31592	金 1	英字経済新聞を読む	高見 典和	経済・統計
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 マーティン・ウルフやジョン・キャシディーのような英米圏の著名な経済ジャーナリストの英文記事を読解し、議論します。英文読解の技術および内容の解説をおこない、現在の世界の政治経済をどのようにとらえるべきかを考えます。 【学術分野】 法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 成績評価方法 平常点、レポート 授業のキーワード 経済、国際、時事問題 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31593	金 1	紛争と介入をめぐる諸問題	岡田 晃枝	国際関係
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代の国際社会が直面するさまざまな問題のうち、紛争と介入をめぐる諸議論をとり上げ、文献を読み、批判的に検討しながら、学術的な論文の書き方と議論のあり方を学ぶ。主観的・直感的に「正邪」を議論するのではなく、事実関係を整理し、既存の議論をふまえた上で、「自分の」議論を説得的に展開できるようになることがこの授業の目標である。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン＋文献批評型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	紛争、軍事介入、人道的介入、和解、保護する責任、平和構築			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ5 1年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)

グループ5 1年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31568	水 2	デジタル版『渋沢栄一伝記資料』で歴史学の扉を開いてみる	山口 輝臣	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 2024年から1万円札の顔となる渋沢栄一は、その生涯に関わる史料の重要部分がデジタル化されているという点で、希有な存在である。この授業の目標は、そのデジタル版『渋沢栄一伝記資料』を活用することにより、歴史学の作法を体験することにある。それにより、本を読んでお勉強する歴史から、史料を読んで考える歴史学の扉を開こうという試みである。 具体的には、デジタル版『渋沢栄一伝記資料』に触れることからはじめ、ほかの史料なども照合していくことで、受講生がそれぞれの研究課題を導く。次いで先行研究を探索して参考にしながら自らの議論を構築し、報告する。さらにその際に受けた批評に応えつつ、小論文へとまとめる。 『渋沢栄一伝記資料』を取り上げるのは、オンライン授業や図書館等の利用制限による影響が比較的少ないことに加え、なんといっても、渋沢栄一という人物の多面性によるところが大きい。実業家として知られる渋沢だが、慈善活動などを通じて、経済以外のさまざまな領域にも関わった。官僚の経験もあり、論語に一家言あるなど、多彩な人物である。そうした人物が残した史料とあなたの関心事がどう歴史研究と切り結ぶのか、この授業で実践してみようではありませんか。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 歴史学、史料、先行研究、渋沢栄一 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				
31569	水 2	祭りについて考える	沖本 幸子	国文・漢文
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 祭りに関心を寄せる学問はさまざまです。文学、歴史学、民俗学、社会学、文化人類学、民族音楽学、宗教学などなど。祭りがその地域の風土、暮らし、歴史、信仰などと深く関わっているからです。日本の祭りは、その土地で生きる人たちが、身の回りの自然や死者（祖先）たち、疫病などどう向き合い、生き合うか、という中ではぐくまれて来ました。そして、そうした感性が、能などの古典芸能や文学を支えてもいます。現代の都市に生きる人々とは異なる感性や美意識がそこにはあり、そうした感性や、そこに託された思想を探究することは、今ここに生きる私たちを相対化する座標軸を育て、自分たちの立ち位置を知ることでもあります。この授業では、特に祭りや芸能などの身体化された事象に注目しながら、さまざまな危機に立ち向かう心の受け皿をどのように作り上げてきたのか、民衆の感性・美意識がどのような形に結実しているのか、日本文化を多角的に見るまなざしを養っていきたいと思います。 【学術分野】 歴史学 国文・漢文学 文化人類学		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 祭り・芸能・民俗・歴史・地域 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31570	水 2	認知・感情・心の哲学	石原 孝二	哲学・科学史
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 哲学や認知科学分野の文献の読解を通して認知、感情、心に関する哲学的・理論的な議論を展開する能力を身に着けることを目標とする。履修者はデカルトやカント、フッサール、デネットなどの哲学者の文献もしくは認知科学・心理学・精神医学などに関する文献から自分の興味にあったものを選択し、それに基づいた発表を行う。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 認知、感情、心、精神医学 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31571	水 2	1988年6月1日に最高裁判所が下した1つの判決を通じて、判決の読み方を学ぶ／判決に潜む問題を発見する／問題の原因を探る／問題の解決策を考える	小粥 太郎	法・政治
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 【学術分野】 法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 【入力可】 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31572	水 2	人工社会を作ろう：マルチエージェント・シミュレーション入門	阪本 拓人	国際関係
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 マルチエージェント・シミュレーション (MAS) と呼ばれるコンピュータ・シミュレーションの技法を使って、社会現象の理解を目指す授業である。MAS は、コンピュータの中に「エージェント」と呼ばれる多数の人工的な「生き物」を配置して相互作用をさせることで、いかなる集会的な秩序や動態が生成されるかを観察するシミュレーション手法である。個人や集団の間のネットワークの形成、市場での競争や独占、あるいは国家間の戦争や平和といった様々な現象を、コンピュータの中で実際に「作って理解する」ことを可能にする。 この授業では、まず、既製のソフトウェアを使った実習を通じて MAS というツールを身につけてもらう。その上で、各々の学生が関心を持つ社会現象を、関連する先行研究も踏まえながら、MAS を使ってモデル化する作業を行ってもらう。そして、コンピュータの中に作られた各自の「人工社会」の観察・分析を通じて、当該の社会現象に対し、理解を深めたり新たな知見を得たりしてもらう。 なお、本授業は文科系の初学者を想定しているため、MAS はもちろん、プログラミング等の知識・経験は前提にしていない。 【学術分野】社会科学全般 【授業形態】実習型		
成績評価方法		出席、実習への取り組み等の平常点と小論文とで判断する。		
授業のキーワード 教科書		学期末の小論文には、各自が作成した MAS モデルも添付してもらう。これも評価の対象である。 マルチエージェント・シミュレーション、人工社会、社会科学、複雑系、エージェント、シミュレーション 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 人工社会構築指南（改訂新版） 著者（訳者） 山影進 出版社 書籍工房早山 ISBN 978-4904701034		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31594	金 3	駒場の歴史をたどる	田中 創	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 駒場キャンパス内外にある歴史的モニュメントや遺構をきっかけとして、東京大学駒場キャンパスとその前身である旧制第一高等学校の歴史および渋谷・目黒・世田谷といった周辺地域の歴史を調べる。最終レポートでは、単に細かな地域史の調査で終わるのではなく、日本や世界の歴史のなかに駒場および周辺地域の歴史を位置づけることを目指す。 授業内の報告発表の準備を通じて、過去の研究文献を探し出し、自分なりの関心・問題を設定するための基礎的な方法を身につける。また、レジュメとパワーポイントを使った口頭発表を通じて、自分の意見の伝え方を訓練するほか、参考文献・脚注を伴う最終レポートの作成を通じて、学術論文の基本的な要素・作法を学ぶことを目指す。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型、文献批評型		
成績評価方法		出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。		
授業のキーワード 教科書		歴史、日本史、第一高等学校（一高）、駒場、渋谷		
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31595	金 3	「他者」について考える	津田 浩司	文化人類学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「他者」とは何か、「他者」とは誰か。この問いには答えがない。いつ何時でも文脈次第で、様々な差異や弁別基準を根拠にいかなる線引きも可能だからである。時には、親密であったはずの家族や親友も「他者」となり得るし、己の身体も過去の自分でさえも「他者」となる。 このように考えると、「他者」について考えるということは、「異文化コミュニケーション」などといった際にイメージされるような表面的なスキルの問題では決していないことが分かる。また、ある集団、ないしある属性や特徴を持つグループについて辞書的に調べ説明できることと、その対象を理解したこととは、決してイコールでもない。むしろ前者は「他者」を固定化・隔絶化することである。 それゆえ、「他者」について考えるというテーマ自体、矛盾に満ちている。いったん何らかの差異・属性でもってある対象を恣意的に「他者化」しておきながら、それについて思考・理解（自己化）しようというのだから。しかし、この矛盾を意識しながら、既成概念を崩しては別の線引きをし、それをまた別の文脈に置いては否定する、といったたゆまぬ往還を繰り返しつつもがくことは、決して非生産的な営みではない。 この授業では、（1）身の回りの「他者」をめぐるどのような文献でどのようなことが語られているかを整理することを通じて、また必要に応じて（2）履修者自らが「他者」のいる場に赴き見聞きすることを通じて、各自その「他者」をめぐる考えに考え抜いたプロセスを披露し、履修者全員で討議する。 なお、文献を渉猟しその中で溺れ思考することも、フィールドワークのひとつのあり方であることを踏まえ、履修者には必ずしも実地での調査を強いるものではない。 【学術分野】文化人類学 【授業形態】フィールド型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。		
成績評価方法		他者（化）、自己、差異、パースペクティヴ、フィールドワーク		
授業のキーワード		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
教科書		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
ガイダンス				
31596	金 3	東アジアからの古典と教養	石井 剛	中国語
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「教養」概念をどう定義するにせよ、古典を読むことがそこから外れることはないでしょう。この授業では「東アジア」をわたしたちに共通の“思考の足場”と見なし、その上で古典を読むことの楽しみを味わいます。しかしそれは「東アジアの古典」だけを読むことを意味しません。また、遠い古代のテキストだけが「古典」ではありません。古典と見なしうるテキストは洋の東西を問わず現代まで絶えることなく生まれています。それらが古典たり得ているのは、どの時代に生成したかにかかわらず、つねにわたしたちの今日と未来に対する問いにそれらが応答してくれるからにほかならないのです。そして、わたしたちは古典という人類の普遍的遺産をわたしたちの“足場”において吟味することによって、古典に新しい生命を吹き込んでいくのだと言えます。それは、古典を共に読むわたしたちの息づかい（プシュケー）としての「文」の創造行為となることでしょう。 【学術分野】哲学 【授業形態】文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。		
成績評価方法		教養、東アジア、古典、哲学、未来、読解		
授業のキーワード		授業中に指示をする。／Will specify at class time		
教科書		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
ガイダンス				

31597	金 3	民族・宗教と紛争	鶴見 太郎	国際関係
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 今日の国際関係を占ううえで、民族や宗教にまつわる紛争の制御が依然として重要な課題であることは、昨今の難民問題やテロ事件に言及するまでもなく明らかである。 しかし、とりわけ国際関係を久しく賑わせてきたこうした紛争が、いかなるメカニズムによって発生し、いかに制御・解消できるのかについては、いまだ十分に解明されていない。そもそも論者によって各紛争の捉え方は大きく異なることが常であり、何が客観的で正しい捉え方であるのか判断に窮することも多い。その一因は、民族や宗教がすぐれて主観的な営みであることにある。この授業では、日本国内のものを含む世界の様々な事例を受講生が取り上げながら、人間社会の主要課題の一つである民族・宗教紛争の捉え方を学ぶ。そのことを通じて、人文・社会科学固有の対象である、曖昧さや両義性、主観と客観の不分明さがつきまとう事象への様々なアプローチ方法を体得することを目標とする。 【学術分野】 国際関係、社会学 【授業形態】 ディシプリン型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 民族、宗教、ディアスポラ、国際問題、ナショナリズム、エスニシティ 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31598	金 3	因果関係を明確にする	鍾 非	経済・統計
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 数学的因果関係（関数 or 函数）であるかはさておき、「因果関係こそ、あらゆる学問の出発点」という見方については、誰しも同意せざるを得まい。面白がり屋の歴史家でさえ、見た目は混沌たる史実を理路整然とした手法で分類・再分類する必要がある。その際、信憑性の高い、具体的な因果関係が動かぬ決め手。本講義は「因果関係を明確にする」というキャッチフレーズをかかげて、基礎練習をゼミ生の体に叩き込ませる。初年次ゼミナールを「料理教室」に喩えてみよう。フレンチ・イタリアン・中華・トルコ料理のような具体的な「教室名」は決めず（だから、小論文のテーマは自由）、「フライパンの振り方」「包丁の握り方」「野菜掃除の仕方」といった料理教室でのABCと一脈通じる学問の基礎の重要性をこれでもかと強調したい（大横綱・貴乃花の基礎に対する尋常ならざる矜持をちらっと想起）。一例を挙げよう。「共分散を始めとする因果関係の強さ」「相関係数の絶対値の大きさ」「最小二乗法」の求め方すらちんぷんかんぷんだと、将来、論文は書けそうもない。そこで、言わずと知れた、表計算ソフトの「横綱」・Excelでの「関数」という機能（統計を含む）に着目し、データを示す散布図の作成を皮切りに、回帰線の切片と傾き（最小二乗法）の求め方を明示（備考：ソフトの杓子定規な操作より、IQ指数に直結する計算方法を遥かに重視。ソフト≠学問。表計算ソフトの「大関」・ロータス123もOK）。「政治」「社会」「経済」「法律」「哲学」（社会科学）の全貌やその一部を浮き彫りにするための「プロの料理人」としての技の基本（サッカーで言えば、lifting）を、しっかり身に付けさせたい。講義の醍醐味を表せるクイズを一問出題しよう（ただし、偏差値41）：「住所」とかけて、「はじめ」ととく。その心は？ 答え：一丁目一番地。 【学術分野】 経済・統計 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 成績評価方法 出席+小論文+その他 授業のキーワード 基礎 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ6 1年 文一ニ(9,18,20,23)文三(6,17,19)

グループ 6 1 年 文一二(9,18,20,23)文三(6,17,19)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31573	水 3	歴史研究の現場に立つ——東洋史で学ぶアカ デミックスキル	杉山 清彦	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学とは、人類の過去の営みの一面を史料に依拠して明らかにし、それに論理的説明を与える学問である。それゆえ、問題の発見にはみずみずしい好奇心が、史実の復元には史料に向き合う地道な努力と語学力が、そして問題の解決には柔軟な発想と論理構成力が不可欠である。そしてこの知的営みは、その根拠が「史料」であることを固有の特色とする以外、あらゆる学問的営為と共通している。このゼミナールでは、アジアを対象とする東洋史学の分野の中から、研究が塗り替わりつつあり、また学術的論争となっているトピックを取り上げて、日本語・英語の研究文献を講読・検討する。それを通して、歴史学の方法を学ぶとともに、研究の現場を体験してもらいたい。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型		
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。		
授業のキーワード		歴史学、アジア、史料、実証、先行研究、歴史像		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31574	水 3	社会史の世界	土屋 和代	英語
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 授業の前半では、アメリカ近現代史・西洋史を中心に、社会史が登場した背景、その射程、限界と可能性について基本文献を読みながら学ぶ。後半では、自らが設定した研究課題に関する文献を読み、批評する力、先行研究の整理の仕方、論の組み立て方、史料収集・解析の方法、注や参考文献の書き方を学ぶことで、論文を書くための方法を修得する。 【学術分野】歴史学 【授業形態】文献批評型		
成績評価方法		出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。		
授業のキーワード		歴史学、人種・エスニシティ、階級、ジェンダー、史料、論文執筆		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31575	水 3	Society5.0 におけるミュージアムの展示を考 える	永井 久美子	国文・漢文
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 美術館・博物館もコロナ禍の影響を受けた昨今、バーチャルツアーやギャラリートークの配信など、展示のオンライン化の例が多数存在する。仮想空間と現実空間が結びついた、いわゆる Society5.0 におけるミュージアムの情報発信のあり方について、現在の課題、今後のあるべき形などを、関心のある例を各自自由に選択し、議論してもらう。主な分析対象は一人一件を原則とするが、問題を論じるうえで必要な場合は、複数の展示の比較対照を行ってもよい。美術館、博物館、文学館、歴史館などのほか、動物園や水族館、植物園の問題を取り上げてもよい。授業形態は、人文学全般に通じる小論文の書き方を学ぶディシプリン型であると同時に、特に展示解説の内容を論じる場合には文献批評型でもあり、サイバー空間の展示会場を訪れるフィールド型でもある。課題を互いに発表することをを通して、プレゼンテーションおよび小論文の完成度を高めてゆく。 【学術分野】人文学（美術史、歴史、文学ほか分析対象は自由選択） 【授業形態】ディシプリン型、文献批評型、フィールド型の複合形態 成績評価方法 発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 草稿は期限内に提出されたもののみを評価の対象とする。 授業のキーワード Society5.0、オンライン展示、ミュージアム 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31576	水 3	近代日本政治史・外交史研究入門	酒井 哲哉	国際関係
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 近代日本の政治史・外交史を社会科学的手法で読み解くための入門授業。基本文献の読み方、報告や討論の仕方、自由方向のテーマ設定、小論文の作成方法について学習する。自由報告の内容は各自の選択にゆだねるが、担当者の専門領域に近い国際関係・政治学・歴史学・近現代日本研究などが、とりあえずは念頭に置かれている。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型、フィールド型、文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する 授業のキーワード 近代日本、政治史、外交史、国際関係論、政治学、歴史学 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31577	水 3	UTAS 参照	UTAS 参照	教養教育高度化機構
授業の目標・概要 ほか UTAS 参照				
31578	水 3	SDGs について考える	岡田 晃枝	国際関係
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、国際社会が直面している地球規模問題群のうち、国連の「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に指定されたものについて、現状やこれまで（SDGs 制定以前含む）の国際的取組、その思想的背景など多角的に検討し、各自がこれらの問題に対するさまざまなアクターの取組について「問題」を設定して「検証」を行い、それを論文にまとめる。国際関係論や国際機構論、開発に関する学術論文だけでなく、国際機関の文書や報告書、資料の探し方や使い方についても学ぶことになる。 【学術分野】 国際関係 【授業形態】 ディシプリン+ケーススタディ型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード グローバル・ゴールズ、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ、地球規模問題群、SDGs、MDGs、国際機関 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31545	金 4	中東・イスラーム文化圏フリーツアー	森本 一夫	東洋文化研究所
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「教わる」ことが勉強だった高校生のあなたが、「自ら考え、組み立てる」勉強を体得して大学生になる、その手助けをするのが初年次ゼミです。「中東・イスラーム文化圏フリーツアー」ゼミでは、中東やイスラーム文化圏に関係する何らかのテーマをあなた自身が選び、それについて調べ、発表し、小論文を書くという過程を通じて、この変身をサポートします。その際に目指して欲しいのは、これまでに同じ（ような）テーマについて調べた人が自分の考えやまとめとして述べていることの無批判な繰り返しを一步でも二歩でも越えていくことです。そのためには、大抵の場合、そのテーマについての直接の情報源となるような資料（仮に「一次資料」）にもあたり、そこから自分自身の考えを組み立てていくが必要になります。中東やイスラーム圏に関する一次資料となると、もちろん言葉の壁が立ちただかってくるわけですが、日本語（や英語）だけを使うとしてもやれることはいろいろあります。とにもかくにも、挑戦してみましょう。フリーツアーの参加者が一日の終わりに宿で日々の体験を語り合うように、それぞれの一次資料の世界を散策する仲間が考察を披露しあいながらそれを深めていく、そういうゼミを皆で実現したいと考えています。 なお、担当教員は歴史が専門、TA は文学が専門ですが、受講生は、中東、あるいはイスラーム圏全般に関わることであれば好きなテーマを選んでよいこととしたいと思います。細かなところでの専門的なアドバイスは厳しいかもしれませんが、小論文を書くためのアカデミック・スキルに関するサポートをしています。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型・文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 中東、イスラーム文化圏 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31599	金 4	中国古典詩（漢詩）を読み解く	田口 一郎	国文・漢文
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 陶淵明・李白・杜甫などの詩人・作品について、感想文や引用の羅列でない、学術的な（小）論文を書くことを目標とします。資料の検索方法や適切な引用方法、工具書的使用方法、論理的な読解方法など、古典文学研究に必要なスキルを学んでいきます。中国語を履修（予定）していなくてもかまいません。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 漢詩 漢文 古典 翻訳 漢文学 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31600	金 4	メディア規制と表現の自由：社会的構築主義 の視点から	橋本 摂子	社会・社会思想史
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、メディア規制はなぜ必要か、表現の自由とは何かという問いをめぐり、80-90年代にかけた北米のポルノグラフィ論争を題材に、表象と差別、自由と平等の問題構制を検討する。最初の3回は講義形式でおこない、メディア表象に対する社会学的アプローチを概説する。その後、第2波フェミニズムによる反ポルノグラフィ運動、および法哲学から提起された運動への反論をめぐるいくつかの文献を講読し、今日に続くメディア規制と表現のあり方について参加者で討論する。 【学術分野】社会・社会思想史 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード ポルノグラフィ論争、ジェンダー、セクシュアリティ、メディア表象、グループ討議 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31601	金 4	国際協力・国際制度の理論	吉本 郁	国際関係
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国際社会には、貿易・金融・環境・公衆衛生など、国境を越えた協力を必要とする様々な分野において、多くはフォーマルな国際機構の形態を伴う「国際制度」が存在する。国際関係論（国際政治学）では、このような国際制度への過度な期待や失望からは一旦距離をとって、国際的な協力を難しくする根本的な問題は何か、現実に存在する制度はそれらの問題に対しどのような解決法を提示しているか（あるいはなぜ失敗しているのか）を理論的に考察する。 本ゼミナールでは、初めに実際の研究者によって書かれたアカデミックな論文を読み、国際関係論のディシプリンに則った問いの立て方・理論構築と実証の在り方を理解し、その上で自分自身の研究を行い、論文を書いてもらう。 本ゼミナールの目的は、各自の関心に沿った学術文献を探し、読んで理解するとともに、自分なりの問いを立て、それに答えるためのリサーチ能力も養うことである。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 国際関係論、国際政治、国際政治経済、国際機構、国際協力、国際制度 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

初年次ゼミナール理科の履修について

初年次ゼミナール理科はクラス指定の必修科目である。クラスごとに指定されたグループ（各 2 曜限）に開講されている授業のうち、1 授業を希望選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。入学手続き時に配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。

第 1 回授業時には合同のガイダンスを行う。リアルタイム・オンラインで実施し、授業 URL は ITC-LMS の「集中コース等」>「初年次ゼミナール理科（総合）」に掲載する。各授業の開講される曜限で授業担当教員が授業紹介を行う。指定されたグループに割り当てられた 2 曜限のうち、履修を検討している授業の曜限のガイダンスに出席すること。

第 2 回授業時には、サイエンティフィック・スキルに関する導入の共通講義をオンデマンドで学習する。、ITC-LMS の「集中コース等」>「初年次ゼミナール理科（総合）」>「教材」を参照すること。

第 3 回目からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。オンラインで実施するものと対面で実施するものがあるので、UTAS にて決定された履修授業と開講形態、教室を確認すること。各回の開講情報は、UTAS および ITC-LMS の「オンライン授業方法」に掲載される。

この授業の教科書として『科学の技法—東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト—』がある。必要に応じて購入し、プレゼンテーション準備やレポート・論文執筆の際に参照すること。

また、初年次ゼミナール理科のウェブサイト FYS portal (<http://fye.c.u-tokyo.ac.jp/>) にてオンライン教材や教務情報、機材使用法等の情報を提供するので活用してほしい。また、ITC-LMS の初年次ゼミナール理科共通エリアで教材やお知らせを掲載することもある。

この授業に関する授業外サポートとして、オンライン（Zoom）でラーニングコモンズを開室し、TA による学習相談を行う。開室時間等は、ITC-LMS の「初年次ゼミナール理科」の総合コース上で告知する。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1 年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)
グループ 2	火 1・木 2	1 年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)
グループ 3	火 3・木 3	1 年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)
グループ 4	火 4・金 1	1 年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)
グループ 5	水 2・金 3	1 年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)
グループ 6	水 3・金 4	1 年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

第 1 回・第 2 回合同授業：ITC-LMS で告知します

グループ1 1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)

グループ1 1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31443	月 4	自然災害の予測：台風・高潮について考える	下園 武範	工学部
授業の目標・概要		【概要】 近年、強大な台風の来襲が相次ぎ、日本各地に大きな被害をもたらしている。今後も気候変動に伴う台風災害の増大が懸念されており、被害を軽減するためには複雑な自然現象を理解・予測することが重要となる。この授業では、台風および高潮を対象として、講義、文献調査、ディスカッションを通じて、台風・高潮の基本的なメカニズム、現象予測・防災の現状について学んでもらう。また、簡易的な予測モデルによる台風および高潮シミュレーションを通じて、自然現象の複雑さや予測・防災対策の難しい側面について理解を深めてもらう。 【授業形態】 オンライン講義＋対面（学期中3回程度の対面授業実施を予定） 【目標】 ・台風、高潮の基本的なメカニズムを理解する。 ・自然現象の予測・防災に関する基本知識を習得する。 ・グループワークを通じて協働して課題に取り組む能力を身につける。 ・分析結果を整理、正しく解釈して他者に分かりやすく伝える。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		現象シミュレーション、問題発見・解決型、土木工学・地球物理学／海岸工学・気象学、台風、高潮、予測、防災		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31444	月 4	翼・空気の流れ・数値シミュレーション	今村 太郎	工学部
授業の目標・概要		【重要】2021年度の注意事項 本講義は例年、情報教育棟（@駒場キャンパス）を使用した対面式の演習を中心とした講義でした。Teaching Assistant の学生と計算機の画面を見ながら、個別に躰いたところのサポートを行っていましたが、本年度は6回対面、5回オンラインでの講義を予定しています。 【受講の条件】 ①Windows 10もしくはMacのノートPCを利用できること（必須） ②Windows 10もしくはMacのPCの基本操作を知っていること キーボード入力でき、マウス操作の基本を知っている ファイルの保存、コピー＆ペースト、の意味を知っており、実行できる Word, Excelなどのソフトウェアを触った経験がある （できれば）WebからダウンロードしたプログラムをPCにインストールした経験がある（例えば、東大が提供するOffice 365を自分のPCにインストール等） ③プログラミング経験は不要です。 本講義の目標は以下の3点です。 ①航空機の翼型周りの流体解析を通じて、流体力学について学ぶと共に、航空機の空力設計を体験してもらいます。 ②最先端の数値流体力学コード（拙研究室にて現在進行形で開発中！）を利用方法を学びます。計算機／ソフトウェアの利用方法やデータ可視化／データ分析方法についても学びます。 ③2つの課題に対して、個人／グループでのアプローチを行ってもらいます。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		授業のタイプ（「問題発見・解決型」、総合工学、流体力学、航空機設計		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31445	月 4	リハビリテーションを考える	四津 有人	工学部
授業の目標・概要	障がいを持った当事者やその支援者に、どのようなニーズがあり、どのような支援ができるかを考える、アクティブラーニングを行う予定である。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
成績評価方法	「問題発見・解決型」、医歯薬・人間支援			
授業のキーワード	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
教科書	書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31446	月 4	化学システム工学を理解して、地球温暖化に挑む	脇原 徹	工学部
授業の目標・概要	「持続可能な社会」を実現するためには地球温暖化問題を克服しなければならない。 既に地球温暖化による影響は各所に見られるようになってきたが、依然としてCO2をはじめとする地球温暖化ガスの排出量は増え続けているのが現状である。危機的状況にあるといっても過言ではない。この問題に取り組むためには、特にサイエンス&テクノロジーの役割は大きい。特に、“化学システム工学”がキーであり、本授業ではこれを学んでもらう。 化学システム工学とは、化学を基盤に、地球、社会、環境、安全など幅広い視野からシステムチックに対象をとらえる学問である。現実を踏まえた幅広い視野から対象をシステムチックに深く探求する。このアプローチこそが、現実の問題解決への具体的なビジョンを示す可能性をもっている。 この授業を通じて、地球温暖化は食い止めることが可能である、ということを理解してもらいたい。 1年生の少人数クラスでの議論を通して、正解が明らかでない問題について考える力を養うことを目的とする。意欲のある学生を歓迎したい。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	地球温暖化、問題発見・解決型、エネルギー・環境、持続可能な社会、化学システム工学			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31447	月 4	生物多様性と生態系の持続可能性	宮下 直	農学部
授業の目標・概要	地球上には記録されているだけで200万種近い生物がいます。私たち人類はただ1種の生物に過ぎないことを考えれば、驚くべきことです。ところが、ここ50年位の間で生物の多様性は著しく減じています。このままのペースで進むと将来は大量絶滅の時代を迎えることになります。そうならないために、私たちは、生物多様性が維持されている仕組みを解き明かし、生物がもたらす恩恵を様々な観点から理解する必要があります。こうした理解が進めば、生態系や生物多様性を保全し、持続的に利用しようというモチベーションが高まるはずです。このゼミでは、生物多様性のしくみや機能を理解し、持続可能な社会を創るためのアイデアを皆さんと考えていきます。 全体構成は2つのユニットからなります。ユニット1では生物多様性の一般書を題材に、各グループで課題を設定し、文献調査などを通して本の内容を発展させたプレゼンテーションを行います。ユニット2では、教員との対話的なレクチャーを通して、生態系の仕組みや人類に対する恩恵を考察してもらいます。 さらにユニット1と2の間の回では、白金台にある自然教育園に出向いて自然観察を行い、生態系や生物多様性の実態を体感してもらいます。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 とくに出席と積極性を重視します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物、生態系、地球環境、論文読解、グループワーク			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 生物多様性のしくみを解く			
	著者（訳者） 宮下 直			
	出版社 工作舎			
	ISBN ISBN-10 : 4875024568			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31448	月 4	日常生活から食料問題を考えるー食生活に着目してー	松本 武祝、阪井 裕太郎	農学部
授業の目標・概要		都市で生活する学生にとって農業生産は身近な存在ではない。日常的にはもっぱら食料(食品) 消費者として間接的に農業にかかわっている。今日の日本の食料消費に関しては、肥満・食品ロスなど過剰にかかわる問題と、拒食や「こども食堂」など不足にかかわる問題とが併存している。世界的には飢餓・飽食という構造的問題を抱えている。コロナ禍の下で、都市生活者の食の形態も大きく変化している。 この授業の前半では、自分たちの日常生活における食料消費に視点を当てることを通じて、ローカルな視点とグローバルな視点から食料問題・資源環境問題に接近してゆく。続く授業の後半では、前半の授業で得た知識や考え方を基に、離散選択実験によるデータの生成と離散選択モデルの推定を体験する。離散選択モデルとは、消費者が複数の選択肢（例えば食品）から何を選ぶのかを数理モデルで表したものである。このモデルを作って実際のデータに合うように調節してやると、仮想的なシナリオ（例えば新商品を店頭に着く）の下で消費者がどのような選択をするかを予測することが可能となる。実際のデータが入手できない・存在しない場合には、データを実験的に作り出すことも可能である。この手法を離散選択実験という。これらを実際にやってみることで、先端的な研究のフレイバーを感じることを目標としたい。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のタイプ：問題発見・解決型、学術分野：農学、食料消費、飢餓と飽食、食品ロス、離散選択実験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31449	月 4	周期表の化学と物理	山内 薫	理学部
授業の目標・概要		私たちの身の回りの物はすべて元素から構成されている。現在知られている 118 種類の元素は、元素の周期表という形でまとめられている。これらの元素を発見する過程で、我々人類が自然観を深めてきたことは周知の事実である。これまで、元素を発見するための先人の努力を通じて、そして、その発見に基づいて展開した基礎研究を通じて、自然科学のフロンティアが大きく広がってきた。 この初年次ゼミでは、一つ一つの元素がどのようにして発見されたのか、その発見にいたる道程はどのようなものであったのか、どのような測定を行ったことによってその存在が確認されたのか、その計測結果を理解するために原子や原子核についてどのような理解が必要であったのか、など、さまざまな観点からの議論を通じ、受講生が元素についての理解を深めることを目指す。 これまでに出版されている学術文献を調査し、その文献を理解するために必要となる化学、物理学を学び、学んだ成果を発表し合い議論することを通じて、受講生の一人一人が、自然科学研究が如何に進められてきたかを体感し、目の前に研究の最前線が広がっていることを理解することを目指す。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のタイプ：問題発見・解決型、学術分野：化学および物理、元素の周期表、原子、原子核、探求心 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31733	月 4	スピンの量子科学	三輪 真嗣	物性研究所
授業の目標・概要		本講義では物性研究所所属の教員と一緒にナノサイエンス、特にスピントロニクスと呼ばれる研究舞台を題材にして「自分で調べること」「自分で考えること」「他人に説明（プレゼンテーション）すること」「他人と議論すること」を覚え、研究引いては社会で生きていくために必要な力を培うことを目標とします。 電子には電荷とスピン（磁石としての性質）の2自由度があります。スピンの性質がナノの世界で顕著に現れることに着目し、高度なレベルでエレクトロニクスを実現する研究分野をスピントロニクスと呼びます。しかし、スピントロニクスは本講義では題材にすぎず、スピントロニクスに詳しくなることは本講義の目的ではありません。従って、物理学を深く学ぼうとしている学生のみならず、化学・生物学を主に学ぶ学生の参加も歓迎します。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 物理、ナノサイエンス、スピントロニクス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31450	水 4	健康増進&スポーツパフォーマンス向上のための食事学	寺田 新	スポーツ・身体運動
授業の目標・概要	健康を維持・増進させたり、スポーツ選手のパフォーマンスを向上させたりするうえで、食事は重要な要素の一つとなっている。書店では、そのような目的を達成するための食事法に関する書籍が数多く販売されており、ネット上にも様々な情報が氾濫している。これらの情報のうち、どれを信じてよいのかわからなくなったことはないだろうか。このゼミでは、世の中に溢れている食事に関する情報を総合的に判断する能力および自分に当てはまる情報を取捨選択する能力を身につけることを目指す。まず、簡単な実習を行いながら、自分たちが研究者となって食事法に関する新たな科学的理論を構築したり、新たな健康食品・スポーツ食品を開発したりする場合に、どのような実験を行ったらよいのか？ということについて考えてみる。次に、世の中に広まっている食事に関する理論がどのようにして構築されてきたのか？それらはどのような科学的根拠に基づいているのか？ということについての検証を通じて「食のリテラシー」を身につけることを目指す。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解型/データ解析型、栄養学・スポーツ栄養学、健康科学、スポーツ科学 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31451	水 4	「学び方の科学：認知科学×人工知能×自己データ管理」	開 一夫	情報・図形
授業の目標・概要	テクノロジーの進化は人間を凌駕し「ぐうたら」な人々を生成してしまうのか？コンピュータやロボットが「人間」を教えることが可能なのか？可能性があるとすればどうデザインしたらよいのか？ 「教えること」はヒトに普遍的に見られる能力である。長い間「教えること」は人間だけが持つ特別な能力であるとされてきた。社会においては学校教育が「教えること」の全てのように捉えられがちであるが、学校が未整備であったり存在しなかったりする地域も多い。しかし、地域・人種を問わず普遍的に、親や周囲の人々が小さな子どもに物の名前や使い方を教える行為が見られる。「教えること」は学校教育の場面に限定されるものではない。 「教えられること（教わること）」も、「教えること」と同様に、人間に普遍的な能力である。発達認知科学では、発達初期から他者（主に周囲の成人）の「指さし」や「マザリーズ」、「(対象に向けられた)視線・表情」、「相互随伴的動作」などの直示的キュー(ostensive cues)に対して敏感であり、特異的な処理を行っていることが明らかになっている。 これらの事実は、「教えること」と「教えられること」が、人間社会における新たな知識の伝搬や文化の継承において必要不可欠な能力であることを示している。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のタイプ「問題発見・解決型」、情報科学・認知科学（人間の科学）、脳科学、人工知能、認知科学（人間の心の科学）、自己認知 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31452	水 4	海を知ろう	白井 厚太郎	大気海洋研究所
授業の目標・概要	本授業は、大気海洋研究所所属の教員2名のリードのもと、「海」について様々な側面から掘り下げて考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します。海に関する予備知識は必要ありません。むしろ、海について学んだことのない方の履修を歓迎します。 本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。この中でも、特に「議論」に重点を置きます。教員の発表を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	大気海洋研究所の坂本健太郎が副担当教員となります。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 議論・調査・発表、海洋、物理、地学、化学、生物 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31453	水 4	未来のエネルギーを考える	鈴木 雄二、山崎 由大	工学部
授業の目標・概要	エネルギー問題の解決には、技術的な側面だけではなく、環境への配慮、経済性、地域特性といった多面からの検討が必要です。本ゼミナールでは、現実の社会問題にはこういった複雑な背景があることを理解しながら、エネルギー問題の解決策や未来予測を行うことを通じて、問題解決能力の向上を図ることを目的とします。 まず、日本と世界のエネルギー事情を概観した後、(1)ガスタービン、エンジンなどのエネルギー変換の基盤技術、(2)カーボンニュートラルの考え方や日本のCO2 排出量削減に必要な水素燃料、(3) 自動車をめぐるエネルギー技術、の3つのテーマについて学習し、関連の学内研究施設の見学を行います。これら基本的な仕組みや原理に関する学習の後、グループに別れ、研究段階の技術から実用化された技術までの調査を行い、調査結果のプレゼンテーションを行います。現状のエネルギーに関する状況を把握した上で今後の課題を抽出し、将来展望を参加者全員で議論します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、機械工学、エネルギー変換/エネルギーシステム、地球温暖化、電気自動車/ハイブリッド自動車、カーボンニュートラル			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31454	水 4	エネルギーと環境：人類社会の持続性のため の工学技術を考える	小林 肇	工学部
授業の目標・概要	地球温暖化の進行を緩和しつつ、社会の発展を維持するために十分なエネルギーの供給を続ける事は、一つの領域の技術や対策だけでは成し遂げることは出来ません。新たな技術オプションを創出して行くと共に、多様な技術群を結びつけ総体として最適に機能させるシステム思考的アプローチが必要となります。本ゼミでは、エネルギーと環境に関わる現行から最先端の多様な技術の基礎学理を学習するとともに、それらの課題やその解決策に関して議論します。さらに、学習した知見と最新の技術動向を基に未来の新技术システムを自分たちでデザインし、持続可能性へ寄与する新たな方法論を提案・議論します。 具体的には、現状の地球環境の持続可能性や循環型社会に関する総論、化石エネルギー、再生可能エネルギー、CO2 排出量削減技術、蓄電、バイオエネルギーなどを取り上げます。単に技術の原理を理解するだけではなく、当該技術の現状を学んだり、課題を考察したりします。 また、エネルギー・環境に関わる最新の動向を調査・学習し、課題を正しく把握する事を通した上で、それらを解決する為の未来の技術システムをデザインします。システムとは、一つの技術をより良く機能させる方法論、または複数の技術を組み合わせたもの、あるいはある技術を中心としたビジネスモデルも含まれます。このデザインを小グループで独自に考案する事で、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につけます。 （授業の目的） ・エネルギー・環境に関わる多様な技術を深く掘り下げて研究する事により、工学的な方法論や考え方を学ぶ。 ・エネルギー・環境に関わる最新の動向、課題を正しく把握する事を通し、これからの学習・研究の基盤知識とすると共に、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につける。 ・小グループで独自に調査、立案、検証、議論し、創造する楽しさを体験する。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決・データ解析型、工学、エネルギー、環境、持続可能性、循環型社会			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31455	水 4	システムダイナミクス入門	古田 一雄	工学部
授業の目標・概要	システムダイナミクスは、多数の変数とその相互作用の数理的因果関係をグラフィカルな表現を用いてモデル化し、コンピュータシミュレーションによってシステムの動的挙動を解明する手法である。この手法は1970年代に人類の未来を予測したローマクラブレポート「成長の限界」で有名になり、以来、生態系や経済社会系などの複雑システムの解析手法として用いられている。本ゼミでは、主に力学系、生態系、経済社会現象などを題材に、システムダイナミクスによるシステムモデリングの基礎を修得するとともに、加えて各自が興味を持つ対象のモデリングを通じて応用力とシステム思考力を養う。			
成績評価方法	出席、発表、発表会での質疑への参加、レポートに基づいて行う			
授業のキーワード	システムダイナミクス、システムモデリング、一般システム理論、シミュレーション、未来予測			
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31456	水 4	私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を 科学する	渡邊 壮一	農学部
授業の目標・概要	生体内で起こるほとんどすべての生命現象はタンパク質を必要としています。タンパク質はアミノ酸が連結した高分子ですが、その配列によって機能が異なります。例えば、物質輸送にかかわるタンパク質、貯蔵にかかわるタンパク質、運動に必要なタンパク質、生体構造を維持するタンパク質、生体防御にかかわるタンパク質、情報を伝えるタンパク質など多様なものが存在します。我々は、これらのタンパク質を取り出し、食べることによって栄養素として、あるいはいろいろな産業応用をして、実生活に役立てています。そこで本講義では、私たちの身近にある興味あるタンパク質を選び、性質やその利用法を考えると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、他の人達に、そのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ることを目標とします。 【授業の目標】 ・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担などコミュニケーションスキルを身につけます。 ・自分たちの知りたい科学情報を検索する手法を習得します。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 (この講義での個別評価基準) 自分で考え、自分で課題を見つけ出す。			
成績評価方法				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物／タンパク質、グループワーク			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31457	水 4	ロボットオペレーティングシステム	加藤 真平	理学部
授業の目標・概要	自律移動ロボットや自動運転システムの開発に欠かせなくなっているロボットオペレーティングシステム(ROS)を用いたプログラミング演習を行います。講義の中で提供されるセンサーのデータを利用して、仮想空間上でロボットや自動運転車を動かしてみることで、自律移動ロボットや自動運転システムに必要なとされる要素技術を学びます。			
成績評価方法	作成したプログラムの提出とレポート評価。			
授業のキーワード	自律移動ロボット、自動運転システム			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31458	水 4	患者さんのためになる研究を考えてみよう！	佐藤 雅昭	医学部
授業の目標・概要	臨床の現場で経験する切実な問題に立脚した研究(bedside to bench)と、その実臨床へのフィードバック(bench to bedside)の実例を紹介しつつ、受講者は実際に、そのような仮想研究を考案し、それを具体化していくプロセスを疑似体験することを授業の柱とする。目標は、このプロセスの中で、研究の立案に必要なテーマ選定の方法、文献検索、研究資金獲得、プレゼンテーション技術、コミュニケーション技術、また国際的な研究に必要な英語力養成など、今後研究者として必要になる技術の基礎を学習することを目標とする。授業は毎回、オンライン形式とするが、ミニレクチャーと、zoom を用いたグループディスカッション、全体での発表/意見交換を行い、受講者が能動的主体的に課題に取り組むことを前提とする。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、学術分野(大分類/小分類)を記載、医学研究、研究テーマ、プレゼンテーション、研究計画			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ2 1年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)

グループ2 1年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31459	火 1	数式の可視化・直感的理解・訴求力	齋藤 晴雄	物理
授業の目標・概要		目標1 数式を含む定理、法則について可視化を用いた説明の能力を身に着けること 目標2 定理、法則の意味を他者に分かるように伝える能力を身に着けること 目標3 授業で取り扱わなかった定理、法則については、自分の理解のレベルが自分で判断できるようになること。 高度情報化社会の中で、我々に求められる「知」の形が変化しつつあるということがしばしば語られています。一方、理系学問の骨組みであり、主要言語でもあるところの「数式」については、社会の中での受け取られ方にまったく変化が見られません。 高度情報化以前も以後も、一般社会の中での「数式」は、まったく意味不明なものであり、敬遠すべきものの代表格とされています。一方、その意味を理解するものにとっては、「数式」には深い意味があり、物理では世界観の一部をなしています。しかし「数式」の意味を理解していると自負している「専門家」はともすれば、本来の意味を超えて使ってしまうがちで、それが再び一般社会での敬遠傾向を強め不信を招いているようです。 このように、「数式」をとりまく状況は、社会の高度情報化の影響を今のところまったく受けていないように見えます。したがって、もし1年生の皆さんが、数式の意味を正確に他人に伝達する能力を身に着けたとすれば、それは今後の皆さんの人生にとって、大きな武器となる可能性があります。言い換えれば、AIでは代替できない仕事ができるようになる、ということです。 この授業では、数学の定理や物理法則をテーマとして選び、それを他人に分かるように説明する方法を皆さんに考えてもらいます。その際「可視化」が重要な方法となりますので、多少のプログラミングが必要になります。もちろん「可視化」以外の視点も必要になるでしょう。		
成績評価方法		オンラインの回はzoomで出席をとります。遅刻、欠席は厳禁です。 複数回の「達成度アンケート」を行います。これはテストではありませんので、回答内容が成績に影響することはありません。 授業の性格上、学力的な達成度でなく、努力の度合いを評価します。		
授業のキーワード 教科書 ガイダンス		原理解明・伝達型、「数学」「物理学」、定理、物理法則、可視化、プログラミング 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31460	火 1	ヒッグス粒子のみつけかた	石野 雅也	素粒子センター
授業の目標・概要		古代ギリシャの哲学者たちが「万物の根源・原初的要素は何者か？」と問い、「土・水・空気・火」と答えた数千年前から、素粒子物理学は人類共通の興味の対象であり続けている。その深遠な問いに対する答えを見つけるために、研究者たちは実験的に検証をするための道具（加速器、検出器、計算機）の性能を向上させ続け、実験的データとして記録・解析し、新しい人類共通の知として成果をまとめ、再解釈してきた。 この繰り返しのにより、特に過去40年間、素粒子物理学の研究は急速な進歩を遂げ、素粒子の相互作用についての理解、初期宇宙に関する知見（科学的な推論を含む）を得てきた。「ヒッグス粒子の発見」は、2012年夏に成し遂げられた歴史的なイベントで、翌年、ノーベル賞が授与された。これをきっかけに、素粒子物理学は次の大きな問いに挑戦するスタートラインに立ったところである。 これまでの素粒子物理学が理解してきた世界、そこで使われる道具の原理、今後どのような問いがあってどのようなアプローチをかけていくのか？授業中のやりとりを通じて、これらの事を理解し、また、それらのことが意外と少数の基本原則から理解できることを実感できる様にしたいと思う。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のタイプ（「対話型」）、学術分野（物理/素粒子物理）、(1) 科学的で論理的な問い 推測 検証、(2) 素粒子物理・初期宇宙の疑問、(3) 素粒子物理実験の原理 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31461	火 1	体験で学ぶ電磁気学	関野 正樹	工学部
授業の目標・概要	【授業の概要】 磁気浮上は、将来の高速鉄道への応用に関して注目を集めています。磁気による安定な浮上を実現する代表的な方法として、電磁力と制御技術の使用、超電導、反磁性効果などが知られています。電磁場を直接的に利用した現象である磁気浮上を通じて、目に見えない電磁場を体験的に理解することができます。本ゼミナールでは、科学おもちゃや、カエルを磁気浮上させた実験、超電導体など、様々な磁気浮上現象を題材として、磁気浮上の原理や、安定な浮上を実現する条件を考察します。磁場分布の測定も行い、電磁場を可視化することによって、理解を深めます。各回の講義のはじめに、電磁気学の初歩的な講義も行います。小グループに分かれて、グループ毎に題材を選んで理論的検討や実験を行い、その結果を発表します。電磁気学は、理科系の広い分野と関係しており、本ゼミナールで身につけた電磁気学の理解や、現象をモデル化する技法は、様々な場面で役に立つことが期待されます。本授業は「体験」を目的とすることから基本的に対面で実施しますが、オンライン受講を希望する受講者にも対応できるように課題を設定することを考えています。 【授業の目標】 ・自らの力で課題を定義し、それを解決するプロセスを体験する。 ・物理学の理論を、実際の問題の解決に活用するための応用力を養う。 ・現象の本質を抽出して単純なモデルで表現し、その振る舞いを考察する技法を身につける。 ・自分の考えをまとめて分かりやすくプレゼンテーションする能力を身につける。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学／電気電子工学、電磁気学、磁気浮上、小実験			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31462	火 1	ナノバイオ・ディープテック	坂田 利弥	工学部
授業の目標・概要	*Zoom でオンライン受講してください。受講用 URL は毎週変わります。 <授業の概要> これまで材料科学分野で未解決の課題や将来こんな材料があればといった課題設定に対して調査し議論することで教科書に載っていない問題や社会的意義についてまとめプレゼンテーションを行う。教員から設定された以下の3つのサブテーマに対し、その背景から問題の抽出や発展させるための研究方法などグループに分かれ調査・討議し、最終プレゼンテーションをグループごとに行う。 <サブテーマ> サブテーマ1「生物に学ぶ機能性高分子材料」 ・人類は古くから自然や生物にヒントを得て材料を開発してきました。近年の分子生物学やナノテクノロジーの進展は生物の分子レベル・ナノレベルでの理解を大きく深めたため、生物模倣技術も新展開を迎えています。本サブテーマでは生物に学ぶ機能性高分子材料の開発例を調査した後、どのような未来材料が考えられるかを議論します。 サブテーマ2「ナノメートルしかないモノをどうやって測る？」 ・電子デバイスはナノメートルのサイズで加工されて高集積化されて動作していますが、これを支えているのは、原子や分子のスケールで正確に構造を制御する材料科学です。この講義ではナノメートルの厚さで形成された材料を正しく評価する様々な測定手法について、その測定原理と装置の仕組みを学び、実際にナノメートルのサイズが正しく計測できることを体感してもらいたい。 サブテーマ3「ものづくりから考える健康診断」 ・糖尿病患者が合併症を引き起こさないためには日頃の血糖値を自己管理する必要があります。また、アレルギーの発症は乳幼児で最も高く、その検査には多くの血液を採取する必要があります。このような自身の健康状態を診断するために様々なテクノロジーを駆使したバイオセンサが使われ、金属、半導体、高分子といった特徴ある機能を持った材料が使われています。本サブテーマでは、ものづくりの視点に立って健康診断の現状と課題について議論したい。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ：問題発見・解決型、学術分野：ナノバイオ・材料工学、バイオマテリアル、ナノテクノロジー、バイオセンサ、ナノバイオ融合			
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31463	火 1	原子力エネルギーと社会/ Nuclear Energy and Society	斉藤 拓巳	工学部
授業の目標・概要		原子力エネルギーの原理を理解し、それらの社会受容性を討論する。特に、他のエネルギー源との比較、地球環境の影響、廃棄物処分の問題を調査、議論し、社会受容性を考える。そして、複雑な問題の中から課題を抽出し、その解決方法の発見を試みる。最後は討論内容をプレゼンテーションし、発表技術も向上させる。 なお、ゼミは全てオンラインで開催する予定である。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、工学/システム創成、原子力エネルギー、社会受容性、地球環境、廃棄物処分 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				
31464	火 1	動植物と微生物との関わりを科学する～見えない生物の大きな役割～	福田 良一	農学部
授業の目標・概要		微生物は目には見えないためその存在が意識されないが、実は自然界の様々な場所に存在しており、動植物と密接につながっている。人類は微生物を発見する前からその能力を利用してきた。発酵食品の製造はその代表的な例であるが、現代ではそれにとどまらず、微生物は医薬品や化成品の製造や排水浄化など様々な場面で利用されている。また、微生物は優れたモデル生物でもあり、生命科学の発展に欠くことのできない存在でもある。さらに、真核細胞の細胞小器官であるミトコンドリアや葉緑体の由来は細菌であると考えられている。本ゼミナールでは、最初の数回の講義を通じて微生物とはどのような存在か、またヒトを含む動植物と微生物がどのように関わってきたかを概説し、基礎的な理解を深めてもらう。次いで、提供された話題の中から各自が興味を持ったテーマについて、グループワークによる資料調査・読解・プレゼンテーションを行ってもらう。また、関連する文献の読解を通じ、学術論文の構成・論理の展開の仕方、結論の導き方などを学んでもらう。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解・演習型、生命科学、微生物、発酵・醸造、抗生物質・医薬・病原菌、基礎研究・モデル生物 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス				
31465	火 1	人類生態学のトピックス	梅崎 昌裕	医学部
授業の目標・概要		生態学とは、生物が環境とどのようにかわりあいながら生存しているかを明らかにする学問である。たとえば、新しい生物が発見された場合、生態学者の関心は、その生物が何を食べているか、食べ物をどのように獲得しているか、どのように子どもを育てるかという3点に向かうだろう。このような生存の基本的な三要素のバタンは環境要因に影響を受けるし、また環境もその生物の存在より大きな影響を受ける。私たちホモサピエンスは、他の生物よりも環境を強く制御し、自らの行動を文化的に規定するという特徴をもつために、その生態学を考える際には、他の生物とは違う視点が必要とされる。 この講義は、人間の生存を生態学的に考える「人類生態学」のトピックスを材料に、現生の人類が直面するさまざまな科学的・社会的問題の考え方を理解することを目標とする。講義は、医学部健康総合科学科の人類生態学教室の4名の教員によって実施される。教授の梅崎昌裕が責任者をつとめ講義全体のマネージメントをおこなう。准教授の小西祥子、助教の小坂理子、高安玲奈は、それぞれ3回の講義を1ユニットとしてひとつずつのトピックスを提示する。 講義には、梅崎昌裕教授と、各ユニットの担当教員に加えて、2名の大学院生がTAとして参加する。すべての講義をZOOMで実施するため、参加している学生同士が知り合い、また学生と教員が顔見知りになるための工夫をする予定である。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、医学／生物学／生態学／人類学、少子化、肥満、腸内細菌、人類学 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31466	火 1	薬学を支える有機化学の貢献と役割	平野 圭一	薬学部
授業の目標・概要	大学での研究、世界へ向けた成果の発信の流れを学ぶとともに、天然物合成、触媒化学、生物有機化学など、薬学における有機化学の主な内容に関する講義をアクティブラーニング形式で行う。これを通じて、最先端の研究に触れるとともに、文献調査力、理解力、討論力、発信力を強化し、研究者への第一歩を踏み出すことを目標とする。			
成績評価方法	出席			
授業のキーワード	問題発見型、薬学、有機化学、天然物、触媒、アクティブラーニング			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31467	木 2	ホルモンからヒトの行動を考える	坪井 貴司	生物
授業の目標・概要	(授業の概要) わたしたちの複雑な生命活動は、多種多様なホルモンが、環境変化に応じて、適切に血液中へ分泌されることによって調節されています。この多種多様なホルモンは、ごく微量で驚くべき作用をします。例えば、「恋」や「食欲」、そして「睡眠」もこのホルモンによって調節されます。 本ゼミナールでは、ホルモンの生理作用やその生理作用を利用した先端医療への応用の可能性、そして生命倫理に関する課題について、各グループ内で討議を行い、その中で、仮説を設定し、そして結論を導き出し、その内容をゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。			
成績評価方法	(授業の目標)			
授業のキーワード	・研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考えるという活動を行います。 ・仮説をたて、結論に至るまでに必要な科学的プロセスを考え、行動します。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につけます。			
教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
ガイダンス	問題発見・解決型、生物／生理学・神経科学、ホルモン、神経、内分泌、グループワーク 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 知識ゼロからの東大講義 そうだったのか！ヒトの生物学 著者（訳者） 坪井貴司 出版社 丸善出版 ISBN 9784621304518 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31468	木 2	バイオミメティック・エンジニアリング	砂田 祐輔	生産技術研究所
授業の目標・概要	生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの新たな企画提案を行う。 そのために、 (1) 生物の優れた機能を解明した研究、またはバイオミメティック・バイオインスパイアドというキーワードに基づいて行われたモノづくり研究の過去の例を学ぶ（文献検索と読解、発表を通じた情報共有）。 (2) 小グループに分かれて、(1) で得られた情報などを参考に議論し、柔軟な発想で、生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの企画を考える（課題解決のためのグループワーク）。 これらを通じて、 ・コミュニケーション能力を伸ばす。 ・プロジェクトを推進する時に、何が分かっている、何が分かっているのか、何が問題で、どうやったら解決できるのか、自分の頭で考える能力を身につける。 ・試行錯誤やプロジェクト推進の難しさと、計画性の重要性などを学ぶ。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで、新たなアイデアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎を身につける。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	プロジェクト提案／企画提案、バイオインスパイアド、バイオミメティック			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31469	木 2	時間のなかの建築と都市	加藤 耕一	工学部
授業の目標・概要		【オンラインにて開講します】 自宅で受講するオンライン授業に比べたとき、大学で受講する対面授業は何が違うのか？ Cyber-Physical の融合とか、Digital Transformation (DX) とか言ったときに、物理空間 (Physical Space) には、どのような特別な性質があるのか、みなさん自身がいままさに経験していることや観察したことにもとづいて議論します。 同じ内容の授業を受けたとしても、自宅でオンライン授業を受けるのと、大学の講義室で授業を受けるのでは何かが違う。その違いには、当然ながら、コミュニケーションの問題があります。しかしこのゼミでは、大学の講義室の空間に、何か特別な性質があるのではないかということ、建築学の観点から考えたいと思います。 授業の冒頭では「時間のなかの建築と都市」というミニレクチャーを行います。ここでは、建築や都市に積層した時間性こそが、モノとしての建築や都市そのものを豊かにしているのではないか、という仮説について論じます。それを受けて学生の皆さんには、主に東京大学の駒場キャンパスなどをフィールドとした調査・観察を行ってもらい、オンライン・グループワークのなかで、皆さん自身の観察・発見をもとに、その言語化・概念化および、写真を用いたプレゼンテーションの作成に試みてもらいます。 ※そのため、他の対面授業で駒場キャンパスに来た際に、空き時間でキャンパス内を観察したり写真撮影してもらったりという宿題を課すことになりますのでご承知ください。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 フィールドワーク型、工学／建築、建築史、建築デザイン、東京大学キャンパスの建物 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31470	木 2	生物の機能を物理工学的にとらえ、農林業への展開を考察する。	芋生 憲司	農学部
授業の目標・概要		日本では農林業の従事者が急激に減少しており、作業の省力化が求められている。本ゼミナールはそれぞれ農業と林業の機械化について研究している2名の教員が担当し、学習とディスカッションを行う。 前半のユニット1では、機械を研究する方法の一つとして、まず生物の機能を考察する。農学分野では植物や動物を生物学的にとらえることが多いが、ここでは物理工学的視点で生物の特徴と機能をとらえる。これは新たな機械やロボットを考案する上で一助となる可能性を持つ。講義形式で生物の持つ興味深い機能の事例を紹介し、グループワークで掘り下げる。続いて生物の機能を参考にした機械を考案し、発表する。 後半のユニット2では具体的な機械を考察する。日本の林業は急峻で足下の安定しない山地で木材という重量物を伐り倒し、運び出すという点で他国に例を見ない特殊性があり、機械化を難しくしているとされてきた。ユニット2では、林業の機械化の可能性を、ユニット1で得た知見も援用しながら小型機械と大型機械の両者についてグループワークで掘り下げ、新しい林業機械化のあるべき姿を発表する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、創造型、農学、生物機械工学、バイオメティックス、森林科学、林業機械 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31471	木 2	陸と海のつながりから沿岸・海洋環境問題を考える	山本 光夫	農学部
授業の目標・概要		富栄養化や貧栄養化、また海洋プラスチックごみなどの沿岸・海洋における環境問題は、陸域における人為的な活動が主な要因であり、陸と海のつながりを踏まえた対策が必要といえる。 本ゼミナールでは、上記を中心とした沿岸・海洋環境問題の概要や現状を学ぶとともに、それらと農業や水産業などとの関わりについて文献調査や学生同士の議論に基づいて理解を深める。そして複数のグループに分かれ、それぞれが興味のある沿岸・海洋問題を選択し、現状の対策を調査した上で、新しい視点からの解決策について議論し、最終的に発表を行う。 本ゼミナールは、環境科学、水産、農業をはじめとした様々な分野の知識を吸収しながら、環境問題解決への学際的なアプローチの必要性について学ぶことを目的とする。 ※原則オンライン実施		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		出席及び授業中の発表とレポート 授業のタイプ(問題発見・解決型)、学術分野(異分野融合／環境科学)を記載、陸と海のつながり、生態系保全、富栄養化・貧栄養化、海洋プラスチック、農業と水産業 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31472	木 2	解析学の基礎	阿部 紀行	理学部
授業の目標・概要		高校における微分や積分の単位では、まず極限の概念を学びます。その際の極限の定義は、「限りなく近づく時」といったやや曖昧なものです。ニュートンやライブニッツが微積分学を創始した際も極限の扱いはそのようなものでしたが、その曖昧さ故に間違った結論を導いてしまうこともありました。19世紀に入るとこれらを克服するためにより厳密に極限や実数の概念を定義する試みがなされ、長い議論の末に最終的に「ε-δ (イプシロン-デルタ) 論法」という形で極限の定義がなされました。19世紀中頃に生み出された ε-δ 論法は、その後の数学の発展において他の概念に上書きされるものもなく生き残ってきたタフな概念で、今なお微積分学（解析学）の基礎として大学で学びます。 この ε-δ 論法はすでに述べたとおり現代の解析学には必須な概念です。しかし、一方で特に学び立ての初学者に対しては悪名高い概念でもあります。その理由として、定義が込み入っていて一見してわかりにくいからであると思われます。本講義の目標は、グループワークを通してこの ε-δ 論法を深く学び、理解することです。また、ε-δ 論法だけでなく、「デデキントの切断」発展的な内容として「p 進数」を扱います。デデキントの切断は、ε-δ と同じく解析学を厳密に再構築する努力の上で生まれた概念であり、実数の厳密な定義を与えるものです。p 進数は整数論的な問題に端を発して考えられた、実数とは異なる別の「数」の概念です。 本講義では、まず全体を小さなグループに分け、上で述べた三つのテーマの一つを深く掘り下げていき、最終的に班で一つの短い「講義」を作ることを行います。このような体験を通じて、テーマへの理解を深めるほか、文献・資料の収集法、グループによる共同学習の手法などについても習得することも目標とします。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		原理解明・伝達型、数学／解析学、実数、デデキントの切断、イプシロン-デルタ論法、 p 進数		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook		
		書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
		著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編		
		出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31473	木 2	骨の科学	近藤 修、荻原 直道	理学部
授業の目標・概要		骨は、その動物が生きていたときの姿ばかりでなく、運動機能や食性、生活環境、知能、病気、社会構造など、様々な情報を与えてくれます。生物進化の直接的な証拠である化石の分析から、多くの情報を導き出すことができるのは、まさにそのためです。しかし、骨からどのようにそれら情報を読み解くことを可能としているのでしょうか？ 本ゼミナールでは、「骨からさぐる人類進化」にフォーカスして文献調査、グループワークを行うことを通して、ヒトの進化に関する理解を深めることを目標とします。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		問題発見・解決型、生物学/人類学、骨学、形態学、人類進化、化石		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook		
		書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
		著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編		
		出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31474	木 2	地球の鼓動を聴いてみよう	西田 究	地震研究所
授業の目標・概要		今から約 100 年前 Alfred Wegener は、世界地図の上で大西洋を挟んだアフリカ・南アメリカ大陸両海岸線の類似した形を見て、大陸移動のアイデアを思いつきました。このアイデアは、当初大陸を移動させる駆動力について明確な説明ができず、地球科学界では忘れ去られてしまいます。しかし 1950 年代以降、地球科学上の新しい証拠によって再評価され、プレートテクトニクス理論の確立へとつながりました。その間にも地形や地震・火山の分布の特徴や規則性から、地球のダイナミクスや歴史について様々な発見がされています。近年では、地震計や地殻変動の記録を調べることによって、地球の表面だけでなく内部についても色々な事が明らかとなってきました。 現在、私たちは Wegener の時代とは比較にならない膨大な地球情報を手にしています。地球については理解尽くされてしまったのでしょうか？そんなことはありません。地球に関する理解が進む一方、新たな問題が明らかとなってきました。例えば、海溝型地震・津波が超巨大になる要素は何か、地球磁場なぜ逆転するのか、生物大量絶滅はなぜ起きたのか、などの根源的な問題はまだ理解されていません。 我々が手にする情報の量は膨大なだけに、例えば地震計の記録一つとっても、まだ誰にも注目されていない現象も多く残されています。本ゼミナールでは、最新のデジタル地球データを駆使して、その特徴が語る地球の歴史や未来の姿を描き出します。新しい規則性の発見や、斬新な仮説がこのゼミナールから生まれることを期待します。 （目標） ○「どのようになっているか」を知るため、情報を収集・分析するスキルを身につける。 ○「なぜそのようになっているか」という問題意識を持ち、解決に向けて取り組む姿勢を身につける。 ○グループで問題設定、情報共有、議論を行い、考えをまとめるグループワークを経験する。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、地球惑星科学/地球惑星科学、デジタル地球データ、プレートテクトニクス、地震・火山、地球・惑星の進化		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

グループ3 1年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)

グループ3 1年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31475	火 3	生命現象のモデル化と検証	若本 祐一	物理
授業の目標・概要	(授業の概要と目的) 生命現象はどの階層で切り取っても複雑ですが、時に大胆な単純化を行ったモデルによって、現象の多くの性質を説明できてしまうことがあります。もちろん、このようなアプローチも万能ではありません。しかし、単純化したモデルで説明できることとできないことを峻別することは、モデルに導入された理解やアイディアの適用範囲を明確化するうえで重要です。またこのようなアプローチは生命現象に限らず、複雑な事象を相手にする際、大いに役立つと思われます。 この初年次ゼミでは、何らかの生命現象を取り上げ、その現象の性質や法則を記述するモデルを調べ、理解し、最終的にはモデルを自ら構成することを目指します。さらに、そのようなモデルを客観的に検証するための実験を立案し、希望に応じて、実際に実証実験を行うことも目指します。 これまで同じ題目のもとで2回初年次ゼミを行ってきましたが、受講した皆さんが取り上げた題材は、生命の起源、パターン形成、薬剤耐性、老化(テロメア)、ネットワークモチーフ、性の進化、ダンゴムシの行動、サンゴ生態系、神経伝達、意識など多岐にわたっています。今回は基本的に興味の近い人でグループを作り、その現象の本質を捉えるモデルを意識しながら、理解を深めることを目指します。 この授業の具体的な目標は以下のとおりです。 (授業の目標) ・様々な生命現象にみられる定量関係、定量法則について理解を深める。 ・実験や観察により明らかにされた生命現象の特徴をおさえ、その背景原理について自ら仮説やモデルを立て考えられるようになる。 ・自分の仮説を検証するための適切な検証実験を立案できるようになる。 ・自分のモデルをもとに、理論解析や数値シミュレーションを実行でき、新たな結果や予想を導くことができるようになる。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理/定量生物学、モデル化、実験、仮説検証、グループワーク			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科			
	著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編			
	出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31476	火 3	locomotion の科学	柳原 大	スポーツ・身体運動
授業の目標・概要	【授業の概要と目標】 私たちの生命活動及び行動において、様々な身体運動のなかでもとりわけ歩行や走行(locomotion)はその基盤となります。本ゼミナールでは、歩行や走行が脳を含めた生体のどのような仕組みにより発現し、調節されているのか、また、外部環境とどのように相互作用し、協調しているのかについて、実際の実験と観察を交えながら学習していきます。グループ内で討議を行い、「参考資料及び文献の収集」、「問いあるいは仮説の設定」、「研究方法の設定」、「論述の組み立て」などのアカデミックスキルを学びます。それらの内容はゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。 【学術分野】神経生理学、運動生理学、計算論的神経科学、バイオメカニクス、ロボティクス 尚、この授業では第5,6,9,10回は、駒場キャンパスの komcee west 及び9号館において少人数グループでの対面授業となります。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	身体運動、歩行、神経科学、脳、筋骨格、問題発見・解決型			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編			
	出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31477	火 3	都市と災害対策の未来	沼田 宗純	生産技術研究所
授業の目標・概要		過去、日本列島改造論など様々な日本の国土の発展方策が考えられてきた。現代において、新型コロナウイルスの影響と自然災害のリスクが高まる中で、我々の価値観も変化し、情報通信技術などの飛躍的な発展も踏まえたうえで、未来の日本の姿や都市のあり方を考えることが求められる。正解のない中で、現代が抱える社会課題の解決のアイデアを探り、人々が安全で安心して暮らし続けることが出来る社会をどのように実現できるのかを考えることが必要である。 そこで本講義では、未来に向けて現代の社会課題を整理し、解決に向けたアイデアや構想を考えたいと思う。その中で、新型コロナウイルスの影響について、どのように感染症のリスクを軽減できるのか、これまでの経済・感染症対策の政策や効果は、地域によりどのように異なるのかなど、感染者数のデータ、政府の対応の時系列分析、住民アンケートなど感染症に特化した内容も考えたい。この時、SDGs や仙台フレームワークなども考慮して、政策の国際比較なども有効である。 また、都市については、戦後復興と関東大震災からの復興など、我が国に大変革を求められた歴史的な活動が現代にどのように生かされているのかも考えたい。 受講者には、東京大学の災害対策トレーニングセンター（DMTC、Disaster Management Training Center）が提供している、災害対策の基礎コースも学び、災害対策の基礎知識を習得する。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題解決、調査研究、発表、リスク、都市、災害対策、感染症、新型コロナウイルス 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31478	火 3	先端科学技術の現場を「体験」する	石北 央	先端科学技術研究センター
授業の目標・概要		この授業では、皆さんが今いる駒場キャンパスと先端科学技術研究センター（先端研）が位置する駒場リサーチキャンパスを舞台に、世界と競い合う最高水準の先端科学技術を体験してもらいます。最先端研究が、キャンパスの殻の中に閉じこもる旧来型の研究ではなく、学術の進展や社会の変化に機動的に挑戦して人間と社会に向かっていることを、この授業で実感できるはず。先端研の根幹の研究領域（環境・エネルギー、情報、材料、生物医科学、バリアフリー、社会科学）の中から、今年の講義では、基礎的な概論とともに3つの話題を紹介。基礎から最新のトピックまでじっくりと体験できるはず。 1)「概論」 石北 央教授 (x2回 4/27、5/11) ：先端研の最先端研究の概略を紹介するとともに、光エネルギー、光合成、蛋白質、量子化学、理論計算の接点をテーマに先端科学技術の一端をちょっとだけ覗いてみます。 2) 先端研「人間支援工学」分野 (x3回 5/18、25、6/1) 高橋麻衣子講師 3) 先端研「マシンインテリジェンス」分野 (x3回 6/8、15、22) 椋田悠介講師 4) 先端研「知的財産法」分野 (x3回 6/29、7/6、13) 久保田隆特任助教		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、教育心理学、認知科学、ICT教育、画像認識、機械学習、特徴抽出、知的財産法、蛋白質、理論化学 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31479	火 3	知能ロボット入門	新山 龍馬	工学部
授業の目標・概要		1～2回程度、駒場キャンパスで対面講義を行う可能性があります。 ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。 この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。 授業の目標： ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、工学／知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31480	火 3	化学のブレイクスルーに学ぶ (2)	長島 一樹	工学部
授業の目標・概要	本講義では、工学部応用化学科で現在展開されている無機化学・有機化学・生物物理学をベースとした材料・デバイス開発研究の世界最先端トピックを取り上げ、ブレイクスルーを生み出すきっかけとなった発見や成果をもたらした研究を通じて化学研究の魅力に触れると共にベーシックなサイエンティフィックスキルの習得を目指す。主に、センサ、高分子材料、生体分子などを題材として、最先端研究を牽引する研究者による話題提供や文献読解により研究背景や基本原理、実際の研究とその舞台裏、応用展開や新しい概念の創出に至るまでを順を追って学び、グループディスカッションや演習などにより理解を深める。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 無機化学、有機化学、生物物理学 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31481	火 3	化学を使って生命や分子の謎を解く : 感染症への対抗手段を考えよう	鈴木 勉、鈴木 健夫	工学部
授業の目標・概要	概要： 「生命」は化学物質の変換を巧みに行い自律的に活動する複雑なシステムです。また「分子」はそれらの化学物質の基本的な構成単位であり、機能の発現において中心的な役割を担います。生命や分子を「化学」の視点から眺め理解することは、私たち自身や周りの現象を深く知る上で欠かすことができません。 私たちは「化学」の力を使い、「分子」をデザインすることで自らの創造力を具現化することができます。天然に存在する分子を模倣したり、自然界には存在しない人工的な分子や素材を創り出すことで、これまでにない全く新しい機能を持たせることも可能になります。これらのアプローチは、生命現象の理解や病気の発症機構の解明のみならず、エネルギー問題や食糧問題の解決など、人類社会が抱える数多くの問題を解決する糸口を提供します。 本ゼミナールでは、生命現象や機能性分子に焦点を当てながら、様々な課題を解決するために、化学や分子の視点からどのようにアプローチし、アイデアを具現化するかについて、文献調査やディスカッションを通じて、主体的に考えることを主眼にしています。最終的にオリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。 具体的には、ウイルス等の病原体による感染症を含めた病気の診断・予防・治療法の開発に役立つような、化学・バイオの力を使ったアプローチの提案に挑戦します。感染症が拡大するとき、体の内外に存在する分子がどのように相互作用するかを学びながら、感染症に対抗するためのアイデアを試行錯誤し、オリジナルなアプローチの提案を目指しましょう。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	目標： ・解決すべき問題に対して自ら課題を設定し、解決法を提案する主体性を育成する。 ・グループによる課題設定。進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答など共同作業におけるスキル、グループワークにおける主体的な関わり方を身につける。 ・自然科学における論理的思考法、批判的思考法、建設的な議論などの組み立て方について学ぶ。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、化学・生命科学、DNA, RNA, タンパク質、生体高分子、有機分子 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31482	火 3	DNA 情報を考える	杉浦 幸二	農学部
授業の目標・概要	生物の遺伝情報は DNA の配列情報として細胞の中に記録されています。この情報は、遺伝子発現という形で、それぞれの細胞の機能や運命を制御し、最終的には動物個体にさえ影響を及ぼします。我々は、この DNA の情報を解読し、様々な方法で利用することで多くの恩恵を受けてきました。本ゼミナールでは、DNA 情報がどのように研究されているのか、また、生活の中でどのように利用されているのかについて、DNA 情報データの活用を体験しながら学んでいきます。さらに、最新の DNA 研究成果の社会実装の可能性を議論します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、学術分野（大分類/小分類）を記載、DNA 情報、グループ討論、文献検索、プレゼンテーション 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31483	木 3	分子の形を知り、物質をデザインする	宮島 謙	化学
授業の目標・概要	(授業の概要) 水分子が、1 個の酸素原子と 2 個の水素原子からなり、折れ曲がった二等辺三角形のかたちをとることはよく知られています。このように非常に小さな分子の構造はどのようにして決定されたのでしょうか。本初年次ゼミでは、この疑問から出発し、分子の形がどうすればわかるのかを調べ、なぜわかるのかを考えてもらいます。具体的にどのような測定データにもとづき分子の構造が決まるのかを、様々な文献やデータベースにもとづいて調べます。そのあと、それぞれ 1 個の元素を選び、その元素のもつ特徴を明らかにしながら、どういう物質を構成しうるのかを考えます。授業の進行は、4, 5 人のグループで行い、グループ毎にテーマを設定してもらいます。グループ中で様々なアイデアを出してもらい、また議論してもらい、最終的にグループ毎にまとめた結果を発表してもらいます。 (授業の目標) 1. 分子のかたちはそうすればわかるかという素朴な問いから、この疑問を解き明かすというアカデミック体験をしてもらいます。 2. グループごとに 1 つの元素を選択し、その元素からどのような物質ができそうかを考えます。 3. 問題を解決するにあたって、グループワークをしてもらい、お互い疑問点を出し、議論し、分からない部分は教え合いコミュニケーション能力を身につけます。 4. 最終的に自ら設定した課題について、その結果を発表してもらい、プレゼンテーションの能力を身につけます。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、化学／分子科学、原子・分子、構造、分光学、スペクトル			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31484	木 3	サイエンスライティング超入門	石浦 章一	生物
授業の目標・概要	【開講場所が駒場 I キャンパス以外の場合はこちらに記載して下さい】 基本は Zoom による遠隔講義。目標は大学生らしい文章が書けるようになること。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、学術分野（大分類/小分類）を記載、授業のキーワード 1 理系文章の書き方、授業のキーワード 2 発表のやり方、授業のキーワード 3 スライドの作り方、授業のキーワード 4 面白いことの見つけ方			
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31485	木 3	デザイン・エンジニアリング・ワークショップ ～ 機能的で美しいものを作るための観察、コンセプト ワーク、スケッチ、プロトタイピング	山中 俊治	生産技術研究所
授業の目標・概要		【背景】 デザインという言葉は、かつては装飾的な「意匠」の意味で使われていましたが、今日では人々の生活を豊かにするための幅広い価値創出の技術として、様々な分野で活用されるようになりました。本授業ではデザインについて、次のような新しい定義を採用します。 「デザイン：人工物あるいは人工環境と人との間で起こるほぼ全てのことを計画し、幸福な体験を実現すること」 便利で使いやすく美しい人工物をデザインするには、基本機能を設計するための幅広い自然科学と、人のふるまいを理解するための人文科学の知識、自然物や抽象形態に対する繊細な美的感覚と表現力が必要です。いずれも習得に時間がかかる巨大な体系ですが、最も重要なのはそれぞれの方法論の違いを理解し、常に多視点、多重思考で考えることです。 【目的】 ・科学知識と美的感覚、論理思考と手作業、概念操作とプロトタイピングなど、相反する創造プロセスを同時に扱うための「振り子」思考を身につける ・アイデア創出の方法を学ぶ ・アイデアを具現化し、人に伝えるためのプロトタイピング手法を学ぶ ・スケッチや立体物製作のための基本となる物の見方、身体の使い方を学ぶ 【概要】 後述の3つの課題に挑戦してもらいます。 制作は、しばしばホームワークであり、かなりハードワークになります。 【参考】 教員のひとりを知りたい場合は、下記のブログや Twitter を参考にしてください。 ・ブログ「デザインの骨格」 http://lleedd.com/blog/ 2014 年から更新されていませんが、デザインの基礎となるものの見方や考え方をエッセイ風に記録したものです。 ・twitter @Yam-eye https://twitter.com/Yam_eye ・Instagram https://www.instagram.com/yam_sketch/ 山中のスケッチ置き場です。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
成績評価方法	授業のキーワード	問題発見解決型演習、デザイン・エンジニアリング、スケッチ、プロトタイピング、アイデアの作り方、ユーザビリティ		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 気になるモノを描いて楽しむ 観察スケッチ 著者（訳者） 檜垣万里子 出版社 ホビージャパン ISBN 978-4798619187			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31486	木 3	身近な CO2・PM2.5 濃度の変動を捕らえる	今須 良一	大気海洋研究所
授業の目標・概要		（授業の概要） 地球温暖化は温室効果ガスの大量放出により引き起こされます。その中で最も重要で身近なものは二酸化炭素 (CO2)です。一方、健康に深刻な影響を及ぼす大気汚染物質の一つとして PM2.5 が問題となっています。本ゼミナールでは、簡易測定装置を用いて身近な環境における CO2 や PM2.5 の濃度変動を測定し、そのデータの解析、結果の考察を通じて、科学的なものの考え方や論理の展開の仕方を身につけます。また、関心がある場合には、赤外線強度の測定装置（サーモグラフィー）も用いた実験も行えます。これらは、グループ単位での測定実験、解析、発表、および、全員での質疑応答の形式で行います。これと併せ、あるテーマについて講義形式で話題提供し、グループ討議や全体討論を通じて、科学的なものの見方の幅を広げていくことを目指します。 （授業の目標） ・自分たちで行った測定結果を題材に、論文や口頭発表の構成要素である、序論・手法・結果・議論の展開ができるようになる。 ・実験の立案、実施、まとめの過程で、個人の考えを出し合い、議論を通してグループとしての考えや提案をまとめる能力を身につける。 ・研究発表に対して質問する能力を向上させる。また、発表者は質問や批判に対しての対応力を強化する。		
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 期末試験は行わず、毎回の作業への取り組みや、発言頻度・内容により評価を行います。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、地球科学/気象、気候変動・地球環境、発想力、調整能力、観察力			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31487	木 3	～このゼミナールでは、SDG s の考え方や、持続可能な環境まちづくりについて、実際の都市を対象にグループごとにおこなう問題解決型学習（Project Based Learning）を通じて学びます～	藤田 壮、栗栖 太	工学部
授業の目標・概要	学生のグループを構成してグループ単位で国内の都市、自治体を選んで、SDG s の理念に基づいて各自治体の将来の目標と具体的な対策を提案する、環境まちづくりを計画します。現状の問題分析、将来の目標の設定、そこに向けての具体的な環境まちづくり事業を提案するという、実際の都市を対象とする環境まちづくりプロジェクトを考えることで、都市と何か、環境と何かを考える機会となります。グループワークに先立って科学的手法を用いて、都市の現状を評価して、その将来のゴールを構築するための理論や手法を学ぶとともに、具体的なプロジェクト、計画づくりを経験して都市や地域で「科学」的手法を利用する可能性について提案、議論することを予定しています。 参考資料、教科書は適宜指定します。 第1週がガイダンス、第2週が共通授業（ITC-LMS によるオンデマンド受講）、第3-13週が個別授業となります。 第1回 ガイダンス 第2回 共通講義 第3回 持続可能な未来となにか、SDG s とは何か グループ分け（藤田） グループワーク① SDG s を分類しよう 4月22日 第4回 環境からみたSDG s のゴール（栗栖） グループワーク② 環境とSDG s の関連を見つけよう。 第5回 SDG s 未来都市の取り組みの紹介と各グループのプロジェクト都市選定（藤田） グループワーク③ 社会、経済とSDG s の関連を見つけよう 第6回 環境を保全して改善する科学と技術の紹介（栗栖） グループワーク④ SDG s を改善する環境技術を選ぼう 第7回 環境と経済、社会の統合的なとりくみ（藤田） グループワーク⑤ SDG s を改善する社会、経済政策を選ぼう 第8回 都市を解析する理論と手法（藤田） グループワーク⑥ 都市でモデルを使う意義と限界を語ろう 第9回 環境を解析する理論と手法（栗栖） グループワーク⑦ 環境を解析する意義と課題を語ろう 第10回 持続可能な環境まちづくりの検討フロー（藤田） グループワーク⑧ プロジェクト都市の検討フローを考えよう 第11回 全グループワーク 持続可能な環境まちづくりの検討フロー2（栗栖） グループワーク⑨ 都市検討フローを構築、提案をしよう 第12回 各グループからの持続可能な環境まちづくりの検討フローと提案の説明（藤田） 発表・ディスカッション① ほかのチームのよいところを発見しよう 第13回 各チームの発表とSDG s まちづくりの総括（栗栖） 発表・ディスカッション② これまでの議論を俯瞰しよう			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ「問題発見・解決型」、学術分野（大分類/小分類）を記載、授業のキーワード1 環境、授業のキーワード2 都市、授業のキーワード3 時速可能性、授業のキーワード4 SDG s			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編			
	出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31488	木 3	物理のための数学ゼミ	吉川 純一	工学部
授業の目標・概要	物理学では、様々な現象の中に法則性を見いだして、それを数学的に記述します。また、その数学から予想される現象は、実験的に確かめられます。こうした過程の中で、それまで思いもしなかった応用が見つかることがあります。例えば、量子力学の応用としての量子コンピュータなどです。 この授業では、基礎となる数学を学び、物理の記述にどう生かされるのかを調べ、受講者同士の議論を通して理解を深めます。文献の検索、発表資料の作成、科学的な内容でのコミュニケーションの経験を積みます。最終的には、5名程度のグループに分かれて、興味のあるテーマを自ら設定し、他の受講者の前で発表してもらいます。物理に関連していれば基本的にどんなテーマでもよいので、面白い発表を期待しています。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理学／量子力学、相互学習、サイエンスコミュニケーション、グループワーク			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31489	木 3	宇宙の未解決問題を考える。 Unsolved problems in Astronomy: Dark matter	柏川 伸成	理学部
授業の目標・概要	今年度はダークマターについて考える。これまでの研究史を振り返りながら、どうしてこの概念が現代天文学で必要とされているのかを知る。ダークマターに深く関与する観測事実について理解し、現代天文学においてダークマターはどのような意味を持つか、またその正体を暴くにはどうすればよいかを最終的には議論する。 Reading through a historical review of dark matter, we will consider dark matter. We will look back at the history of research and understand why this concept is needed in modern astronomy. We will understand several important observations that are deeply related to dark matter, and finally discuss how to resolve its nature.			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、天文学/Astronomy、銀河/galaxy、ダークマター/dark matter、宇宙論/Cosmology			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 The dark matter problem : A historical perspective 著者（訳者） Robert H. Sanders 出版社 Cambridge University Press その他 教科書を購入する必要はありません。UTAS のオンライン授業内容参照。			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31490	木 3	細胞運動と細胞内構造	池田 一穂	医学部
授業の目標・概要	[概要] 生物個体や細胞の生命機能は多様な「運動」によって支えられている。本講義では細胞の移動や変形などの狭義の細胞運動に加え、細胞内物質輸送や運動性細胞小器官の「運動」を生み出す分子的基盤を学ぶ。授業は当該分野で研究活動を行っている三名の教員が担当し、それぞれの担当回において、細胞運動の基礎や各々の研究内容を最新のトピックを交えつつ紹介する座学と学生参加型の課題で構成される。具体的な内容は以下の通り。[高尾]：適切に制御された細胞の動きにより、体の組織の形成など様々な機能が生まれる。このような細胞運動の制御メカニズムやその計測方法（イメージング・画像解析・機械学習など）に関する研究トピックを紹介する。関連分野の論文についてグループごとに議論し、理解した内容を発表する。[牧野]：生体運動を引き起こす分子モーターの「かたち」に着目した研究トピックを紹介する。その後グループごとにタンパク質分子や生体構造を 1 つ選び、その 3D 構造を実際に観察する演習を行う。また原著論文を読み、分子の構造から運動（機能）がどのように説明できるのかを考察し、グループごとに発表する。[池田]：細胞内物質輸送の制御機構を課題とした研究内容を紹介する。グループごとに関連分野の総説論文を通読し、グループ討論の後、簡単な発表を行う。			
成績評価方法	[目標] ・細胞運動とそれに関わる細胞内構造の概要と重要性を認識し、それがどのような研究から導かれたかを理解する。 ・グループワークにおける主体性を身に付け、グループプレゼンテーションのための共同作業や議論の組み立て方を学ぶ。 ・発表及び建設的な討論の技術を身に付ける。			
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
教科書	論文読解型、生物学、細胞運動、細胞内物質輸送、構造生物学、分子モーター			
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ4 1年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)

グループ4 1年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31491	火 4	有機溶媒の科学	小島 達央	化学
授業の目標・概要		「溶媒」という言葉を聞いた時に、水を真っ先に思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、少し視野を広げると日常生活でも水以外の溶媒、特に有機溶媒が使われていることに気づきます。また、産業界では目的に応じて多種多様な有機溶媒が使用されています。溶媒の選択は、目的を達成するための化学的な効率に基づくはずですが、しかし、化学的な効率を理解するためには、どのような分子間相互作用が重要なのか、どのような分子構造がどういう化学的性質につながるのか、化学的性質を評価する適切なパラメータがないか、など化学的な理解を深める必要があります。また溶媒の選択には、化学的な効率のみならず、毒性や経済性など、さまざまな要因も影響しているはずです。 この授業では、さまざまな有機溶媒について、どのような用途に用いられるのか、どのような性質があるのか、なぜそのような性質を示すのか、などについて化学的観点を中心に、少人数のグループに分かれて調査・討論し、まとめた内容をプレゼンテーションします。この過程を通して、分子の構造と性質の関係といった化学の理解を深めるとともに、効果的なコミュニケーションやプレゼンテーションの方法を学ぶことを目的とします。		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 議論・調査・発表、化学、分子、物性、分子間相互作用 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31492	火 4	初年次ゼミナール「地盤防災入門」	清田 隆	生産技術研究所
授業の目標・概要		私たちの生活に深刻なダメージを与える自然災害発生メカニズムを紐解くと、その多くが地盤の挙動と密接な関係がある。東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震などの近年の地震を振り返ってみても、造成地の崩壊や液状化による構造物やインフラの深刻な被害が数多く発生している。本ゼミナールでは、これら地盤災害の発生メカニズム、および地盤災害から社会を守る手段を、グループディスカッションを通じて理解を深めます。地盤の強度に影響を及ぼす要因とは何なのか、地震時に地盤はどのように振る舞うかなど、基本的な議論や過去の地震被害の取りまとめや発表、学生が自ら作製する地盤模型を用いた実験を通じて、地盤防災研究を体験します。 オンライン講義のURLは別途連絡します。 対面講義の開催場所は以下の通り。 駒場リサーチキャンパス（駒場II）生産技術研究所 総合研究実験棟 As 棟 中セミナー室（As301・302） アクセス・キャンパスマップ http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、データ解析型、地盤工学／土質力学、地盤の強度・変形特性、地盤防災、液状化 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31493	火 4	知能ロボット入門	鳴海 拓志	工学部
授業の目標・概要		ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。 この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。 授業の目標： ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことがらに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける		
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、工学／知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31494	火 4	機械学習の数理と実践	鈴木 大慈	工学部
授業の目標・概要	機械学習は現在の人工知能を支える基礎技術である。本講義では、機械学習の各種手法を学習することで、その理論と使い方を理解する。特に、理論を通してどのような数学が用いられているかを体感する。また、グループに分かれて各グループごとに機械学習手法の解説資料に目を通し、その実装と応用を行う。機械学習の理論と実践を学ぶことでその原理を体感し理解することが目標である。 講義の前半では各種手法の理論を学び後半ではその実践を行う。前半と後半の間に各グループごと前半の内容をまとめたプレゼンテーションを行い、講義最終回には後半の実践編における達成物に関するプレゼンテーションを行う。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 ガイダンス・初回授業で説明 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31495	火 4	化学のブレイクスルーに学ぶ(1)	細野 暢彦	工学部
授業の目標・概要	化学のブレイクスルーに学ぶ(1)では、工学部応用化学科で現在精力的に研究が行われている無機化学・有機化学系の世界最先端のトピックをとりあげ、その研究がもたらした各分野のブレイクスルーを学びます。本講義では、無機化学・有機化学をベースにした材料開発について、基本原理から実際の研究の様子や舞台裏、応用展開に至るまでを論文輪読、文献調査およびそれらに携わった研究者達の話の中でより身近に感じ、学ぶことができます。主に、触媒、有機エレクトロニクス、高分子材料などを題材にして、これらの研究がどのように生まれ、どのようなブレイクスルーがあったか、また、これらの研究やその応用展開が現在どのように社会の役に立っているのかを、ゼミナール形式の授業で学習します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 応用化学、有機化学、無機化学 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31496	火 4	木材利用の新しい可能性ーリグニンから建築までー	青木 謙治、横山 朝哉	農学部
授業の目標・概要	http://bit.ly/2S7zYO1 (授業の概要と目的) 木材は我々の身近にある材料であり、古くから様々な活用されてきた。現在、地球温暖化防止の観点からも木材の利活用が注目されており、木造建築や紙パルプだけでなく、セルロースやリグニンの利用といった新たな分野にも注目が集まっている。本授業では、木材を更に有効利用していく方策を皆さんとともに考え、最終的にプレゼン資料にまとめ、発表してもらいます。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	(授業の目標) グループワークを通して、木材の利活用に関する課題を設定し、各自で調査・分析する。その結果を互いに情報共有しながら討論し、最終的に課題解決策にまとめてプレゼンをする。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のタイプ：「問題発見・解決型」、学術分野：林学／林産学、木材・木質材料、木造建築、セルロース、リグニン 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31497	火 4	解析学の基礎	下村 明洋	理学部
授業の目標・概要	大学での標準的な数理科学の立場から観ると、高等学校までの数学に於いて極限と連続性や微分積分の取り扱いはやや直観に頼ったものであり、大学での学問としての数理科学ではこの分野は厳密な理論が展開される。「数理科学の立場からに厳密に記述された微分積分学（解析学の初歩）の文献の実数、極限、連続性に関する部分」を受講生が輪講する事により、この分野に関する理解を深める事を目標とする。この科目は、受講生による発表形式で行うので、受講生が能動的に学習し発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする。この分野の能動的な学習を通して、数理科学的な思考力を養う事も目標である。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 文献輪講型、数理科学/解析学、実数、極限、連続性、イプシロン・デルタ論法 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 微分積分学 I 著者（訳者） 宮島静雄 出版社 共立出版 ISBN 978-4-320-01713-9			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31498	火 4	宇宙を固体惑星の表層地形と振動から理解する	諸田 智克	理学部
授業の目標・概要	地球惑星科学における基礎知識と論理的思考力、数量的スキルの涵養を目指す。そのために実際の観測データや理論モデルを用いた解析研究を体験し、その結果にもとづいた科学的議論を行う。前半は地球内部構造推定のための地震波波形解析を体験し、後半は月惑星探査データの解析、将来探査計画の立案を行う。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	講義・輪読・理論実習・解析実習、地球内部構造・地球型惑星の進化、弾性体・有限波長・理論地震波形・周波数解、太陽系探査・月惑星探査・小天体探査			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31499	火 4	生きることを支える看護科学研究入門	仲上 豪二郎	医学部
授業の目標・概要	自分たちで設定した健康に関する問題の解決のために、研究計画を立案し、調査を行い、考察する過程を実際に行うことができる。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、調査、研究、健康総合科学、看護科学、健康			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31501	金 1	公共交通と自然災害～鉄道ネットワークを例に ～	渡邊 健治	工学部
授業の目標・概要	近年、大地震や集中豪雨等の自然災害により公共交通機関がその機能を短期的・中長期的に失うケースが多発している。例えば、令和元年台風19号襲来時には、千曲川の氾濫により長野新幹線車両センターが水没し、多くの新幹線車両が使用不能となった。 今後30年以内に70%の確率で襲来する首都圏直下地震や近年頻発している豪雨災害に対して、本授業では公共交通、その中でも鉄道によって支えられている旅客・物流ネットワークの頑強性・冗長性・脆弱性を調査し、今後の施策の方向性・あるべき姿を議論する。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、土木工学、社会基盤学、自然災害、公共交通、鉄道ネットワーク、冗長性			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31502	金 1	耐震工学入門	塩原 等	工学部
授業の目標・概要	(授業の概要) 日本は世界でも有数の地震国であり、多くの地震被害を経験してきました。地震被害を軽減するための耐震設計では、地震の揺れによって起こる構造物の振動現象を理解していなければなりません。最近では地震を受けた建物の被害を各種センサーにより検知する構造ヘルスマニタリングのための振動の計測も重要となっています。本ゼミナールでは、これらの理解の基礎となる動力学、とりわけ振動現象を支配する原理を体験に基づいて学びます。そのために、デジタル加速度記録の取得、信号処理、統計処理、簡単な MATLAB によるプログラミングを身につけてもらい、振動現象の計測に基づく構造物の状態の推定を目的とした物理実験を計画して実行しその結果を報告してもらうアクティブラーニングを実施します。各自 iPhone もしくは Android スマートフォンを準備しそれを用いて提案された課題もしくは自分で考えた課題に取り組んでもらいます。 (課題例) ・エレベーターにのってスマートフォンを使い鉛直方向の移動距離をできるだけ正確に推定する。 ・スマートフォン自身をおもりとしてぶら下げる振り子を作り、その振動の周期から出来るだけ正確に重力加速度を推定する。 (授業の目標) ・物理法則を自ら理解し、必要な情報を検索して分担して調査して、それらを活用する実験計画と実施を行う問題解決能力を養う。 ・実験データの解析方法と、雑音、誤差、精度などの対処について理解する力をつける。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、サイエンスコミュニケーション能力の基礎を身につける。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 (この講義での個別の評価基準)			
授業のキーワード 教科書	実験計画のオリジナリティー、結果の信頼性・客観性 問題解決・データ解析型、物理/物理、小実験、データ測定と解析、サイエンスコミュニケーション 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日を行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31503	金 1	ロケット工学から見た深宇宙探査	小泉 宏之	工学部
授業の目標・概要	深宇宙探査において目的地に到達するための方法を学びます。学問としては、軌道力学と宇宙推進工学がメインですが、その知識を埋め込むのではなく（1セメスターでは不可能です）、コンセプトを理解してもらうことがメインです。太陽系内の天体の中から探査の候補地を定め、そこへの到達方法をグループごとに考案してもらいます。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	授業のタイプ：現象シミュレーション型、宇宙工学、軌道力学、深宇宙探査、宇宙推進、太陽系 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 宇宙はどこまで行けるか 著者（訳者） 小泉宏之 出版社 中央公論新社 ISBN ISBN: 4121025075 その他 https://www.amazon.co.jp/dp/B08136ZF9N			
ガイダンス	第1回授業日を行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31504	金 1	数学・物理をプログラミングで考える	田浦 健次朗	工学部
授業の目標・概要	より詳しくは以下の URL を参照 http://pmp.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/ ## 授業の実施形態(オンライン・対面・週により入れ替えなど)も上記 URL に書きます。履修が決まった人への事前アンケートも行うので見てください。 コンピュータ（プログラミング）を使って、数学や物理の問題、実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます。そうすることを通してプログラミング、数学、物理を学ぶとともに、それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します。 実際の問題をいくつか、例・テンプレートとして提示し、グループに別れて解法や、問題の発展形や一般化などについて議論します。それと並行して、プログラミングの基本について、演習します。最後に、お互いが解いた問題について発表しあう、発表会を行います。途中でも、グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため、適宜ミニ発表会を行います。KOMCEE でグループごとに机を分け、ノート PC を用いてプログラミングや文献調査を行います。			
成績評価方法	出欠、授業への参加意欲など			
授業のキーワード 教科書	プログラミング、Python、シミュレーション（計算科学）、機械学習（データ科学）、微分方程式、行列 授業中に指示をする。／Will specify at class time			
ガイダンス	第1回授業日を行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31505	金 1	社会シミュレーション入門	和泉 潔	工学部
授業の目標・概要		※初回は対面講義とし、2回目以降はオンラインを主体に実施する予定である。 ※後半の数回分(グループワーク)を6月土曜日の午後行う予定です。 履修希望者は上記日程の都合が合うことを確認して下さい。 ※Windows または Mac の PC(ノート,デスクトップ)を所有していることが望まれる ●社会現象のモデリング&シミュレーションにより「答えのない問題を解く力」を身につける ●「研究の基礎的な流れ」を学ぶ (授業の概要) 現実社会では正解がない問題、答えがひとつとは限らない問題、解法の指針がわからない問題が数多く存在します。実際に社会に出た時、そういった問題に向き合うためには、自ら考え仮説を立て検証する「仮説検証能力」が必要となります。 本授業では、仮説検証能力向上のアプローチとして、社会現象を対象としたモデリング&シミュレーションの技術を学びます。特に、現実社会では実験が難しい事象について、コンピュータを用いて検証を行う技術を身につけます。 エージェントと呼ばれる社会の中での個人のような働きをするプログラムが多数集まって社会現象を再現するエージェントシミュレーションという技術を学びます。 また仮説検証能力は、学術研究分野において重要な基礎であり、モデリング&シミュレーションの考え方は、今後研究活動を始めるにあたり効果的な事前学習となります。 (授業の目標) - プログラミング言語の習得だけでなく、現象をモデリングするスキルを身につける。 - 実際の研究・開発の流れを学ぶ。 - 社会経済現象に関するデータを解析しモデルを構築する工学的手法を学ぶ。 - モデルを用いた計算機シミュレーションから、予測・制御・設計を行う手法を学習する。 - シミュレーション言語を用いた、社会現象のマルチエージェントモデルの作成を行う。 - グループワークを通して自分の考えを相手に伝え、相手の考えを理解することでプロジェクト実施時におけるコミュニケーション能力を養う。		
成績評価方法		出席と通常講義での課題・発表及び最終レポートで評価します。		
授業のキーワード		問題発見・解決型、システム科学、社会シミュレーション、モデリング		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31506	金 1	農学的アプローチからワンヘルスと感染症を考える	村上 晋	農学部
授業の目標・概要		ワンヘルス (One Health) は、人、動物、環境は相互に密接な関係があり、それらを総合的に良い状態にすることが真の健康である、という概念です。グローバル化が加速し、世界的な人口増加の中、環境・食糧・感染症といった、人類共通の課題がクローズアップされてきます。このような課題の克服には、世界は一つ、健康も一つ "One World, One Health" の観点から、地球規模で、分野横断的なアプローチが求められます。 この講義では、獣医学と生物・環境工学の専門家が担当します。ワンヘルスと感染症という観点から、前半は動物の感染症、日本および海外の人獣共通感染症の事情を中心に、後半はそれら感染症制御に向けた植物を用いた医薬用タンパク質生産中心に、動物・植物や人類との関わりをトピックごとに考えます。講義の中では、現状を調査して課題についてグループディスカッションを行い、多様な意見を交換することで課題解決への糸口を探ります。 講義の折り返し時点で、東大農学部の教授であった上野博士の忠犬ハチ公の臓器を教材に、した講義も予定しています。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		「問題発見・解決型」、農学/獣医学・公衆衛生学、感染症、健康、食料、環境		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31507	金 1	薬学を支える基盤技術の役割と貢献	前田 和哉	薬学部
授業の目標・概要		授業の目標、概要：新薬を開発するためには、少なくとも十数年に及ぶ研究期間と莫大な研究開発費を要します。創薬研究のプロセスは、探索研究、開発研究、臨床研究に大きく分類され、それぞれの研究段階において多くの研究分野が創薬を支えています。本授業においては、分子の細胞内動態・機能を明らかにする蛍光イメージング法、薬のターゲットであるタンパク質の立体構造を明らかにする X 線結晶構造解析や核磁気共鳴法、薬物が投与された後の体内での薬物の挙動を明らかにする薬物動態を取り上げ、これらの技術が創薬においてどのような役割を果たしているのかを論文読解やグループワークを通して理解します。授業で取り上げる技術をはじめとする様々な創薬基盤技術の今後の可能性をグループで調査・議論し、プレゼンテーションを行います。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		情報収集・問題解決型、物理系薬学、蛍光イメージング、X 線結晶構造解析、核磁気共鳴法、薬物動態		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31778	金 1	創造性を高めるマインドハック	坂口 菊恵	初年次教育部門
授業の目標・概要	脳機能や身体運動のイメージング技術の普及と、得られたデータの機械学習処理との組み合わせにより、頭で想像することにより機器を操作したり、思考をデータ化して他者に送ったりといった SF のような技術の基礎は既にできており、今後の急速な発展が見込まれている。また、知的作業の多くを AI により代替できるようになった場合、教育の価値はどこにあるのか、膨大になる情報のヒトによる処理能力を上げるにはどうすべきかへの関心が高まっており、Brain-computer interface (BCI) やニューロフィードバックがひとつの解として提示されている。 本授業では、一人一台簡易脳波計を手にして、代表的な知覚に付随する脳波反応や BCI のデモを体験する。さらに、記憶力トレーニングやイノベーション・ワークショップグループワークでそれぞれどのような脳活動が見られるかデータ取得と分析を試みる。 得られたデータをクラウドデータベースにアップロードし、パーソナルデータとすることを体験し、学生個人の学習効果を高めたり、新しい学術的知見を導き出したりするためにどのように利活用できるかを議論する。主にオンライン、2 回程度対面			
成績評価方法	背景知識の調査をもとに、得られたデータの解釈方法・利用方法を考察できること。 生データの取得や分析に慣れること。			
授業のキーワード	問題発見解決・データ解析型、心理学／情報、ニューロフィードバック、モバイル脳機能計測、イノベーション教育、IoT			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ5 1年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)

グループ5 1年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31508	水 2	科学者を評価する・化学と生命科学の境界領域を知る	吉本 敬太郎	化学
授業の目標・概要		【はじめに】 皆さんの「化学」のイメージは、周期表や反応式、化合物名や成経路の暗記、さらにモル収支の計算など、覚えることばかりで計算が面倒、泥臭い実験、汚い白衣のイメージ、、、なんて方が多いでしょうか。一方、「生命科学」のイメージは、オートファジー、iPS細胞、難病治療薬、遺伝子編集などのトピックスが最近メディアでも華々しく報道され、非常に輝いて見えるのかもしれませんが、「化学」と「生命科学」はとても深くて密接な関係にあります。化学の発展無しには生命科学の発展はありません。 本授業は、「生命科学」の研究分野において「化学」が極めて重要な要素・学問であることを学び、皆さんに「今まで知らなかった"生命化学"」に出会ってもらうことを大きな目的としています。さらに、研究者という職業について深く知ること、また昨今話題となっている研究者のモラルについても考えたいと思います。研究者を公平に評価する"物差し"を皆さんとディスカッションしながら考えていきたいと思います。 研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考えるなかで、アイディアの出し方、グループディスカッションの経験を積んでいただくことを大きな目的としています。 【授業の概要】 以下の2テーマについて、グループワークを行います。 1) 研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考える 2) 「分子認識化学」「材料化学」「生命科学」をキーワードとする境界領域研究について考える グループディスカッション後、発表・討論することを最終的な目標として設定しています。このための事前準備（議論、提案、プレゼンなどの訓練）は、基本的には本講義内で行います。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		化学（材料化学・バイオマテリアル）、生命科学、メカノバイオロジー、幹細胞、学者・研究者、グループディスカッション		
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31509	水 2	身近な物理でサイエンス	松本 悠	初年次教育部門
授業の目標・概要		簡単な測定や実験データ整理・解析、ものづくり等を実際に経験してもらい、試行錯誤や実験の難しさと計画性の重要性などを学んでもらいます。限られた材料・工具・時間の中で、自由な発想をもって、問題発見と解決方法・実験方法などを自分たちで考案してもらいます。小グループに分かれ、議論による協調学習を通して、コミュニケーション能力を伸ばしてもらいます。 ・何かを研究する時に、何が分かっているか、何が分かっているのか、何が問題でどうやったら解決できるのか、自分の頭で考えることができるようになる ・実験データの簡単な解析方法と、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に論じる力を身につける ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、サイエンスコミュニケーション能力の基礎を身につける ※授業オンライン化に伴い、実験を個人が自宅でできるよう見直し中です。 ※授業の目的や授業の大まかな流れは変えないつもりですが、具体的な作業や課題は変わるとして下さい。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 （この講義での個別の評価基準） より良いデータ取得を目指して、独自性のある、コストパフォーマンスの良い、実験機の開発・改良ができたか		
授業のキーワード		問題発見・解決型、データ解析型、物理、小実験、サイエンスコミュニケーション		
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31510	水 2	工学×デザイン～ワークショップで学ぶ理系 のためのデザイン	村上 存	工学部
授業の目標・概要	■ 授業の目標 - 異なるテーマのワークショップを通して、ものづくりにおけるデザイン（設計）を体験します。 - グループワークによる問題設定、分析、アイデア発想、プレゼンテーションのプロセスを身につけます。 - デザインに必要な基礎的な工学的知識を身につけます。 ■ 授業の概要 良いデザイン（設計）とは何でしょうか。それは、単に見た目が美しいだけでなく、安全で、使いやすく、使うと嬉しくなるような人にとって思いやりのある設計を指すかもしれません。あるいは、シンプルな構造で優れた性能を発揮する巧妙な設計を意味することもあるかもしれません。この様に、ものづくりにおける「デザイン」の意味は多様です。本ゼミでは、グループワークによるワークショップを通して、ものづくりにおける多様なデザインの観点と、それに必要な方法を理解します。 前半では、身の回りから、危険、非効率、分かりにくい、使いにくいなどの「困った」デザインを調査・発掘し、問題の本質を議論します。そして、それらを「よい」デザインに変えるアイデアを提案、プレゼンテーションします。 後半では、軽くて安全な構造物をデザインすることを目的に、パスタで橋を作るパスタブリッジコンテストを通じて、機能を達成するための工学デザインを体験します。最終回は、グループごとに発表会を行い、それぞれのデザインについて議論します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、機械工学／設計、デザイン、力学、理論＋実践、発想・創造 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31511	水 2	AI 支援による材料開発の最前線	南部 将一	工学部
授業の目標・概要	* オンラインでの開講 皆さんの身の回りにあるモノ。これらモノを作るうえで欠かせないのが材料です。モノづくりでは、原子や元素から物質を創り、物質を材料や部品に加工し、製品を組立てます。材料とは材料科学・材料工学の知に基づき、物質に機能という新たな付加価値を与えたものです。自然界に存在している原料から使える材料に生まれ変わらせ、さらに加工する、そのような工程を担っているのが材料関連の産業であり、自動車や電化製品などの皆さんのもとに届く製造業において欠かすことのできないパートです。従来材料開発は10年以上の長期間が必要でしたが、近年の急速な科学技術の発達に追従するためには、材料開発の加速化が必要不可欠です。 本講義は、そのような材料開発研究における最先端について学びたいと思います。材料開発の加速化、最適化を可能にするアプローチとして、近年はAIを活用した研究が多くなされています。そのような情報工学的なアプローチをこれまで培われてきた材料科学・工学と融合させることで、構造材料、電子デバイス材料、医療用材料などの材料開発において何ができるのか、解説文などを題材にしながら、グループディスカッションを通じて考えていきたいと思います。 【 題材の例 】 1) 構造材料のマテリアルズインテグレーションシステム：近年、マテリアルズゲノムイニシアチブに端を発し、従来の実験、理論に基づいた材料開発ではなく、さらに計算、データを融合させた材料開発が全世界で開始され、日本でも進められています。特に日本が得意とする構造材料開発におけるシステムがマテリアルズインテグレーションシステムとよばれています。今まで10年、20年かかった材料開発を、AIなどを活用することによって数年で実現する、そのようなシステムについて調査します。 2) 電流のオン/オフを変えられる材料とその仕組み：情報機器の頭脳となる集積回路では微細加工されたトランジスタが何億個も並び、それぞれの材料中の電流がオン・オフと切り替わって動作します。どのようにこのスイッチを実現するのか、最先端電子デバイスの材料と構造を調査します。また、デバイスの品質は作製プロセスにも大きく依存しており併せて調査します。 3) ソフトマターの医用応用：高分子やゲルなどの柔らかい材料はソフトマターと呼ばれ、その柔らかさや高い変形性、生体組織との組成類似性から、医用材料として注目を集めています。医用応用を行う上で、どのような材料設計が重要になるのか、最先端の医用材料について調査します。 【 授業の目標 】 学術論文の構成を知り、学術研究を行ううえでの基礎を身につけます。調査・研究とグループ討議や研究発表を通じ、学術的なコミュニケーション能力を身につけます。材料科学や情報科学を題材にしながら基礎研究と最先端技術との関連についての実例を学び、科学技術が社会にどのように関わり、貢献することができるのかを議論し、理解を深めます。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解型、材料工学、材料化学、構造材料、電子デバイス材料、電子材料合成プロセス、高分子、ソフトマター、バイオマテリアル 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31512	水 2	モーションコントロール入門---ロボットや車 両を上手に動かす科学	古関 隆章	工学部
授業の目標・概要	講義内容を説明する動画をガイダンスがわりにお示ししますので、以下のリンクをご覧ください。 https://takafumikoseki.blogspot.com/2020/03/14.html (一部 g.ecc アカウントが必要です。) すでに高校の物理で習ってきたように、目の前のものから、天体に至るまで世にあるものは力学に関する物理法則にしたがって動いている。ニュートンにより提唱された力学の法則は数学的表現では、時間に関する二階の微分方程式の形をとり、ものをうまく動かすために、その微分方程式に基づく「動的な性質」を理解し取り扱うことが重要になる。ものの「動的な性質」に着目して対象をモデル化し、状態を計測し、リアルタイムに情報を処理して、入力をうまく決め、「思ったように物を動かす」一連の手法を制御という。ここでは、倒立振り子という、そのままでは倒れてしまうものを例題に、上手にものを動かすモーションコントロール=運動制御について、グループでの議論、数値計算、実験を通じて学び、数式に基づいて論理的に考えることの大切さを体験することを目的とする。 令和2年度の講義紹介のスライド・動画を https://drive.google.com/file/d/1X95ZEM7Pt3dnPAAPjAHbTK4IEyipHBIZ/view?usp=sharing にてご覧ください。(暫定的に昨年度の者おいておきますが、本年度の案内動画がほしい新たなものに置き換えます。時間やTAが昨年度と異なる点にご注意ください。)			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ 実験データ解析型、学術分野 工学/電気電子工学、ロボット、車両、動的システム、運動制御			
教科書	Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31513	水 2	「食の問題」を科学者目線で考えよう	舘川 宏之	農学部
授業の目標・概要	※Zoomを用いたWEB授業 都市生活者の我々にとって、農産活動を身近な存在として意識することは少なく、食料(食品)を消費する者としての立場で極めて間接的に農業と接しています。現在の我が国の食料消費においては、肥満や廃棄ロスなど過度な食の摂取にまつわる問題と、拒食や「こども食堂」など食の摂取不足にまつわる問題とが併存しています。世界的にも飢餓と飽食が発生しており、食料供給体制のアンバランスを招いている状態となっています。他方、農産活動のための様々な技術的革新は、こうした食料問題や資源環境問題を考える上で重要であり、私たちの日常生活にも少なからぬ影響を及ぼしています。この授業では比較的身近な情報を用いて、自分たちの日常生活で発生している様々な視点から「食の問題」に目を向け、その解決に向けた方向性や具体的対策を自主的に学ぶことを目指しています。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ「問題発見・解決型」、学術分野 生物/植物(動物なども含む)、授業のキーワード1 食料生産、授業のキーワード2 人口増大、授業のキーワード3 飢餓・飽食、授業のキーワード4 気候変動			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31514	水 2	量子情報技術を「正しく」理解する	村尾 美緒	理学部
授業の目標・概要	従来型の情報処理や情報通信の限界を超えるブレイクスルーの候補として、量子コンピュータや量子暗号、量子テレポーテーションなどの量子情報技術が最近注目を集めている。これらの量子情報技術は、量子エンタングルメントや量子測定など、日常の直感に反する量子力学の特性を情報処理や情報通信に利用したものであり、量子情報技術を「正しく」理解するためには、情報処理の観点を取り入れた量子力学の正しい理解が必要である。しかし、量子力学は一般にはなじみの薄い概念であり、報道などにおいても不適切な解説をたびたび見かける。本講義では、量子情報技術を「正しく」理解し、量子力学を習ったことのない人々にもわかりやすく正しく説明できるようになることを目標とする。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ(講義・演習・調査・発表)、物理学、量子力学、量子情報技術、量子計算、量子情報			
教科書	Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31515	水 2	デジタルヘルスの課題について考える：論文 検索と論文解読から明らかにする	脇 嘉代	医学部
授業の目標・概要		【目的】 新型コロナウイルス感染症の流行によって社会のデジタル化が進んでいます。在宅勤務を積極的に導入する企業も増えており、医療の現場では初診からオンライン診療が始まっています。特に医療や健康の分野のデジタル化としては、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）はニュースや新聞記事にも取り上げられており、私たちの生活の中でも身近なものとなっています。デジタル化が進むことによって利便性は向上しますが、一方で、プライバシーの保護やデータの利活用など様々な課題も出てきます。そこで本授業では、新型コロナウイルス接触確認アプリを例にとりてデジタルヘルスの課題を明らかにして、その解決に向けた提案を行うことを目的とします。この目的を達成するために、関連する論文を検索し、解読し、グループ毎に課題を設定し、海外での導入事例などを踏まえて問題点を整理し、最終的にこういった解決策が望まれるかをグループ毎に発表します。この授業に関する具体的な目標は以下の通りです。 【目標】 ・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担ができる ・論文検索、論文解読を通して基本的な論文の検索手法と解読方法を身につける ・デジタルヘルス全般の課題、新型コロナウイルス接触確認アプリ特有の課題が分かる		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		「問題発見・解決型」「論文解読型」、学術分野（医療情報学/デジタルヘルス）、新型コロナウイルス感染症、デジタルヘルス、モバイル医療、テレメディスン		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31516	金 3	From AI to ALIFE	池上 高志	物理
授業の目標・概要		昨今の人工知能ブームの根底にあるのはプログラミングである。レクチャーでは、複雑系やALIFE（人工生命：細胞やDNAではなく、情報としての、あるいはプログラムとしての生命）の研究を学ぶことで、昨今のプログラミングにベースを置く構成論的な科学を習得する。そのひとつの表現としてのメディアアートを実践する。特に、サウンド・アートに重きを置いたプログラミングの技法を学ぶ。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		プログラムを通して考える科学とアート、メディア・アート、アート、複雑系、プログラム、AI		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31517	金 3	多種多様な微生物と植物との相互作用を紐解く 先進技術・考え方を学ぶ	晝間 敬	生物
授業の目標・概要		授業の目的： ・英語原著論文の基本的な構成を知ると共に有益な情報を抜き出すための読解法の基本を習得する。 ・これまでの知見を学ぶことで、未解明な現象を見いだし、それを解き明かすための方法論を考えるための基本を習得する。 ・植物と微生物の相互作用がもたらす植物の環境適応能力について学ぶ。 授業の概要： 動物や植物は無数の微生物と共生することにより、様々な環境への適応を果たしてきたことが明らかになっている。これまでは、無数の微生物を同時に解析する方法論は存在していなかったが、近年の次世代シーケンサーを初めとする技術の発展により微生物集団を紐解く方法論の開発が進んでいる。本授業においては、その最先端について、英語原著論文を読み解くことで理解していくことに加え、実際一人の研究者になったと仮定して、興味深い研究テーマを考案して発表してもらう。以上の取組を通じて、誰も答えの知らない問いに立ち向かっていくための基本的な方法論を習得して貰いたい。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		授業のタイプ（「問題発見・提案型」、植物微生物相互作用、共生微生物、次世代シーケンサー解析、植物の類似希な環境適応能力、微生物の単離		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31518	金 3	東京の街を歩き、その空間について考える	廣井 悠、樋野 公宏	工学部
授業の目標・概要	本授業はオンライン・フィールド体験型ゼミナールとして、都市空間の魅力と課題、それらの要因となる要素を理解・分析し、そのことを他者に伝えるように表現する力を養うことを目的としています。授業では、まず、駒場キャンパスとその周辺を歩いて魅力や課題の発見と報告を行ったうえで、Google ストリートビューや各種地図を使いながら、オンラインのフィールド体験をし、魅力や課題を説明します。建築、土木、都市計画、環境の分野に関心がある方、都市の空間が気になる方、いろいろな都市の空間を見てみたい方におすすめです。（対面講義の回は、駒場 KOMCEE West での講義を予定しています）			
成績評価方法	授業における積極性・貢献度、個人課題・グループ作業の成果物			
授業のキーワード	キャンパス、都市、資料収集・分析、現地踏査、発表、グループ作業			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31519	金 3	物理のための数学ゼミ	荒井 俊人	工学部
授業の目標・概要	大学で物理学を勉強するに当たり必要と思われる数学的知識をゼミ形式の演習と発表を通して理解を深めます。物理学習のための数学の初歩を学び、数学が実際にどのように使われているかを自ら調べ、調べた内容を他の受講者の前で発表します。力学、電磁気学など、身近な物質の性質を研究対象としている物性物理学を中心的な題材としますが、それ以外の興味ある物理学のトピックに着目しても構いません。受講者を 4.5 名から成るグループに分け、各グループで興味ある物理学のテーマを設定し、そこに使われている数学について解説したり、自分で関連した問題を作成して解法を解説する形式で進めます。受講者間の討議や文献検索を通して内容をまとめ、それをプレゼンテーションによって他人に分かりやすく伝える事を学びます。			
成績評価方法	出席・演習の理解度・発表を総合して行う。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理学／物性物理学、物理数学、グループワーク、サイエンスコミュニケーション			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31520	金 3	バーチャルリアリティ入門	稲見 昌彦	工学部
授業の目標・概要	インタラクティブなバーチャルリアリティ体験をつくることを目標とする。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	オンライン体験ワークショップ型講義、情報学、バーチャルリアリティ、3D モデル、音声情報処理、インタラクティブ技術			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31521	金 3	やってみよう！化学を使った社会設計	杉山 弘和	工学部
授業の目標・概要	本ゼミでは、化学の知識を活かして、身近な社会課題に解決策を提案するための手法を学びます。まず基礎知識を取得するために、以下のような演習課題を解きます。 ・エアコンの効率が 100%にならないのはなぜか？（熱力学の応用） ・スイッチを冷やすまでにどれくらいの時間が必要か？（微分方程式の応用） ・PET ボトルのリサイクルは環境に良いのか？（プロセス工学の応用） これを土台に、グループワークで以下のようなテーマに取り組みます。テーマ設定は自由です。 ・環境問題 ・エネルギー問題 ・医療・医薬の問題			
成績評価方法	本ゼミの狙いは、化学や関連分野の基礎知識をネットワーク化・システム化し、実際の課題解決に活用できるツールとして身に着けることです。教員やディーン・アシスタントの大学院生と密にやり取りするゼミを目指します。			
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、化学・システム工学、演習・グループワーク、情報学、工学、モデル化・シミュレーション・最適化			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31522	金 3	データ分析を通じた将来予測	合田 隆	工学部
授業の目標・概要	データ分析とは現時点で入手可能なデータから（個別のデータにはあまり意味を持たない場合でも）重要な情報を抽出することが目標であり、取り扱うデータの種類、性質、どのような情報を抽出したいのか、などに応じて適切な分析手法を選択する必要があります。特に将来予測、すなわち現時点までの推移データから将来起こりうる推移を「外挿」することを目的とする場合、分析結果の少しの違いが予測幅に大きな変化をもたらします。 本ゼミナールでは、（あまり深く立ち入りませんが）種々の統計的分析手法について文献調査・学習をし、その差異を理解した上で、（興味のある事象についての）データ収集、適切な分析手法の選定と適用、結果の解釈とまとめ、という一連の流れを体験してもらいます。データ分析への関心が高まることを期待しています。 グループワークへの取り組みによって評価します。			
成績評価方法	問題発見・解決型、データ分析、数理統計			
授業のキーワード	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
教科書	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
ガイダンス				
31523	金 3	社会調査を通して駒場生の環境意識を探る	山本 清龍、安藤 光義	農学部
授業の目標・概要	【オンライン授業（Zoom）】 （1）このゼミでは、東京大学教養学部1，2年生の森林、緑、環境に関わる意識を取り上げて、問題の所在の把握、解決策の提案を目指して社会調査（アンケート調査、ヒアリング調査など）を行う。言わば、駒場生を対象とする駒場生による環境意識調査である。 （2）設定する仮説や問い、調査方法は、ゼミ担当教員から適宜、提案、助言するが、基本的にはグループ内の学生同士の議論を通して設定する。 （3）調査前の段階では調査方法の妥当性や問いの適切性について議論し、調査後は得られた情報の意味について議論する。 （4）授業の目標は、価値ある結果を求めることではなく、学生が社会調査の方法を学び、体験することに置く。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、環境学、農学、森林科学、農業経済学、社会調査、アンケート調査、研究調査の企画、データの整理、分析			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31524	金 3	分子の魅力に触れる	塩谷 光彦	理学部
授業の目標・概要	開講場所：未定 オンライン講義を含む。対面授業については検討中。 （本ゼミの概要と目的） 自然界はさまざまな「分子」で溢れている。化学はそれらを研究対象にする場合もあれば、化学者が自在に設計し、果敢に合成にチャレンジする場合もある。医薬、材料、触媒、環境物質が対象になると、化学の目は分子間の「相互作用」に向けられ、ごく自然に1+1>2の超分子化学が生まれた。このような流れの中で化学者は、共有結合で構成された「分子」と、共有結合以外の比較的弱い相互作用に基づいて形成される分子やイオンの集積体である「超分子」を視野に入れて研究を進める必要がある。本ゼミでは、「分子」の基礎を概観し、さらに分子構造に基づく「超分子」の設計、合成、構造、反応、機能について学ぶことを目的とする。 （本ゼミの目標） 1. 自然界の分子や化学が作り出すさまざまな分子の基礎を理解する。 2. 分子間の相互作用に基づく超分子の構築原理と機能について学ぶ。 3. 研究紹介のプレゼンテーションのスキルを学ぶ。 4. 簡単なデモ実験を通して（ビデオを検討中）、分子や分子集合体を身近に感じてもらう。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ（「問題発見・解決型」）、学術分野（化学/分子合成化学）、授業のキーワード1 分子合成、授業のキーワード2 分子構造、授業のキーワード3 分子反応、授業のキーワード4 分子機能			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ6 1年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

グループ6 1年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)				
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31525	水 3	相対論について考える	酒井 邦嘉	物理
授業の目標・概要		(授業の目標) ・サイエンスにおける問題発見と解決方法の基礎を学び、結論だけでなく科学者の思考過程そのものを理解できるようにする。 ・「科学発表の3原則」である、「正しく、分かりやすく、短く」を心がけて実践に生かせるようになる。 ・自ら問題に取り組みながら科学研究に必要な「論理的な思考力」を磨くことで、学問の進め方の基礎を身につける。 (授業の概要) 物理学の発展の歴史に相対論を位置付け、アインシュタインの仕事を通して発見の軌跡を自分たちで追体験します。また、科学研究の成果をいかに正確に、そして分かりやすく伝えるかを重視して、議論や発表の基本を学びます。小グループ分けによる協調学習を通して、論理的な思考力を深めることを目指します。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード 教科書		問題発見・解決型、物理学／物理一般、アインシュタイン、相対論、科学の基礎 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『高校数学でわかるアインシュタイン』 著者（訳者） 酒井邦嘉著 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31526	水 3	化学触媒の分子デザイン	岩井 智弘	化学
授業の目標・概要		医薬品や電子デバイス材料に代表される現代社会を支える化学物質は、化学的性質を失わない最小構成単位である「分子」からできています。望みの分子を効率よく合成するためには、化学反応を促進する「触媒」が欠かせません。さて、触媒とは何でしょうか？これまでに触媒とは「自身は変化せずに化学反応を促進するもの」と学んできましたが、本当にそうでしょうか？ 本講義では、触媒を題材に有機化学的アプローチから分子の世界に触れるとともに、自然科学の研究に必要な論理的思考力と研究発表力の習得を目指します。具体的には、2010年のノーベル化学賞の受賞研究対象である「クロスカップリング反応」に代表される金属錯体触媒を取り上げます。前半では、講義により当該分野の研究背景と基礎的知識を学び、学術論文の講読を通じて既存触媒の問題点を整理します。後半では、それら課題を解決するオリジナルな化学触媒の分子デザインに挑戦します。また、研究室見学会を実施し、実際の研究活動の最前線を体感してもらいます。授業形態は、駒場キャンパス内での対面実施を予定しています。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード 教科書		論文読解・演習型、化学／有機化学、分子デザイン、触媒、合成化学、クロスカップリング 教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31527	水 3	遺伝子組換えと分子生物学	田上 遼	初年次教育部門
授業の目標・概要		Zoomによるオンライン授業を実施します。 この授業では、分子生物学を行う上でとても重要なツールである遺伝子組換えについて考える。遺伝子組換え技術の発展により、生物学の研究は大きく進歩しており、医療分野や農業分野など応用面でも利用されている。しかしながら、その実態について知ることは必ずしも多くないのではないだろうか。そこで、この授業ではみなさんが遺伝子組換えの技術について学び、その応用についてコンテスト形式で考えてみることで、より遺伝子組換えについて理解を深めてもらうことを目的とする。その過程では、基本的な原理や応用実例などを論文、教科書やウェブサイトなどで調べてもらうことにもなるだろう。そのうえで、学生同士でアイデアをより洗練させるべく議論してもらいたい。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 Zoomでの積極的な授業参加を評価します。 最後に最終課題として、グループごとの発表でもって評価します。		
授業のキーワード 教科書		問題発見・解決型、生物学、分子生物学、遺伝子組換え、コンテスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31528	水 3	ビッグデータを扱うソフトウェア技術「データベース」を実践する～	合田 和生	生産技術研究所
授業の目標・概要	本授業では、「データベース」なるソフトウェアが如何にビッグデータを管理し処理しているのかを学ぶ。また、最新鋭のパブリッククラウド等を利用して実際に「データベース」を操作しその挙動を分析する。これらを通じて、ソフトウェアならびにコンピュータシステムを発展させる実験的アプローチを習得する。とりわけ、ビッグデータの大規模性を克服するためのアルゴリズム、データ構造、性能管理、実験管理等のスキルの習得を目指す。 本授業はオンラインを基本とする。ただし、第12週（プレゼンテーション準備）と第13週（プレゼンテーション）については、駒場リサーチキャンパス生産技術研究所 As 棟 As301,302 室に於いて実施する場合がある。			
成績評価方法	プレゼンテーションとレポートに基づき判定する。			
授業のキーワード	実験型、情報学／計算機システム、データベース、システムソフトウェア、データベース、ビッグデータ、クラウドコンピューティング			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31529	水 3	「デジタルマニュファクチャリング入門」	杉田 直彦	工学部
授業の目標・概要	・ものづくりで必須となる、解析ツール Matlab, CAD/CAM ツール Fusion360 をマスターする。 ・解析, CAD を通してイメージしたものを図面にし, 3D プリンタを用いて形にする。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	ものづくり型、機械工学、生産工学、Matlab、Fusion360、3D プリンタ			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編			
	出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31530	水 3	マテリアルズ・インフォマティクスによる 2050 年の鉄鋼材料開発	白岩 隆行	工学部
授業の目標・概要	授業のキーワード「鉄」は3000年に渡り、私たちの生活と社会を支えてきました。自動車、鉄道、建物など身の回りの多くの製品には鋼材が使われています。世界最長の吊り橋の明石海峡大橋、東京スカイツリーなどのランドマークも鋼材により作られています。これから先も、鋼材が私たちの社会の基盤材料であることは間違いありません。本授業では、機械学習を用いたマテリアルズ・インフォマティクス（MI）による鉄鋼材料開発の体験と、マテリアルフロー分析を用いた2050年までの世界の鉄鋼需要の予測を実施します。 マテリアルフロー分析では、日本および世界の過去（1950-2015 年）の様々なデータ（人口、経済発展（GDP/人）、粗鋼生産量、鋼材の用途別消費量、製品の寿命など）を解析し、鋼材消費量がどのような因子と相関があるかデータ解析を行います。そして、相関解析から得た知見を基に、2050 年までの世界の鉄鋼需要の予測を行います。 また近年、機械学習を用いて材料開発を加速する技術として、マテリアルズ・インフォマティクス（MI）が注目されています。授業の後半では、材料データについて機械学習することで材料特性（疲労強度など）の予測を行います。機械学習による鉄鋼材料開発を体験することで、MI の利点や限界を学習することを目標とします。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	データ解析、マテリアル工学・産業エコロジー、将来需要推計、環境制約、マテリアルズ・インフォマティクス、機械学習			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編			
	出版社 東京大学出版会			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31531	水 3	世の中を変えた物理、変える物理	長谷川 修司	理学部
授業の目標・概要		本ゼミでは、調査研究やグループ討論、プレゼン、相互批評などを通して、一つのテーマについて、自分自身で調査のやり方や方向性を決め、能動的に情報を集め、体系化してプレゼンおよび論文（レポート）にまとめあげるという体験をする。テーマとしては、物理学（とその周辺分野）における歴史的な発見や発明、あるいは将来大きな影響力を持つと考えられる物理学に関するトピックスの一つを選び、その内容を調べるだけでなく、それがその後どう展開され、現代社会や未来社会にどう繋がっているのか、われわれの認識や考え方、生活のしかたをどう変えた（る）のか、などを深堀する。テーマの設定や調査研究の進め方などは、グループディスカッションを通して自立的に設定する。プレゼンはグループで行うが、最終的には、各個人のそれぞれのテーマに関して論文形式のレポートにまとめる。その作業過程で、プレゼンテーションや相互批評（ピアレビュー）などを行い、コミュニケーションスキルを高めるとともに最終レポートのブラッシュアップに役立てる。 議論のきっかけとして、最初に、すべてのノーベル物理学賞と関連するノーベル賞の一覧表を提供するが、それにとらわれず、自由にテーマを選んでよい。また、発明や発見の内容を学術的に正確に記述することにとらわれず、その発明や発見の意義を広く理解してもらえらる表現や議論を重視して進める。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード 教科書 ガイダンス		ゼミ形式、物理学、ノーベル賞、科学史、科学と社会 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31532	水 3	生命を分子・情報から読み解く	飯野 雄一	理学部
授業の目標・概要		<オンラインでの実施> 2008年のノーベル化学賞の対象となったのは下村脩博士らによる緑色蛍光蛋白質（GFP）の発見とその応用であった。緑色蛍光蛋白質は生物学や医学の研究を塗り替え、いろいろな生命現象を目の当たりに見ることができるようになった。本ゼミナールでは緑色蛍光蛋白質がどう見つかりどう使われているか、実際の観察を交えながら学習し、今後どういう可能性があるかについて各グループで調べながら考察する。さらに、生命現象を支える分子についての理解をふまえ、ゲノミクス、バイオインフォマティクス、システム生物学などそれらの全体像を捉える生物情報科学分野の近年の進展とその社会との接点（合成生物学、個人ゲノム解析、遺伝子検査など）に関して考察する。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		問題発見・解決型、生物学／分子生物学、生物学／生物情報科学、生命現象のしくみ、蛍光蛋白質(GFP)、授業のキーワード3、授業のキーワード4		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31533	金 4	疾患克服を目指した医科学研究の実際 ー疾患の分子病態から予防、診断、治療法を考えるー	中井 謙太、西山 敦哉	医科学研究所
授業の目標・概要		がん・アレルギー疾患・感染症・神経疾患をはじめとする難病を克服し、健康で長生きできる社会を実現するには、疾病の原因となる分子や遺伝子を同定して、その異常を解明するとともに、得られた解析データから新しい予防・診断・治療法の開発へと発展させていく必要があります。私達の医科学研究所では、膨大な患者サンプル等を使用した実験的基礎医学研究から、AI やスパコンを駆使する最先端の手法を用いたゲノムデータ解析、そしてヒト人工多能性幹細胞（iPS 細胞）を用いた再生医療など、基礎から応用までを包括的に統合する体制で医科学研究を推進しています。 本ゼミナールでは、今年度はがん、再生医学を主たるテーマとし、その発症メカニズムや最新の研究手法に関する知識を学ぶことで、医科学研究の実際を体験してもらいます。まず（１）遺伝情報の多様性と疾患の関わりについての理解を深めるとともに、（２）ゲノム情報をもとにがんの特性を理解し、治療法を探索する最新の研究手法について学んでいただきます。さらに、（３）現代医科学のもう一つの代表的な研究分野である、幹細胞と再生医療を題材として、昨今の先端医療開発について、皆さんと考察していきます。その過程で、現代の多様な医科学研究において、いかに DNA やゲノム情報が基盤になっているかを実感していただくとともに、研究に必要な学術的スキル（問題発見、調査、グループワーク、プレゼンテーションなど）の習得を目指します。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		問題発見・解決型、医科学、がん、ゲノム解析、幹細胞、再生医学		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31534	金 4	社会のためのロボティクス	山下 淳	工学部
授業の目標・概要	(授業の紹介資料) http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2021/society/guidance.pdf (授業の概要) 医療・福祉・生産から極限環境調査や災害対応まで、さまざまな現場でロボット技術 (Robot Technology) が活用されています。 本授業では、ロボットについて初めて学ぶ学生のために、世界の第一線で活躍中のロボット研究のトップランナーたちが、社会とロボットの関わり、社会のための最先端ロボット技術について解説します。また、文献調査、グループ討論、プレゼンテーション実習などを行い、社会のためのロボット技術に関する理解を深め、ロボットの役割について考えます。ロボット実習では、実際のロボット技術に触れ、最新のロボットについて学習します。更に、これらの体験を通じて学習した内容に関してプレゼンテーションやグループ討論を行い、科学技術に関するコミュニケーション能力の向上を図ります。 ロボティクスは、精密工学、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学、人工知能などの幅広い内容を含む総合的な学問です。 授業を通じてロボットに関する基礎知識を身に付け、ロボット研究の奥深さや面白さを感じとって下さい。また、社会とロボットの関わりについて、考えてみて下さい。 本授業はきっかけを与える入口です。自分から積極的に情報収集をすることにより、ロボットに対する理解と興味が更に深まることでしょう。 (授業の目的) ・社会のためのロボット技術に関する理解を深め、最先端ロボット技術に関する知識を身につけます。 ・ロボット実習の結果を解析し、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に考察する力を身につけます。 ・自分の考えを他人に分かりやすく伝える科学技術プレゼンテーション能力と、他人とディスカッションを行うコミュニケーション能力の基礎を身につけます。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決・実験データ解析型、工学・情報科学／ロボティクス、ロボット技術、ロボットと社会・人間、ロボットと医療・福祉、ロボットとサービス			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31535	金 4	数学・物理をプログラミングで考える	山崎 俊彦	工学部
授業の目標・概要	今年の講義資料および昨年までの講義の様子は以下の URL を参照 http://www.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tau/lecture/programming_math_physics/ コンピュータ（プログラミング）を使って、数学や物理の問題、実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます。そうすることを通してプログラミング、数学、物理を学ぶとともに、それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します。 実際の問題をいくつか、例・テンプレートとして提示し、グループに別れて解法や、問題の発展形や一般化などについて議論します。それと並行して、プログラミングの基本について、演習します。最後に、お互いが解いた問題について発表しあう、発表会を行います。途中でも、グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため、適宜ミニ発表会を行います。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	プログラミング、Python、微分方程式、シミュレーション			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31536	金 4	電子回路で学ぶモデリング手法	三田 吉郎	工学部
授業の目標・概要		本ゼミでは、凡そ理科を志す者にとって必須のスキルとなる「未知の現象を正確に観察、定量化し、モデルを立てて振舞いを理解する」作業を、具体的な電子回路を例にとってわかりやすく学習し、身に付けることを目的とする。 本講義では、学生の理解の進捗を注意深く観察し、講義・演習の長短を含め柔軟に対応する。対面を基本としつつ、突発的な事情に対応できるよう配慮した講義設計とする。 学習する回路の例: (0)実験設備製作体験 (1)線型な回路、非線形な回路(スケールの議論) (2)振動する現象 I(定常状態) (3)振動する現象 II(過渡的応答) (4)能動素子の考え方 (5)増幅回路 (6)発振回路 (7)変調復調回路(AM 送受信機) (8)その他の素子(MEMS 等) 身に付けらるスキルの例: (あ)現象を数式で表現して理解する手法 (い)スケール(ログ、リニア)を変えた特性の評価 (う)周波数領域での事象の理解 (え)時間領域での事象の理解と周波数との関連性 (お)線形化による見通しのよい特性理解 (か)電気系で使用する様々な器具に触れる(テスタ、オシロスコープなど)		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		講義と演習、工学／実験による現象理解、電子回路、線形回路、非線形回路、線形化		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook		
		書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科		
		著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編		
		出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31537	金 4	化学は人類がかかえる課題をどう解決できるか？～	野崎 京子	工学部
授業の目標・概要		「分子」は化学物質の基本的な構成単位であり、われわれの生活において中心的な役割を担っています。あらゆる現象を「化学」の視点から眺め理解することは、我々自身や社会を深く知る上で欠かすことができません。わたしたちは「化学」の力を使って、自らの創造力を「分子」をデザインすることにより具現化することができます。それによって生命現象の理解や病気の治療法を考案したり、自然界にはない新たな機能を持つ分子や素材を生みだしたりすることが可能となります。 本ゼミナールでは、機能性分子や機能素材・生命現象などに焦点を当て、様々な課題を解決するために、化学や分子の視点からどのようにアプローチし、どのようにアイデアを具現化するかにについて、文献調査やディスカッションを通じて主体的に考え、オリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。 具体的には、現在人類がかかえる課題(環境・資源・エネルギー問題など)を化学の力で解決する分子・手法のデザインに挑戦します。われわれがどのような問題に直面し、化学がどのようにそれらに立ち向かっていけるのか、考えてみましょう。現在までにどのようなアプローチで研究がなされてきたのか調べるなかで、自分のアイデアを提案していきます。各自のアイデアをグループ内で議論し、発表を行います。世界を救う、自分たちだけの化学を創りましょう。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		問題発見・解決型、区分：化学、CO ₂ 、分子変換、環境低負荷、化学/生命科学・有機化学		
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time		
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31538	金 4	多様化する食の安全性について考えてみよう	山内 祥生	農学部
授業の目標・概要		“You are what you eat”と言われるように、我々は食べたものから成り立っていると言っても過言ではなく、食事は我々の健康・不健康を決定する重要な因子となっている。先進国では飽食の時代を迎え、食による健康問題が顕在化している。例えば、先進国では糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病の罹患者が非常に多いが、多くの場合、食生活を改善することで未然に防ぐことが可能である。食による生活習慣病予防効果を期待する「保健機能食品」の開発も活発に行われている。また、わが国はすでに超高齢社会に突入しており、2020 年度の高齢化率は 28.7%に達している。今後数十年にわたり高齢化はさらに進行することが予想されている。一方で、平均寿命と健康寿命には 10 年程度の隔たりがあり、10 年程度は要介護の状態を過ごすのがわが国の現状である。「人生 100 年時代」が叫ばれており、健康寿命の延伸が極めて重要な課題となっている。医療費ならびに介護費用が増加するなか、薬（だけ）に頼らない「食」による生活習慣病の予防や健康維持は、個人レベルでも国家レベルでも重要となっている。 一方、世界に目を向けると、世界規模での爆発的な人口増加が予想されており、世界的な食糧不足が危惧されている。したがって、より効率的に食料を生産するための技術開発がますます重要となっており、食料生産技術の革新も活発に展開されている。そのような技術開発の中には、遺伝子組み換えやゲノム編集などの最新の技術が含まれている。これらの技術は、人類に、そして食の安全にどのような影響を与えるだろうか？ 以上のように、「食」は人類の生存、そして健康に生きていく上で必要不可欠な存在です。食品や食料生産の専門家が担当する本初年次ゼミでは、「食」をメインテーマに、「食と健康」や「食の安全生」についてトピックごとに考えていきます。講義の中では、関連する資料に基づいてグループディスカッションを行い、討議を通じて問題の理解と課題解決への道筋を探っていきます。 なお、本授業は、基本的にはオンラインにて実施する予定ですが、対面授業も 2～3 回程度行うことを予定しています（対面授業予定回：第 3 週、第 13 週、あと 1 回程度）。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		問題発見・解決型、農学、食、健康、科学プレゼンテーション、ディスカッション		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
ガイダンス		書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31539	金 4	地球環境と生命史	池田 昌之	理学部
授業の目標・概要		この授業では、地球史を通じた地球の表層における物質の循環プロセスと、その生物との関わりの相互作用、進化について学習します。地球表層は、大気・海洋・土壌など性質の異なるシステムから構成され、物質循環の挙動はシステムごとに特徴があり、扱う時間スケールによっても変わります。これら環境中の物質循環および生態系に関するトピックとして、環境汚染・環境変動、生物多様性変動などを題材にグループワークを実施し、環境動態や生態系の応答、環境と生態系の相互作用とその進化などに対する異なる視点を共有します。その後、文献調査・データ解析を通して問題解決法について洞察します。授業を通じ、以下の目標を達成します。 ・地球環境における物質循環要素を理解できるようになる。 ・環境・生態系を対象にした基礎的なデータ解析ができるようになる。 ・環境変動に対する理学的視点を身につける		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		化石、地球環境、生態系、物質循環、生物多様性、問題発見・解決型、グループワーク、授業のキーワード 2、授業のキーワード 3、授業のキーワード 4		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		
31540	金 4	薬学を支える生物学の役割と貢献	名黒 功	薬学部
授業の目標・概要		（授業の背景） 薬学部では、生命現象の理解を究めつつ、最終的なアウトプットとして創薬を視野に入れた研究を行っています。生命現象を深く理解するためには、生物を構成する最小単位である細胞のことを詳しく知る必要があります。そして細胞のことを詳しく知る方法として正常な細胞と正常でない細胞を比較し、その違いがどこから生じているのか調べることはとても有効な手段です。数多ある病気の原因は各々ですが、究極的には特定の細胞の機能異常が病気を引き起こしているとみなすことができます。これはすなわち病気の原因を探ることが正常な細胞の本来あるべき姿を知る手がかりにもなることを意味します。 （授業の目標） このゼミナールでは創薬の対象となりうる各種の病気やその発症原因について学習しながら、正常な細胞の姿の一端を知ることとを目的とします。さらにそれらの疾患を治療するためにはどのような戦略を取り、どのような創薬ストラタジーがあるかということグループで考え、プレゼンテーションも行います。これらの作業を通じて文献やデータベースの探索方法、論文読解、グループディスカッションの仕方、わかりやすいスライドの作成・発表方法などの習得も目指します。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		論文読解型、問題発見・解決型、生物学/薬学、細胞生物学、分子生物学、創薬、グループワーク		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31541	金 4	外科学入門- Art と Science の融合	赤松 延久	医学部
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	医学入門として、理系の学生の方々に、臨床医学と医療の実際に触れていただく。 特になし 医学、外科学、臓器移植、肝胆膵外科学、腹腔鏡手術、ロボット手術 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30550	S	法I	郭 舜	法・政治	火 5	1 年 文二 2 年 文二
講義題目 授業の目標概要	法の世界の見取り図 授業の目標 ・法とは何か、法とはいかにあるべきかについて自分の理解を示すことができる。 ・法学における基本概念を正確に説明できる。 ・社会における具体的な問題を法の枠組みに当てはめて分析できる。 授業の概要 生活する上で、法を意識することはあまり多くないかもしれない。しかし、法は我々の社会生活を隅々まで規律している。道を歩いているときも、店でおにぎりを買うときも、授業を受けているときも、法から逃れることはできない。その一方で、法は見ることも触ることもできない。では、法によって我々の行動が支配されているというのはどのような意味なのだろうか。そして、法によって我々の行動が支配されることで、何が目指されているのだろうか。法の広がりや法学において用いられる基本概念を踏まえながら、法というものを捉える手がかりを見出していくことがこの授業の目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30587	S	法I	弥永 真生	法・政治	水 1	1 年 文三 2 年 文三
講義題目 授業の目標概要	社会における法の役割 主として社会・ビジネスにおいて、法がどのような役割を果たしているのかについて、ニュース記事などを題材にして、解説を加える。そのプロセスにおいて、法律学〔主として、私人間の関係を規律する私法〕の基本的知識を併せて理解していただくことを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30588	S	法I	小粥 太郎	法・政治	水 1	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要	裁判・立法・法学 裁判、立法、法学研究など、法にかかわる人間の営みの一端を知る。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30168	S	政治I	内山 融	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要	政治学の基礎概念と基礎理論 政治学の概念や理論は、政治を認識する際の有益な道具である。本講義では、政治学の基礎的な概念や理論を学ぶことにより、政治現象を見る際の「目」を養うことを目的とする。「政治」、「権力」、「デモクラシー」といった基本的な概念や、それらに関する理論について、できるだけ具体的な事例も交えつつ解説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30169	S	政治I	鹿毛 利枝子	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	比較政治学入門 政治学の基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30170	S	経済I	岡地 迪尚	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	経済学基礎 ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎的な部分を取り扱う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30551	S	経済I	中西 徹	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		経済I：発展途上国における経済と社会 発展途上国の社会経済を対象として経済学の分析が有する意義と限界について検討します。 開発政策の原理とその歴史，および貧困層の経済行動を検討することによって，発展途上国の社会変動についての理解を深めると同時に，これを補完ないしは代替する地域研究の役割について理解することを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30171	S	社会I	橋本 摂子	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		近代社会と官僚制 この講義では「社会とは何か」という社会学における根源的な問いから、官僚制をキータームにわれわれの生きる近代社会特有の諸問題を把握する。特に官僚制の極限事象とみなされる全体主義とホロコースト、その後のアイヒマン裁判および裁判をめぐる論争を学び、現代に通底する問題構成を理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30552	S	社会I	市野川 容孝	社会・社会思想史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		社会学入門 社会（科）学が誕生した経緯を歴史的にふりかえりつつ、社会学の基礎概念・基礎理論を学習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30553	S	数学I	山本 昌宏	数学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学I 文理科向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30589	S	数学I	足助 太郎	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学I 文理科向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、順序は異なることがある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30590	S	数学I	新井 敏康	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学I 文理科向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30554	S	数学II	志甫 淳	数学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学II 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30591	S	数学II	林 修平	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学II 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる。				

基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30172	S	哲学I	鈴木 貴之	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の根本問題から哲学とは何かを考える 哲学の根本問題の多くは、古代ギリシア時代から論じ続けられているものです。しかし、哲学という学問には、その時代から大きな進歩がないようにも見えます。このことは、哲学の問いは無意味な問いであることや、それらは別の方法で探究した方がよいことを示唆しているのでしょうか。そうではないかもしれません。哲学の根本問題は、われわれが当然成り立つと考えている一連の事柄がじつは両立不可能だということや、一見説明できてあたりまえの事柄にじつはきちんとした説明を与えることができないことを明らかにするものだからです。哲学の根本問題は、われわれの常識的なものの見方には重大な問題が潜んでいることを示しているのかもしれないです。 この授業では、哲学の根本問題のいくつかを題材として、哲学とはどのような学問なのか、哲学の問題は他の学問が扱う問題とどのように異なるのか、哲学の問題に正解はあるのか、といったことについて考えていきます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30592	S	哲学I	古荘 真敬	哲学・科学史	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の根本的問い わたしたちの誰もが一度は向き合わざるをえないであろう「哲学の根本的問い」の幾つかについての考察を展開していきながら、関連する哲学史上の古典的テキストを紹介し、受講生の皆さんの今後の哲学的思索の厚みが増すようにお手伝いしたい。 考察の出発点は、わたしたちの日常生活である。まずは、各々の「わたし」が、生活の現場において遭遇するさまざまな問題に対処しながら生きる日常の基本構造を振り返ってみよう。そのうえで、「知の根拠」「行為と自由」「人格と倫理」「真理と価値」「生の意味」といった事柄をめぐる哲学の基本的な問いを、具体的に展開していきたい。 実のところ、「哲学」とは、何ら特別なものではない。わたしたちは、さまざまな問題に忙しく対処しながら生きる日常のなか、ふと立ち止まり、「いったい自分たちは何をやっているのだろうか？ こうしたことはいったい何を意味しているだろうか？」と問い直さざるをえなくなることがあるのではないか。わたしたちは、走ってばかりはいられない。走るにしても、走ることを意味を問わざるをえない。その問いとともに始まるのが、急ぎ足で前進することとは異質な「哲学」の時間なのである。この営みには、人間の歴史と同じくらい古い歴史がある。人間は、人間であるかぎり哲学する。 さあ、君も立ち止まって考えよう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30555	S	倫理I	阿部 善彦	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	よく生きるとはどういうことか。 《人間探求 自己探求としての倫理、そして、他者とともにこの世界で生きるための倫理の探求》 「よく生きるとはどういうことか。」 これは個人の生き方の問題であり、個人的で私的なものとしてひそやかに論じられるべき問題だろうか。それとも、社会において、また、公の場面において、広く論じられるべき問題だろうか。 人間が他者とのかかわりの中に生活するものであるとすれば、他者との関係をぬきにして、よく生きるという問題を考えてとは現実的ではないだろう。もっとも小さい人間関係を想定するとしても、この世に生をうけて、よく生きる、について問うている「わたし」がそこに存在している以上、その問いを立てている「わたし」をそこまではぐくんだ人たちがとのかかわりを抜きにして「わたし」を考えるのはあまりにも空疎ではないだろうか。（またその「わたし」は、永遠不変というよりも、幼子でありまた青年、壮年、老年期を迎えるであろううつろいゆく存在であることも考えに入れておくべきだろう）。 もちろん、「XX とは何か」「XX とはどういうことか」という問いを立てるならば、思惟はおのずから抽象度を高めてゆくだろうし、そのことによって、普遍性を得ていくことにもなる。 また、よく生きることへの問いを、よく生きるための方法論の解明に向けて探求するということもありえる。その場合、よく生きるとはどういうことか、という問いは、どうしたらよく生きることができるのか、という問いにも言い換えられるだろう。そのようにして、よく生きるための技法も問われるだろう。 人間の生が目的や意味の認識に基づいて意志的にかたちづくられるものであれば、なおさら、なぜ、何のためという問いとともに、どのように、いかにして、という問いも必要となるだろう。 （しかし、同時に、人間の生がそのように認識や意志によって形成されるものに尽きるのかどうか、ということも改めて問い直さねばならないだろう。つまり、人間が理性的・意志的な主体であるという設定や、それにもとづく自由や幸福についての考えなどがいかほどのものであるのか、その起源・源流を含めて、改めて問い直さねばならないだろう。） また、そうした問いの数々のさきに、いかなる答えがあるのだろうか。それは個人的なものなのか、それとも、個人的なものを超える普遍性や客観性をもつものなのか。後者でないならば人間共同体はなにをもってよい生き方やよい社会の秩序を構成できるのだろうか。また後者であるならば個人の自由な発想や選択の余地は確固とした普遍的なもの、客観的なもののなかでどのようにみとめられるのだろうか。 この授業ではこうした諸問題を念頭に置きつつ、さまざまなテキストを手がかりにしながら、人間が生きるための根本問題を探求する。それは一方では、わたしがいかに生きるべきか、わたしが生きる意味は何か、という人間探求、自己探求という形をとり、そこから幸福や自由が課題として浮かび上がる。他方、わたしが生きるのは、いまここにおいて、であり、それは過去から未来とのつながり、また、そこにとも生きる人々とのつながりから切り離し得ない以上、他者とともにともにこの世界で生きるとはいかなることか、という探求も必要となる。そこから、他者、自然、生命、世界、正義、愛、人間の尊厳という課題が浮かび上がる。そうした探求の手がかりとなるテキストをともに読み、対話によって互いの理解を共有しながら、自らの考えと言葉を深めてゆく。そのために思考停止せずに考え続けることが重視される。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30173	S	歴史I	田中 創	歴史学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	ローマ帝国とローマ法の歴史 共和政から帝政へと変容し、さまざまな問題に直面した古代ローマ帝国がどのような法制度を発達させて、現実社会に適応したのかを通覧する。その中で、現代社会にまで影響を及ぼしたローマ法が発達した歴史的・文化的背景についての理解を深めることを目標とする。 授業では古代ローマの歴史を講義形式で概観する一方で、いくつかの史料翻訳を具体的に取り上げながら、それぞれの時期の国制や統治領域の変化に応じて発達した法制度の諸相を考えていきたい。 本講義は、法律上の概念や政治思想を論じるものではなく、主として所与の史資料がどのように我々のもに残されたかを考察することで、史料の扱い方に関する基本的姿勢を身につけることを目的とする。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30174	S	歴史I	岡田 泰平	歴史学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		東南アジア史概論 本授業では、東南アジア史を古代から 21 世紀まで、包括的に理解することを目指します。 簡単にこの地域の歴史を述べるにしても、以下のように煩雑です。東南アジアは、中国とインドの影響を受け続けた地域であり、大きくは大陸部と島嶼部に分けられます。15 世紀～17 世紀の「交易の時代」には商業的な交易が盛んになり、大陸部では影響領域がぼんやりと表れる近世国家が成立し始めます。島嶼部には港市国家が成立します。18 世紀には大陸部ではビルマ人らしさ、ベトナム人らしさ、タイ人らしさを備えた国家が出来上がり、島嶼部ではオランダやスペインによる領域支配が徐々に確立していきます。また「華人の世紀」とも呼ばれ、華人が東南アジア各地に進出していきます。19 世紀から 20 世紀にかけての近代では大陸部の民族国家がより統合されていくものの、西洋列強の領域支配も進んでいきます。また、島嶼部では、18 世紀には終焉を迎えた東インド会社体制に代わり、オランダによるより直接的な侵略が強まります。その結果、19 世紀／20 世紀の世紀転換期には、東南アジア全域は、タイを除いて、西洋列強の植民地となり、その結果、国境が定められていきます。20 世紀前半には、オランダ、イギリス、フランス、アメリカによる植民地支配体制がそれぞれに異なる植民地文化と抵抗の形に結びついていきます。1940 年代の日本の侵略と敗北の中で、異なる条件の下で独立を果たしていきます。冷戦期には、資本主義と共産主義の間で、単純に二項には分けられない様々な国家体制へと展開します。 何がこの地域の歴史を煩雑にするかという点、人々の移動や相互の影響、異なる西洋列強による支配、伝統的な統一王朝の有無など、民族や王朝の連続を中心とした歴史が極めて語りづらいことにあります。このような中で東南アジア史の語り方はおおむね二つです。一つ目は、人やモノの交流史として論じる方法で、二つ目は、現代を中心に論じ、それ以前は背景として説明する方法です。前者の場合、様々な小地域で起きる異なる動きを追うことはあまりにも多様であり、全体像を把握するのが難しいという問題が生じます。後者の場合、過度に社会科学的方法に頼りすぎ、東南アジアの固有性は見えにくいという難点があります。これらのアプローチとは異なり、本授業では各時代の東南アジアが、全体として、どのような特徴を持つのかという点を理解するように努めます。 授業の内容はなるべく以下の H P にアップするようにします。 https://taiheikokada.com/ 授業内容=>2021 年 S セメスター歴史 I 「東南アジア史概論」				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30556	S	歴史I	長谷川 まゆ帆	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		近世フランス史概論——啓蒙の遺産—— この授業では、近世期フランスの社会と文化の特質を広く多面的に概観し、現在を時間のなかでとらえる視点や思考法を学んでいきます。具体的には、地理、言語、宗教や土地制度、司法行政システム、軍隊や教育、家族や子育て、人口と移民、医療や出版、食糧など多岐にわたりますが、これらをこの時期に確立されていく統治システムとも関連させながらみていきます。それによって、この数百年の社会形成の実態を学ぶとともに、とりわけ革命へと至る啓蒙期(18 世紀)に、人と人との関わりや感じ考える仕方が、どのように組み替えられ、変化しつつあったかを考えていきます。 近世期のフランス社会は二重の意味で異文化ですが、その歴史を学ぶことにより現在との対話が可能になります。いまある世界の自明性から少しだけ距離をおき、過去の社会の政治や文化についてじっくり考えてみることで、現在の社会をみる目も広がっていくでしょう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30593	S	歴史II	桜井 英治	歴史学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		日本の中世社会 現代歴史学の流れは、1970 年代前半までの戦後歴史学の時代、70 年代後半から 80 年代の社会史の時代を経て、現在はさしずめグローバル・ヒストリーの時代にあるといえようか。この間に日本中世史研究も関心や視点、方法等をさまざまに変化させてきたが、大きくいえば、日本の中世社会を分裂的、多元的な社会とみる学説と統合的な社会とみる学説を両極として、その間を揺れ動いてきたように見える。この授業ではこれまでの研究成果や論争史をふまえながら、日本の中世社会の特質を日本史全体の流れのなかで、あるいは東アジア諸地域との比較において整理・究明するとともに、今後の研究の進むべき方向性についても模索してみたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30594	S	ことばと文学I	大関 洋平	英語	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		言語の認知科学 人間言語は、心・脳に内在する「文法」という言語知識によって特徴づけられ、その言語知識を介して言語処理が実現されている。この意味で、言語学は認知科学の一分野なのである。本授業では、認知科学としての言語学の性質を確認した後で、音の文法（音韻論）、語の文法（形態論）、文の文法（統語論）、意味の文法（意味論）を対象として、言語知識（理論言語学）および人間の言語処理（心理・神経言語学）・機械の言語処理（自然言語処理）の観点から概観する。また、言語知識が、子供によってどのように獲得されるか（言語獲得）、人間においてどのように進化したか（言語進化）の議論を通して、言語の普遍性と多様性を探求する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30557	S	ことばと文学II	沖本 幸子	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		今様のことば・心・民俗-『梁塵秘抄』の世界 中世初期、庶民から天皇にまで愛された流行歌、今様。今様狂いの帝王後白河院は喉をつぶすまで今様を歌い続け、今様のプロの女性歌手である、傀儡子乙前を師と仰ぎ、歌詞集『梁塵秘抄』10 冊と、芸論書『梁塵秘抄口伝集』10 冊、計 20 冊に及ぶ書物にまとめました。 なぜ、これほどまでに今様は、後白河院をはじめ、当時の人々の心をとらえたのでしょうか。その一首一首の歌詞には、当時の人々の恋や信仰、流行などの習俗や、さまざまな職人の姿などなど、院政期という時代と人々が生き生きと映し出されています。そうした今様の言葉と歴史をひもときながら、そこから見えてくる当時の人々の心や習俗に迫っていきたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30175	S	ことばと文学III	村上 克尚	国文・漢文学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		文学理論から考える「ことばと文学」 文学作品は、ことばの諸機能を活用し、様々なレベルで複雑に組み上げられている構造物です。この授業では、文学とは何か、どのように読めばよいのかという大きなテーマを立てたうえで、ことばと文学が結ぶ関係について考察を進めたいと思います。前半では、文学理論と呼ばれるものを参照しつつ、ことば、語り手、物語の三つに注目して読む方法を学んでいきます。後半では、日本の現代文学から三つの短編小説を選び、作家や時代背景といった情報も踏まえ、実際に作品を分析してみます。文学研究の様々なメソッドを学ぶことを通じて、ことばと文学の関係について関心や理解を深めることを、この授業の目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30176	S	心理I	四本 裕子	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 ヒトや動物の心や行動を対象とする心理学は、その科学的測定の特しさゆえ、誤った理解や理論が社会に広がることも多い。心理学は、人間の心と行動の理解を目指す歴史ある学問であるが、心理学における研究手法は、科学技術の発達とともに常に変容しつづけている。本講義では、これまでの心理学実験の例やそこから導きだされた理論を学ぶことにより、心理学の基礎を学術的に理解することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30558	S	心理I	田谷 修一郎	心理・教育学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 誰も「心とはこういうものだ」という素朴な信念を持っているだろう。しかしそうした内省が、我々のものの見方の持つバイアス（歪み）の影響を逃れることは難しい。心理学とは科学的な手続きによってこのバイアスを回避し「心」の仕組みについて普遍性のある説明を与えることを目指す学問である。本講義ではまず「心理学の成り立ち」について触れ「心」を測定することの難しさと、その困難を先人たちがどのように乗り越えようとしてきたかを学ぶ。その上で、過去の研究から導かれる「人の心の基本的な仕組み及び働き」についてデモンストレーションや模擬実験を交えながら解説していく。単に現象や理論について知るだけでなく、研究の手続きについても学ぶことで、心理学の可能性と現時点における限界の双方について考えることのできる講義を目指す。				

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ		開講区分	S 1 / S 2
授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。		
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週 1 回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと。 【関連ホームページ】 ◆基礎実験（物理学）： http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/kisobutsurigakujikken/ ◆基礎実験（化学）： http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html		
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、後片付け、提出物（物理学実験は実験ノート、化学実験は実験報告書）で評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基礎実験（物理学）は『基礎物理学実験』（学術図書出版社）、基礎実験（化学）は『基礎化学実験』（東京化学同人） その他 教科書は駒場生協で入手可能である。		
履修上の注意	◆初回授業日に行う基礎実験Ⅲのガイダンスには必ず出席すること。 ◆基礎実験Ⅲ・Ⅳ（化学）については、受講形式をオンラインから対面に変更することはできない。 【基礎実験Ⅳの履修について】 ◆S2に開講される基礎実験Ⅳは、履修者数の状況によっては開講曜日の変更が行われる。その際には再度希望日の選択が可能である。 ◆履修登録方法などの詳細は、基礎実験Ⅲのガイダンスで周知する。		
※講義の詳細については、UTASを参照すること			

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30112	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30442	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30733	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
30941	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31145	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
30113	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30443	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30734	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
30942	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31146	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
40014	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40041	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40105	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40115	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40131	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40015	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40042	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40106	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40116	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40132	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一

基礎生命科学実験・生命科学実験

基礎生命科学実験・生命科学実験	開講区分	S 1 / S 2
授業の目標・概要	本実習は、手を動かし、観察する等、「実際に体験すること」を重視しているため、可能な限り対面で実習を行う。少人数化・換気・手洗いの励行等の感染症対策を十分に行うが、感染状況により臨機応変に対応することとする。一部の実習内容（オンライン）では、本格的な実験器具を用いるなどの要素が乏しくなるが、オンラインならではの、追体験可能な課題を提供することで、生命現象の解明に必要な能力を身につけることを目指していく。また実物を用いることが難しい種目については、動画共有サイトにある動画を用いながら、教員が用意した実験結果をもとに、結果をどう解釈し、考察するかという科学的な探究能力が向上するような課題を設定し、実際の研究過程を模した課題に取り組んでもらう。 対面・オンライン授業の両側面の良さを活かして、サイエンスの基本的な考え方を身に着ける機会となり得ると考えている。	
授業の方法	-- 授業の目標 1) 基礎講義の内容を深く理解する 2) 未知の生命現象の解明に必要な観察力、データ解析能力、考察能力を養う 3) 実験方法の原理を理解する。 課題の配布・レポートの提出は基本的に ITC-LMS を用いる予定である。 なおガイダンス日や各実験種目の課題公開日、レポートの締切日は、本実習のウェブサイト（実験補遺）に掲載する予定である。 【用意するもの】 教科書「基礎生命科学実験 第3版」（東京大学出版会）を入手すること。参考とする動画は教科書に付与されるアカウントを使って、東大出版会 HP より参照できる。 実験補遺（本実験のウェブサイトよりダウンロードすること） 定規（筆箱に入る程度のサイズ） 鉛筆・シャープペン スケッチを行う場合には A5 ケント紙（生協で入手可）を用いることが望ましい。 実験 15 で保護メガネと白衣の着用を義務付けるため用意しておくこと。 【場所】 基礎生命科学実験：21KOMCEE EAST3 階 生命科学実験室(対面) あるいは ITC-LMS でオンライン授業 生命科学実験：21KOMCEE EAST3 階 生命科学実験室(対面) 【グループ分けと日程】 基礎生命科学実験はグループに分かれて行う。実施日程は、21 KOMCEE EAST 3 階ホワイトボードおよびウェブサイト（ http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/ ）に 3 月中旬頃までに公示する。グループ分けは 4 月 7 日に ITC-LMS 上で公開する。 文科の履修希望者は 4 月 5 日までに ITC-LMS に登録しておくこと。また 4/13 までに実習サイトに提示したフォームで受講希望曜日を連絡すること。 生命科学実験の部屋割りや座席名簿は 21 KOMCEE EAST 3 階 生命科学実験室前ホワイトボードに実習開始前までに提示する。 【実験開始と終了】 13：15 に授業を開始する。実験開始前に、実験の説明・注意等を行う為、遅刻は厳禁である。13：45 以降の遅刻は欠席扱いとする。実習終了後、教員の指示に従って後片付けをしてから、すみやかに退室すること。レポートは ITC-LMS を介して指定の期限内に提出すること。 欠席：体調不良の場合は個別対応をするので、以下の項目を原則当日の 11:00 までに実習サイトトップページにある欠席申請フォームで必ず連絡すること。何らかの事情でフォームが送信できない場合は、メールで連絡すること。（原則、同じ種目のオンライン希望者のようにオンラインで受講できる。） 遅刻：遅刻は減点する。 予習：その場で考察が出来る程度まで、十分に予習をしてくこと。また予習を通じて実験全体の流れを前もって把握しておくことは、事故を回避するためにも重要である。予習してこなかった場合、実験の進行に支障をきたし、他のメンバーにも迷惑をかける可能性があることも十分留意しておくこと。 早退：早退は欠席扱いとなる。 後片付け：後片付けが悪い場合は減点とする。 成績は、出席、レポート、後片付けその他で評価する。レポートは全て剽窃検知ソフトを用いて検査し、他人のレポートの剽窃が発覚した場合は両者ともに該当課題の点数を無効とする。その際、こちらから該当の事例に対する回答は行わない。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基礎生命科学実験 第3版 著者（訳者） 東京大学教養学部・基礎生命科学実験編集委員会 編 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062227-1	
成績評価方法	成績は、出席、レポート、後片付けその他で評価する。レポートは全て剽窃検知ソフトを用いて検査し、他人のレポートの剽窃が発覚した場合は両者ともに該当課題の点数を無効とする。その際、こちらから該当の事例に対する回答は行わない。	
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基礎生命科学実験 第3版 著者（訳者） 東京大学教養学部・基礎生命科学実験編集委員会 編 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062227-1	
履修上の注意	・ S 1 「基礎生命科学実験」の履修を希望する文科生は、4 月 5 日までに ITC-LMS に登録しておくこと。また 4/13 までに下記実習サイトに提示したフォームで受講希望曜日を連絡すること。これに加え教務課に履修認定カード(提出方法は最新の UTAS 情報に従う)を提出のこと。 ・ S 2 「生命科学実験」履修希望者は、S1「基礎生命科学実験」を履修していることを必須とする。火、水、木から希望する受講曜日を選択すること。感染症対策のため、受講者人数を 100 名に限る。希望者が 100 名を超えた場合は基礎生命科学実験（S1）のレポートを評価基準として使う。2 回目の訂正期間に履修を変更する者は、6 月 8 日の S2 ターム開始前までに実習サイトの問合せ先に必ず連絡すること。 ・ 課題提出の際に、スケッチを ITC-LMS にアップロードしてもらうことがある。スキャナであると望ましいが、写真撮影機能が付いたスマートフォン等で撮影したものでも構わない。	
関連ホームページ	http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/	
※講義の詳細については、	UTAS を参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30161	S 1	月 3, 月 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(5-6,9,11)
30450	S 1	火 3, 火 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(10,16,21,24)
30746	S 1	水 3, 水 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(14-15,17-18)
30944	S 1	木 3, 木 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(4,8,19-20,22)
31152	S 1	金 3, 金 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(1-3,7,12-13,23)
40043	S 2	火 3, 火 4	生命科学実験	2 年 理科
40107	S 2	水 3, 水 4	生命科学実験	2 年 理科
40117	S 2	木 3, 木 4	生命科学実験	2 年 理科

数理科学基礎

数理科学基礎		開講区分	S 1
授業の目標・概要		科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。	
成績評価方法		講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなり、それぞれ通しの授業として開講される。本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。	
教科書		主として S1 ターム末に行われる定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。	
関連ホームページ		授業中に指示をする。／Will specify at class time https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30003	月 2, 水 1	辻 雄、植野 義明	1 年 理二三(1-7)
30004	月 2, 水 1	高木 俊輔、関口 英子	1 年 理二三(8-10)
30005	月 2, 水 1	田中 公、小林 正典	1 年 理二三(11-13)
30006	月 2, 水 1	北山 貴裕、畑 宏明	1 年 理二三(14-17)
30007	月 2, 水 1	伊山 修、山浦 義彦	1 年 理二三(18-20)
30008	月 2, 水 1	緒方 芳子、村上 順	1 年 理二三(21-24)
30147	月 4, 木 3	高山 茂晴、相馬 輝彦	1 年 理一(20-23)
30150	月 4, 木 3	金井 雅彦、下川 航也	1 年 理一(24-27)
30153	月 4, 木 3	寺田 至、桐木 紳	1 年 理一(28-31)
30156	月 4, 木 3	吉野 太郎、梶原 健	1 年 理一(32-35)
30157	月 4, 木 3	WILLOX RALPH、山崎 満	1 年 理一(36-39)
30431	火 4, 金 3	河澄 響矢、松田 茂樹	1 年 理一(1,17-19)
30433	火 4, 金 3	白石 潤一、斉藤 義久	1 年 理一(2,4-5,8)
30434	火 4, 金 3	岩木 耕平、戸瀬 信之	1 年 理一(3,11-13)
30435	火 4, 金 3	木田 良才、長井 秀友	1 年 理一(6-7,9-10)
30439	火 4, 金 3	関口 英子、大場 清	1 年 理一(14-16)

微分積分学①

微分積分学①		開講区分	S 2
授業の目標・概要		代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライプニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。 微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームの「微分積分学①」で項目1,2を扱い、Aセメスターの「微分積分学②」で項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法、微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束、広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。	
成績評価方法 教科書 関連ホームページ		主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html	
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
40002	月 2	辻 雄	1 年 理二三(1-7)
40003	月 2	関口 英子	1 年 理二三(8-10)
40004	月 2	田中 公	1 年 理二三(11-13)
40005	月 2	畑 宏明	1 年 理二三(14-17)
40006	月 2	山浦 義彦	1 年 理二三(18-20)
40007	月 2	緒方 芳子	1 年 理二三(21-24)
40016	月 4	高山 茂晴	1 年 理一(20-23)
40017	月 4	金井 雅彦	1 年 理一(24-27)
40018	月 4	桐木 紳	1 年 理一(28-31)
40019	月 4	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
40020	月 4	WILLOX RALPH	1 年 理一(36-39)
40059	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(1,17-19)
40060	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(2,4-5,8)
40061	火 4	岩木 耕平	1 年 理一(3,11-13)
40062	火 4	長井 秀友	1 年 理一(6-7,9-10)
40063	火 4	大場 清	1 年 理一(14-16)

線型代数学①

線型代数学①		開講区分	S 2
授業の目標・概要		線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだ線型代数に関する知識を前提とする。 S2タームの「線型代数学①」で以下の項目1,2を扱い、Aセメスターの「線形代数学②」で項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 1. ベクトル空間、線型写像 2. 生成系、一次独立性、基底 3. 内積 4. 行列式 5. 固有値、固有ベクトル 6. 対称行列の対角化と二次形式	
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。	
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time	
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html	
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
40069	水 1	植野 義明	1 年 理二三(1-7)
40070	水 1	高木 俊輔	1 年 理二三(8-10)
40071	水 1	小林 正典	1 年 理二三(11-13)
40072	水 1	北山 貴裕	1 年 理二三(14-17)
40073	水 1	伊山 修	1 年 理二三(18-20)
40074	水 1	村上 順	1 年 理二三(21-24)
40110	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(20-23)
40111	木 3	下川 航也	1 年 理一(24-27)
40112	木 3	寺田 至	1 年 理一(28-31)
40113	木 3	梶原 健	1 年 理一(32-35)
40114	木 3	山崎 満	1 年 理一(36-39)
40126	金 3	河澄 響矢	1 年 理一(1,17-19)
40127	金 3	白石 潤一	1 年 理一(2,4-5,8)
40128	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(3,11-13)
40129	金 3	木田 良才	1 年 理一(6-7,9-10)
40130	金 3	関口 英子	1 年 理一(14-16)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習					
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。S1 タームの「数理科学基礎演習」は「数理科学基礎」の講義と、S2 タームの「数学基礎理論演習」は「微分積分学①」・「線型代数学①」の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。S1 タームの「数理科学基礎演習」の成績評価は、「数理科学基礎」の成績に演習の平常点などを加味して行う。S2 タームの「数学基礎理論演習」の成績評価は、「微分積分学①」「線型代数学①」の成績 に演習の平常点などを加味して行う。				
成績評価方法	「数理科学基礎」および「微分積分学①」・「線型代数学①」の成績に演習の平常点などを加味して行う。				
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time				
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/				
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
30160	S 1	月 3	数理科学基礎演習	辻 雄、中村 勇哉	1 年 理二三(1-7)
30162	S 1	月 3	数理科学基礎演習	鮑 園園	1 年 理二三(8-10)
30163	S 1	月 3	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
30164	S 1	月 3	数理科学基礎演習	畑 宏明、北山 貴裕	1 年 理二三(14-17)
30165	S 1	月 3	数理科学基礎演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(18-20)
30166	S 1	月 3	数理科学基礎演習	今野 北斗	1 年 理二三(21-24)
30531	S 1	火 5	数理科学基礎演習	田中 雄一郎、中村 勇哉	1 年 理一(1,17-19)
30532	S 1	火 5	数理科学基礎演習	斉藤 義久、白石 潤一	1 年 理一(2,4-5,8)
30533	S 1	火 5	数理科学基礎演習	岩木 耕平、田中 雄一郎	1 年 理一(3,11-13)
30534	S 1	火 5	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1 年 理一 理一(6-7,9-10)
30535	S 1	火 5	数理科学基礎演習	清野 和彦	1 年 理一(14-16)
30980	S 1	木 4	数理科学基礎演習	今野 北斗、中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
30981	S 1	木 4	数理科学基礎演習	金井 雅彦、今野 北斗	1 年 理一(24-27)
30982	S 1	木 4	数理科学基礎演習	清野 和彦	1 年 理一(28-31)
30983	S 1	木 4	数理科学基礎演習	吉野 太郎、梶原 健	1 年 理一(32-35)
30984	S 1	木 4	数理科学基礎演習	WILLOX RALPH、山崎 満	1 年 理一(36-39)
40008	S 2	月 3	数学基礎理論演習	辻 雄、中村 勇哉	1 年 理二三(1-7)
40009	S 2	月 3	数学基礎理論演習	鮑 園園	1 年 理二三(8-10)
40010	S 2	月 3	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
40011	S 2	月 3	数学基礎理論演習	畑 宏明、北山 貴裕	1 年 理二三(14-17)
40012	S 2	月 3	数学基礎理論演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(18-20)
40013	S 2	月 3	数学基礎理論演習	今野 北斗	1 年 理二三(21-24)
40064	S 2	火 5	数学基礎理論演習	田中 雄一郎、中村 勇哉	1 年 理一(1,17-19)
40065	S 2	火 5	数学基礎理論演習	斉藤 義久、白石 潤一	1 年 理一(2,4-5,8)
40066	S 2	火 5	数学基礎理論演習	岩木 耕平、田中 雄一郎	1 年 理一(3,11-13)
40067	S 2	火 5	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1 年 理一(6-7,9-10)
40068	S 2	火 5	数学基礎理論演習	清野 和彦	1 年 理一(14-16)
40118	S 2	木 4	数学基礎理論演習	今野 北斗、中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
40119	S 2	木 4	数学基礎理論演習	金井 雅彦、今野 北斗	1 年 理一(24-27)
40120	S 2	木 4	数学基礎理論演習	清野 和彦	1 年 理一(28-31)

40121	S 2	木 4	数学基礎理論演習	吉野 太郎、梶原 健	1 年 理一(32-35)
40122	S 2	木 4	数学基礎理論演習	WILLOX RALPH、山崎 満	1 年 理一(36-39)

力学A

力学A		開講区分	S
授業の目標・概要		古典力学の基本法則とその具体的応用を微積分や解析幾何等の数学的手法を用いて考察し、物理学における論理的・体系的理解への基礎を学ぶ。高校での物理学を履修したという前提に立って講義する。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論：物理学の世界 2. 運動の記述 ・デカルト座標 ・ベクトルとその演算（内積、外積など） ・極座標（2次元、＊3次元） ・次元と単位系 3. 運動の法則 ・ニュートンの三法則 ・質量と力 ・簡単な運動の例（自由落下など） ・力積と運動量 ・仕事とエネルギー（線積分） ・保存力とポテンシャル（グラディエント） 4. 運動の解析 ・落体の運動（速度に依存する抵抗がある場合を含む） ・慣性質量と重力質量 ・単振り子・調和振動 ・減衰振動 ＊強制振動（共鳴） ・力のモーメント ・中心力と角運動量 ・万有引力とケプラーの法則 5. 運動の相対性と慣性力 ・慣性系とガリレイ変換 ・並進加速度系と慣性力 ・回転系（遠心力とコリオリ力） 6. 多粒子系 ・内力と外力 ・重心運動と相対運動 ＊対称性と保存則 ・二体系（換算質量、衝突など） ＊7. 剛体の運動 ＊剛体の自由度と運動方程式 ＊慣性能率 ＊対称性と保存則 ＊剛体の平面運動 ＊8.力学の原理 ＊仮想仕事、ダランベールの原理 ＊ハミルトンの原理（最小作用） ＊対称性と保存則 ＊ラグランジュの運動方程式	
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること	
教科書		その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30767	水 4	大井 万紀人	1 年 理一(20-22)
30769	水 4	水野 英如	1 年 理一(23-25)
30770	水 4	塩見 雄毅	1 年 理一(26-29)
30771	水 4	簗口 友紀	1 年 理一(30-33)
30772	水 4	大川 祐司	1 年 理一(34-39)
30774	水 4	木本 哲也	1 年 理二三(16-18)
30775	水 4	米谷 玲皇	1 年 理二三(19-21)
30776	水 4	下村 裕	1 年 理二三(22-24)
31185	金 4	藤井 宏次	1 年 理一(1-6)
31187	金 4	國場 敦夫	1 年 理一(7-10)
31188	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(11-13)
31189	金 4	鳥井 寿夫	1 年 理一(14-16)

31190	金 4	福島 孝治	1 年 理一(17-19)
31202	金 4	矢向 謙太郎	1 年 理二三(1-6)
31203	金 4	澁谷 憲悟	1 年 理二三(7-9)
31204	金 4	庄田 耕一郎	1 年 理二三(10-12)
31205	金 4	溝口 俊弥	1 年 理二三(13-15)

【注意】基礎科目「力学A」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（履修許可科目）する場合は、以下の教員の授業を選択し履修すること。なお、同じクラスに登録希望者が集中する場合には、人数を制限することがある。

水曜4限 木本、塩見、簗口 の各教員

金曜4限 国場、澁谷、庄田、鳥井、福島、藤井 の各教員

なお、同じクラスに登録希望者が集中する場合には、人数を制限することがある。

力学B

力学B		開講区分	S
授業の目標・概要		入試で物理学を選択しなかった学生のうち希望する者を対象とする。 高度な問題や詳細には深入りをせず、例題や宿題を多用することにより、 物理学がどのような局面で役に立つのかを学ぶ。 具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論：物理学の世界 2. 運動の記述 ・デカルト座標 ・ベクトルとその演算（内積、外積など） ・極座標（2次元、＊3次元） ・速度と加速度 ・次元と単位系 3. 運動の法則 ・ニュートンの三法則 ・質量と力 ・簡単な運動の例（自由落下など） ・力積と運動量 ・仕事とエネルギー（線積分） ・保存力とポテンシャル（グラディエント） 4. 運動の解析 ・落体の運動（＊速度に依存する抵抗がある場合を含む） ＊慣性質量と重力質量 ・単振り子・調和振動 ＊減衰振動 ＊強制振動（共鳴） ・力のモーメント ・中心力と角運動量 ・万有引力とケプラーの法則 5. 運動の相対性と慣性力 ・慣性系とガリレイ変換 ・並進加速度系と慣性力 ・回転系（遠心力と＊コリオリ力） 6. 多粒子系 ・内力と外力 ・重心運動と相対運動 ＊対称性と保存則 ・二体系（衝突、＊換算質量など） ＊7.剛体の運動 ＊剛体の自由度と運動方程式 ＊慣性能率 ＊剛体の平面運動	
成績評価方法 教科書		主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30768	水 4	大泉 匡史	1 年 理一(20-39)理二三(16-24)
31186	金 4	新井 宗仁	1 年 理一(1-19)理二三(1-15)

熱力学

熱力学		開講区分	S
授業の目標・概要		熱力学は、膨大な数の原子・分子等のミクロ（微視的）な粒子の集団から成るマクロ（巨視的）な物質の状態を、温度、圧力、体積などのマクロな物理量を用いて記述し、いくつかの基本原理をもとに、マクロな観点から物質の状態がいかに変化するかを考察する学問体系である。熱力学は、力学、電磁気学とともに古典物理学の基礎を構成している。ここで学ぶ内部エネルギー、エントロピーなどの概念は理科生にとって必須の基礎概念である。 以下に標準的な講義内容を示すが、担当教員によって項目の順序や内容は若干異なる。講義では、高校までに習った初等数学以外に、偏微分等の数学的手法を用いることがあるが、その場合は、そのつど必要に応じて講義で解説される。 0.序論 熱力学とは何か？ミクロな系とマクロな系、力学や電磁気学との対比 1.熱平衡状態 温度、圧力、状態量、示強変数と示量変数、状態方程式 2.熱力学第一法則 熱量と仕事、熱の仕事当量、内部エネルギー、定積熱容量（定積比熱）と定圧熱容量（定圧比熱） 3.熱力学第二法則 第二法則の諸表現（Thomson の原理、Clausius の原理）、可逆循環過程、Carnot サイクル、不可逆過程、準静的過程、熱機関の効率、熱力学的絶対温度、Clausius の不等式、エントロピー 4.自由エネルギー Helmholz の自由エネルギー、Gibbs の自由エネルギー、Maxwell の関係式 その他、オプショントして取り上げられるトピックス 混合のエントロピー、エンタルピー、Joule-Thomson 過程、Legendre 変換、熱力学第三法則、相平衡、相律、Clapeyron-Clausius の式、Le Chatelier の原理、化学ポテンシャル、Gibbs-Duhem の関係式、Maxwell の等面積則 成績評価方法 教科書 ※講義の詳細については、UTAS を参照すること	
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30069	月 2	池田 昌司	1 年 理一(1-3,12,14-15)
30083	月 2	桃井 勉	1 年 理一(22-23,27)
30088	月 2	清水 明	1 年 理一(28,31,33,39)
30654	水 2	清水 明	1 年 理一(4,6,9)
30661	水 2	菊川 芳夫	1 年 理一(20,34-35)
30735	水 3	森松 治	1 年 理一(7,11,32)
30874	木 2	下村 裕	1 年 理一(8,10)
30877	木 2	風間 洋一	1 年 理一(13,16,18)
30880	木 2	岸根 順一郎	1 年 理一(19,29,38)
31042	金 1	尾関 之康	1 年 理一(5,17,21)
31044	金 1	上田 正仁	1 年 理一(24-25,30)
31148	金 3	藤山 茂樹	1 年 理一(26,36-37)

【注意】基礎科目「熱力学」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（履修許可科目）する場合は、以下の教員の授業を選択し履修すること。なお、同じクラスに登録希望者が集中する場合には、人数を制限することがある。

- 月曜 2 限 池田、清水
- 水曜 2 限 菊川、清水
- 水曜 3 限 森松
- 木曜 2 限 風間
- 金曜 1 限 上田、尾関
- 金曜 3 限 藤山

化学熱力学

化学熱力学		開講区分	S
授業の目標・概要		熱力学では、多数の原子分子の集団から成る物質の状態を圧力、体積、温度などの巨視的な量を用いて指定し、いくつかの基本原理をもとに、巨視的な観点から物質がいかに変化するかを考察していく。これらは、化学平衡や化学反応を理解する上での基礎的な概念を与える。本講義では、化学への応用をめざして熱力学を学ぶ。以下に標準的な講義項目を示すが、教員によって実際の順序や内容は若干異なる。 1. 序論 熱平衡状態、温度と熱、状態量（示強性、示量性）、状態方程式（理想気体、ファン・デル・ワールス気体） 2. 熱力学第一法則 熱と仕事、内部エネルギー、準静的過程、定積過程と定圧過程、エンタルピー、熱容量（比熱）、ヘスの法則 3. 熱力学第二法則 熱機関とカルノーサイクル、第二法則の諸表現（トムソンの原理、クラウジウスの原理）、不可逆過程、クラウジウスの不等式、エントロピー 4. 自由エネルギー ヘルムホルツエネルギー、ギブスエネルギー、マックスウェルの関係式、ギブスエネルギーの圧力・温度依存性 5. 化学ポテンシャルと化学平衡 相平衡と相律、クラペイロン・クラウジウスの式、化学ポテンシャル、化学平衡、質量作用の法則、ル・シャトリエの原理	
成績評価方法		担当教員の UTAS シラバスを参照の事。	
教科書		その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30448	火 3	細野 暢彦	1 年 理一 理二三(4,16,18,20,22)
30449	火 3	藤田 雅弘	1 年 理一 理二三(6,8,11,15)
30893	木 2	小倉 賢	1 年 理一 理二三(1-3,5,7,9-10)
30894	木 2	瀬川 浩司	1 年 理一 理二三(12-14,17)
30895	木 2	若杉 桂輔	1 年 理一 理二三(19,21,23-24)

物性化学

物性化学		開講区分	S 1
授業の目標・概要		物質の多様な構造、性質および反応を理解するための、基礎的な化学の概念、理論を具体的な化合物を例にして学ぶ。以下の項目とその関連事項を内容とするが、教員により順序や重点の置き方に少し違いがある場合もある。 1. 多原子分子の構造 ルイス構造と分子構造、共有結合の方向性、混成軌道 2. パイ結合の化合物 共役二重結合、共鳴、ベンゼン、芳香族化合物 3. パイ電子と分子軌道 パイ電子近似、LCAOMO、変分法、HOMO と LUMO 4. 配位結合の化合物 Lewis 酸・塩基、金属錯体と配位結合、遷移金属錯体と d 軌道、結晶場 分裂 5. 分子間相互作用と凝集系、生体高分子化学 van der Waals 力、水素結合 6. 結晶の構造と結合 最密充填、単純格子、イオン半径と結晶構造、金属と半導体 7. イオン結晶 格子エネルギー、Madelung 定数、Born-Haber サイクル	
成績評価方法 教科書		担当教員の UTAS シラバスを参照の事 その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30070	月 2, 木 2	北條 博彦	2 年 理一(4,18)理二三(16-17)
30086	月 2, 木 2	西川 昌輝	2 年 理一(25-26)理二三(19,24)
30087	月 2, 木 2	横田 泰之	2 年 理一(27-28)理二三(14-15)
30091	月 2, 木 2	廣瀬 靖	2 年 理一(32-33)理二三(12-13)
30093	月 2, 木 2	豊田 太郎	2 年 理一(39)理二三(10-11)
30148	月 3, 木 3	竹中 康将	2 年 理一(20,22-23)理二三(7)
30151	月 3, 木 3	吉本 敬太郎	2 年 理一(24,38)理二三(1-3,21,23)
30155	月 3, 木 3	角野 浩史	2 年 理一(29-30,36-37)
30432	火 3, 金 3	寺尾 潤	2 年 理一(1-3,5,8,11)
30437	火 3, 金 3	青木 優	2 年 理一(12-14)理二三(5)
30440	火 3, 金 3	宮島 謙	2 年 理一(15,17,35)理二三(22)
30447	火 3, 金 3	佐藤 守俊	2 年 理二三(4,6,9,20)
30512	火 4, 金 4	片山 正士	2 年 理一(6-7,9-10)
30513	火 4, 金 4	溝口 照康	2 年 理一(16,19,21)
30515	火 4, 金 4	豊田 太郎	2 年 理一(31,34)理二三(8,18)

生命科学

生命科学		開講区分	S 1
授業の目標・概要	本講義は理科1類の学生に特化し、生命現象の中でも数式で表しやすい内容を計算演習とコンピュータの活用により学ぶ。数理ダイナミクスの観点から生命現象の謎に迫るおもしろさを実感してもらうことを期待する。具体的には、以下のような内容を予定している。 1. 生命科学の基礎 2. 生体物質：細胞を作り上げる物質群 3. 細胞の構造と増殖 4. 生命の駆動力：代謝と自由エネルギー 5. 遺伝情報 6. 生命のシステムの理解 7. 生命のダイナミクスとパターン形成 8. マクロなダイナミクス 9. 生命科学の数理的展開		
成績評価方法 教科書	検討中 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 演習で学ぶ生命科学 第2版 著者(訳者) 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 羊土社 ISBN 978-4-7581-2075-3		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30210	月 4	佐藤 健	2 年 理一(6,11,16-17)
30221	月 4	矢島 潤一郎	2 年 理一(22-24,32)
30653	水 2	寺田 透	2 年 理一(1-3,5,15,18)
30662	水 2	長谷川 禎彦	2 年 理一(21,26-28)
30663	水 2	黒田 大祐	2 年 理一(29-30,33,35,39)
30875	木 2	飯野 雄一	2 年 理一(8,12-14)
30889	木 2	山口 哲志	2 年 理一(34,36-38)
31142	金 3	杉山 宗隆	2 年 理一(4,7,9-10)
31143	金 3	舘野 正樹	2 年 理一(19-20,25,31)

生命科学 I

生命科学I		開講区分	S
授業の目標・概要	生命科学の基本概念と遺伝・膜構造・代謝を中心とした生命現象のしくみについて、分子から細胞までの構成原理を概観する。 1. 生物の多様性と斉一性 2. タンパク質の構造と機能 3. 遺伝子と遺伝情報 4. 細胞の構造 5. 代謝と光合成		
成績評価方法	検討中		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学 第5版 著者(訳者) 東京大学教養学部理工系生命科学教科書編集委員会 編 出版社 (株)羊土社 ISBN ISBN 9784758121026		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30222	月 4	美川 務	1 年 理二三(5,9,12-14)
30224	月 4	加納 純子	1 年 理二三(17-18,21-22,24)
31046	金 1	矢島 潤一郎	1 年 理二三(1-3,7-8,20,23)
31054	金 1	豊島 陽子	1 年 理二三(10-11,15,19)
31153	金 3	佐藤 直樹	1 年 理二三(4,6,16)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30226	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	田中 雅子	法・政治	月 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		エビデンスに基づく政策立案 私たちの身の回りの公共政策は、本来何らかの望ましい目的を実現するためにあります。しかし、政策の目的、手段、効果が客観的に理解可能なかたちで提示されているとはいいいがたく、従来の延長や、利害関係者が要望する中間点を政策帰結とすることが多いのが現状です。 現在、国・地方の行政機関は、エビデンスに基づく政策立案（Evidence-based Policy Making 以下、EBPM）を推進しています。エビデンスとは、主張を行ううえで根拠となる論理的な思考を指し、利用可能な量的・質的データを用いて構成します。 授業では、まず EBPM が必要とされる背景をたどり、エビデンスとなる官民データの現状を、実際にデータにアクセスして把握します。次にいくつかの分析方法を紹介し、それぞれの長所、短所を理解したうえで、各自のテーマに基づき EBPM を試行します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31603	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	両角 吉晃	法学部	月 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		法の中の宗教 近代型憲法により基本的人権の一つとして保障されている信教の自由は、政教分離原則と不可分の関係にあるとされている。本授業では、この政教分離原則に着目し、それがどのような経緯で発展し、現代の世界においてどのような意味を持つに至っているのか、という問題を検討すること（正確には、そのために必要となる作業の一部を行うこと）を目的とする。 履修者人数を最大 12 名とする。履修希望者がこの人数を超える場合には、課題レポートによる選考を行う。初回授業（ガイダンス）出席者のみを選考対象とするので、履修希望者は必ず初回授業に出席すること。履修許可は第 2 回授業までに告知する。 課題の内容、提出期限、履修許可の告知日等、詳細については初回授業時に指示する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31602	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	山川 隆一	法学部	水 3	2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		労働法入門 「雇用されて働くこと」をめぐる法的な規律を行う労働法という法分野について、基礎的な理解を習得することを主な目的とする。あわせて、労働法の分野を中心に、条文や判例の読み方、資料の収集の仕方などにつき、法学の基礎的な学び方を発展させることも想定している。 受講希望者は約 500 字以内の希望理由を、遅くとも 4 月 9 日までに電子メールで担当者（山川）宛に提出すること。希望者が 15 名を超えた場合には、希望理由書により選考のうえ、4 月 12 日までに受講者を決定し告知する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30227	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	佐藤 俊樹	経済・統計	月 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ルーマンのマスメディア論を読む(1) 教員の所属部会との関係で「経済学・統計学」になっていますが、j 授業の内容は社会学のマスメディア論とシステム論です。具体的には、ニクラス・ルーマンの『マスメディアのリアリティ』(林香里訳、木鐸社)を読んでいます。担当教員の専門と関心から、厳密なテキスト読解ではなく、経験的な社会の探究に役立つ分析用具として読んでいきます。今年度からアドヴァンスド文科の科目にもなったので、第1章から(あらためて)読んでいくことにします。 ドイツ語の予備知識は特に必要ありません。むしろルーマンの徹底的に考え抜かれた論理と文章につきあいながら、その内容を理解していくことをめざしています。ですので、実際には、一行一行解説しながらゆっくり読み進めていきます。必要な予備知識はその都度解説するので、ルーマンの他の著作を知っておく必要もありません。 そのかわり、参加者それぞれの水準でかまわないので、既存の知識を習うというよりも、自分自身で考えていくことをを身につけるようにしてってください。一見全く意味不明で、「無駄に難解」ともされるルーマンの文章が、実際にはきわめて精緻で、論理的で、そして、マスメディアや現代社会に対する具体的かつ鋭い洞察に富んでいる。そういう読み方ができることを体験してもらえばよい、と思っています。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31749	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	鎌田 雄一郎	経済学部	木 1	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Advanced Game Theory for Komaba Students 社会における人間行動を、数式で記述する。それが、「ゲーム理論」。 「私は、あなたが彼が行動 A をとるだろうと考えていると考えたから、行動 B をとることにする。」「我が社は相手企業 J の過去の決定 C から、今後の J の戦略が S であろうと推測する。よって我が社は戦略 T をとろう」などという複雑な思考過程を、数式で記述し、分析する。 このゲーム理論の中で特に興味深いトピックや最新研究に関して、講義を行い、さらに学生間でディスカッションをする。 受講にあたって、ゲーム理論や（ゲーム理論がしばしば応用される）経済学の前提知識は一切必要ないが、数学が多用されるので、その点留意しておくこと。 以下のうちどれかが当てはまる学生には、この講義は最適であろう： 1. 論理的思考が好き and/or 得意。 2. 数学が好き and/or 得意。 3. 理屈っぽく、細かい。 4. 理系。「経済学なんてデマカセだ！エセ科学だ！」と思っている。 5. 「社会における人間行動を、数式で記述する」なんて到底無理だろう、と思った。 6. 現実の社会問題を統一的に理解するための視点が欲しい。 7. 最先端の研究に触れたい。研究とはどんなものか、覗いてみたい。 8. トップ研究者の授業を受けたい。 9. テレビなどに登場する「エコノミスト」のいい加減な発言に辟易している。 10. せっかく大学に入ったのだから、新しいこと、難しいことに、チャレンジしたい。 担当教員（鎌田）は現在カリフォルニア大学バークレー校の准教授で、ゲーム理論研究者。東京大学大学院経済学研究科の初代グローバルフェローを兼任。 授業は基本的にオンラインで、カリフォルニアからお届けする。鎌田が夏に日本に一時帰国して、かつ対面授業がその時に可能な場合は、対面授業を行う可能性もある。授業は毎回 105 分間。 履修希望者が多い場合は、選抜を行う可能性がある。				

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30828	S	人文科学ゼミナール (歴史学)	外村 大	歴史学	木 1	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		慰安婦をめぐる歴史研究の再検討 1990 年代以降、「慰安婦」とされた女性たちの人権救済、尊厳回復をどう行うのかは大きな問題となった。これについては、彼女たちを支援する市民の活動があり、日本政府や韓国政府もそれに対処しようとしてきたことは事実である。しかし、今日もなお「解決」ではなく、問題解決とは言えない現実がある。その原因は、様々な点に求められるだろうが、慰安婦にかかわる歴史的事実が、未解明であったり、多様な説が述べられ、学者の間でも結着を見ていない点があることも、関係している。 この授業では、慰安婦をめぐる歴史研究についての重要な論文を読み、そこで依拠している史料も確認しながら、史実として確認できることは何か、それをどう解釈するか、何かまだわかっていないか、を議論していく。そのことを通じて、歴史学の学術論文をどのように読むかを学び、歴史研究を行う際の方法などについて、習得することをめざす。 受講者は 20 人程度を上限とするので、もし、初回の授業で多数の受講希望者がいた場合は、翌週までに受講の動機を記したレポートを提出してもらい、第 2 回までに受講の許可について告知する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30829	S	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	田原 史起	中国語	木 1	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会科学分野の中国語文献を用いて中国地域研究の小論文を書くためのゼミナール 現代中国の社会、都市や農村に関わる学術論文を題材として輪読しながら、社会科学的な視野による中国地域研究の小論文の作成を目指す。したがって、この授業の目標は二つである。 ①標準的な現代中国語の読解力の養成: よく出てくる書き言葉の言い回しに慣れ、構文を掴む練習を行う。これにより各自が関心を持つ領域の文章を自力で読めるように訓練する。 ②各自が関心を持つ問題の関連文献(中国語・日本語・英語)を読み込み、引用しながら、オリジナルな小論文作成のための学術的訓練を行う。 つまり、中国社会研究に特化した初年次ゼミのようなものをイメージしている。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30988	S	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	細川 瑠璃	ロシア語	木 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア思想の原典を読む 20 世紀のロシアを代表する思想家の一人、バーヴェル・フロレンスキイが書いたテキストをロシア語で精読する授業です。 この授業で扱う 20 世紀初頭は「銀の時代」と呼ばれ、ロシアの思想家や芸術家たちが西欧からの影響を受けつつ、独自性やルーツを模索した時代です。フロレンスキイの議論は、数学や科学からロシア正教に至るまで多岐にわたり、それゆえに難解とされていますが、この授業では、思想史的・文化史的解説を挟みつつ、テキストと一緒に読み解いていくことで、「銀の時代」のロシアの文化の一端を垣間見ることが目標とします。 語学面では、ロシア語の基本文法を一通り習い終えた者が、次なるステップとして、実際にロシア語のテキストに触れ、自分の力で読み解く経験を積むことを目的としています。特に、後世に書かれた解説文ではなく、思想家自身が書いた文章だからこそ感じ取れる息吹に触れてみましょう。				

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31061	S	自然科学ゼミナール (生命科学)	土畑 重人	生物	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		駒場のアリの自然史生物学 生物の生態とその多様性を理解するためには、野外生物の実態把握が基礎情報として不可欠である。本実習では、基礎知識を学ぶ講義と、野外生物の観察・採集・標本作成の実習を行い、野外生物学の基盤について学ぶ。実習を伴うため、受講者数を制限する。受講希望者が受講可能数を超える場合は、レポート課題により受講者を選抜する。その他、詳しい内容は初回ガイダンスにおいて説明・指示する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30313	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	小木曾 啓示	数学	火 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「エミール・アルチン ガロア理論入門」(寺田文行訳)を読む。 「エミール・アルチン ガロア理論入門」(寺田文行訳)を(人数により一講義あたり1名あるいは2名の輪講形式で)2章から読む。 数学の金字塔の一つであるガロアの基本定理とその応用である方程式のべき根による可解性を理解することが目標です。 1年次に学ぶ(一見無味乾燥にみえる)線形代数や代数系の基礎が、ガロアの基本定理の構築や証明にいかに役立つかがわかることも目標の一つです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30559	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	下村 明洋	数学	火 5	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		自然科学に現れる微分方程式 自然科学に現れる微分方程式に関する文献を受講生が輪講する事により、常微分方程式や偏微分方程式とそれらが記述する自然現象等について数学の立場から理解を深める事を目標とする。受講生による日本語での発表形式で行うので、発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする。 この科目の履修には、総合科目「解析学基礎」の講義内容(極限、連続関数、リーマン積分、関数列の一致収束などの厳密な微分積分学)を、開講時に理解して身に付けている事が必要条件となる。(「履修上の注意」の項目も参照のこと。) この科目は授業形態の観点から少人数で行うのが望ましいので、履修希望者が多数の場合には、選抜を行う事がある。詳しくは第1回の授業で説明するので、この科目の履修を検討している人は必ず第1回の授業に出席すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31606	S	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環・学際 情報学府	火 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文理を問わず役立つ物理と数理の基礎 高校で文系数学しか履修していなくても、大学に進学すると理系数学履修を前提に専門科目の講義・演習がある。また高等学校までの日本の学習指導要領は縦割りなので、英語で社会科を問わないし、高校数学を高校の理科では殆ど使用しない。高校の物理や化学はすべて中学までの四則演算で議論を組み立てる、非常にいびつで自然科学の王道とかけ離れたものになっているが、大学に入るといきなりあらゆる科目が禁じ手なしに併用される。そこで分からなくなり、科類によっては進学振り分けで苦労したりするのを35年来みているがもったいない事である。機械学習など同時代の進んだ対象を理解するのに必須、かつ役立つ数理や物理の基礎を、履修者の準備を見つつ講義+オプション演習する。昨年度は文II生などを対象に、数IIBの前提から出発し、実関数の解析と複素解析の初歩を扱った。今年度はベクトル解析と対応する電磁気などを題材に、また身近なツールを用いた実験も併用して、基礎の愉しみを共有したい。				

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31610	S	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	笠原 恵実子	教養教育高度化 機構	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代美術演習 -1960 年代美術作品を継承し拡張する試み-					
授業の目標概要	この授業では、過去的美術作品を継承し、未来に向けて拡張するという試みを行います。取り上げる作品は、巨大な鉄の彫刻作品で知られるアメリカ合衆国のアーティスト、リチャード・セラ (Richard Serra,1939-) による初期の二作品、『Verblast』(1967-8) というドローイング作品と、『To Encircle Base Plate Hexagram, Right Angles Inverted』(1970) という彫刻作品で、泥沼化していったベトナム戦争への反対運動や、世界的な広がりとなった学生運動などの影響を受けた 60 年代後半の美術表現から、どのような継承と拡張が可能なのかを探求する現代美術演習となります。リチャード・セラは活動当初、身体的行為を通して実験的インсталレーションやビデオ作品などを制作し、それらの行為に関係する 108 の言葉をリストアップした『Verblast』を作成しました。一方で、もともと「人間と物質」展で東京都美術館野外に設置された『To Encircle Base Plate Hexagram, Right Angles Inverted』は、その後廃棄される予定であったところを有志の学生達が譲り受け、多摩美術大学に再設置するといったユニークな経緯を持ち、この作品もまた、身体的行為を介在させ、細部の形状が決定された内容となっています。授業では、セラによる作品を用いながらもその解釈のみに終始するのではなく、二作品が生成されてから 50 年余りの時を経て、閉塞感の増す現代社会に生きる私たち自身の問題を考えていく行為へと繋げていき、そのことから美術作品の可塑性や流動性を体感する機会とすることを目標としています。授業の前半は、レクチャーを通して二作品のディテールや背景、当時の美術動向などを理解していきます。そして後半はワークショップ形式の授業を通して、『Verblast』の言葉を身体的行為へと結びつけ行ってみることや、そこに新たな言葉を書き加え身体的行為へと置き換えることを行っていきます。実際の作業は 5 人ほどのグループに分かれ、アイディアの考案や行為の実践、その動画撮影などを共同作業を通して学び、最終日の映像上映及びその講評へと繋げていきます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31609	S	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	長島 有里枝	教養教育高度化 機構	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	写真演習——自己表現としての写真					
授業の目標概要	写真作品の制作を通じて、自己表現の方法を学ぶ。 社会情勢上の変化やテクノロジーの発展による、芸術表現の変遷について知る。 自分の置かれた環境、性質や好みに最も適した機材や撮影手法を選択できるようになる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31608	S	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	石津 智大	教養教育高度化 機構	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	芸術と感性の認知神経科学					
授業の目標概要	【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。本講義では、認知神経科学と心理学との学際領域のひとつで、近年盛んに研究が行われている芸術と感性の認知神経科学について学ぶ。「ヒトが物をどのように見ているのかを知らねば、それを表現することはできない。ゆえに画家は知覚の科学者である」と言われるように、芸術技法と知覚・認知の仕組みには共通点が多い。芸術や感性を手がかりとすることで、知覚と認知システムの基本的な知識とその背後にある脳機能への理解を養う。多様なテーマをふくむ当分野を、主な 3 つの過程 1) 知覚と認知の過程、2) 意味づけと価値づけの過程、3) 創作と創造の過程に分け、関連する作品を紹介しつつ、各過程を神経美学、実験美学、芸術心理学などの基礎から最新の研究データをとおして理解することを目指す。認知神経科学と心理学の観点から芸術と感性を読み解く一方、芸術の技法や感性についての哲学的考察を利用して認知とところ、さらにその背後にある脳機能への理解を養う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31612	S	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	渋谷 由香	教養教育高度化 機構	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代音楽作品研究 ― 聴取と実践を通して 20世紀以降の作曲には、作家の独自性が特に強く求められてきた時代でもあります。これは、作曲家が今までとは違う独自の作曲言語を持っているか、を強く問われてきたからでもあり、また同時に聴衆は、新たな視点と新たな解釈を希求し、作品鑑賞を通じて切り拓かれた新たな世界を体現することの喜びがそこに見出されてきたともいえるでしょう。本授業では、主に20世紀以降の現代音楽といわれるカテゴリーに分類される作品を聴き、各作品の創作方法や思考を学んだ上で、それらの知識や方法を基に学生自身も短い作品を創作し、発表するという演習形式の授業です。そして、創作を通じて得た思考や視点、創作過程で浮かび上がってきた課題について参加学生と意見を交わし共有することによって、知識や方法論を知るにとどまらない学びを体験的に実践していきます。					
授業の目標概要	本授業では、主に20世紀以降の作曲家の作品を聴くことを通じて作品独自の特長的なアイデアや技法を学び、インプットしたそれらの知識を基に演習という形で実践的創作としてアウトプットすることによって、新しい視点や創造的な思考を身につけることを目標とします。また、創作についてのプレゼンテーションを通じて、参加学生や教員との積極的な対話からより多角的な観点を深め、なおかつ柔軟で自由な発想を培うことが本授業の目標です。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31611	S	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	中井 悠	教養教育高度化 機構	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Archi-Choreographies／アルシ・コレオグラフィーズ					
授業の目標概要	日常においておおむね無意識のうちにいつも作動している「他者に身体を動かされていること／他者の身体を動かしていること」を「アルシ・コレオグラフィー（原振付）」として捉えた上で、それを相互観察によって対象化・意識化することで、その操作・変形・転移・感染・停止可能性を探ります。言ってみれば、振付を考えることでダンスを新たに作り出すのではなく、それぞれが気づかないうちに踊らされている振付をやめる・変えることで消去法的にダンスを見出す試みです。 授業は二つのセッションを交互に行ないます。 （１）さまざまな「クセ」（寝癖、思考癖、口癖、その他）を、身体と世界との間の接触の身体側に残された記録とみなした上で、（多くの場合、自分では気づいていない）そうした身体や思考の偏りを受講生どうしで探し出し、その来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容するかを検証します。 （２）友人の振付家に依頼されてでっちあげたアルシ・コレオグラフィーの一般理論（もどき）のレクチャーと、それを受けての全員でのディスカッションを行ないます（*）。講義内容の理解はさておき、講義において露わになる教員自身の思考癖、口癖やその他の癖の観察、またディスカッションにおける受講生それぞれの振る舞いに見られる様々な癖と交わされる議論との関係の観察を主眼とします。 いずれにせよ、個人＝ひとつの身体といういまだに多くのダンスの土台となっている身体観を多方面から解体し、そもそも何を「ダンス」と見なすのかを根底から考え直すことが目標です。 （*）理論の内容は、身体を「乗り物」（そして運動を移動）と見なすことで、さまざまなスケールにおいて作動している広い意味での振付を体系化するものです。たとえば、近年話題になっているマイクロバイームや寄生虫学の観点から言えば、人間を含めた生き物の身体はそこにひしめく何十兆もの他の生物によって操られる乗り物であるし、あるいは逆に人間が自動車や飛行機などの乗り物を運転するときは操作主の身体感の拡張が伴います（アラスカではバスのことをビーブル・ムーヴァーと呼びます）。また植物の形態や見た目は、他の生物を遠隔操作するために進化しています（だから花の美しさ（美学）は振付の問題でもあるわけです）。このような事例を物理的スケールに準じた5つのカテゴリー（依頼されたお題がPost DanceだったためすべてPからはじまる）に分けて考えます。人間の身体が微生物の乗り物であることや、身体と移動の結びつきが、現在のコロナ禍における自粛生活においてますます切実な問題として浮かび上がってきていることは言うまでもありません。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31607	S	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	伊東 乾	情報学環・学際 情報学府	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	俳句ソニマージュ：世界を引き受ける／存在と向き合う 「王」という文字にたった一点を付すだけで、字義全体が異なる「玉」の文字になる。物を作るとは本質的にこれと似ている。世界に極少の一点を付け加えることで、世界全体を転倒してしまう、そのような営為。芸術と学術の境を超えて、世界の感じ方考え方を諸君と共有する。「大」の字も一点付け加えれば「犬」となる。 私は長年 音楽教育の目的は 楽器や歌のうまい子供を作ることではなく 世界の聴きかたを感じ考えさせること 美術教育の目的は 絵やデザインのうまい子供を作ることではなく 世界の観かたを感じ考えさせること 体育教育の目的は スポーツや武道のうまい子供を作ることではなく 世界とのかかわりあいかたを感じ考えさせることにある と考えてきた。その観点から一芸術音楽家としてその方向での教育の制度設計と実際の授業展開を継続している。今回の新科目では、特段芸術に準備のない教養学部生が、芸術の視座をもって世界と向き合う入り口を、遠隔実習を中心に共に感じ考えることができればと考え、計画している。 具体的には「スマートフォン」を用いた＜動画＞による世界の切り取りと、その最低限の編集による＜マルチメディアによる俳句＞に類するものを、遠隔演習で検討できればと思っている。が機材的に無理があれば静止画＋パワーポイントでも、なんでも構わない。これは、本学経済学部 OB で日本銀行にも定年まで奉職された、俳人の金子兜太さん、あるいはやはり本学仏文科 OB で東映動画などを経てアニメーション監督として活躍された、高畑勲さんと私とで考え、少しだけ試み https://www.youtube.com/watch?v=uvqi3sCYOqU ご逝去で中断していた内容を、コロナを機に補完、復活して諸君に提供したいという趣旨で考えている。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31613	S	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	中井 悠	教養教育高度化 機構	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Other Musics／アザー・ミュージックス 「実験音楽」と呼ばれてきた音楽を真面目にお勉強することほど、実験音楽の精神に反することはないかもしれません。また近年「実験音楽」というカテゴリー自体の排他性に関してさまざまな批判が出ていることを踏まえれば、そのようなジャンルを確立されたものとして学問の対象とすることも馬鹿げています。しかしその一方で、COVID-19 の蔓延に伴って、大学での授業を含めたコミュニケーションが大きな変化を強いられている今日の状況は、これまで何の役に立つのか分からなかった色々な実験の使い道をあらためて考えるチャンスでもあります。 すこし昔までニューヨークのダウントウンにあった Other Music というレコードショップがありました。その名前は、道を挟んだ向かい側にあったタワーレコードに売っている音楽以外の「他の音楽」を扱うという意味から付けられていました。この授業ではその態度を引き継ぎ、「実験音楽」を、歴史上の閉じたジャンルではなく、そのつどの現在において「音楽」と呼ばれる営みを問い直し、「その他」の可能性を切り開く実践の開かれたネットワークとして考えます。そして自分たちの現在において別の展開を探るというきわめて実践的なスタンスから、みんなでじっさいに実験を繰り返すことで、これまで「(実験)音楽」と呼ばれてきた営みを問い直し、その他の可能性を探っていきます。 具体的には zoom などのオンライン・コミュニケーション・ツールを使いながら、既存の音楽（をモデルとした音楽）の再生・再現を試みるのではなく、zoom であれば zoom でしか上演・鑑賞できない音楽を構想・制作・実演します。そのためには、オンライン・メディアのスペシフィシティを様々な角度から分析することはもちろん、メディアのスペシフィシティを問題化してきたこれまでの事例を再検討することも役に立つでしょう。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40265	S 2	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	筧 康明	情報学環・学際 情報学府	木 5, 木 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	インタラクティブ表現実践 本授業は、アート・デザイン領域において近年注目されるインタラクティブ表現や参加型の体験創造について、実践を通して学ぶことを目標とする。 本授業は座学とプログラミング等を通じた実践を組み合わせながら進める。 具体的にはまず、インタラクティブアートの歴史やそれらを支える技術の動向について学び、具体的な事例についても教員やゲストの活動紹介を通して触れる。 また、インタラクティブ表現を制作するためのクリエイティブコーディング環境を整え、特に今年度はカメラ入力および画像処理を用いたインタラクションの基礎と制作方法について学ぶ。 本授業の後半の期間は主に、履修者自身によるインタラクティブ（作品）表現の提案を行い、フィードバックを受けながらコンセプトおよびプロトタイピングの実装を進める。最終的な成果はプレゼンテーションおよびデモンストレーションを通して発表する。					

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ1コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○2年生の履修について

2年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

(注意事項)

- ・総合科目L系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の4種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
 - ・英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
 - ・Sセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各2曜限には登録しないこと。
 - ・TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。
- なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

英語中級（クラス指定ターム型）火 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30396	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30397	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30398	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	近藤 亮介	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		ランドスケープから見る英米史 芸術（文学・絵画・庭園・現代美術など）に表象されるランドスケープの考察を通して、英米の歴史について学ぶ。「ランドスケープ (landscape)」は、日本語で「風景」と訳されるが、もともとは「風景画」を意味していた。この事実は、ランドスケープが自然そのものではなく、自然と人間との関係において構築されるものであることを示唆している。英文読解やディスカッションを通して、ランドスケープに潜むさまざまな文化的・社会的・政治的意味を考えたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30399	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大橋 理枝	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Issues 教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30400	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30401	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	火 3	1 年 文一・二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		ニュースの英語の聞き取り 英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声教材として用いる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30402	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目		Reading An English Article: The Rise and Fall of Affirmative Action				
授業の目標概要		The goal is to read an English article (from The New Yorker) to understand current issues in the U.S. in English. It is on Asian-American activists who have allied with a white conservative to change higher education. Students need to read it in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40147	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大橋 理枝	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Issues 教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40148	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40149	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		Reading English Articles: Model Minority Myth The goal is to read English articles (from The New Yorker/Time) to understand current issues in the U.S. in English. They are on Model Minority Myth. Students need to read them in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40150	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		ニュースの英語の聞き取り 英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声教材として用いる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40151	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	近藤 亮介	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		ランドスケープから見る英米史 芸術（文学・絵画・庭園・現代美術など）に表象されるランドスケープの考察を通して、英米の歴史について学ぶ。「ランドスケープ (landscape)」は、日本語で「風景」と訳されるが、もともとは「風景画」を意味していた。この事実は、ランドスケープが自然そのものではなく、自然と人間との関係において構築されるものであることを示唆している。英文読解やディスカッションを通して、ランドスケープに潜むさまざまな文化的・社会的・政治的意味を考えたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40152	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40153	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

英語中級（クラス指定ターム型）火 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30464	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30465	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大石 和欣	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		都市を読む この授業では「都市」をテーマにした英語文献抜粋を読みながら、歴史、文学、都市計画、建築、空間、地理、文化、政治・経済や法律など都市に関わる多様な側面を考えてみます。テーマに沿った知的な文章を英語で読み、各自の関心に基づいて英語で考え、意見や発見を明確にアウトプットする表現力も身につけていくことが目標です。 都市の定義は一樣ではありません。都市に対する見方も多様です。そうした流動的な都市像について歴史的に辿りながら、同時に英語表現についても学んでいきます。アウトプットについても身近な都市空間を手がかりにして試行してみましょう。オンラインでの授業になりますが、クラスメイトとのディスカッションを通して議論の基本も習得しましょう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30466	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ ク リストファー	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30467	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30468	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、 作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30469	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	飯田 麻結	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		フェミニズムのキー・トピックス 教科書の精読を通じて、支配・権力・労働・性・文化といった様々なキーワードからフェミニズムの議論についての理 解を深めることを目標とします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30470	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大橋 理枝	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Issues 教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッション を行う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40171	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40172	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ ク リストファー	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40173	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大橋 理枝	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Issues 教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40174	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40175	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40176	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	飯田 麻結	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		フェミニズムのキー・トピックス 教科書の精読を通じて、支配・権力・労働・性・文化といった様々なキーワードからフェミニズムの議論についての理解を深めることを目標とします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40177	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大石 和欣	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		都市を読む この授業では「都市」をテーマにした英語文献抜粋を読みながら、歴史、文学、都市計画、建築、空間、地理、文化、政治・経済や法律など都市に関わる多様な側面を考えてみます。テーマに沿った知的な文章を英語で読み、各自の関心に基づいて英語で考え、意見や発見を明確にアウトプットする表現力も身につけていくことが目標です。 都市の定義は一樣ではありません。都市に対する見方も多様です。そうした流動的な都市像について歴史的に辿りながら、同時に英語表現についても学んでいきます。アウトプットについても身近な都市空間を手がかりにして試行してみましょう。オンラインでの授業になりますが、クラスメイトとのディスカッションを通して議論の基本も習得しましょう。				

英語中級（クラス指定ターム型）水 2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30636	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Reading This course will be a predominantly reading-focused class with a short, thematically related listening exercise at the end of each class. The topic for the course is yet to be determined and will be announced during the first week.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30637	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ ク リストファー	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30638	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30639	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Reading Social Issues in English This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30640	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、 作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30641	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会				
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender and the body. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論等です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30642	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目		英語の動画を視聴し、英語で意見を言う				
授業の目標概要		身近で時事性のある英語の動画を視聴して内容を理解し、関連したテーマについて自分の意見を英語で言う練習を行います。 英語のスピーキングは、breakout セッションで少人数で行い、回数を繰り返すことで、明快で説得力がある英語表現をすることを目指します。 □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画を視聴して、英語の聞き取りの理解力を伸ばす □動画を引用しながら、自分の意見を英語で話す練習をする BBC, VOX, Financial Times, The Economist, CNBC などから、身近なテーマを扱った短い（5－10 分）動画を教材として活用する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30643	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40205	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会				
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender and the body. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論等です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40206	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ ク リストファー	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40207	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40208	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目		英語の動画を視聴し、英語で意見を言う				
授業の目標概要		身近で時事性のある英語の動画を視聴して内容を理解し、関連したテーマについて自分の意見を英語で言う練習を行います。英語のスピーキングは、breakout セッションで少人数で行い、回数を繰り返すことで、明快で説得力がある英語表現をすることを目指します。 □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画を視聴して、英語の聞き取りの理解力を伸ばす □動画を引用しながら、自分の意見を英語で話す練習をする BBC, VOX, Financial Times, The Economist, CNBC などから、身近なテーマを扱った短い（5－10 分）動画を教材として活用する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40209	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40210	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、 作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40211	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		Reading Social Issues in English This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40212	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19) 文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		Reading This course will be a predominantly reading-focused class with a short, thematically related listening exercise at the end of each class. The topic for the course is yet to be determined and will be announced during the first week.				

英語中級（クラス指定ターム型）水 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30702	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		Reading This course will be a predominantly reading-focused class with a short, thematically related listening exercise at the end of each class. The topic for the course is yet to be determined and will be announced during the first week.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30703	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will be assigned to groups, and are expected to hone your presentation content and skills through a process of peer review. In more detail, you first introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for about 10 minutes. Your classmates will give you feedback on this draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30704	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	近藤 亮介	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		ランドスケープから見る英米史 芸術（文学・絵画・庭園・現代美術など）に表象されるランドスケープの考察を通して、英米の歴史について学ぶ。「ランドスケープ (landscape)」は、日本語で「風景」と訳されるが、もともとは「風景画」を意味していた。この事実は、ランドスケープが自然そのものではなく、自然と人間との関係において構築されるものであることを示唆している。英文読解やディスカッションを通して、ランドスケープに潜むさまざまな文化的・社会的・政治的意味を考えたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30705	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender and the body. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論等です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30706	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30707	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く 現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30708	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40248	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will be assigned to groups, and are expected to hone your presentation content and skills through a process of peer review. In more detail, you first introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for about 10 minutes. Your classmates will give you feedback on this draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40249	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	近藤 亮介	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		ランドスケープから見る英米史 芸術（文学・絵画・庭園・現代美術など）に表象されるランドスケープの考察を通して、英米の歴史について学ぶ。「ランドスケープ (landscape)」は、日本語で「風景」と訳されるが、もともとは「風景画」を意味していた。この事実は、ランドスケープが自然そのものではなく、自然と人間との関係において構築されるものであることを示唆している。英文読解やディスカッションを通して、ランドスケープに潜むさまざまな文化的・社会的・政治的意味を考えたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40250	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender and the body. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論等です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40251	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Reading This course will be a predominantly reading-focused class with a short, thematically related listening exercise at the end of each class. The topic for the course is yet to be determined and will be announced during the first week.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40252	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品を検討中。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40253	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40254	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30037	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M2 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, CSR and cause marketing - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30038	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class. Readings for this class will be available on-line.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30039	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 光	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		アガサ・クリスティ『オリエント急行殺人事件』を原文で読む <目標>英語で小説を読み切ることを目指します。 <概要>原作を必ず手に入れて、読み進めて下さい。推理小説、英文学、イギリス文化に興味のある人を歓迎します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30040	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		国際政治学・国際関係論の理論を学ぶ 本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収の国際政治理論に関する一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて本コースの受講者は、代表的な国際政治理論についての概要が説明できるようになるとともに、現代世界が直面している様々な国際政治上の問題・課題について、多角的な視点からアプローチできるようになる。また英語で記された国際問題についてのニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

英語中級（クラス指定セメスター型）月 2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30041	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30042	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	後藤 春美	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		国際関係の歴史 雑誌 Historical Journal と International Affairs に掲載された論文の読解。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30043	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30044	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 そんな「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですから、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30045	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目		プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals				
授業の目標概要		プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30046	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	元祖ミュージカルの台本を読む 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパトリーの中から、妖精の世界をとおしてイギリス議会の皮肉った『アイオランシ』(Iolanthe) をビデオを鑑賞（各自視聴の場合あり）しながら読み、イギリスのユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。					

英語中級（クラス指定セメスター型）月 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30134	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 そんな「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいとを感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですから、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30135	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students’ confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30136	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 英海	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	英語で世界を読む 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどを読みながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30137	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	逆井 聡人	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	Discussing Contemporary Society with Critical Theory この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文獻に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30138	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要		English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M3 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, CSR and cause marketing - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30139	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要		グローバル・イシューについて考える 本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収のグローバル・イシューを取り扱っている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて、本コースの受講者は、今日世界的に重要な問題として知られる様々なテーマ（具体的には、地球環境問題、移民・難民問題、貧困問題など）についての概要を把握したうえで、こうした諸問題の具体的な解決策を考察するための素養を身に付けることができる。また、英語で記された国際問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30140	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要		英語のことは遊びを訳す 映画やTVドラマ、小説などで英語の勉強をしていると、ことは遊び(だじゃれ、ジョーク、etc.)に出会うことがしょっちゅうあります。この授業では、教員自身が日頃英語を勉強する中で出会ったことは遊びの実例を提示し、受講者のみなさんにはそれを日本語に翻訳していただきます。 ことは遊びが用いられているセンテンスそれ自体が 10 words 程度だったとしても、そのセンテンスの意味を正確に理解するには前後の文脈を深く理解していることが必要になります。また、そのセンテンス のことは遊びを反映した翻訳を作成するためには、前後の部分の翻訳もそれに合わせて調整しなければ ならないということも多くあります。そのため、前後のシーンも含めて視聴・読解・翻訳することになります。 この講義を通じて、以下のことを目指します。 ・実例の英語表現それ自体をとことん正確に理解しようとする姿勢を身に付ける。 ・その理解を日本語訳に余すところなく反映させようとする姿勢を身に付け、その難しさを知る。 ・日本語・英語それぞれの言語において「これこれの場面・文脈でこれこれの意味を表すのにこれこれの表現を使うのはどれくらい普通か(頻度はどのくらいか)」を考えたり調べたりする習慣を身に付ける。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30141	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	1 年 理一 (11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	アメリカ独立をめぐる論争劇ミュージカルの台本を読む アメリカ独立の是非をめぐって議論し、独立宣言を採択した大陸会議を舞台化した論争劇ミュージカル『1776』の台本を読む。マサチューセッツ代表で独立派の急先鋒アダムズ（後の第 2 代合衆国大統領）、ペンシルヴェニア代表で老獯な国際派フランクリン、サウス・カロライナ代表で反対派のラトリッジなど個性的なメンバーが議論を繰り広げる中、戦場のワシントン将軍（後の初代大統領）からは援軍・補給を求める悲観的な通信が届く。夫の留守中に農場と幼子たちを守るアダムズ夫人アビゲイル、独立宣言草案を執筆中のジェファソン（後の第 3 代大統領）を訪ねる若妻など数少ない女性の登場人物たちの貢献も見逃せない。授業では、配役を始め舞台がほぼそのまま映像化された映画を見ながら（各自視聴の場合あり）、今脅かされつつあるアメリカ民主主義の原点を振り返る。					

英語中級（クラス指定セメスター型）月 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30186	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12) 理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	英語のことは遊びを訳す 映画やTVドラマ、小説などで英語の勉強をしていると、ことは遊び(だじゃれ、ジョーク、etc.)に出会うことがしょっちゅうあります。この授業では、教員自身が日頃英語を勉強する中で出会ったことは遊びの実例を提示し、受講者のみなさんにはそれを日本語に翻訳していただきます。 ことは遊びが用いられているセンテンスそれ自体が 10 words 程度だったとしても、そのセンテンスの意味を正確に理解するには前後の文脈を深く理解していることが必要になります。また、そのセンテンス のことは遊びを反映した翻訳を作成するためには、前後の部分の翻訳もそれに合わせて調整しなければ ならないということも多くあります。そのため、前後のシーンも含めて視聴・読解・翻訳することになります。 この講義を通じて、以下のことを目指します。 ・実例の英語表現それ自体をとことん正確に理解しようとする姿勢を身につける。 ・その理解を日本語訳に余すところなく反映させようとする姿勢を身につけ、その難しさを知る。 ・日本語・英語それぞれの言語において「これこれの場面・文脈でこれこれの意味を表すのにこれこれの表現を使うのはどれくらい普通か(頻度はどのくらいか)」を考えたり調べたりする習慣を身につける。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30187	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12) 理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	国際政治の構造やプロセスの基本を学ぶ 本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収の国際政治をめぐる構造・プロセスに関する一部の章を教材として用い、その読解を行っていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて、本コースの受講者は、戦争や国際政治経済・国連などの国際的な枠組み・現状などについての概要が説明できるようになるとともに、現代世界が直面している様々な国際政治上の問題・課題を理解・考察するための素養が養われる。また、英語で記された国際問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30188	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12) 理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	TOEFL の後は、名作を英語で読もう 本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30189	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	トム・ガリー	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12) 理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	Online Discussion This class will focus on improving English-language reading and writing skills through the medium of text-based online discussions. The reading texts will be chosen from discussions that have taken place in the comments sections of the Hacker News website. The writing will take the form of online discussions among students online using a similar text-based BBS. The topics for both the readings and the students' written discussions will be chosen based on students' interests. (While most of the discussions on Hacker News are about technical, IT-related topics, we will focus on discussions of more general topics.)					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30191	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12) 理二三(8)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

英語中級（クラス指定セメスター型）火 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30277	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小田 悠生	英語	火 1	1 年 文一二(23)文三(15)理 二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題 この授業のテーマは、国際人口移動です。2019 年当時、世界の「移民」は世界総人口の 3.5 パーセントに相当する 2 億 7 千万人、日本に暮らす「外国人」は国内総人口の 2.3 パーセントに相当する 290 万人と推計されていました。COVID 19 は、加速の一途をたどるかに見えたグローバルな人の移動に立ち塞がると同時に、現代の世界において国境や国籍が持つ意味を突きつけたと言えるでしょう。この授業では、国際人口移動に関するテキストに基づき、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、様々なイシューについて考えてみましょう。 指定テキストの英語レベルは、概説書や新書に相当します。前提知識がない読者を対象とした、初学者向けのアカデミックな英語を読解した上で、自分の見解を論理的に口頭・文章で表現することができるようになることが目標です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30278	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	逆井 聡人	英語	火 1	1 年 文一二(23)文三(15)理 二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Society with Critical Theory この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30279	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	火 1	1 年 文一二(23)文三(15)理 二三(11,23)
講義題目		Gender and youth cultures in Japan ジェンダーから見る日本の若者文化				
授業の目標概要		The aim of this course is to familiarise students with gender studies with a special focus on youth cultures. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender and sexuality. Students will also collect data online on a topic covered in class. このクラスでは、日本の若者文化について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ等です。また、授業で触れた内容について実際にオンラインでデータ収集をします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30280	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	柳川 浩三	英語	火 1	1 年 文一二(23)文三(15)理 二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Global Issues in Action: Tasks that Work 1. To better understand global issues and discuss them in English. 2. To share personal opinions, views, feelings, and experiences. To succeed in this course, you must get out of your chair and actively discuss global issues with partners, in small groups, and with the whole class. You will be asked to improvise, role play, hold debates, give presentations, and engage in other forms of structured discussion in English. The tasks in this course are designed to deepen your learning by nudging you out of your comfort zone. When you complete this course, you will have gained knowledge about the world, practical skills in using the English language, and experience in speaking out. The global issues of focus (poverty, nuclear threats, environmental issues, violations of human rights, and inequality) are selected to broaden your perspective by drawing your attention to different parts of the world.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30281	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	英語	火 1	1 年 文一二(23)文三(15)理 二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Edgar Allan Poe の The Gold-Bug と The Black Cat を聴く、読む 有名なエドガー・アラン・ポーの代表作「黄金虫」「黒猫」を原語で読み、朗読を聴き、そのうえで、担当者を決めて順番に発表を行ってもらう。自ら積極的に英語に取り組むことを授業の目標とする。どちらも翻訳が多数出ている作品であり、翻訳を参照してかまわない。その上で、原文がどうなっているかを詳しく吟味していく。				

英語中級（クラス指定セメスター型）火 5

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30536	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		Pronunciation and Listening 形式：Zoom によるオンライン授業。 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけでは自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30538	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30539	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30540	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		世界でイニシアチブを取るための英語プレゼンテーション 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションやパネル・ディスカッションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 (オンラインか対面かに関しては、英語科目全体の指示に従う)				

英語中級（クラス指定セメスター型）水 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30566	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	水 1	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		Gender and youth cultures in Japan ジェンダーから見る日本の若者文化				
授業の目標概要		The aim of this course is to familiarise students with gender studies with a special focus on youth cultures. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender and sexuality. Students will also collect data online on a topic covered in class. このクラスでは、日本の若者文化について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ等です。また、授業で触れた内容について実際にオンラインでデータ収集をします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30567	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	水 1	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals				
授業の目標概要		プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30568	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	井上 博之	英語	水 1	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		ウィリー・ヴローティン『ノースライン』を読む				
授業の目標概要		ミュージシャン（Richmond Fontaine、The Delines）としての活躍でも知られる現代アメリカ合衆国の作家ウィリー・ヴローティン（Willy Vlautin）の長編小説『ノースライン』（Northline, 2008）を講読します。決して明るい話ではありませんが、ネヴァダ州を舞台に、社会の日陰で生きる下層の人々の日常を丁寧に描いていく小説です。 多読と部分的なパッセージの精読とを組み合わせることで学期中の読了を目指し、ある程度の分量の英語を継続的に読む能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。あくまでも語学の授業なので今まであまり小説を読んでこなかった学生の受講も歓迎します。学期末には英語で1冊の本を読み切った、小説をとおして今までに知らなかった世界に触れることができたという達成感を持ってもらえるような授業にしたいと思います。 比較的平易な英語で書かれた小説ではありますが、2 週目以降は毎回 15～20 ページほどのペースで読み進めていくので、毎週の予習にある程度の時間がかかる授業であることは覚悟しておいてください（こちらからも補助教材の提供などをおしてできるかぎりのサポートをするつもりです）。受講希望者は初回の授業までに生協などで指定した版のテキストを入手し、最初の章の書き出し 2～3 ページほどに目をおしてきてください。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30569	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ロビンズ・ロジャー	英語	水 1	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要		Listening Comprehension This course is designed to help students improve their ability to apprehend and comprehend the English language in its spoken form. Students will learn to recognize, understand, and contextualize English expression as encountered in different genres and styles as well as in their own group discussions. During the first half of the semester, course materials will be selected from English oratory (formal speech), journalism, and storytelling. The topical focus will then shift toward history and cultural analysis based on educational films for youth from the 1950s. The films primarily address "manners" and appropriate social behavior.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30570	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	吉国 浩哉	英語	水 1	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要		American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. To the sophomore students, please contact the instructor before the first class via e-mail, and do not come to the meeting room without appointment.				

英語中級（クラス指定セメスター型）木 2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30855	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	吉国 浩哉	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. To the sophomore students, please contact the instructor before the first class via e-mail, and do not come to the meeting room without appointment.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30856	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		メディアの英語 時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集／収録したテレビ、ビデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組（CBS, National Public Radio, New York Times Video 等）を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レベル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30857	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習—発音力から聴解力へ— この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30858	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中山 匡美	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		ニュース英語でインプットからアウトプットへ 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界の出来事についての英文ニュースを文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁にでてくる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。また、英文ニュース特有の表現や構成についても学び、英語でニュースを書くことをめざす。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30859	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		認知についての英文を読む 知覚や認識に関わる現象を扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

英語中級（クラス指定セメスター型）木 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30926	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		Meeting people from around the world This year, in addition to listening to recorded presentations with English subtitles, the course will feature a series of remotely invited speakers from different cultural background (Canada, France, Japan, and many more.) The speakers will join the class by videoconference to talk about their experiences related to such topics as gender equality, intercultural communication, mental health issues, animal rescue, or provide insights about their experience doing graduate studies at the university of Tokyo or in another country, for instance. The class will also include a special panel session with Japanese and foreign speakers discussing their experience living in a different country. Students will be encouraged to ask questions of each speaker, discuss their impressions in small groups, and perform other small exercises in English. The objective of this course is to expose students to English as a lingua franca, the common language that enables us to converse with people who come from different cultures and speak different languages. The course aims specifically to expose students to different English accents (including non-native accents), to interact directly with the various speakers and to observe interactions among speakers during the panel session. By the end of this course, students should have considerably improved their listening skills and be able to exchange ideas in English with peers and presenters.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30927	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	オデイ ジョン	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		Philosophy (Applied Ethics) This is a content-oriented course that focuses on topics in Philosophy, and Applied Ethics in particular. We will first cover some of the major philosophical approaches to ethical issues, such as virtue theory, utilitarianism, and others. With this as background, students will be presented with an ethical issue, read about it, and discuss the arguments in class.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30928	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	久世 恭子	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		'Language Myths' & 'Pygmalion' 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテキスト'Language Myths'を主教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲'Pygmalion'の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れ、文学的な作品にも触れる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30929	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class. Readings for this class will be available on-line.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30930	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 メディアの英語						
授業の目標概要		時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集／収録したテレビ、ビデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組（CBS, National Public Radio, New York Times Video 等）を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レベル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30931	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 はじめてのニュース英語						
授業の目標概要		ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れるとともに、ニュースでよく使われる表現や語彙を増やすことを目指す。				

英語中級（クラス指定セメスター型）金 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31034	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 1	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		Ethics in the Context of Major Religious Traditions The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. In regard to content, from the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time. In the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given; in the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period (and, in some cases where there will be more than one task, a bit later during class time), and the answers and/or essay will be due near the end of it.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31035	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	金 1	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		認知についての英文を読む 知覚や認識に関わる現象を扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31036	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	英語	金 1	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		Making bridge from comprehension to practice In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English. In this course, students are expected to learn 1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening, 2. Business English skills for effective spoken and written communication, 3. Strategic competence necessary for global business. By the end of this course, you will be able to: -Comprehend basic vocabulary and expressions for business English -Speak and write basic-level short sentences about business topics -Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management -Present your basic ideas about global business communication in English				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31037	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	英語	金 1	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読む 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。なお、使用する教材は、世界最高峰の英文法書 Quirk et al(1985) と Huddleston and Pullum (2002) を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31038	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	金 1	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		アメリカ史で鍛える英文リーディングー初期アメリカ史の重要テーマ 【概要】 建国期から南北戦争までの時期のアメリカで本授業では、初期アメリカにおける宗教と社会改革・領土拡張の関係について書かれた英文を読みます。最初の数回で初期アメリカ史についての概説書を読んで必要な基礎知識を仕入れ、その後、宗教と政治・社会の関係について論じる研究書や論文を読みます。 【目標】 アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 英文の概要を簡潔かつ正確な日本語で要約できるようになる。 アメリカの歴史や社会に関する知識を得て現代アメリカについての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31177	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 1	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		翻訳の実際と理論：英文読解と日本語のトレーニング 英語の文学的文章を日本語に翻訳し、また、翻訳に関する論説的文章を合わせて読みます。 「英語が読める」とは、日本語に頼らず内容を理解できることを指しますが、内容理解を確認するのに日本語が有用であることは言うまでもありません。一方、これを「英文和訳」とするならば、こえは「翻訳」とは違います。「翻訳」は、もとの英文を全く知らない読者に、できるだけもとの英文の内容が伝わらなければなりません。 翻訳は英文を正確に読むことと、これをよく伝える日本語を練り上げることから成っています。日本語表現の鍛錬は、厳密には英語の技能トレーニングからは外れますが、日本語翻訳を作成する際にその根拠を考えることで、より深い英文の理解が促されると考えています。具体的には、短編小説と短い戯曲を対象とします。				

英語中級（クラス指定セメスター型）金 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31130	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		Let's Read and Discuss The aim of this course is to help students improve their reading skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote as much social interactions as possible online, including pair/group work and discussion. We will read extracts from a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in magazines such as The New Yorker and Granta. It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31131	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	トム・ガリー	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		Online Discussion This class will focus on improving English-language reading and writing skills through the medium of text-based online discussions. The reading texts will be chosen from discussions that have taken place in the comments sections of the Hacker News website. The writing will take the form of online discussions among students online using a similar text-based BBS. The topics for both the readings and the students' written discussions will be chosen based on students' interests. (While most of the discussions on Hacker News are about technical, IT-related topics, we will focus on discussions of more general topics.)				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31132	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田中 伸一	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		未来学入門 ここでいう「未来学」とは、未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って、逆に想定される未来をもたらしには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また、社会全体の体制がどうあるべきかではなく、それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今、教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では、数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された5つのエッセーを読み、そうした「未来学」のイロハを学びつつ、未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは、“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲），“The Logic of Nature”（自然の論理）の5つのうち4つであり、こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また、やや古い著書ではあるが色褪せることもなく、古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31133	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドウイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れるとともに、ニュースでよく使われる表現や語彙を増やすことを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31134	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		Ethics in the Context of Major Religious Traditions The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. In regard to content, from the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time. In the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given; in the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period (and, in some cases where there will be more than one task, a bit later during class time), and the answers and/or essay will be due near the end of it.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31135	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、機会があればイギリス英語、アメリカ英語以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。				

英語中級（クラス指定セメスター型）金 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31175	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	オデイ ジョン	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Philosophy (Applied Ethics) This is a content-oriented course that focuses on topics in Philosophy, and Applied Ethics in particular. We will first cover some of the major philosophical approaches to ethical issues, such as virtue theory, utilitarianism, and others. With this as background, students will be presented with an ethical issue, read about it, and discuss the arguments in class.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31176	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田中 伸一	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	未来学入門 ここでいう「未来学」とは、未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って、逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また、社会全体の体制がどうあるべきかではなく、それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今、教養人が当然知っておいてよい見識である。この授業では、数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された5つのエッセーを読み、そうした「未来学」のイロハを学びつつ、未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは、“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲），“The Logic of Nature”（自然の論理）の5つのうち4つであり、こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また、やや古い著書ではあるが色褪せることもなく、古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31178	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Ethics in the Context of Major Religious Traditions The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. In regard to content, from the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time. In the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given; in the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period (and, in some cases where there will be more than one task, a bit later during class time), and the answers and/or essay will be due near the end of it.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31179	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Literature and Social Criticism In this course, students will learn to read literature through the lens of social issues. Students will read several short stories by American author Shirley Jackson such as "The Lottery" and "Flower Garden" and examine theoretical, political, and historical contexts that underpin the stories. In addition to the stories, they will be introduced to social criticism and cultural theory on race and politics from the 1940s and 1950s. In their discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach literature from an interdisciplinary standpoint, and how to deeply read a story for its context and multiple meanings.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31180	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action				

英語中級・上級 全クラス型

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30010	S	英語中級	坪井 栄治郎	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		認知についての英文を読む 知覚や認識に関わる現象を扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30240	S	英語中級	アンダル ジャクリーン	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas int he selected texts and to explore their responses to the readings in class. Readings for this class will be available on-line.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30241	S	英語中級	後藤 春美	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係の歴史 雑誌 Historical Journal と International Affairs に掲載された論文の読解。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30242	S	英語中級	佐藤 光	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アガサ・クリスティ『パディントン発 4 時 50 分』を原文で読む <目標>英語で小説を読み切ることを目指します。 <概要>原作を必ず手に入れて、読み進めて下さい。Harper Collins 版を生協が手配します。推理小説、英文学、イギリス文化に興味のある人を歓迎します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30314	S	英語中級	ロビンズ・ロジャー	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Listening Comprehension This course is designed to help students improve their ability to apprehend and comprehend the English language in its spoken form. Students will learn to recognize, understand, and contextualize English expression as encountered in different genres and styles as well as in their own group discussions. During the first half of the semester, course materials will be selected from English oratory (formal speech), journalism, and storytelling. The topical focus will then shift toward history and cultural analysis based on educational films for youth from the 1950s. The films primarily address "manners" and appropriate social behavior.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30315	S	英語中級	逆井 聡人	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Society with Critical Theory この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30785	S	英語中級	後藤 春美	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係の歴史 雑誌 Historical Journal と International Affairs に掲載された論文の読解。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30786	S	英語中級	ロビンズ・ロジャー	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Listening Comprehension This course is designed to help students improve their ability to apprehend and comprehend the English language in its spoken form. Students will learn to recognize, understand, and contextualize English expression as encountered in different genres and styles as well as in their own group discussions. During the first half of the semester, course materials will be selected from English oratory (formal speech), journalism, and storytelling. The topical focus will then shift toward history and cultural analysis based on educational films for youth from the 1950s. The films primarily address "manners" and appropriate social behavior.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31062	S	英語中級	河合 祥一郎	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Edgar Allan Poe の The Gold-Bug と The Black Cat を聴く、読む。 ・有名なエドガー・アラン・ポーの代表作「黄金虫」「黒猫」を原語で読み、朗読を聴き、そのうえで、担当者を決めて順番に発表を行ってもらう。自ら積極的に英語に取り組むことを授業の目標とする。どちらも翻訳が多数出ている作品であり、翻訳を参照してかまわない。その上で、原文がどうなっているかを詳しく吟味していく。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31063	S	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31064	S	英語中級	グレノン イザベル	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Meeting people from around the world This year, in addition to listening to recorded presentations with English subtitles, the course will feature a series of remotely invited speakers from different cultural background (Canada, France, Japan, and many more.) The speakers will join the class by videoconference to talk about their experiences related to such topics as gender equality, intercultural communication, mental health issues, animal rescue, or provide insights about their experience doing graduate studies at the university of Tokyo or in another country, for instance. The class will also include a special panel session with Japanese and foreign speakers discussing their experience living in a different country. Students will be encouraged to ask questions of each speaker, discuss their impressions in small groups, and perform other small exercises in English. The objective of this course is to expose students to English as a lingua franca, the common language that enables us to converse with people who come from different cultures and speak different languages. The course aims specifically to expose students to different English accents (including non-native accents), to interact directly with the various speakers and to observe interactions among speakers during the panel session. By the end of this course, students should have considerably improved their listening skills and be able to exchange ideas in English with peers and presenters.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31065	S	英語中級	ナルト デリック	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		"Success": From Aristotle to Zuckerberg In this course, we will study "success" principles as understood by Western thinkers and innovators ranging from philosophers in Classical Greece to contemporary business professionals. The purpose of the course, besides being to expose students to life questions that date back to ancient times and the ideas of the most influential thought leaders of our own era, is to help participants formulate their own definition of "success," set concrete and achievable goals, improve their levels of self-confidence and self-awareness, and become more effective in their personal, academic, and work lives.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31217	S	英語中級	トム・ガリー	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Online Discussion This class will focus on improving English-language reading and writing skills through the medium of text-based online discussions. The reading texts will be chosen from discussions that have taken place in the comments sections of the Hacker News website. The writing will take the form of online discussions among students online using a similar text-based BBS. The topics for both the readings and the students' written discussions will be chosen based on students' interests. (While most of the discussions on Hacker News are about technical, IT-related topics, we will focus on discussions of more general topics.)				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31218	S	英語中級	松本 和子	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドウイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れるとともに、ニュースでよく使われる表現や語彙を増やすことを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30011	S	英語上級	アルヴィ なほ子	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英語のテキストを読み、聞き、考えるということ 目標) 高校までであまり読まなかった(と思われる) 英語の詩を目で読み、耳で聞き、その詩に触発された散文(科学者が書いたコメント、新聞の記事、小説家のエッセイなど) とアートワークを参照することで、英語のリズム、読解、聴解を行います。 英語圏では詩は日常生活のいたるところにあります。2021 年 1 月のアメリカの大統領の就任式で Inaugural Poet に選ばれた 23 才の Amanda Gorman が"The Hill We Climb"を朗読するのをニュースで見た人もいると思います。 韻文と散文の違いを自分で体験することで英語のリズムよりよく理解できるようになります。文脈情報や視覚情報や自分の知識を聴覚とともに働かせて聞き取りをするという実践によって、文章の読解をさらに深めます。また、1 つのテキストを読む・聞くことによってそのテキストの受容者が何を受け取り、どのように新しいテキストを産出するかを合わせて学びます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30243	S	英語上級	サーギル ジェームズ ク リストファー	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30316	S	英語上級	サーギル ジェームズ ク リストファー	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		An Introduction to Cultural Geography This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of Cultural Geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30787	S	英語上級	サーギル ジェームズ ク リストファー	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Geographies of Horror This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including: M.R. James, Lafcadio Hearn, and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts, and audio-visual materials.				

総合科目 L 系列 ドイツ語

ドイツ語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要		発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gesprächsuebungen durchgeführt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.	
成績評価方法		平常点（出席、宿題）および試験によって行う。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.	
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編	
関連ホームページ		http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30331	火 2	竹峰 義和	1 年 文科 (TLP)
30332	火 2	石田 勇治	1 年 文科 (TLP)
30423	火 3	オブヒュルス 鹿島	1 年 文一二(22)
30731	水 3	デーゲン ラルフ	1 年 文三(16)
30760	水 4	I・カウフマン	1 年 文一二(20)
31390	水 6	デーゲン ラルフ	1 年 文科（オンライン）
30936	木 2	ヘルマン ゴチェフスキ	1 年 文三(15)
30969	木 4	クリスティアン クリンク	1 年 文一二(21)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30329	S	ドイツ語初級（演習）	竹峰 義和	ドイツ語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1.und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30330	S	ドイツ語初級（演習）	石田 勇治	ドイツ語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30788	S	ドイツ語初級（演習）	クリスティアン クリ ンク	ドイツ語	水 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（演習） 発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。 特に文法と会話の練習に重点を置く。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gesprächsuebungen durchgeführt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31066	S	ドイツ語初級（演習）	一條 麻美子	ドイツ語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級文法の復習と読解・聞き取り・作文への応用 必修の初級外国語としてドイツ語を受講している理系の 1 年生を対象とした授業である。共通教科書『Einblicke』で学ぶ文法事項準拠しながら、語彙力の強化、読解、聞き取り、作文の練習を通じて、基礎力の定着とドイツ語の実践を目指す。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30317	S	ドイツ語初級（会話）	オブヒュルス 鹿島	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語会話 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（書く、聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う。 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Schreiben, Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31001	S	ドイツ語初級（作文）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（作文） 初級文法の知識を用いて、平易な文章をドイツ語で作る練習を行う。作文することで文法項目の理解を深め、語彙力も高める。作文したドイツ語文を発音する練習もできるので、会話力やプレゼンテーション力の基礎固めも目標とする。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30830	S	ドイツ語初級（表現練習）	ククリンスキ ルーベ ン	ドイツ語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（表現練習）、Deutsch Redemittelübungen für Anfänger*innen 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠の言語レベル A1 の典型的な表現に焦点を当て、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの 4 技能すべての実践的な演習で構成されています。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel für das Sprachniveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens. Der Unterricht besteht aus praktischen Übungen in allen vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30251	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリ ンク	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1.und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30318	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語初級（インテンシヴ） この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レベルに必要な能力を養うことを目指す。ba ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30795	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベ ン	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30831	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語初級（インテンシヴ） この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レベルに必要な能力を養うことを目指す。ba ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31015	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリ ンク	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31223	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベ ン	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31273	S	ドイツ語初級（第三外国語）	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語初級（第三外国語） ドイツ語の初級文法を、ひとつとおり理解すること。 日常的な挨拶や会話表現を習得すること。 やさしいドイツ語の文章が読めるとともに、ドイツ語の初歩的な表現力、運用力を身につけること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30319	S	ドイツ語初級（第三外国語）	クリスティアン クリ ンク	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner) Dieser Kurs ist für Studierende ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Vermittlung der grundlegenden deutschen Grammatik. Durch diverse Übungen sollen grundlegende sprachliche Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt werden. Der Kurs beginnt im Sommersemester (April) und wird im darauffolgenden Wintersemester (September) fortgeführt. Studenten können sich allerdings auch nur für einen der beiden Kurse einschreiben, sollten aber beachten, dass der Kurs im Sommersemester ein reiner Anfängerkurs und im Wintersemester ein Fortsetzungskurs auf Niveau A1.1 ist. This course is designated for students without any previous knowledge of German (Level A1 of the European Reference Framework). The course focuses on the foundation of the German grammar. Through various exercises, students are taught the essentials of the language (listening, reading, writing, speaking). The course starts in the spring semester (April) and will be continued in the autumn semester (September). Students can take either or both courses, but they should be aware that the course starting in April is a class for complete beginners and the one starting in September requires knowledge of the German language roughly equal to the A1.1 level of the European Reference Framework.					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31275	S	ドイツ語中級（演習）	田邊 恵子	ドイツ語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語で書かれたメルヒェンや絵本をじっくり読む これまでみなさんが学んできた初級文法の応用編に位置付けられる演習です。 レベルとしては、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）レベル B1～2、ドイツ語技能検定試験（独検）4～3 級を想定しています。 題材とするのはグリム童話に代表されるメルヒェン（Märchen）や、ドイツの子どもたちに馴染み深い絵本です。とはいえ子ども向けのテキストとはいえあなどるなかれ。じっくり読んでみると文法の面でも、内容の面でもたくさんの気づきがあるはずです。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30252	S	ドイツ語中級（演習）	長木 誠司	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 2 回のネイティブ教員（ククリンスキ先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31276	S	ドイツ語中級（演習）	BUCHENBERGER STEFAN	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語の実践的な運用能力、異文化コミュニケーション能力、国際社会に通用する専門的知識と幅広い教養、協調的な態度を総合的に修得することができること。 ドイツ語の基本的な表現を復習しながら、会話表現をさらに深めることを学習目的とする。ドイツ文化の知識を育てて異文化の意識を深める。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30796	S	ドイツ語中級（演習）	田中 純	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 2 回のネイティブ教員（カウフマン先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31067	S	ドイツ語中級（演習）	高橋 亮介	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		演習（文法・表現） 初級文法を履修済みの受講者を対象とした科目。初等学習の段階ではあまり詳しく取り上げられないことがない項目を優先的に扱うことにより、既存のドイツ語知識の精緻化を目指す。また、さまざまな形式の演習を組み合わせることにより、総合的な運用能力の向上にも努める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31002	S	ドイツ語中級（会話）	ククリンスキ ルーベ ン	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Deutsch-Konversation für Fortgeschrittene (Mittelstufe) Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden vor allem das aktive Sprechen und Reagieren im Gespräch; Ziel ist die Erweiterung des Wortschatzes und der Redemittel zur aktiven und spontanen Anwendung. Lehrmaterial und Themen orientieren sich am Niveau und Interesse der Teilnehmenden. ドイツ語を 1 年（以上）学んだことがある受講者を想定している。授業の目標はドイツ語圏での日常生活の様々な状況に対応できる表現力を養うことにある。授業はペアや少人数グループ練習などを通して実践的な口頭練習に重点をおく。教材と具体的な内容は、参加者のレベルと興味によって決定させる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31068	S	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン ク リンク	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級（作文） Schreibübungen (Mittelstufe) 様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30253	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Lerner mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, so dass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren, und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30333	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルー ベン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31081	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Lerner mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, so dass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren, und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31082	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルー ベン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。				

総合科目 L 系列 フランス語

フランス語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要		一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。	
成績評価方法		この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。	
教科書		平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。	
		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook	
		書名 『Rythmes & communication (リズムコミ！ フランス語会話)』	
		著者（訳者） アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦	
		出版社 朝日出版社	
		ISBN 978-4-225-35275-6	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30200	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
30336	火 2	寺田 寅彦	1 年 文科 (TLP)
30337	火 2	CAPEL Mathieu	1 年 文科 (TLP)
30424	火 3	ビゼ	1 年 文一二(23)
30507	火 4	DE VOS PATRICK HENRI	1 年 文一二(24)
30646	水 2	アルベリック ドリブル	1 年 文一二(27)
30647	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(28)
30728	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
30764	水 4	アルベリック ドリブル	1 年 文三(20)
31140	金 3	ビゼ	1 年 文三(17)
31141	金 3	Steve Corbeil	1 年 文三(19)
31184	金 4	アガエス ジュリアン	1 年 文三(18)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30334	S	フランス語初級（演習）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語演習（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30335	S	フランス語初級（演習）	寺田 寅彦	仏語・伊語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語演習（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30789	S	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初修 一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないま す。文科生の必修授業「フランス語演習」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30320	S	フランス語初級（会話）	Vallienne Corinne	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Parlons français ! 会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、 聞く、読む、話す、書くの 4 つの能力も鍛えます。初心者を対象とします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31219	S	フランス語初級（読解）	須藤 佳子	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語読解の基礎力をつける この授業では、初級文法にもとづき基本語彙をもちいて書かれた、フランス語の文章を読んでいきます。 文の構造を正確に把握した訳読をおこなうことで、初級文法の知識を補いつつ定着させ、基本語彙を身につけ、読解の 基礎力を養います。まとまりのある平易な文章を、辞書をたよりに、自力で読めるようになることを目指します。 未修の文法事項があることを前提として授業を進めます。すでに初級文法をひととおり終えた学修者にとっては、もの たりないレベルとなるでしょう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30020	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アガエス ジュリア ン	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指 す。 春学期の目的：DELF のレベル A1 に達する				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30021	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アルベリック ドリ ブル	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L Pフランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30244	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アルベリック ドリ ブル	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フ ランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなり ます。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実 際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリ ブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年 間を通して履修することが望まれます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30245	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アガエス ジュリア ン	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フ ランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなり ます。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実 際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ア ガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、 年間を通して履修することが望まれます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30790	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アルベリック ドリ ブル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フ ランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなり ます。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実 際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリ ブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年 間を通して履修することが望まれます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30832	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フ ランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなり ます。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実 際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ア ガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、 年間を通して履修することが望まれます。 春学期の目的：DELF のレベル A1 に達する				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31083	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイ ンテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指 す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31224	S	フランス語初級（インテンシ ヴ）	アルベリック ドリ ブル	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイ ンテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指 す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30791	S	フランス語初級（第三外国 語）	山田 広昭	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級 フランス語の入門授業として、発音、綴り字の読み方からはじめて、接続法まで含めたフランス語の文法の全体像を概 観する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31069	S	フランス語初級（第三外国 語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（第三外国語） フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば平易な文章の意味が理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項を用いながら、特定の身近な話題に関してフランス語で自然に会話ができるようになる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30338	S	フランス語中級（演習）	郷原 佳以	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語演習（2 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30901	S	フランス語中級（演習）	原 和之	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース（2 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30951	S	フランス語中級（演習）	ビゼ	仏語・伊語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Cours de français écrit Ce cours a pour objectif d'encourager les étudiants à écrire en français à travers des exercices individuels ou collectifs. Nous travaillerons notamment sur la biographie.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30094	S	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリア ンヌ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級会話 フランス文化の様々な側面を学ぶとともに、実践的な会話能力を高める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31206	S	フランス語中級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Composition écrite Ce cours a pour objectif de former et d'entraîner les étudiants à la rédaction en français. Nous insisterons sur les techniques du récit au passé, à partir de documents authentiques et de films (Albert Lamorisse et Kurosawa Akira).				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31165	S	フランス語中級（表現練習）	マルティネル ルイ	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		“Apprendre le français par le cinéma, la littérature francophones” 映画とフランス語圏文学で学ぶ仏語 Ce cours vous propose d’apprendre le français par le cinéma francophone. Au programme, films et documentaires francophones. En fonction du programme, du temps, de votre progression. Ce n’est pas “une séance cinéma”. Après chaque film (1 ou 2 par semestre), il faut réaliser des travaux, des présentations écrites et orales (fiche technique, résumé, analyse, présentation de personnages, de pays francophones, de thèmes sociaux, culturels, ...) sur des modèles donnés. Avec le professeur en activité-classe, il faut travailler sur des documents pédagogiques (fiche de vocabulaire, de grammaire, d’expressions orales (extraits de films), écrites (répliques, chansons à lire, mémoriser, jouer). フランス語圏の映画を教材にしてフランス語を学ぶ 授業では仏語の映画やドキュメンタリーを見ます。皆さんの理解具合にあわせて進めます。授業は映画鑑賞会ではないので、見た後に（学期に1本か2本）筆記や口頭で発表をしていただきます（テクニカルな特徴、要約、分析、人物紹介、国の紹介、社会や文化の紹介など）。単語、文法、口頭表現（映画から）や、筆記表現（表現、歌などを読み覚えて使ってみる）をそれぞれ学びます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30595	S	フランス語中級（読解）	飛嶋 隆信	仏語・伊語	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		時事フランス語講読 現代のフランスにおける教育、社会問題、芸術・文化の各分野に関する文章を二篇ずつ講読し、初級の授業で習得した文法事項をもとに中級程度のフランス語の文章を読解する力を養う。また、作文演習も併せて行い、表現力の養成も目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30230	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L Pフランス語インテンシヴ・コース（2年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30100	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L Pフランス語インテンシヴ・コース（2年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31167	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L Pフランス語インテンシヴ・コース（2年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31016	S	フランス語中級（インテンシ ヴ）	アガエス ジュリア ン	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		T L Pフランス語インテンシヴ・コース（2 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてイ ンテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指 す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30454	S	フランス語上級（読解）	森元 庸介	仏語・伊語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		思索と日々 進行中の現実に向き合って綴られたフランス語のテキスト——報道そのものではなく、主として文学者、哲学者、歴史 家による短いエッセイ——をいくつか取り上げ、講読する。内容はもちろん大事であるが、人文系のフランス語に触れ る入門的な機会とする。テキストとしていま考えているのは、フランソワ・アルトーグ（歴史学）、オリヴィエ・クリス タン（歴史学／美術史）、ピエール・サンガラヴェルー／シルヴァン・ヴネール（歴史学）、マリエル・マセ（文学）、ジ ャック・ランシエール（哲学）などによるものだが、授業の性質上、変更の可能性が大。				

総合科目 L 系列 中国語

中国語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要		一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。	
成績評価方法 教科書		定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 聴解・会話演習テキスト 著者(訳者) 毛 興華	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30064	月 2	林 立梅	1 年 文一二(16)
30193	月 4	WANG QIN	1 年 文一二(13)
30204	月 4	毛 興華	1 年 文三(11)
30421	火 3	喬 志航	1 年 文一二(19)
30757	水 4	中原 裕貴	1 年 文一二(15)
30862	木 2	李 彦銘	1 年 文一二(17)(TLP)
30868	木 2	鄧 芳	1 年 文三(12)(TLP)
30974	木 4	柴 森	1 年 文三(13)
31033	金 1	斉 金英	1 年 文一二(18)
31129	金 3	張 玉萍	1 年 文一二(14)
31139	金 3	李 雲	1 年 文三(14)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30294	S	中国語初級（演習）	李 洵	中国語	火 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		理系生のための基礎トレーニング 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30339	S	中国語初級（表現練習）	鄧 芳	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング TLP（トライリンガル・プログラム）理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではないが、できるだけ参加することが望ましい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30246	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング C 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱榮・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30247	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱栄・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30321	S	中国語初級（インテンシヴ）	楊 凱栄	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング E 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱栄・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30340	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム(TLP)の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30341	S	中国語初級（インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	火 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム(TLP)の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30833	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング C 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱榮・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30834	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱榮・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30954	S	中国語初級（インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	木 3	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31003	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング D 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱榮・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31004	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱栄・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31070	S	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング E 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱栄・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31071	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング D 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱栄・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31072	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：木 5 と金 2 【E】担当教員：楊凱栄・王英輝 開講曜限：火 2 と金 2 ☆クラス分け（人数多数の場合には抽選）を行う方法の詳細は「履修上の注意」を参照のこと。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆S セメスターはオンラインで実施する。 オンライン授業の URL は事前に各クラスの ITC-LMS かシラバスの「オンライン授業情報」の欄で知らせる。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31084	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	金 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31085	S	中国語初級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	金 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31225	S	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	金 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30012	S	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門（A セメスターの続き） 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業は同教員が担当した A セメスターの続きを行う（第 9 課から始める予定）。 授業の性質上 30 名を定員とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30322	S	中国語初級（第三外国語）	毛 興華	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。半年間のみの授業なので、続けて学習をしたい者は A セメスターに同じテキストで開講される、第三外国語の授業を継続的に履修することが可能である。 授業の性質上 50 名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31073	S	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターはI、A セメスターはその続きのIIである。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30095	S	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語作文と和訳 中国語作文（奇数週）と和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会；向こうの出版社）を拼音（ピンイン）に基づき正確に朗読した後（もちろん、本には拼音表記なし）、文筆家並みに流麗に和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせる。「和訳」である以上、みなさまにプロの精錬された日本語訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に対応可能。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語などを習慣的且つ瞬間的に言う・書く技を、しっかり身に付けさせる。Zoom のチャット機能をフルに活用（向こうの言葉の入力など）。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30101	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30455	S	中国語中級（演習）	白 春花	中国語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30597	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30835	S	中国語中級（演習）	何 珍時	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ステップアップ中国語～総合的学習（中級レベル） 1 年間の中国語学習を終えた学生を対象に、中国語の読解力と表現力を中心にやや高度な文法事項の学習を行う。初級の次のステップとして中級レベルの能力を養うことを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31074	S	中国語中級（演習）	李 雲	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ステップアップ中国語～中級レベルの総合的学習 1 年間の中国語学習を終えた人を対象に、中国語の読解力と表現力を中心に、やや高度な文法事項の学習を行う。初級の次のステップとして中級レベルの能力を養うことを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30521	S	中国語中級（会話）	喬 志航	中国語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語中級（会話） 目標 長文読解能力を向上させることと、広範で複雑な話題についても明瞭に自分の意見を表現できることを目標とする。 中国語を使った研究を始める基礎的な力がある。 異文化の理解につとめ、多様な価値観への寛容性を身につけるよう期待する。 概要 中国語を一年間学習した学生を対象に、中国語の長文読解と文法事項を教え、そしてテーマごとに中国語会話の練習を行う。 中国語圏の歴史や文化、社会情勢などに関係するテーマについて、言葉の背景にある中国の社会、政治、文化、歴史などについての知識をも積極的に取り入れて、言葉の微妙なニュアンスを感じ取り、真のコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化への理解力を培うように心掛けたい。 授業のはじめに、教員による本文の内容確認をし、関連する表現や文法事項について説明を行う。そのうえで、学生による発表・討論、またはディベートを行う。それを通じて、中国語による表現力を強化させていく。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30674	S	中国語中級（会話）	賈 黎黎	中国語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語中級会話 自分の身の回りや関心のある事柄について、ある程度まとまった内容を、趣旨が通じる程度に書いたり話したりすることができる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31005	S	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		コミュニケーション能力を高めるための実践的授業 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やししながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場면을話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30952	S	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		やや高度の中級作文練習 基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く自由に中国語で表現できることを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30096	S	中国語中級（読解）	中村 元哉	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語中級（読解） 中国語の基礎文法を使って、中級レベル（新聞の社説レベル）の読解力を養う。その際に、もし可能であれば、中国の歴史・文化の理解を深めるとともに、デジタル化時代の自動翻訳機能がどこまで利用できるのかも併せて検討してみたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30342	S	中国語中級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30523	S	中国語中級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30596	S	中国語中級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語中級インテンシブ会話 中級インテンシブ聴解をセットで履修することが望ましい。水曜日 1 限では、主に会話の訓練を行う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30897	S	中国語中級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		耳を澄ませてリスニングチャレンジ この授業では主に聞き取りの訓練を行う。 街中で録音した自然な会話を聞き、初級で習得した単語や構文を点検するとともに、日常会話やテレビの報道番組などが聞き取れることを目指す。 なお、会話中心の「中級インテンシヴ」とセットで履修することを強くお勧めします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30902	S	中国語中級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30955	S	中国語中級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31086	S	中国語中級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31168	S	中国語中級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30323	S	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語映像翻訳演習 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。 ＊ 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31075	S	中国語上級（会話）	斉 金英	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語上級会話 読解力を磨き、現代中国への認識を広めながら、中国語で自分の「考え」を話すことができることを目標とする。まず、現代中国の世相を反映する中国語の現代小説の読解を通して、中国語の表現力が自然と身につくことを図る。そのうえで、授業中に分担部分の内容の大意を口頭発表し、さらに問題提示やディスカッションを通して理解を深め、会話力を高める。教員も含めた双方向的な対話のなかで自然と湧いてくる疑問や感想や独自の見解を中国語で言語化していくことを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30836	S	中国語上級（作文）	張 政遠	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		作文 中国語でエッセイを書く。表現力を高める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30248	S	中国語上級（読解）	WANG QIN	中国語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		魯迅『呐喊』を読む 魯迅『呐喊』の原文を基本的なテキストとして読み、中国語の文学的表現を示す。日本語訳や英語訳などの翻訳が多くあるからこそ、多言語のコンテキストのななで比較しながら魯迅の作品における中国語原文ならではの醍醐味を味わることができる。				

総合科目 L 系列 ロシア語

ロシア語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要		正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。	
成績評価方法 教科書		平常点など。 プリントを配布する。／Will distribute handouts	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30965	木 4	Gutova Ekaterina	1 年 文一二(4)
30971	木 4	Grecko Valerij	1 年 文三(4)
30992	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文科 (TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30747	S	ロシア語初級（演習）	Grecko Valerij	ロシア語	水 3	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30991	S	ロシア語初級（演習）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 4	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ロシア語演習 (TLP) ロシア語でのオーセンティックな内容（教科書以外）を理解し、それについて議論することができるための基礎を作る演習です。カードなどを用いて、テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ミニレクチャーや音楽を聞いたり、ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論やディベート、ロールプレイをします。宿題は主として新しい単語の復習であり、ボキャブラリー増加を目指します。 ※この授業は TLP 生専用です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31076	S	ロシア語初級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30022	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 1	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ） TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。2 コマセットで履修すること（月曜 1 限と金曜 5 限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30249	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	奈倉 有里	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ） ロシア語の読解力を強化します。 ※インテンシヴ・クラスは週 2 回のセットで履修することが必要です。かならず水曜 5 限のペアの授業と一緒に履修すること				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30792	S	ロシア語初級（インテンシ ヴ）	Grecko Valerij	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。 ※「初級インテンシヴ」は週 2 コマをセットでのみ履修できます。かならず月曜 5 限の授業と両方を履修してください。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31226	S	ロシア語初級（インテンシ ヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ） TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。2 コマセットで履修すること（月曜 1 限と金曜 5 限）。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31006	S	ロシア語初級（第三外国語）	細川 瑠璃	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級 ロシア語の初学者を対象に、キリル文字の発音から始めて、ロシア語で簡単な読み書きができるようになることを目指します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30228	S	ロシア語中級（演習）	竹内 恵子	ロシア語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（演習） ロシア語の初級文法をある程度（「動詞の体」くらいまで）学習している者を対象に、初級～中級にかけての更なる文法習得および再確認につとめながら、ロシア語で書かれたさまざまなテキストを丁寧に訳読していくことにより、中級レベル以上の文法、語彙、構文の習得を目指す。 また、朗読の訓練を通じて、自然な発音やイントネーションを身につけていく。 更に、講読するテキストを通じて、ロシア語文化圏の多様な背景知識を得ることが目標である。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30560	S	ロシア語中級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話表現（中級） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30777	S	ロシア語中級（作文）	毛利 公美	ロシア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級作文 作文を通してロシア語の既習文法を確認し、より豊かな語彙や表現を身につけることを目指します。1 年次にまだ学習していない仮定法や関係代名詞、分詞の使い方等についても学びます。数詞を含めた格変化が正しくスムーズに使いこなせるように訓練し、体や同義語の使い分けができるように理解を深めます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30324	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	丸山 由紀子	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ）／ Russian Language (Intermediate) ロシア語の中級文法をしっかりと身につけ、ロシア語の運用能力向上を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30797	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） TLP 生 2 年生用のインテンシヴ授業である。週 2 コマ行い、ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31007	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） 主に一年生時に初級（インテンシヴ）を受講した学生を対象に、読む・聞く・書く・話すの能力を総合的に育んでいきます。 基礎文法の知識を確認しながら、より高度な文法力の育成を目指します。ネイティブ・スピーカーの先生が聴取・発音・会話に関して高度な運用能力を育成します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31210	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） TLP 生 2 年生用のインテンシヴ授業である。週 2 コマ行い、ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30676	S	ロシア語上級（演習）	渡邊 日日	ロシア語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（演習） TLP ロシア語 2 年生を対象に、1 年生文法の基礎固めを行いつつ、さらなる文法的知識の習得につとめます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30097	S	ロシア語上級（会話）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（会話） ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既修」で入学した学生のみである。それ以外の学生は履修できないので注意すること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31166	S	ロシア語上級（作文）	Grecko Valerij	ロシア語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語の文章表現 ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品、学術論文など）を読み、それらを分析して、実際にそれぞれの文体でロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的には学術的な内容をもつレポートや論文をロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30748	S	ロシア語上級（読解）	毛利 公美	ロシア語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア文学を読む ロシア語を2年以上学習した学生を対象に、現代ロシア文学の作品を精読しながら、ロシア語のテキストを精確にニュアンスまで読み取る力を養います。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。それ以外の学生は履修できませんので、注意してください。				

総合科目 L 系列 スペイン語

スペイン語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要		この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざします。文系はクラス指定の演習を設けてあります。理系ではこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）を開講しますので、積極的に参加してください。	
成績評価方法		各教師の指示に従ってください。	
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤 著者(訳者) 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30060	月 2	松田 葉月	1 年 文一二(7)
30063	月 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	1 年 文一二(12)
30185	月 4	イサベル カルロス	1 年 文一二(9)
30023	月 5	松田 葉月	1 年 文科(TLP)
30403	火 3	イサベル カルロス	1 年 文一二(10)
30404	火 3	AIT MORENO ISAAC	1 年 文一二(11)
30616	水 2	松田 葉月	1 年 文一二(8)
30729	水 3	松田 葉月	1 年 文三(7)
30972	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文三(8)
30973	木 4	イサベル カルロス	1 年 文三(9)
30203	金 4	松田 葉月	1 年 文三(10)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30013	S	スペイン語初級（演習）	ドニャス ベレニャ アントニオ	スペイン語	月 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語初級（演習） この演習は理系の学生向けの選択科目で、文系の学生向けの必修科目であるクラス指定のスペイン語演習に該当します。 スペイン語一列で用いる教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、ス ペイン語の運用能力を高めることを目指します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30343	S	スペイン語初級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		Vocabulary and conversational practice This course will help TLP students enhance their written and spoken communication skills in Spanish, due to its focus on vocabulary exercises and conversational practice of the contents studied in the grammar courses. Pair and group work will be used extensively in the class.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31008	S	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語（初級会話） 新型コロナ・ウィルス禍により、S セメスターの授業形態は大幅な変更を余儀なくされました。最初の 1 週目と 2 週目 は遠隔（オンライン）授業の準備期間となっています。受講環境が整った方は、是非このシラバスの一番したにある URL にアクセスして、授業に参加し、3 週目からの正式の授業開始に備えて、Zoom の使い方に慣れたり、クラスメートや教 員と交流するようにしてください。S セメスターは、当面、以下のように授業をおこないます。 練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、 それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31220	S	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。 スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたい ことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進 行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31077	S	スペイン語初級（作文）	有田 美保	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語初級（作文） 本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の 初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能 動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語 彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げていってほしい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30250	S	スペイン語初級（インテンシ ヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語初級 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の授業に出席することを義務とする。2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30798	S	スペイン語初級（インテンシ ヴ）	サンブラノ グレゴ リー	スペイン語	水 5	1 年 文科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31009	S	スペイン語初級（インテンシ ヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語初級 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の授業に出席することを義務とする。2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31017	S	スペイン語初級（インテンシ ヴ）	サンブラノ グレゴ リー	スペイン語	木 5	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31087	S	スペイン語初級（インテンシ ヴ）	サンブラノ グレゴ リー	スペイン語	金 2	1 年 文科 (TLP)
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31227	S	スペイン語初級（インテンシ ヴ）	サンブラノ グレゴ リー	スペイン語	金 5	1 年 理科 (TLP)
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30014	S	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語初級 スペイン語の骨格を 35 の基本文を軸にしてひとつとおり学ぶ。スペイン語は動詞の活用と名詞修飾語句の変化が 2 つの柱であるが、その基本のしくみを身につけることを目標とする。また、活用形から不定詞(原形)を導きだし正しく辞書を引けるようになること(= 講座終了後も独学で続けられること)も本講座の目標のひとつである。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30344	S	スペイン語中級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1 年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、 スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠の A 1 から A 2 レベルに対応しています。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30903	S	スペイン語中級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1 年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、 スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠の A 1 から A 2 レベルに対応しています。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31207	S	スペイン語中級（演習）	アルバロ ペラル ヒガンテ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Este curso está planteado como un primer paso para que los estudiantes lleguen a ser hablantes independientes del español. En las clases realizaremos actividades para practicar principalmente la expresión oral y aumentar el vocabulario. Practicaremos también la comprensión auditiva y la comprensión y la expresión escritas. Trabajaremos con diferentes tipos de textos y presentaremos aspectos socioculturales. この授業は、学生が自立したスペイン語話者となるための最初の一步として組み立てられています。 授業では主に口頭表現及び語彙を増やすための演習を行います。またリスニングと文章表現も学習します。様々な資料を用いて学習する中で、社会文化にも触れることができます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31208	S	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「¿CHARLAMOS? 」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション 様々なトピックについて話せるようになることを目指す。スペイン語らしい発音や自然なイントネーションを練習する。文法を復習しながら、会話を習得する。 日本語での婉曲的なコミュニケーションと違って、西洋人の「メタフォリックなコミュニケーション」を理解するために、良く使われている婉曲動詞（迂言動詞）や動詞を使った慣用句を積極的に学ぶ。 授業の最初は日本語か英語で説明を行う場合があるが、後半はスペイン語だけで行う予定。 This is a course to learn verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31010	S	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。 スペイン語を用いて世界を、日本語複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、複眼的に世界を眺められるようになる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30254	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	上 英明	スペイン語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		スペイン語ドラマやニュースの聞き取りと読解を行う。1 年時に履修した文法事項などを確認しつつ、よく使われる会話表現や俗語などについても一緒に考えていく。適宜、新聞や論説文、学術論文など、スペイン語で書かれた文章を精読し、効果的な語学能力の育成を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30015	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Curso intensivo de español, nivel intermedio El objetivo del curso es consolidar y ampliar el conocimiento de la lengua española de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión auditiva, expresión oral, comprensión de lectura y expresión escrita).				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30456	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	竹村 文彦	スペイン語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		スペイン・ルネサンス期およびバロック期の詩を読む（スペイン語 TLP2 年生（文系）向け） スペインのルネサンス期からバロック期（16～17 世紀）にかけて書かれた詩作品の中から、読みやすく、内容的にも面白いものを選んで精読する。具体的にはガルシラソ、フライ・ルイス、サン・フアン、ゴンゴラ、ロペ、ケベードといった詩人たちの作品を取り上げる予定である。1 年生のときに身に着けたスペイン語文法の復習をしながら、濃密な詩の言語を深く味わい、分析する手法を学ぶのがこの授業の目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30016	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	松田 葉月	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Curso intensivo de español, nivel intermedio El objetivo del curso es consolidar y ampliar el conocimiento de la lengua española de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión auditiva, expresión oral, comprensión de lectura y expresión escrita).				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31088	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	宮地 隆廣	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP2 年生（文系）向けスペイン語中級演習 CEFR 準拠 A2 レベルのスペイン語運用能力を身につける目的で、それよりもやや難解な教材を扱う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31228	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	受田 宏之	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP スペイン語 インテンシヴ（2 年次） 技術や災害、スポーツ等を扱った新聞記事や雑誌の論説、および社会科学の学術論文など一定の語彙力と文法理解を前提とする文章の精読を通じて読解力を高めること、さらには映像教材の活用やオンライン交流により実践的なスペイン語力を身に付けることを目標とする。 新型コロナウイルスの感染状況次第では授業方式と内容が変わっていく可能性があるので、ITC-LMS を定期的に参照してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30017	S	スペイン語上級（演習）	松田 葉月	スペイン語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Práctica de español, nivel avanzado El curso de práctica de español avanzado tiene un triple objetivo: en primer lugar, consolidar y ampliar el conocimiento gramatical de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión auditiva, expresión oral, comprensión de lectura y expresión escrita); a continuación, alcanzar una mayor fluidez oral; por último, fomentar el conocimiento por parte de los estudiantes de diversos temas relativos al mundo hispanico.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30953	S	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		América Latina en su literatura. Principales tendencias de la narrativa (I). In this course, students will learn concepts such as "imagination", "fantasy" and "reality", related to Latin American literature, by reading some works of major authors. Students may improve their skills in Spanish language through readings and writing exercises. They may also strengthen aspects of grammar, syntax and vocabulary of Spanish. En este curso, los estudiantes aprenderán conceptos como "imaginación", "fantasía" y "realidad", relacionados con la literatura latinoamericana, mediante la lectura de algunas obras de los principales autores. Los estudiantes pueden mejorar sus habilidades en el idioma español a través de lecturas y ejercicios de escritura. También pueden fortalecer aspectos de gramática, sintaxis y vocabulario del español.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30898	S	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語による作文の授業 Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を生徒に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、生徒が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。 授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。				

総合科目 L 系列 韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30345	S	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）① TLP				
授業の目標概要		韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30793	S	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 5	1 年 理科
講義題目		韓国朝鮮語初修				
授業の目標概要		韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30346	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 (TLP)
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）① TLP				
授業の目標概要		韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30684	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 3	1 年 文一二(5)文三(5)
講義題目		韓国朝鮮語初修（文系）				
授業の目標概要		韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31221	S	韓国朝鮮語初級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（会話）				
授業の目標概要		本授業は、韓国朝鮮語の文字と発音を学び、会話の練習を重ねると同時に、表現力の向上を目指す。話すことを中心とする授業であり、日常生活に必要な基礎的な会話を無理なく話せるように練習する。 ①ハングル文字と調音の仕組を理解し、正しい発音ができるようにする。 ②基礎的な日常会話ができる。 ③韓国の言語・文化を理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30024	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列				
授業の目標概要		韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30561	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（インテンシヴ） 本授業は、必修授業（一列・二列）に加えて韓国朝鮮語をより実践的に学びたい学生を対象としている。 初修韓国朝鮮語の学習内容に合わせ、Listening、Speaking、Reading、Writing の4 技能を強化する活動を行い、初級レベルの実践的な運用能力の向上を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30325	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	水 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30993	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 4	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列 TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30326	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国語入門・初級 韓国語を本格的に身につけようとしている方を対象にした授業です。S・A 両セメスターの受講を前提として授業を進め、通年で初級レベルの韓国語力を確実に身につけることを目標とします。 S セメスターは発音や文字等、入門レベルから始め、初級レベルの学習項目の前半部分を学びます。 なお、履修にあたっては、必ず UTAS の授業計画、履修上の注意を確認してください。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30565	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 本授業は、韓国朝鮮語を初めて学習しようとする学生を対象としている。S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。 S セメスターでは、韓国朝鮮語の文字と発音をしっかりと学んだ後、初級前半レベルの表現と語彙を学ぶ。 授業は、できる限り、韓国朝鮮語で行う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30899	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級の文法と会話 このクラスの履修を希望する人は、A セメスターの「韓国朝鮮語初級（第三外国語）」を履修済みか、それと同等の学力を持っていることが望まれます。 この授業では韓国朝鮮語の基礎文法と語彙を体系的に学習したうえで、様々な場面で実践的に使用できるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30295	S	韓国朝鮮語中級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級演習（T L P用） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的に韓国朝鮮語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30900	S	韓国朝鮮語中級（会話）	ジ ミンギョ ン	韓国朝鮮語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（会話） 様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語 らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31209	S	韓国朝鮮語中級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（会話） Korean Language (Intermediate) 韓国朝鮮語初級から中級へつながる表現と語彙を学び、日常生活の会話ができるようにロールプレイを通して生きた会 話の練習を目指す。したがって、積極的に授業参加するのが前提である。 授業は、できる限り、韓国朝鮮語で行う。 This course aims to acquire the necessary skills and knowledge needed to perform their conversation better. In this course, the students will learn				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31011	S	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の作文練習(中級) 初級レベルの韓国朝鮮語の文法を理解したうえで「基本作文→発展作文→課題作文」の段階的な訓練を通じて、日常生 活に必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題について は、教員による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。 ※この授業は、2014 年度以前入学者のうち、既修/初修 韓国朝鮮語語二列③ の単位未取得者には、読替授業として開 講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30327	S	韓国朝鮮語中級（表現練習）	根本 理恵	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（表現練習） 言葉と文化の理解を中心に韓国朝鮮語の初級教材を学び終えた学習者を対象とする。基礎知識を発展させることを目標に日常会話を取り入れながら語彙を増やす他、さまざまな文章に触れる機会を設けて変則活用や慣用句など、文法事項のまとめも行う。会話練習と読解練習はもちろんのこと、映画等の視聴覚教材を活用してヒアリングにも力を入れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく伸ばしたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31012	S	韓国朝鮮語中級（読解）	植田 喜兵成 智	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の文章の講読 韓国朝鮮語の新聞や雑誌、ウェブサイト、書籍の時事的な記事、論説、エッセイ、短編小説など様々な種類の文章を講読する。各文章の解説を通じて、中級以上の文法事項および韓国朝鮮語の独特の語彙や表現などを理解する。また多様な文章の講読を通じて、現代の韓国社会や文化についても理解を深める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30102	S	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30296	S	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ二列 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30522	S	韓国朝鮮語上級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の作文練習（上級） 韓国の大学や大学院への留学も想定し、専門書籍や資料の理解、レポートや論文の作成ができるように、読解力と表現力の向上を目指す。また、日本語との違いを踏まえつつ韓国朝鮮語らしい表現法を身につける。課題として提出した作文やレポートは教員による添削と誤用の分析・解説も行う。				

総合科目 L 系列 イタリア語

イタリア語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要		会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。 平常点と定期試験（最終授業時）。 授業中に指示をする。／Will specify at class time http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp	
成績評価方法			
教科書			
関連ホームページ			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30066	月 2	DANIELI Daniela	1 年 文三(6)
31125	金 3	マルコ ビオンディ	1 年 文一二(6)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31078	S	イタリア語初級（演習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級演習 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科生向けの演習です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30778	S	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級会話 ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31222	S	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級会話 ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31013	S	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（作文） イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31079	S	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（第三外国語）I イタリア語の基本文法の理解。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30098	S	イタリア語初級（表現練習）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Lingua italiana, livello elementare 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30328	S	イタリア語初級（インテンシ ヴ）	宮坂 真紀	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		初級イタリア語の応用 基礎科目の初修外国語でイタリア語初級クラスを受講する学生を対象にイタリア語能力を向上させるための初級コース。読解・文法・作文に取り組む授業 1 コマと、ネイティブ教員の指導のもと会話や聞き取りを中心とする授業 1 コマのあわせて 2 コマを履修することにより、イタリア語の応用力を集中的に身につけることを目指します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30989	S	イタリア語初級（インテンシ ヴ）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Bravissimo! Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante-elementare intensivo (A1).初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30099	S	イタリア語初級（第三外国 語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（第三外国語）I イタリア語の基本文法の理解。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31746	S	イタリア語初級（第三外国 語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（第三外国語）I イタリア語の基本文法の理解。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30018	S	イタリア語初級（第三外国 語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		初修イタリア語 イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。昨年度 A セメスターからイタリア語を学び始めた人や初歩的な文法事項についてはすでに学習済みの人を対象に、今期は Lezione5（第 5 課）からスタートし、初級～中級レベルの文法の習得を目指します。またインプットのみではなく自らアウトプットできるように支援します。第 1 回目の授業で現在までのイタリア語学習歴、既習外国語歴を伺い、履修者のレベルに				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30675	S	イタリア語中級（作文）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級イタリア語の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解、作文を中心にイタリア語の運用能力を高めるコースです。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31014	S	イタリア語中級（表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio） すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30562	S	イタリア語中級（読解）	岡本 太郎	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ダイアログを通してイタリア語の口語表現を探る イタリア映画の実際の映像とスクリプトや、雑誌、ガイドブックなど、生のイタリア語を教材に、現代イタリア語のさまざまな表現について学習し、その文化的背景を考察します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30229	S	イタリア語中級（インテンシ ヴ）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級イタリア語の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。ネイティブの教員による、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめ、同時に会話聞き取りを中心に応用力をつけるあわせて週2コマの両方を履修する（ただし、両方あわせての履修を推奨するが片方だけでも可能）。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31080	S	イタリア語中級（インテンシ ヴ）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級イタリア語の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。ネイティブの教員による、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめ、同時に会話聞き取りを中心に応用力をつけるあわせて週2コマの両方を履修する（ただし、両方あわせての履修を推奨するが片方だけでも可能）。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30794	S	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Facciamo un passo avanti! Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30749	S	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato） L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena d					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30990	S	イタリア語上級（読解）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語上級（読解） イタリア語読解の力を身につける。					

総合科目 L その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30177	S	アラビア語初級（第三外国語）	荻谷 康太	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語） アラビア語の基礎的な文法を解説します。1 年間の学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。毎回、教科書の練習問題を課題として出しますので、復習は必須です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30779	S	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語） アラビア語初学者を対象に、文字の書き方・発音から始め、初級文法を概観する。授業では、アラブ諸国の共通語である正則アラビア語（文語・書き言葉）を扱い、1 年間で基礎文法を網羅し、辞書を用いて、現代標準アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30524	S	アラビア語初級（会話）	高橋 英海	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（会話） This course is offered by courtesy of the Arabic Islamic Institute in Tokyo (AIIT). The aim of the course is to acquaint the students with the fundamentals of the Arabic language. The emphasis will be on conversation, and the students will be taught to sp				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30750	S	アラビア語中級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語中級（第三外国語） 母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく文法や語彙を確認しながら進めます。自分で辞書を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30780	S	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語中級（第三外国語）Ⅰ 初級文法を一通り終えた方を対象に、文法事項を確認しながら、母音符号の付いた正則アラビア語の比較的簡単な読み物を講読します。自分でアラビア語・英語辞典を引きながら、文章の意味が正確に取れるようになることを目標とします。これによって、母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30904	S	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語（初級） インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、夏学期で指定教科書の 9 課までを終えることを目標とします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30956	S	ヒンディー語中級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語（中級） Intermediate Hindi course インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30957	S	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語入門 (Indonesian language for beginners) インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、インドネシア語未修者を対象に、インドネシア語の基本的な文法と語彙を身につけ、基本的な読み書きができるようになることを目的とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30994	S	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。 インドネシア語は文法が簡易であるため、長文を読むには西欧諸語とは違った技術が必要となる。そうした技術を身につけることを目標とする。 講読するテキストは新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説など、広い分野から取り上げ、様々なスタイルの文章を用いる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30025	S	ベトナム語初級（第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語入門Ⅰ ベトナム語を学習するにあたって基礎となる発音、文字の読み方、書き方から始め、基礎文法、簡単な会話表現を学ぶ。 ベトナム語の基礎文法、初歩的な会話表現を習得することを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31211	S	ベトナム語中級（第三外国語）	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語文献講読 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30347	S	広東語初級（第三外国語）	郭 文ホウ	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		広東語（初級） （この授業はオンライン会議アプリ Zoom で行います） 広東語は広東・広西地域のほか、香港・マカオ両特別行政区では教育や公共放送の場で使用されていることばです。本授業は広東語の発音の基礎を学ぶと同時に、文法や簡単な表現などを習得していきます。広東語教授方法の授業ではないので、広東語ネイティブの受講は原則認めません。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30231	S	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること―すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30297	S	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ペルシア語を話す ペルシア語はアラビア語の文字 28 文字に独自の文字 4 文字をプラスした、32 文字を用いて言葉を記述しています。見慣れぬ文字にわくわくしたり不安を感じたりすることも面白い体験です。同時に、ペルシア語は、おしゃべり文化をもつ言語でもあります。 みなさんには今年もオンラインでしかお会いできませんが、ペルシア語を話すことにチャレンジしつつ、自分の口と耳で文法と会話の基礎を習得して下さい。ペルシア語でも日本語でも履修者にたくさんおしゃべりしてもらおう授業です。本授業の目標は、 A セメスターでのより本格的な読解・会				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31089	S	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セルビア・クロアチア語（初級） セルビア・クロアチア語の初等文法をマスターし、簡単な会話能力を身につけることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31169	S	セルビア・クロアチア語中級 (第三外国語)	山崎 信一	ロシア語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セルビア・クロアチア語（中級） セルビア・クロアチア語の初等文法の学習を終えた者を対象に、読解力を身につけるための文章講読の授業を行う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30348	S	ポーランド語初級（第三外国 語）	久山 宏一	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポーランド語初級 ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30751	S	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日 本研究コー ス	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		タイ語初級（第三外国語） 半年間で、タイ語の基本的な文法とタイ文字を修得することを目指します。 辞書を使えばタイ語の新聞や雑誌を読むことができるレベルに到達することを目指す人は、Aセメスターも継続して履修することを勧めます。Sセメスターの履修だけでも、タイを旅行する際、簡単な会話をしたり、看板に書かれているタイ文字を読んだりできるようになります。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31018	S	ポルトガル語初級（第三外国 語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポルトガル語の基礎 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、Aセメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30995	S	ポルトガル語中級（第三外国 語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31090	S	台湾語初級（第三外国語）	蔡 承維	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		台湾語初級 A 「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75%を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30525	S	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		モンゴル語 初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につける 会話では、挨拶や簡単な質問および、自己紹介ができるようにすることを目標とする				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30457	S	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代トルコ語初級文法入門Ⅰ 現代トルコ語の初級文法を習得する。S セメスター、A セメスターの通年で完結する。一年後には新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。会話の練習などは行わず、文法体系を身に付けることが中心となる。トルコ語は文法 規則が厳格かつ整然としているので、最初にきちんと文法を身につけないと、簡単な文さえ作れないからである。その代わりあるところまでたどり着ければ、日本語に発想が似ているので文章読解は非常に楽になるだろう。トルコ語学習を通じて異文化に対する理解を深めると同時に、外国語				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30526	S	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		トルコ語中級文献講読 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30256	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 （１）リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 （２）シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 （３）自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40123	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 （１）リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 （２）シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 （３）自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30026	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		論文執筆を戦略的に計画する（準備編） ※この授業は留学生向けの授業です。日本語を母語とする学生は履修できません。 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を 日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦 略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行ってい きます。さらに、学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40001	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		論文執筆を内省的に遂行する（実践編） 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとし てまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦略的に準備を行っていくことが 必要です。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータやエビデンスの収集を行って、実際 に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30298	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		論文執筆を戦略的に計画する（準備編） ※この授業は留学生向けの授業です。日本語を母語とする学生は履修できません。 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行っています。さらに、学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40279	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		論文執筆を内省的に遂行する（実践編） 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータやエビデンスの収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30799	S 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その3 Advanced readings in Japanese literature (3): Interactive approach 授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ること、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40108	S 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その4 Advanced readings in Japanese literature (4): Interactive approach 授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ること、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30837	S	古典語初級（ギリシア語）Ⅰ	上野 慎也	古典語・地 中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古典ギリシア語の手ほどき 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31229	S	古典語初級（ギリシア語）Ⅰ	松浦 高志	古典語・地 中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古典ギリシア語初級（前半） 1, 目標 初級文法を1年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにし、難しい文章であっても文法書と辞書を使えば何とか読めるようにする。 古典ギリシア語を学ぶにはかなりの負担があると一般に思われており、そのために学修をためらったり、途中であきらめてしまう場合も少なくない。そのようにならないよう、自宅学習の時間が4時間程度に収まるようにできるだけ調整する。 2, 古典ギリシア語 ギリシア語の重要性については改めて説明するまでもないだろう。古代ギリシア文明は西洋文化の原点であり、西洋				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30905	S	古典語中級（ギリシア語）Ⅰ	上野 慎也	古典語・地 中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古典ギリシア語散文講読 古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30027	S	古典語初級（ラテン語）Ⅰ	井上 秀太郎	古典語・地 中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語初級 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30527	S	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	ヘルマン ゴチェフ スキ	古典語・地 中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Grammatica Latina (2) – Coniugationes verborum 注 この授業は 2020 年度の A セメスターで始まった一年間の初級ラテン語コースの2学期目に当たります。すでにこの授業で使われる教科書の1～17章を勉強した学生、または同じぐらいのラテン語力を身につけている学生を対象としています。最初からラテン語を始める学生は別の教員の授業を取るか、ゴチェフスキが2021年度Aセメスターに出す予定の古典語初級（ラテン語）Ⅰを履修してください。 Finis huius cursus est linguam Latinam non per aliam linguam sed per illam ipsam discere. 注 この授業をオンラインで行います。Aセメスターの方法で続けますが、これからは資料をITC-LMSに出さず、すべて授業のホームページで一括して準備します。くわしくは下記のリンクをご覧ください。パスワードがまだ分からない学生がいましたら私のご連絡ください。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30103	S	古典語中級（ラテン語）Ⅰ	井上 秀太郎	古典語・地 中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語散文講読 元首政時代の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業では小プリニウスの『書簡集』を読んでいく。文中に盛り込まれた古代ローマの社会、文化、政治に関する豊富な情報と合わせ、帝政ローマを代表する文人政治家の端正なラテン語を味わってほしい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30299	S	古典語初級（サンスクリット語）Ⅰ	梶原 三恵子	文学部（アジア・日本研究コース）	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		サンスクリット初級文法 (Ⅰ) 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。S セメスターは、文法の前半部（音論、名詞・形容詞の変化）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで宗教聖典および各分野の学術書に用いられた古典語である。仏教などを通してアジアの諸地域の文化にも少なからぬ影響を与えた。また、印欧比較言語学分野においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30800	S	古典日本語	矢田 勉	国文・漢文学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古代日本語概説 主として、奈良時代から平安時代盛期にかけての、古代日本語の歴史を扱う。 日本語史研究は、資料に語らせる学問である。従って、日本語史研究にあたって最も重要な前提知識は、日本語史の証人となりうるような資料にはどのようなものがあるか、それぞれの資料は証人としてどのような特質を持っているか、資料から証言を引き出す方法はどのようなものであるか、といった点に関することである。それを理解することがこの講義の第一の目標である。 講義形式によって進めるが、毎回、重要な日本語史的事象と共に、それに関わる具体的資料を取り上げる				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30349	S	古典中国語	谷口 洋	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		語学としての漢文 中国の文章語は、戦国の諸子百家や『史記』『漢書』などの歴史書においてその骨格を確立し、中国はもとより日本・朝鮮・ベトナムなど東アジア世界における知の世界の共通語となった。日本ではそれを訓読の技法によって日本語の中に取り入れ、今なお国語科の中に「漢文」と称して位置づけている。しかしそのためにかえって、それが本来中国語であった事実は、学習の現場においては忘れられがちでもある。 この科目を漢文と呼ばずに古典中国語と称するのは、その本来の姿に注意するからであるが、他方で、訓読を通じてそれを日本語化したものまで含め				

総合科目 A（思想・芸術）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31091	S	言語構造論	広瀬 友紀	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		言語学入門 コトバを科学する！ 私たちが普段使っていることばとはどのような知識の体系なのだろうか。音声、語の形態、文の構造、それぞれどのように整理・記述され、実際にヒトに運用されるのだろうか。違う言語の間で異なる要素はたくさんあるけれど、共通するしくみもあるのだろうか。言語学や文法について何も知らなくても言葉は使いこなせるけど、私達の頭の中の何がそれを可能にしているのだろうか。一緒にことばの不思議をさぐりましょう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31282	S	言語応用論	吉川 雅之	言語情報科学専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		漢字音の歴史（元朝から現代まで） 漢語を中心とする東アジア大陸部の諸言語に於ける漢字音を、声調も含めて、変異と変化という視点から概観すること で、漢字音がどの様に変化してきたかについて知識を養います。漢字音の音価を記すために国際音声記号（IPA）を用い ますが、授業中には国際音声記号の基本についての解説も行います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31230	S	記号論	山田 広昭	言語情報科学専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		記号学から文化記号論、メディア学へ 二〇世紀後半において、文化現象や社会現象の捉え方、分析方法に刷新をもたらした記号論の基礎を、その始祖とされる ソシュールとパースにおける記号の定義からはじめて、文化記号論のその後の代表的な展開へと進むかたちで概観する。 それに加えて、後半では、さまざまなコミュニケーション・テクノロジーの発展が果たした役割を重視するメディア学と の接続をはかる。とくに、メディア技術やメディア環境の変容と社会や政治との連動に注目することで、現代の社会状況 の考察へとつなげたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31092	S	言語態理論	田尻 芳樹	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本の大正から昭和初期の小説を読み、モダニズムについて考える 大正から昭和初めにかけて日本では新興芸術（モダニズム）の花が開きました。それは西洋の表現主義やシュールレアリ ズムの影響を受けつつ、日本の都市化の流れの中で独自の展開を見せました。この授業では文学におけるそんな動きの代 表格である「新感覚派」、とりわけ川端康成と横光利一に注目し、日本におけるモダニズム文学が西洋のそれとどんな点 で違っていたか、また、日本の伝統を強調するナショナリズムとどのような形で結託していったかななどの問題を考えま す。しかし、まずは大正文学の流れをつかむため、白樺派、芥川龍之介、谷崎潤一郎らを読みます。そして大正末期に登 場した新感覚派へと進みます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31412	S	外国文学	阿部 公彦	文学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英米詩入門 本授業では、英米の代表的な詩人の作品に触れながら、詩作品ならではの英語の使い方に触れます。形式についての基本的な決まりも確認しますが、その一歩先に進んで、そもそも詩を読むときにポイントになるのはどういうところなのか、また詩について語ったり考えたりする際にはどのようなことを話題にするべきなのか、といったことも参加者とともに考えていきます。 こうしたプロセスを通し、英語というのはどのような言語なのか、また詩とはいったいどのようなジャンルなのか、という話題にできればと思っています。初心者向けの授業となる予定です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31410	S	外国文学	塩塚 秀一郎	文学部	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス文学のエチュード この授業は、文学部・フランス文学研究室の教員がそれぞれ専門とする時代・作家・作品を取り上げて講義し、フランス文学の全貌を解説すると同時に、文学研究の方法と意義についても教養学部前期課程のみなさんにわかりやすく解き明かすことを目的としています。 人文科学は人間の探求を目的としています。その一分野としての文学（および文学研究）は、可能性としての人間を考察する点に特徴があります。それ以前に存在しなかった人物像が、忽然とある作品に出現して文学史に刻印され、人間の幅と奥行きを拡大し、時として後年その人物像を模した人間が現実の世界の中に生まれる（たとえば、カミュの『異邦人』）ことからわかるように、歴史的にどこにも見当たらない人間類型を探ることこそ、文学（および文学研究）がもっとも得意とする発想法です。哲学が現実の人間のあり方の原理を探り、歴史学が過去における人間のあり方を探るとしたら、文学は人間のあり方の持つ可能性を、知識や過去の事実の枠組みを越えて探求するのです。言い換えれば、現実にはいまだありえない「想定外」の人間像を探求する。そしてフランス文学こそ、今まで、もっともその試みに務めてきた文学であるように思われます。 フランス文学は時代順にいつて人文主義、古典主義、啓蒙主義、ロマン主義、自然主義、シュルレアリスム、実存主義という文芸思潮をたどり、しかもそのすべてにおいて時代の尖端をゆく作品を産み出してきました。一国文学でありながらヨーロッパ世界の精神史の流れを先取り、ないしリードしたといつてよく、これをたどることによって、副産物として、世界文学への展望を容易に把握することもできます。現況はより複雑な様相を呈していて、哲学、社会学、人類学などの他の領域とこれまで以上に深く関わる形で文学が営まれています。まず基本を学ぶことで現在の状況への認識をさらに深めることが期待できます。 授業では、それぞれの文芸思潮のなかから、いくつかの代表的な作品を選び、翻訳の抜粋を読解することによって、その作品の魅力を説き明かす形で進められます。時代順にはこだわらず、担当教師がもっともおもしろいと思う作品を取りあげることにします。授業を手がかりに、気になる本があったらぜひその翻訳全体を読み通すことを希望します。文学の魅力と可能性を再発見する機会となることを目指します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31409	S	外国文学	塚本 昌則	文学部	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランスの短編小説を読む フランス文学は何よりロマン（長編小説）によって知られています。職人技のような技法の冴えを見せる短編小説については、日本文学や英米文学ほど熱心ではなく、知られている作品の数も少ないようにみえます。しかし、散文詩発祥の地として知られていることからわかるように、筋書きのおもしろさと、硬質な散文芸術の側面をあわせもった短編小説が実はフランスにも数多く存在します。この授業では、フランス短編小説を翻訳で多読、可能な範囲で他国の短編と比較しながら、その特質について考えることを目標とします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31411	S	言語文化論	長屋 尚典	文学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	言語の多様性から考える言語学 世界には 6000 から 7000 ほどの言語が存在すると言われるが、その構造は言語ごとに異なり、多様である。たとえば、「花子さんが (S) みかんを (O) 食べた (V)」という内容を伝えるために、日本語のように SOV 語順をとる言語もあれば、英語のように SVO 語順をとる言語も存在する。さらには VSO、VOS、OSV、OVS といった語順も存在し、多様である。しかし、完全に不規則というわけでもない。実は SOV 言語と SVO 言語だけで世界の言語の 80% 以上を占めており、人間の言語に「S が V に先行する」「V と O が隣接する」という傾向があることが分かっている。このような言語の特徴は、世界の言語を幅広く観察することによって初めて知ることができる。 このような言語の多様性の問題は、言語を科学的に探求する学問である言語学 linguistics の研究課題のひとつであるが、この授業では、この言語の多様性に注目しながら、言語学という学問体系の導入をおこなう。世界のさまざまな言語の例をとりあげ、世界の言語の驚くべき多様性について学びながら、言語学とはどういう問題に取り組んでいるのかを議論する。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30028	S	記号論理学I（理科生）	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	記号論理入門－命題論理・一階述語論理の証明論・意味論と、一階理論の代表的諸事例 記号論理の体系として現在最も標準的となっている、G・ゲンツェンが開発した「自然演繹（N J／NK）」を、初歩から丁寧に学び、実際の証明構成を行えるようにする。命題論理、一階述語論理と順を追って検討し、正規化・健全性・完全性など、メタ論理の基本的話題を学んだ後、実際の数学的応用（公理的集合論、順序集合論の初歩など）をいくつか見た上で、形式的自然数論（ハイティング算術／ペアノ算術）に進み、数学的帰納法を含む証明構成を詳しく分析する。論理学、哲学、計算機科学に関心のある人、またより一般的に、数学の論理的構造をよく理解したい人にとって、様々な有用な事項や興味ある情報が提供されるだろう。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31231	S	記号論理学I（理科生）	齋藤 浩文	哲学・科学史	金 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	現代形式論理学入門 現代形式論理学の基礎としての命題論理・述語論理について、自然演繹の体系を通して学び、証明の方法に習熟するとともに、意味論の意義についても理解することを目指す。時間が許せば、若干の進んだ話題にも触れる。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31093	S	記号論理学I（文科生）	藤川 直也	哲学・科学史	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	記号論理学の基本を学ぶ。 古典命題論理、いくつかの多値命題論理、様相命題論理、古典一階述語論理について、その統語論、意味論、タブローを習得する。上記の論理のそれぞれについて、モデルを用いた妥当性の証明、反例モデルの構成、タブローによる証明ができるようになることを目標とする。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31781	S	精神分析学	原 和之	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	思想史のなかの「精神分析」 〔内容〕十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りつつ、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話したいと思います。					

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30801	S	表象文化論	一條 麻美子	表象文化論コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イメージの「ヨーロッパ中世」 中世という時代を、その後のヨーロッパはどのように評価し、受容したのか。中世に創作された英雄叙事詩を軸に、それらの文化、芸術、政治世界での取り扱いを時代ごとに追いながら、イメージとしての中世がリバイバルする理由を考察する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31413	S	美術論	高岸 輝	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		美術史学入門 美術史学の入門として、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史の各分野から、計 5 名の教員がオムニバス形式で講義を行う。芸術家や美術作品の調査、様式や図像、文字資料を使った検討、鑑定や作品の評価、美術館・博物館における美術展示の実際など、美術史学にかかわる様々な研究方法を概説するとともに、日本・東洋・西洋の古代から現代にいたる主要な研究トピックや国内外での研究動向を紹介する。 授業はオンラインで行う。各回の zoom アカウントは「オンライン授業内容」参照				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31094	S	音楽論	長木 誠司	表象文化論コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		オペラを観る・オペラを知る⑥ 西欧の代表的な舞台音楽ジャンルであるオペラを観るためのイントロダクション的な授業である。今年度もオンラインという制約があるため、あえてテーマは立てずに、バロックから現代までの代表的なオペラを、オペラ導入も兼ねて観ていくことにする。美食的な芸術と見なされやすいオペラだが、現代の上演は時代が抱え込むさまざまな問題を明示化し、観る者を挑発する演劇性を持っており、単に楽しめばよいだけではなく、心の重くなるような側面も多く携えている。あえてそうした「現代的」な舞台をここでは多く取り上げる。導入だからといって、必ずしも伝統的な舞台鑑賞にはならないし、筋書きも見えにくくなる場合があるので心得ていて欲しい。 現在、オペラはどのような視点で観られ・聴かれるものなのか。どのように観れば面白いのか。現在オペラ上演の最先端はどのようなになっているのか。オペラはすでに過去のジャンルなのか。以上のような疑問を持つ受講者を望むが、もちろん単なるオペラ好きも大いに歓迎する。少しでも別の観方が得られればよいと思う。 昨年度より授業時間が 90 分になり、こうした形態でオペラを観る授業も今回限りと考えている。1 回の授業で 1 作品という原則を守りたいと思っているが、それが不可能な作品の方が圧倒的に多いので、授業計画に挙げてある作品はあくまでも予定である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30677	S	比較文化論	今橋 映子	比較文学比較文化コース	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「異文化体験を語る・書く」 「比較文化論」という学際研究の基本的概念の中に、「異文化理解」という問題がある。 「異文化」とは一体何なのだろうか。単なる「外国」ではなく、「自分」とは異なる「他者」に出会うこと、理解すること、相互に折り合うこと・・・これらは「教養」の根底の知性であり、態度決定である。 本授業では、教科書を出発点としながら、現代社会における「ダイバーシティ」問題をもっと切実に、自分の問題として考える契機としたい。外国体験、外国からの帰国体験、外国人との交流、外国語に苦労した経験、地方と都会の相違、多様な性の狭間にあること、聴者とうろう者・・・等々、これまでに様々な「異文化体験」をした人、あるいはそういった問題に興味のある人たちが、その体験について「比較文化論」の基礎概念を学び、体得し、知的に語り、書くことができることを目指す。 なお「異文化体験」をしたことがない、という参加者には、その体験を何らかにしてもらうことも考えている。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31414	S	比較文化論	藤原 聖子	文学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宗教をめぐる諸問題―比較宗教学への誘い― 「宗教とは何か」「宗教はなぜ存在するのか」「人はなぜ宗教を信じるのか」。本講義は、主として現代社会の中の具体的事例を参照しながら、これら 3 つの問いに宗教学がどう取り組んできたかを体系的に説明する。受講生は授業と課題を通して、暫定的にでも、3 つの問いに対し宗教学の知見を何らかの形で活かした自らの考えを持つ。 宗教学は、比較文化論の側面ももつが、それ以上のものでもある。たとえば「日本人の大半は無宗教である」とはよく言われる。だから一神教を伝統とする国々とは文化が違うのだと。しかし、そこで言う「宗教」とは何なのか。あるいは、「宗教を理解する」とは、異文化を理解することと同じようなものなのか。「宗教を比較する」というのは信じる人に対して失礼な行為にならないのか。そういった根本的な問いから考えるのが宗教学である。宗教学を学ぶならば、巷の比較文化論を眺める目も変わるはずである。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30350	S	比較文学	佐藤 光	比較文学比較文化 コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		比較文学研究入門 比較文学とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察する学問です。この授業では比較文学の研究事例を（1）英文学と出会った日本、（2）日本と出会った英文学、（3）クロス・ジャンルの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学をあわせて考える実証研究の事例集です。イギリス児童文学に関する講義ノートを作成中なので、間に合えば、4 つめの観点としてシリーズの中に組み込みます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31415	S	比較思想	蓑輪 顕量	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		心と身体と思想 インド・中国には人間の心を見つめる伝統が存在した。インドはヨーガに始まり、サティパッターナと呼ばれる心の観察が存在したが、のちに仏教では独自の視点を入れて、サマタとヴィパッサナーに二大別するようになった。中国では、身体を流れる気と関連づけられて、心が見つめられた。人間の思想と身体的な実践の結びつきを考えながら、人間が自己と世界とを、どのように捉えてきたのかを探究する。また、それは現代の我々が直面する、苦悩などの様々な問題を解決する糸口に繋がるのが期待される。人間の心と体と、そして思想とが密接に関連しながら展開したことを、理解できるようになることを目指す。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31416	S	東洋思想史	横手 裕	文学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国思想入門 中国では伝統的に、儒教・道教・仏教が三教すなわち「三つの教え」の体系として並存し、それぞれが自らの思想教説を展開させつつ相互に影響を与えあい、中国思想の歴史を形成した。 この中国思想の歴史と内容について、最も重要なポイントを取り上げつつわかりやすく概説する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30458	S	経済思想史	高見 典和	経済・統計	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済や社会がこれまでどのように論じられてきたかについて概説します。アダム・スミスやケインズといった経済学者の名前は、ほかの経済学の講義でも言及されますが、より詳細に、過去の著名な思想家の人物像や学説を紹介します。過去の著名な哲学者・思想家・経済学者の議論を理解することで、教養としての経済思想を身につけることができます。また、現在では、経済学の範疇に含まれないような経済や社会に対する捉え方を学ぶことができます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30257	S	社会思想史	森 政稔	社会・社会思想史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近代社会形成期の社会思想:時間と空間の視点から 本年度の社会思想史の授業では、ヨーロッパの近代形成期を主対象として、これらが、先立つ古代および中世の思想に対するいかなる関係において成立したのかを、時間と空間の視点を中心に解明することを主目的とする。 この時期の社会思想といえば、16 世紀前半のマキアヴェリや宗教改革思想、そして大航海時代を受けて、主権国家の本格的な形成が始まり、それを巡ってボダンやモナルコマキらの論争があり、そしてイングランド革命期にはホッブズやロックら契約説が形成された。この時期は比較的短い期間に、近代社会の骨格を形成する最重要の理論が形成された。しかもこれらはいずれも重要で現代に及ぼす影響も大きいが、相互に対立する要素を含んでいることもたしかである。 このように一筋縄でいかないものとして、政治思想における近代とは何かを理解しようとするのが、この授業の主目的である。それに加えて、このような思想の形成を支えた条件として、大航海時代におけるヨーロッパ世界の社会空間の変化と、自然観の変容を重要な要因として関係付けることにしたい。					

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30351	S	国際関係論	石田 淳	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	戦争と平和の国際政治学 戦争と平和の問題を中心に、国際政治の概説的講義を行う。 この講義では、関係者の同意に基づく価値配分として《政治》をとらえる。そのうえで、この同意を確保する過程を《交渉》、交渉の結果として一定の基準について構成員の間に同意が成立している状態を《秩序》と概念化する。 このように定義された政治、外交交渉、国際秩序をキーワードとして、国際政治がいかなる意味において《政治》であるかを論じたい。 今学期は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンラインで講義を行う。 授業を理解するうえで必要となるのは、指定の教科書、ITC-LMS にアップロードされる講義関連資料、その資料において特定されるウェブサイト情報に限られる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31095	S	国際関係論	鶴見 太郎	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	国際社会におけるミクロとマクロ 国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もがかかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きである一方で、それなりに環境保護の流れが生まれるのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。 オンラインであることに鑑み、教員と受講生間、および受講生同士で学問的対話ができるような仕組みをいくつか設ける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30352	S	国際関係史	川島 真	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	東アジア国際関係史 19 世紀から 21 世紀に至る東アジアの国際関係史について講義をおこなう。主に中国外交史、中国外交について述べるが、適宜、日本や台湾の視点を取り入れ、朝鮮半島も視野に入れる。また、適宜、現状分析も行う。現代から過去を振り返るというより、この時代の背景と政策選択について考察し、歴史的な連続性、変化・変容を見出す。理系の学生も参加することを考慮し、基礎的な事項に触れながら講義することをできる限り心がける。この講義を受講することにより、東アジア国際関係史の基本的な内容とともに、その歴史的な継続性と変容、さらに現在起きている東アジアの諸問題の原因や背景について理解することができるようになるのではないかと考える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30353	S	現代国際社会論	篠田 英朗	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	国際秩序と紛争解決 授業の前半部分では、ヘドリー・ブルらのイギリス学派の理論を提示しつつ、国際社会論の観点から国際関係学や現実世界を見ることの意義について考えていく。理論的な国際社会の構成要件を見た後、国際社会を歴史的に捉える視点および主要な制度的活動領域を論じていく。後半では、特に紛争解決論の視点に焦点をあて、国際社会の協調的活動の代表例としての国際平和活動の理論や実践について議論を進めていく。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30802	S	現代国際社会論	阪本 拓人	国際関係	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代アフリカの政治と国際関係 【概要】 現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、紛争、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。 【目標】 アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グローバ ル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30838	S	平和構築論	水野 孝昭	地域文化研究専攻	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「平和構築・平和崩壊」の批判的再検討 コロナ禍の拡大、大国の対立など冷戦後の「平和」が岐路に立たされています。気候変動も難民支援も各国が協調して「共通の利益」を目指すべきだとわかっていながら、現実には実行できないのはなぜでしょう。この授業では冷戦以来の主な戦争・紛争の流れを検討して、なぜ外交が失敗したのか、どう終わらせたのか、「平和の崩壊」を考察します。とくに「民族解放」「民主化」「人権」「人間の安全保障」など国際社会のの規範意識に焦点をあてて、現実のパワーポリティックスと”国際世論”との関係を検討します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30803	S	地域文化論I	藤崎 衛	地域文化研究専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		コンクラーベの歴史 ヨーロッパの歴史と現代社会を理解するうえでローマ教皇の存在は無視できない。中世においては世俗君主と肩を並べるほどの政治的影響力を行使したと言ってよく、現代の国際政治においても教皇の果たす役割は無視することはできない。ヨーロッパの歴史における宗教と政治を読みとくための鍵である教皇はどのように選ばれるのか。また、教皇の死はどのような意味を持つのか。選出や死に際してどのような儀礼や象徴物が用いられ、それらはどのような意味を帯びるのか。これらを解明するために古代から現代にいたるまでの時代を対象として、「コンクラーベの歴史」をひもとく。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30804	S	比較地域史	中島 崇文	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		東欧現代史 20 世紀から 21 世紀にかけての東欧の歴史に関する知識を身につける。東欧は二つの世界大戦が始まった地域であるが、その後、半世紀弱の間、社会主義体制も経験した。その後、一部の国々では内戦を経験するが、他方、多くの国々は EU や NATO に加盟し、人々は国境を越えて活発に移動するようになる等、大きな変容を遂げている。西欧の陰に隠れがちな東欧に目を向けることにより、多面的なヨーロッパを俯瞰できるようにする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30528	S	日本文化論I	田村 隆	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『源氏物語』の匂宮三帖と宇治十帖 『源氏物語』の匂宮三帖（匂兵部卿・紅梅・竹河）と宇治十帖（橘姫～夢浮橋）は、光源氏死後の次世代の物語である。源氏の死の場面は書かれず、続篇の物語は、匂兵部卿巻冒頭の「光隠れ給ひにし後」という一節、いわゆる「ナレ死」から始まる。 本講義では、2017 年の 7 月から半世紀ぶりの改版が始まった岩波文庫をテキストに用い（全 9 冊中、第 8 冊まで刊行）、正篇・続篇の分類では続篇に属する巻々の世界を味読する。物語の一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。 オンライン授業ということで、東大本『源氏物語』他の画像が検索できる「デジタル源氏物語」など、『源氏物語』の研究ツールについても随時紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31096	S 1	日本語日本文学I（理科生）	出口 智之	国文・漢文学	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		口語文小説の成立 現在、我々が何の疑問もなしに読んでいる小説の文体は、明治中後期に成立した、まだ百数十年しか経ていない比較的新しいものである。しかし、高校までの国語では「古文」と「現代文」をまったく別のテキストとして扱い、その両者がどのように接続し、いかにして「古文」が「現代文」になったのかということは、完全に視野の外に置かれている。 だが、考えてみれば、福沢諭吉が「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして…」と書いたわずか 33 年後、夏目漱石が「吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生れたかとうんと見当がつかぬ。」と書くまでの距離は、きわめて大きいはずである。この間の日本人は、どのようにして新しい文体を手に入れたのだろうか。 この講義では、幕末から明治にかけて「古文」が「現代文」になってゆく過程を紹介し、当時の人々が突き当たった困難と、その結果成立した「現代文」すなわち口語文小説の文体に内包され、見過されている不自然さについて紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31097	S	日本語日本文学II	青山 英正	国文・漢文学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		歴史と社会から文学を考える。 19 世紀の日本、すなわち江戸時代後期から明治時代前期の日本は、近世国家が近代国家へと転換する激動の時代であったが、そんな時代にあっても伝統文芸である和歌を嗜み、その重要性を説く人々がいた。彼らが和歌という文芸に何を求めていたのかを、古代以来の和歌と政治および社会との関わりの歴史に照らしながら講義する。 近年、「古典」や「文学」を「役に立たない」と見る向きも多い。しかし、本当に役に立たないのであれば、古典文学の代表とも言える和歌が千年近くも継承されたのはなぜなのか、むしろ和歌にも何らかの「実用性」があったと見るべきではないか。こうした問題意識のもと、和歌を詠む（＋読む）行為を政治的・社会的行為として捉える視角と、和歌そのものの読解およびその解釈史とを複眼的に組み合わせて論じ、受講者が柔軟に「古典」や「文学」のあり方について再考する契機としたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30996	S	東洋古典学	佐藤 浩一	国文・漢文学	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国古典に親しむ 中国古典文学を概説します。 日本のことばと文化は、中国と深い関係で結ばれてきました。本講義は、その深く関わってきた中国を、古典という観点から解きほぐします。また併せて、原文の読解を通じて、皆さんが漢文の読み方をよりいっそう上達させる、そうした機会に供することも目的とします。 いったい日本人は、中国の古典を「訓読」という方途を通じて受容してきました。それゆえ日本語の文体は、やまとことばだけでなく、漢文（中国古典文）とも深く結びつきながら成立しています。漢文は大切な文章においてこそ用いられ、たとえば書物の顔ともいうべき序文は、たいてい漢文訓読体で書かれています。江戸の国学者は漢意（からごころ）を否定しますが、しかしその序文は漢文訓読体そのものです。おそらく漢文訓読体でなければ書けなかったのでしょう。言文一致運動以前は、話し言葉で序文を書く、という形（かた）が無かったからです。 漢文（中国古典文）の影響は形式だけでなく、もとより内容においてこそ深く浸透していました。漱石は『文学論』で言います、「余は少時好んで漢籍を学びたり。之を学ぶ事短きにも関らず、文学は斯くの如き者なりとの定義を漠然と冥々裏に左国史漢より得たり」と。左国史漢とは、春秋左氏伝・国語・史記・漢書のことであり、いづれも中国の歴史書です。文芸書ではありません。漱石はこれを、内容を楽しんで愛読していたことが解ります。 中国古典は日本人の心に根を下ろし、各人の関心と必要に応じて息づいています。本講義を通じて、そうした中国古典への理解を深めてゆきましょう。そして次は、あなたの心でも息づくことを願いつつ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30805	S	西洋古典学	筒井 賢治	地域文化研究専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ギリシア・ローマ文学の概要 ヨーロッパ系文化の基礎をなすギリシア・ローマ古典文学を紹介する。 ホメロスとウェルギリウスを中心とし、適宜他の作家・作品にも触れる。 授業資料は ITC-LMS を参照。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30806	S	歴史社会論	杉山 清彦	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中央ユーラシアから見た世界史 近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの人びとこそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31019	S	近現代史	野口 久美子	歴史学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アメリカ先住民の近現代史 先住民の視点からアメリカ合衆国の近現代史を考えます。「移民の国」とはもっともよく知られるアメリカの姿ではないでしょうか。しかしこの国をその建国から現在にいたるまで見続けている人々がいます。それが先住民です。アメリカ合衆国は先住民の土地の「上」に建国され、維持されてきた「セトラー・コロニアリズム（入植植民地主義）」の国といえます。アメリカ先住民はその「不都合な存在」としてアメリカ社会に位置づけられました。この授業ではアメリカ先住民に対する排除と統合の理論からアメリカ近現代史を読み解きます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30258	S	歴史と文化	二宮 文子	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドのイスラームとその歴史 この講義では、インド（亜大陸）のムスリム社会の歴史や文化を扱います。時代は前近代を中心とする予定ですが、適宜近代～現代の事例も取り上げます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30354	S	歴史と文化	大塚 修	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イスラーム教の世界観 中東地域と聞いて、多くの人が思い浮かべるのは「イスラーム教」という言葉ではないだろうか。しかし、じつは中東地域の歴史と文化をイスラーム教の一言で言い表すことは難しい。中東地域には、異なる出自を持つ様々な人間集団が活躍してきた歴史があり、そこには、前イスラーム時代の文化的影響もしばしば見られるからである。では、中東地域の文化には、前イスラーム教時代から、どのような断続と継承が見られるのだろうか。この授業では、この問題についてイスラーム教の伝統的な世界像に焦点を当てて考察することで、複雑な中東地域の歴史と文化を読み解いていきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31417	S	世界史論	島田 竜登	文学部	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近代世界とアジア・日本 本講義では、16 世紀以降の近代世界の諸相を検討しながら、グローバル化時代の現代に生きるわれわれにとって、世界史とは何かということを考える。15 世紀末から、アメリカ大陸を含めた世界の一体化が急速に進展する。モノや人、情報がグローバルなスケールで移動し、人々の生活が大きく変化し、現在のわれわれの住む社会を生み出していったのである。本講義は近年盛んとなっているグローバル・ヒストリーの立場から近代世界を考察し、その中でグローバル・ヒストリーだけでなく、東洋史や西洋史、日本史といった歴史学の諸分野の意義を考えてみたい。 本講義は、いずれ文学部に進学し、東洋史、西洋史、日本史といった歴史研究を志す学生にはもちろん、社会科学や自然科学を専門とするも、とくに長期的な視点に立って現代を考えようとすることに関心のある学生にも有意義なものとなるであろう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31098	S	世界史論	妹尾 達彦	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		グローバル・ヒストリー-global history。 グローバル・ヒストリーは、世界史 world history や人類史 human history と基本的に同じ意味と目的をもつことばです。すなわち、地球が経済・文化的に一体化していく現状をふまえ、従来の各国史を集めた世界各国の歴史ではなく、地球に住む人類の歴史を大局的に叙述する歴史叙述のことです。人類の軌跡を、地域や国を越えた地球の歴史として把握する試みといえるでしょう。 グローバル・ヒストリーのあつかう人類の歴史は、人々が「普遍」をつくりだしていく歴 本授業の目的は、世界史の基礎知識を系統的に習得することにあります。そのために、世界史の大きな流れを、交通と都市と環境を鍵概念に用いることで把握できるように構成しています。教員が調査をしてきました世界各地の都市の写真も、授業の随所に取り入れ、映像資料や絵画、音楽を活用して視覚的・聴覚的に歴史の流れを理解できるように試みます。 世界史の系統的な知識を身につけることによって、初めて、日本や東アジア、世界の歴史を客観的に眺めることができるようになり、現在の私たちがおかれている社会状況を把握しやすくなり、人類社会の未来を鳥瞰できるようになると思います。もちろん、個人一人の力で世界史のすべてを把握することなど、到底できるものではありません。可能なことは、世界史の大きな流れをつかむことで、人類の営みの共通性を認識し、多様な世界の細部に自分独自の意味を見出すことです。21 世紀の世界を生き抜くために必要とされる歴史の基礎知識を習得すること、これが本授業の目的であり到達目標です。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30807	S	文化人類学I	田辺 明生	文化人類学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文化人類学入門－現代世界を問い直す 現代世界に生きる私たちにとって、人類学的知がもつ意義と可能性について論ずる。つきつめて言うならば、「自己」と「他者」、「人間」と「非人間」、「社会」と「自然」の関係における対立・分離（二）と融和・統合（一）の両面を奥深く認識することこそが、人類学的知の要諦である。一が二であり、二が一である世界とはどのようなものか。そうした知のありかたは、現代世界にいかなる意義と可能性を持つのか。私たちが生きるアクチュアルな問題群をとりあげながら、人類学からのオルタナティブの考え方を提示したい。本授業では、人類学的思考の基礎を学んでもらい、そこから現代世界を問い直すきっかけをつかんでもらうことを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30355	S	現代文化人類学	津田 浩司	文化人類学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フィールドワーク論 何某かが生起している現場に身を置きつつデータを収集し、そこから新たな知見を得て思考を鍛えていくことの重要性は、今や人文・社会科学・自然科学の多くの分野で指摘されている。文化人類学は、まさにそうした学的営みとしてのフィールドワークを方法論の支柱に掲げてきた学問分野である。 しかしながら、他の学問分野でフィールドワークの重要性が強調されるようになったのとは裏腹に、1980 年代以降のいわゆる「ライティング・カルチャー(Writing Culture)」ショックによって、文化人類学分野においては、エスノグラフィ(民族誌)を書くこと、およびその前提としての(かつそれと不可分な営みとしての)フィールドワークをすることに、より反省的であることが求められるようになった。とはいえ、エスノグラフィを書くこともフィールドワークをすることも、人類学の主要な方法論であることには変わらない。 本授業では、フィールドワークに関する基本的な論点を整理することを通して、改めて人類学的フィールドワークとは何かを初歩から考えたい。				

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31744	S	法と社会	白石 忠志	法学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代法学の先端 法学部で開講されている法学の専門科目を担当する教員が、それぞれの専門分野の先端を紹介することによって、法学の豊かな可能性、社会との関わり、研究の魅力などを重層的に伝えます。 法学部への進学を考える学生にとっては、多様な先端問題に接したうえで教養科目や法律基本科目に取り組むきっかけとなり、法学部以外への進学を考える学生にとっては、自らの関心分野と法学との関連性を意識的に考察するきっかけとなることなどが期待されます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31283	S	法と社会	高橋 信行	法・政治	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		法と社会—コロナ危機と法 本授業では、「コロナ危機と法」を主題として、コロナ危機に付随して生じた様々な法的問題を取り扱う。その趣旨は以下の「授業の目標・概要」のとおりである。				
授業の目標概要		2019 年末から始まった新型コロナウィルス（Covid-19）の感染拡大により、様々な社会問題が生じており、それに付随して法的問題も増え続けている。典型的には、人々の外出を抑制するために罰則付きの禁止命令を発することの憲法上・法律上の問題を挙げることができるが、それに限らず、感染者・濃厚接触者のプライバシー保護の問題や、ワクチン接種による副作用被害の救済問題、飲食店等に対する休業命令と損失補償といった点である。 本授業では、これらのテーマについて解説を加えるが、前期課程科目としての特性上、法学を専攻することを予定していない者にも十分理解できるように、前提知識の説明から始める。例えば、「休業要請と損失補償」であれば、まずは憲法 29 条 3 項等の求める損失補償制度について説明した上で、コロナ危機で生じた新しい問題を取り上げることが予定している。また、「感染症対策における国と地方自治体の役割分担」であれば、憲法第 8 章の定める「地方自治制度」の概要を説明してからコロナ危機に関する問題をとりあげる。このように、法学に詳しくない者にも十分理解できるように配慮するため、授業の全てがコロナ問題に費やされるわけではないことに注意してほしい。 また、今年度（令和 3 年度）から始まる新しい授業である上に、関連する法律が今後頻繁に改正されたり、新しい判例が出たりすることも予想されることから、いわば「走りながら考える」授業となる。そのため、準備が必ずしも万全でないままに授業をすることもあり得るが、この点は予め容赦してほしい。 また、コロナ危機は民法や刑法、労働法といった様々な法分野に関係するが、担当者は行政法を専攻する研究者であるので、主として公法（憲法と行政法）に関する法的問題を取り扱うので、本授業でカバーできる範囲はコロナ危機に関する法的問題の一部分にすぎないことにも注意してほしい。 なお、以下で詳しく説明するように、本授業はオンライン授業で実施する。具体的には、毎週、解説動画を録画して Youtube 等で配信するので、受講生は必ず閲覧した上で、予習課題・復習課題に解答することが求められる。詳細については初回のガイダンス時に説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31418	S	法と社会	柳橋 博之	文学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イスラームの法と社会 最初に、イスラームの基本的な教義について説明する。 次に、イスラーム法の成立と展開を、7 世紀から現代まで辿る。実定法規の解説を中心とするが、法理論や法の適用の実態にも多少は触れる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31232	S	日本国憲法	福岡 安都子	法・政治	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教養としての憲法 法学を必ずしも専攻しない学生も対象に、「日本国憲法」の基本的原理を、その歴史的背景にも配慮しつつ講義する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31233	S	比較社会論	傅 凱儀	社会・社会思想史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済人類学 Economic Anthropology This course introduces students to the issues, methods, and concepts of economic anthropology. Economic anthropologists try to ask questions about human nature, power and social life in all cultures. The materials for the course will consider issues of production, distribution, and consumption in non-Western societies as well as Western societies. We will be thinking about the purpose of work and material goods, the comparison of gifts and commodities, why poverty exists, the evolution of regional and global economies, and the way contemporary capitalist economies shape other aspects of society and culture.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30808	S	ジェンダー論	瀬地山 角	社会・社会思想史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セクシュアリティとジェンダーの社会学 セクシュアリティとジェンダーについて、大学生として最低限知っておくべき知識を伝える講義です。 前半のセクシュアリティ編については、「下ネタの講義」という誤解、風評被害に悩まされていますが、きちんと履修した学生さんはそのような感想を決して持たないはずです。そういった愚かな反応がなぜ起きるのかも含めて、一貫した問題意識の下で「社会科学の立場から性を考える」とはどういうことなのかについて論じていきます。「本能」だと勘違いされている「性」を自然科学とは異なるアプローチで読み解きます。 ジェンダー編は、みなさんの人生設計そのものに関わります。この講義は東大全体で女性の履修者をもっとも多いもので、優秀な女子学生の未来が、男子学生のそれとどう関わりを持つのかについても、この講義を通じて、考えてもらいたいと思います。 昨年新しく出した本を教科書として指定していますが、それに則って講義をするものではありません。これでカバーされるのは講義の 1～2 回分です。講義で触れるいくつかの論点については、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』の中でも言及しています。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30259	S	日本の政治	竹中 治堅	法・政治	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 日本政治：危機の中の内閣総理大臣 授業の目標概要 菅義偉政権が 2020 年 9 月 16 日に誕生した。菅首相はデジタル庁の創設などの政策を進める一方、コロナ危機に対応している。その前の安倍政権は政治史に残る長期政権となった。安倍首相は第二次政権発足後から 15 年秋まではいわゆる「三本の矢」：大胆な金融緩和、機動的な財政運営、成長戦略を掲げて経済政策に積極的に取り組んできた。15 年秋以降は「1 億総活躍」「働き方改革」「人づくり革命」などを唱え、労働時間規制、教育無償化などを実現してきた。また、「地球儀を俯瞰する」外交を掲げ、精力的に海外を訪問し、「積極的平和主義」を唱えて、日本の安全保障政策の見直しに取り組み、集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に踏み切り、安保関連法制を成立させた。 一方で、森友学園問題、加計学園問題では「忖度」という言葉が人口に膾炙し、いわゆる「官邸」の強さ、官邸と官僚の関係などが注目されるようになった。 菅首相や安倍前首相はどのように政権を運営し、政策を立案してきたのか。 本講義では以上を含めて、日本の権力構造、政策決定過程について理解できるようにする。ところで、2000 年代以降の日本の政治を分析する上で一つのことを留意する必要がある。それは、1990 年代から 2001 年にかけて日本の統治構造が大きく変革されたということである。この変革は日本の政治構造を大きくかえ、政治構造が変化する中で、長期政権や短期政権が現れている。また、多くの政権が現れては消える中でも、政策決定過程は確実に変化してきている。 2020 年度の「日本の政治」の目的は二つである。第一の目的は、現在日本政治の特徴を理解することである。具体的には二つのことを把握したい。一つは日本の統治構造の変化と現在の特徴を学ぶこと。二つは政策決定過程を観る目を養うことにある。このため菅内閣、第二次・三次・四次安倍内閣の下における政策決定過程を掘り下げて分析する。 また、講義と併せて、①戦後日本の政治の歩み、②現代日本の権力構造、政策決定過程を分析する代表的な本、論文をシラバスにそって講読することが、重要な履修条件となる。第二の目的は受講者にレポートの一つの書き方を修得してもらうことである。レポートを書くことの目的は単にレポートで取り上げるテーマについて 情報としての知識を身につけることにとどまるものではない。レポートを書く作業を通じてわからないことを調べる力、ものごとについて考える力、多くの事象を重要な点にしばって観察する力を養うことになる。 この授業を通じて身につけてもらいたいことは数多くある。コロナウィルス危機の中、初回からリモート授業という異例の環境で講義を行うことになる。そうした環境の中で、受講者が授業の内容をしっかりと習熟できるよう最大限の努力を傾ける。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30356	S	ジェンダー論【人文学】	飯田 麻結	表象文化論コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 本講義は、フェミニズム理論やクィア理論の歴史的な展開を下敷きに、ジェンダーやセクシュアリティ、身体への人文学的なアプローチを探究し、その上で様々な文化的事象を読み解くための多角的な視点を獲得することを目標とする。前半では主にフェミニズムの理論史の解説を行い、「インターセクショナリティ」といったキーワードを紹介する。後半では具体的な事例を取り上げつつ、フェミニズム／クィア理論の現在における理論的動向を考察する。以上の基礎的な枠組みを踏まえ、学生は本講義を通じて得た知見を同時代的な議論へと敷衍する力を身に着けることが望ましい。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30357	S	計量社会科学	清水 剛	経済・統計	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経営政策科学 この授業では、現在の日本企業を理解するために、まず現在の日本企業の状況を概観した上で、戦後の日本企業において典型的だと考えられてきた仕組み、すなわちいわゆる「日本型企业システム」を取り上げ、実際にどのような仕組みが動いており、またそれはなぜ機能しているのかを検討する。この上で、とりわけ 1990 年代以降どのような変化を経て現在に至っているのかについても明らかにする。このような検討を通じて、日本企業、あるいは一般に企業というものの仕組みやそこで起こっている現象について一応の理解を得ることが本講義の目的である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31440	S	現代経済理論	渡辺 安虎	経済学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	経済学研究の現在を理解する 経済学及び関連分野の第一線で研究に従事している研究者が、それぞれの分野における研究の現状をわかりやすく解説し、経済学や関連分野のおもしろさや有効性についての理解が広がることを目標とする。 「経済学？（ π ） π ？」「経済学 www」といった知的態度の学生の履修も強く歓迎する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31234	S	現代経済理論	鍾 非	経済・統計	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	経済分析の基礎：「数学的因果関係」である関数から始まるミクロ経済学・マクロ経済学・数理統計学 数学的因果関係は、$y=f(x)$という関数（昔の数学者だと「函数」（例えば、高木貞治）、function とも）によって表される。函数における因果の「極限的つながり」を示す「微分」（$\Delta x \rightarrow 0, \Delta y/\Delta x$、僕に言わせれば、「極限の分数」）について、（厳密さを無視し）面白く語ってみよう。紙幅の制限に配慮し、ほとんどの東大生にとって常識である微分の定義式を海馬に深く刻みつつ（場所とらず&面倒臭がり屋に最適）、「知的想像力」も少し働かそう（「ユーモア」という特製調味料を小さじ 1/4096）。恋人を喜ばせるため、誕生日にプレゼントを贈る者（なかんずく大学生）が多い。「恋人の嬉しさ（y：果）」と「プレゼントの値段（x：因）」の間の数学的因果関係（増加関数にある数量関係）に注目したい（ただし、プレゼントの値段と嬉しさの度合いはいずれも数値化可能と仮定）。おにぎり一個に比べ、ドイツの高級車・ベンツ一台（Δx_1=ベンツの値段-おにぎりの値段：大）をもらった後の恋人の嬉しさに雲泥の差（Δy_1=省略：大）があることは至極当然であり、おにぎり一個と比べて幕内弁当ひとつ（Δx_2=幕内弁当の値段-おにぎりの値段：小）を食べさせた後の恋人の喜びの僅かな増分（Δy_2=省略：小）をも見逃さず、値段の僅差と比較・吟味する（$\Delta y_2/\Delta x_2$）のが、微分（より正確には、「微分」に近し）。換言すれば、$\Delta y_1/\Delta x_1$ は意味不明（or 数学的には無意味）。もちろん、「ゼロに限りなく近づく値段の極小な増分」（$\Delta x \rightarrow 0$）をより精確に強調したければ、（一番安いのがおにぎりであることを考慮に入れて）やや高価な幕内弁当を二番目に安いだろう食パンに置き換えたほうが、もっと適切（ただし、食パンが高価な場合は除く）。微分の親戚は、積分（同じ事例による定義のユーモア溢れる展開は、ご想像にお任せしますよ）。本講義は、因果関係の大本を異なる角度から捉える微積分（文系の高校数学でも必修）の紹介を皮切りに、経済分析における様々な概念を、その数量的本質を深く掘り下げてしゃきつと解説。「ものの値段が上がれば、消費者はどれほど買い控えるか？」（ミクロ経済学）「一国の経済成長率が上昇すると、失業率はどう変わるか？」（マクロ経済学）「説明変数が 1% 上がると、従属変数はどう反応するか？」（数理統計学）などなど、ミクロ経済学（例えば「効用」）・マクロ経済学（例えば「比較静学」「動学」）・数理統計学（例えば「回帰分析」）にとって、微積分を出発点とする数量分析こそ、揺るがぬ礎。数、実数、有理数、無理数、関数、因果関係、微積分、指数関数、対数関数、行列（以上、文系の中学校・高校数学）、限界、平均、弾力性、（不）効用、価格、収入、予算制約、利潤、費用、極大（or 極小）化、FOC、消費者・生産者（or 企業）行動、市場、均衡（or 不均衡）、価格の自動調節機能（or 「（神の）見えざる手」）、競争、独占、市場の失敗、余剰、バレート最適（or 効率性）、国家（or 「政府の見える手」、習近平の台詞）、税、所得税、消費税、関税、公共財、モラル・ハザード、逆選択、ただのり、（不）平等、Gini 係数、GDP、失業（率）、金利、貨幣、乗数効果、IS-LM 曲線、金融・財政、財政赤字（黒字）、腐敗（or 「政府の失敗」）、成長（率）、インフレ（デフレ）、確率、平均、偏差、偏差値、分散（標準偏差）、共分散、相関係数、最小二乗法（少なからぬ専門用語を掲げたものの、全部ではない；英文省略）といった重要な基本概念を深く掘り下げて吟味。なお、授業中に試験と似通った計算問題をも適宜出題・解答。「地に足のついた姿勢で、根掘り葉掘りわからせる」のが、方針。絡み合った複雑な事柄を平易に解説することに努める。「脳筋（$\approx$知性）」をとことん鍛えるのにこだわった授業を心掛ける。たとえば、成長率の表し方（マクロ経済学）を紹介するとき、なぜ「e(Napier's Number)」という無理数を base とする指数関数（$\exp x$）およびその「いとこ」にあたる自然対数（$\ln x$）が決定的に重要であるかを、「逆関数」という指数関数と対数関数の関係にさかのぼって証明していく。一昔前、数学をほとんど使わぬ統計学のテキストを書いたある先生が、本のタイトルを「涙なし・・・」（ただし、詳細は未確認）とした。それと正反対の意味で、「涙・・・」を否定せず、講義のサブ・タイトルを「嬉し涙ありの経済分析」としてもなかなか興味深い。教育者の着眼点や意図が異なる、大層有益な意見対立だからだ。文系レベルの高校数学に強いアレルギーさえなければ、誰もが興味津々に受講可能。もちろん、理系受講生や数学を得意とする者を決して飽きさせない（恐悦至極）。一年生も二年生も他学部生も PEAK 生も聴講生も大歓迎（出席自由；計算のプロセスを重視）。テキスト（分量多し、全部読まなくていい。土産）、レジメ（テキストの一部＝試験範囲；全部必読）、過去問（詳細な解答を含む）は ITC-LMS（Information Technology Center-Learning Management System）にて公開（閲覧するには、履修登録が必要）。思えば、ノーベル賞経済学者 Paul Anthony Samuelson（neo-classical synthesis：新古典派総合）は名著 Foundations of Economic Analysis（経済分析の基礎）の扉に、「Mathematics is a language」という、彼が尊敬していた数学者・物理学者・物理化学者 Josiah Willard Gibbs (1839-1903)の言葉を引用した。本講義を通じてその素朴にして興味深い言葉の醍醐味を少しでも味わっていただければ幸い。世間にありふれた「物知りクイズ」（僕はだいに疑問）と一味、二味も違う、頭の体操でもある「IQ クイズ」（地頭のみで考えるクイズ）を、授業の翌日にネット出題（自信のある者は答えを zhongf[at]hotmail.co.jp まで送信）、翌々日に ITC-LMS で正解発表（& 正解者表彰）。クイズを一問出題しよう（偏差値 41）：「コロナ禍」とかけて、「数列の極限」ととく。その心は？ 答え：収束。ガイダンスの「こころ」（本質）を興味深く理解するには、初回 quiz の醍醐味をじっくり味わうのが、大前提。地頭のみで考えよう（以下の記述を、物知りクイズの達人にプレゼントする）。「因果関係」という前述のキーワードを踏まえて言えば、「物知りクイズ」は「果」のみを追い求める無味乾燥な暗記作業に過ぎず、「因あつての果」や両者のつながりを理路整然と究明するのが、IQ クイズ。AI（人工知能）が日進月歩しているなか、生身の人間の存在価値を端的に示す IQ 指数を高めよう。博覧強記≠頭脳明晰。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30809	S	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教育・学校心理学 誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教えること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。 上記のような立場を基本とする本講義は、教育に関して視野を拡大するとともに、根本的な発想の転換が図れるような力量を育成しながら、教育に関する見識を受講者なりに醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。 第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。 第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。 第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてでなく、体験的に味わってもらふ。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30839	S	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教育・学校心理学 この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者の教育領域の心理臨床家（スクールカウンセラーや教育相談センター相談員）としての実践に基づいて説明する。具体的には、下記の内容を取り扱う。 1. 教育現場において生じる問題及びその背景 いじめ、不登校、学業不振など。 2. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援 教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。 学校内の支援体制と方法：教育相談、スクールカウンセラーなど。 学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30104	S	教育臨床心理学	石垣 琢磨 西口 雄基	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	臨床心理学概論 臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育臨床心理学と教育支援についての理解を目的とする。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30358	S	教育臨床心理学	石川 亮太郎	心理・教育学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 臨床心理学は、多様な学派の理論をもとに、個々のクライアントの様々な問題にアプローチし、生活の質の向上をめざす学問である。臨床心理学を理解するためには、精神分析学、精神医学、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、児童・思春期におこりやすい心理的問題や疾患を事例にあげながら、臨床心理学の基礎となる理論や治療法について説明し、学生に臨床心理学の基本を理解してもらう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31235	S	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。				

総合科目 D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30359	S	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであるか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO ₂ による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31020	S	生態学	土畑 重人、 鈴木 準一郎	生物	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半（担当、鈴木）には主に植物生態の視点から、日本の自然の特徴／環境と生物の応答／環境条件と生物群集／陸域のバイオーム／生態系での物質とエネルギーの流れ／土壌の生態学などを解説する。後半（担当、土畑）には、生物群集と多種共存の機構／生物の個体数変動／自然選択と生活史の適応進化／性選択と血縁選択／種間の相互作用と共進化／生態的過程と進化的過程の相互作用などを解説する。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30260	S	社会環境論	松原 宏	人文地理学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と地域経済の理論 グローバル化や情報化が進むなかで、空間・場所・地域の意義が改めて問われている。本講義では、経済地理学の基礎理論である立地論について解説するとともに、その現代的な適用と今後の課題について考えていきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30232	S	社会生態学	永田 淳嗣	人文地理学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		熱帯・亜熱帯地域の人文地理学 東アジア、東南アジアの熱帯、亜熱帯地域における、社会変容、資源利用、開発と環境の問題などを、具体的な事例に則して考えるとともに、人文地理学の基礎的な視点や方法論を学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30958	S	社会生態学	梶田 真	人文地理学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		公共事業と地域経済・社会 本講義では、マクロな制度や政策とミクロな地域との関係について、公共事業と地域経済・社会との関係を事例に検討していきます。この検討作業を通じて、受講者のみなさんに全国あるいはグローバルなスケールで起きている様々な動きとローカルな地域の動態とがどのように結びついているのかを（人文）地理学的な視点から理解していくための見方・考え方を習得してもらいたいと思います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30261	S	地域生態学	渡邊 眞紀子	人文地理学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		世界の様々な地域の水・土・人 地球陸域の乾湿分布は不均質で、変動を続けてきている。本授業では、砂漠気候、ステップ気候、温暖湿潤気候、サバナ気候など世界の多様な自然環境の水資源、土壌資源に関する現地調査や長期モニタリング調査を題材に、地球環境の変化、火山噴火などの自然災害、資源を活用するための技術の導入がもたらす地域の変化に目を向け、地域生態の理解を深めることを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30179	S	人間行動基礎論（理科生）	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ、それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす。人工知能や脳信号解読を含めた現代と未来の脳工学技術や「心理学の成り立ち」にも触れる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30906	S	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類はHomo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性について講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性について、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31237	S	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		知覚・認知心理学 記憶・推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30262	S	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		神経・生理心理学 <目標> ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 <概要> 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30360	S	認知脳科学	四本 裕子	心理・教育学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		神経・生理心理学 認知脳科学、認知心理学、神経科学に関する幅広い分野の基礎を学ぶ。脳機能の各種測定法、脳刺激法を学ぶとともに、脳の構造やはたらき、脳の発達、感覚・知覚、記憶、睡眠など、さまざまな人間の認知的側面とそれに関連する脳のはたらきについて学ぶ。基本的な内容と合わせて、最近の研究によって明らかになった知見を紹介し、認知脳科学についての幅広い理解と興味をうながすことを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31056	S	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育学	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒトの心と行動を進化から考える 授業の目標・概要：ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の産物である。そのような視点から見ると、人間の心や行動の理解がより深まる。本講義では、前半で進化とは何か、進化と心がどのように関係しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念を説明する。次にヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを生んだ系統である霊長類の特徴、ヒトの進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力的行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。人間の心や行動に関する「なぜ」について、新たな見方を獲得する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30678	S	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	社会・集団・家族心理学 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。 人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。 心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。 世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っている。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していったほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。					

スポーツ・身体運動実習		開講区分	S	
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第1回目の授業で、種目選択を行う。場所は9号館前の掲示板を参照すること。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/ を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。			
授業の方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9号館前の掲示板に掲示する。			
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、1つの学期に3コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。			
学習上のアドバイス	1コマ1単位であり、2Sセメスター終了時までには2単位、2Aセメスターに2単位、計4単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30180	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30361	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30679	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30841	木 1	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
31099	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）			開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第1回目 種目選択（場所は9号館玄関掲示板を参照） 月3、火2、水2、木1、金2のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。出席できない場合は身体運動棟で登録する。			
授業の方法	第2回目以降 各自の選択した曜限での授業 下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。			
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書 履修上の注意	教科書は使用しない。／Will not use textbook 初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回から MC の曜限に移行し、教務登録も MC の曜限です。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。			
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。またセメスター途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30029	月 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
30263	月 5	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア1）	実技担当	2年 文科 理科
30300	火 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
30599	水 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア2）	実技担当	2年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30362	S	身体運動科学	工藤 和俊	スポーツ・身体運動	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		運動の巧みさと上達の科学 一流のアスリートや、ダンサーや、音楽演奏家は、日々の弛まぬ練習によってきわめて高度な技（スキル）を体得します。本講義では、このような高度熟練パフォーマンスに代表される運動の巧みさ/上手（うま）さに関する以下のような素朴な疑問について、認知行動科学、神経科学、非線形数理科学など学際的立場から議論します。 ・上手なひととそうでないひととはどこが違うの？ ・どうすれば運動が上手になるの？ ・スランプはどうして起こるの？ ・練習でできていたことが試合でできなくなることがあるのは何故？				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30842	S	身体運動科学	八田 秀雄	スポーツ・身体運動	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		運動生理生化学 運動におけるエネルギー代謝の知識を健康増進や競技のトレーニングに役立てる 特にこのような厳しい状況の中で、感染に気をつけながらも、日常的に運動をすることの重要性を理解する 生きていることはエネルギーを生み出していることである。そしてエネルギーは基本的には糖や脂肪からミトコンドリアが酸素を利用して ATP の形で生み出されている。運動時にはさらにエネルギー必要量が高まる。そこで本講義では運動時を中心に糖や脂肪がどう代謝されているのかを中心にして、運動時における体内の変化を学ぶ。運動することはエネルギー消費量を高めるが、それだけが運動の効果ではない。運動を継続することで体内の状況をよくすることができる。エネルギー代謝の知識を活かし、今後の健康維持にどのように運動を取り入れていけばよいのかを学ぶ。また健康増進だけでなく競技におけるエネルギー代謝に関する内容も話題として取り上げる。 また乳酸及び運動と疲労に関する内容も多い。乳酸は糖からできるエネルギーであり、老廃物ではなく、無酸素状態だからできるものではない。乳酸ができるから疲労するのではなく、むしろ疲労するような運動をしているので、それに対処するためにできるのが乳酸である。 世の中脂肪燃焼がよくいわれるが、あるサプリメントを摂ったからといって脂肪がどんどん減るようなことはあり得ない。運動で代謝を高めるから脂肪が減るのである。また運動では必ず糖を利用するが、糖を利用することは無駄なことではなく、糖尿病の予防になり、結果としては脂肪の減量にも結びつく。そこでこの講義でのもう一つの柱は、おかしな健康情報がいかに多いのかについても学ぶことである。お茶を飲むだけで脂肪が減るかのようなおかしな情報を鵜呑みにせず振り回されない姿勢＝メディアリテラシーを身につけることも。本授業の目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30105	S	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		健康スポーツ医学 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30301	S	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	スポーツ・身体 運動	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スポーツ動作を科学する 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に迫いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30264	S	情報メディア基礎論	渡邊 英徳	情報学環	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	本講義では、情報を“ストック”する基盤として／“フロー”化するメディアとしての「デジタルアーカイブ」を実際に制作しながら、情報とメディア・社会の関わりについて考えます。 過去のできごとの「実相」は、多様な人々の視点を内包した多面的なものです。多面的な資料を“ストック”したデジタルアーカイブは、こうした「実相」を伝えていくための重要な基盤です。デジタルアーカイブを活用することで、社会に“ストック”されていた資料が“フロー”化し、創発するコミュニケーションによって、情報の価値が高まります。このことにより、継承へのモチベーションが社会の裡に生み出されていきます。 本講義ではまず、各人（各チーム）が定めたテーマに沿ってデータを収集し“ストック”します。次いで、2D/3D 地図にデータをマッピングし、情報を視覚化するメディアとしてのデジタルアーカイブを作成します。そして“フロー”化の実践として、成果物をウェブ公開します。 授業では、GIS ソフトウェア「ArcGIS」、3D 地図作成サービス「Re:Earth」を使用します。また、随時、デジタルアーカイブ・情報メディアの最新動向についてのレクチャー（ゲスト講師含む）を行います。 1) 情報を“ストック”する基盤／“フロー”化するメディアとしての「デジタルアーカイブ」の概念を学ぶ 2) ArcGIS, Re:Earth などの使い方を学び、今後の学習・研究において活用していく素養とする 3) レクチャー（ゲスト講師含む）を通して、デジタルアーカイブ・情報メディアについての最新の知見を身に付ける。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30265	S	科学技術基礎論Ⅱ	廣野 喜幸	哲学・科学史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学論入門 スマホをはじめとして、現在社会に暮らす我々が科学や技術の恩恵を享受しない日はない。一方、東日本大震災における原子力発電所事故に見られるように、科学技術に起因する厄災・リスクもかつてなく大きくなっている。こうした状況にあって、我々が科学や技術と適切につきあい、的確に制御していくためには、科学や技術に対する一定以上の理解、すわなち科学リテラシーを欠くことはできない。「経済学は何のために学ぶのか？エコノミストにだまされないためだ。」という問答があるが、科学や技術は今日高度になり、素人には理解しにくくなっているために、適切な科学リテラシーを欠くと、いわば科学や技術に騙されてしまう。（科学技術論では、こうした事態を「科学技術の専門家支配」と「科学技術のスリップ」という。）日本では、科学技術立国論が喧伝されている。では、科学技術が進展すれば、経済成長できるのだろうか。みなさんは、この間に的確に答えられるだろうか。本講義では、科学や技術の基本的性格を理解して、こうした一連の間に的確に答えられるようになることを目指す。そして、科学や技術との適切なつきあい方を学ぶレッスンの第一歩を試みる。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31238	S	現代倫理	高橋 哲哉	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代思想と「犠牲」の諸問題 現代市民社会における倫理的諸言説は、表向き「犠牲」sacrifice の論理を禁じているが、その根底には根深くこの論理が潜んでいると考えられる。この問題を考えた現代の思想家たち（ベンヤミン、デリダ、アガンベンなど）の思考の道筋を、具体的な社会的諸問題と突き合わせながら検証し、私たち自身がこの論理にどのように向き合うのかを考える。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31395	S	現代工学基礎I	加藤 浩徳	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会イノベーションと国際プロジェクト わが国は戦後から 70 年以上が経過する間、急速な少子高齢化など多様な社会構造の変化を経験し、国内経済の様々な仕組みが曲がり角を迎えていることを受けて、近年多方面で構造改革が叫ばれている。一方でグローバル化の進展とともに人・カネ・モノ・情報が国境を超えて容易に移動するようになり、世界標準（グローバルスタンダード）が押し寄せてくるとともに、地球環境問題のようにグローバルスケールで取り組むべき課題も山積している。そのため、これからは、コミュニティのような地域社会で貢献できる人材とともに、国際社会で活躍できる人材が求められている。本講義では、貧困、環境・エネルギー問題といったグローバルで展開される問題と、人材育成、技術移転、紛争解決、地域開発、防災といったローカルな問題の両者について、社会イノベーションを切り口に議論する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31396	S	社会システム工学基礎I	羽藤 英二	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		東京のインフラストラクチャー（社会基盤学） 東京は世界有数のメガシティである。単に巨大であるだけでなく、緻密なインフラシステムを有する先端性、日本最大の城下町江戸の血を引く歴史性、豊かな海に面し繊細な地形と川に恵まれた自然性など、多様多彩な特徴や魅力を潜在的に備えたユニークな大都市である。同時に、幾度も深刻な災害に襲われ、その都度再生してきた復興都市でもある。本講義では、社会基盤を構成するそれぞれの専門学術領域の立場から東京のインフラストラクチャーを論じることを通じて、現代都市を構成する社会基盤と都市そのものを理解し考えるための視座と機会を提供するものである。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31397	S	社会システム工学基礎I	安原 幹	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「建築空間のデザイン&リサーチ」 建築学の扱う範囲は多岐に渡り、意匠、計画、歴史、構造、構法、材料、環境といった全ての分野が、現実の社会と密接に関係している。建築学の目的は、これら諸分野の技術を統合し、様々な社会的な課題を空間的に解決したり、あるいは新しい建築空間の創造を通じて、来たるべき社会のあり方を指し示すことである。本授業は、建築学、そして建築実務における諸分野の専門家による多様な講義を通じて、建築における最新の研究事例、また建築が直面する様々な現代的課題や、それらに対する具体的なアプローチ、解決手法を学ぶことを目的とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31398	S	総合工学基礎I	小野 靖	工学部	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		核融合実験基礎講座－人工太陽は創れるか？－ 海水中の重水素の原子核を融合して無尽蔵のエネルギーを得る核融合エネルギー開発は、いわば人工太陽の研究といえます。エネルギー問題の最終解と位置づけられる人工太陽＝核融合開発は、ようやく実用炉が見渡せる段階となり、現在、工学実証のための国際熱核融合炉 ITER を建設する一方で、その先にある経済性の高い原型炉の開発が進み、この数年はベンチャー企業まで生んでいます。 この授業は、講義と実験を組み合わせた「新しいタイプの核融合エネルギー開発の入門授業」といえます。 講義では、核融合炉の原理、特に核融合炉の心臓部である炉心プラズマ閉じ込めと関連技術について理解を深めると共に、軽水炉に対抗しうる経済性の高い核融合炉実現へ進むための最新の研究動向について紹介します。 また、専門に進むための入門実験として東京大学本郷の核融合プラズマ閉じ込め実験を実際に体験し、プラズマの振る舞いについて考えてもらいます。美しく輝くプラズマの挙動を観察し、考える中で、核融合エネルギー開発の現状と将来について理解を深めていただければ幸いです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31403	S	生体医工学基礎I	高井 まどか	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		バイオマテリアル入門－医療への貢献 今日の生物学や遺伝子工学、医療工学などの目覚ましい発展により、従来の医療では困難であった疾患の早期発見や再生医療、遺伝子治療などの高度先進医療も現実のものになろうとしています。工学の領域でも、このような医療福祉に対する社会的要請に応じて、医用材料、すなわちバイオマテリアルの研究・開発が注目を集めています。この講義では、高度先進医療を支える先端バイオマテリアルについて様々な角度から紹介し、工学と医学・生物学の融合により切り開かれる未来型医療について、皆さんと一緒に考えていきます。バイオマテリアルの入門として、バイオマテリアルの基礎から最先端研究までを紹介します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31407	S	生体医工学基礎I	南 豪	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学生命工学基礎 「化学」によって我々は自らの創造力を駆使し、自然界に存在する分子を手本に、自然界にはない方法で新たな機能を持つ分子や美しい構造を次々に生みだすことができます。 「生命」は化学物質の変換を精妙に行い自律的に活動が続ける複雑なシステムです。生命を「化学」の視点で眺め、理解することは、我々自身を深く知ることになるのはもちろんのこと、生命現象を巧みに操り、役立てるという目標につながります。 21 世紀の人類社会がかかえる課題解決のためにもはや欠かすことが出来ない「化学」と「生命工学」、そして両者の融合による「化学生命工学」。「化学生命工学」は我々の生活にどれくらい浸透し、我々の明日をどのように変え、未来に貢献していくのか？ これらの領域が果たす役割の重要性と魅力について、各講師が日本・世界の動向や、時に最新の成果も交えながら分かりやすく紹介します。 本講義では、有機化学、合成化学、触媒化学、グリーンサステイナブルケミストリー、高分子化学、超分子化学、分子生物学、生化学、タンパク質工学、細胞工学、酵素工学、抗体工学、糖鎖工学、ケミカルバイオロジー、バイオイメージング、創薬、などのトピックについて扱う予定です。 化学生命工学科のホームページ(http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/)から本講義の紹介・最新情報のページにアクセスできます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31404	S 1	環境・エネルギー工学基礎I	森田 一樹	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		環境・基盤マテリアル入門 我が国を支えてきたものづくり、すなわち製造業やその技術の発展には、経験や感覚を要する職人の育成はもとより、そのプロセスの根幹となる原理原則に則った技術革新もまた重要である。多くの材料や製品は原料から素材を作り、合成・加工することにより生産されているが、製品寿命を終えると循環されるという持続可能な新たなものづくりシステム構築も促進されつつある。中でも、ベースメタル、セラミックス、ポリマーなど社会の基盤を支えるマテリアルの循環システムやその機能が我々の生活にもたらす影響は非常に大きい。マテリアル循環プロセスにおいては古くは公害、今は CO2 問題、資源・エネルギー問題と枚挙に暇がなく、人類の持続的繁栄に直結している。また、密かに進化し続ける鉄鋼材料が、スカイツリーやゲートブリッジの出現をもたらし、ボディーの高強度軽量化による自動車の燃費や安全性を大きく向上させている。 これらのプロセス技術やパフォーマンス設計を支える学理を体系化した学問領域が、環境・基盤マテリアル工学である。物質や材料を取り扱う工学の基本であり、教養学部で学ぶ物質科学を広くベースにしている。 本講義では、入学直後の皆さんが高校で学んだ物理や化学の知識から、環境・基盤マテリアル工学を通して、自然現象からものづくり技術、パフォーマンス設計、そして持続可能社会への繋がりを理解することを目指とする。その近道として、ものづくりのベースとなる熱力学や力学の基本を理解した上で、社会を支える基盤マテリアルの創成やその循環プロセス設計について、実例を交えて紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31399	S	環境・エネルギー工学基礎I	小野 靖	工学部	金 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		エネルギー環境論 ーサステナブルな社会は実現できるかー エネルギーは我々の日常から最先端の科学技術まですべての人間活動を生み出す根元といえます。エネルギーなしに考えられる技術は何一つ無いことは明らかですが、そのエネルギーをいかに作りだし、輸送し、制御して、人間が使いやすい形で利用していくかはまさに今世紀の最重要課題といえます。システムの構築次第で社会全体が効率的に働いたり、逆に危機に際して大混乱に陥ることも想定され、社会活動や地球環境を決定する第一義の技術なのです。この講義ではそのエネルギー・環境技術の現状はどんなものか？未来技術はどうあるべきなのか、最新技術はどこまで進んだのか？数人の教官が体系的な講義を行います。エネルギー発生では火力、原子力、核融合、太陽光、風力、シェールガス・オイル、バイオマス、燃料電池、エネルギー輸送では超高压送電、水素エネルギー、スマートグリッド、電力貯蔵では SMES、エネルギー利用ではエネルギーシステム、交通システム、電気自動車、環境保全技術・・・等々、新聞を賑わす最新技術がどんなものなのか、各分野の専門家による講義とプリンストン大学教授の特別講演を含む、一部英語を織り交ぜた授業で理解を深めてもらう予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31406	S	環境・エネルギー工学基礎I	伊藤 大知	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学システム工学入門 ー次世代社会のための化学と材料ー 本科目では、化学システム工学の基本的な考え方を理解するために、人間社会が直面している課題（エネルギー、気候変動、環境汚染、安全とリスク、超高齢化社会など）を取り上げながら、化学システム工学の方法論がどのような解決策を提示できるのかについて講義と議論を行います。 特に、エネルギー変換化学、環境化学、安心安全工学、医用工学の 4 つの分野を取り上げ、各分野で最先端の研究を行っている工学部化学システム工学科の教員が講義を行います。 【テーマ】 エネルギー変換化学：再生可能エネルギー変換からの燃料・化成品合成、光触媒と水素 環境化学：化学と環境課題、大気環境、水環境 安心安全工学：化学と環境課題、大気環境、水環境 医用工学：医療と工学の接点、人工臓器・再生医療、ドラッグデリバリー 【化学システム工学について】 化学とは物質の性質、構造ならびにこれら相互間の反応を研究する自然科学の一部門です。物質を扱う限り、化学的な視点(化学反応、エネルギー、材料)が不可欠であることはいうまでもありません。一方、現実の環境問題やエネルギー問題などに取り組もうとすると、化学の知識だけでは不十分であることがわかります。なぜならば、我々が直面している課題は、様々な要因が絡みっており、複雑な様相を呈しているからです。このようなときには、対象を要素から構成されるシステムとしてとらえるシステム的アプローチが大きな力を発揮します。 化学システム工学は、人類の直面する様々な課題に対して、化学的な視点に立脚しながら現実的な最適解を提示するための学問です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31394	S	ヘルス・サイエンス概論	小西 祥子	医学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘルス・サイエンスへの招待 人間の健康問題を考えるためには、生命科学・行動科学・情報科学・社会科学などの多様なアプローチを統合した学際的な努力が必要です。そのためには、生化学・生理学・解剖学・遺伝学などの生命現象の基礎をなす学問だけでなく、疫学・生物統計学・医療倫理学・精神保健学・医療経済学・人類生態学・国際保健学・人口学などの保健・医療に関わる応用学問の実践が不可欠です。本授業では、医学部・健康総合科学科の教員が行っている健康社会の実現を目指した実際の研究活動事例を通して、現代が抱える「ヘルス・サイエンス」の問題と将来展望について学びます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31393	S	看護学概論I	佐藤 伊織	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生きることを支える科学 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、逆説的ではあるが、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、健康への様々なニーズが顕在化してきている。このような社会では、従来の医学モデルでは解決できない様々な課題が生じ始めてきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルで扱い新たな対処方法を構築することに対する社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、人々の健康問題を、身体的、精神的、社会的、霊的に捉えることで、より人々に適合したケアを提供することが出来る。本講義では、看護学の概要と特徴を提示し、今日的な健康問題を解決するための最新の研究成果を紹介することで、今後の看護学発展による国民の健康向上への道筋を議論する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31428	S	環境と生物資源	宮下 直、 鈴木 牧、佐野 光彦、 藤田 剛、瀧本 岳	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生物多様性と保全 いま、地球環境は激変の時代にあり、生態系の劣化や生物種の絶滅が急速に進んでいる。これは我々人類にとっても重大な問題となっている。水、土、大気、食糧、どれをとっても我々の生活に不可欠であり、そうした「自然の恵み」を抜きにして人類の将来を語ることはできないからである。本講義では、特に生物の豊かさを意味する「生物多様性」に焦点を当て、それが維持されている仕組みや、劣化の実態とその背景要因、生物多様性の保全や再生、そして持続的な利用の在り方の視点から、生物と人間社会の関係性を語る。 具体的には、最初の 2 回で講義全体の枠組みを概説した後で、生態学の基本理論に基づいた生態系のダイナミズムを紹介する。次いで、海、山、里山といった現場に焦点を当て、それぞれの生態系の構造や機能、そこで起きている諸問題とその解決法を紹介する。そして最後には、生物多様性の価値について、それが生み出される仕組みも含めて「生態系サービス」の観点から論じる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31429	S	食糧と環境	高橋 一生、伊藤 直樹、 岡田 茂、山川 卓	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		海洋生物資源の特性と利用 地球表面積の 70%を占める水圏（海洋および陸水）は、潮干帯から沿岸、外洋、深海、熱帯域、極域、陸水に至る、多様に変異に富む環境で構成される。水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が進化的に適応放散し、独自の生活史を発展させてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。そして、これら多様な生物の相互作用により、複雑で豊かな生態系が形成されてきた。しかし、陸上生物である我々 ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。一方、広大に見える水圏でも、そこに棲息する生物量は有限である。水圏生態系における物質循環および生物生産の仕組みを理解し、ヒトと水圏生態系の関わりあい方、および再生可能資源としての水圏生物の持続的有効利用のあり方を探ることが、これからの自然共生型の持続可能な社会を構築していくうえでの鍵となる。 本講義では、水圏に棲息する生物およびそれを取りまく環境を対象に、（１）水圏環境および生態系内での物質循環と生物生産について理解すること、（２）食料資源、生化学資源、エネルギー資源などの観点から、水圏生物の持続的有効利用に向けた知識を習得すること、を目標に授業を進める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31430	S	森林環境資源学	蔵治 光一郎、齋藤 暖生、 楠本 大、三浦 直子、當山 啓介、 水内 佑輔、藤原 章雄	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		森と癒し、森の最終形 世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業の CM が TV や新聞に頻繁に流されている。その一方で、日本の国土の 68.5% は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。 高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理学的アプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかかわり」＝「文系的アプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。 森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の 7 都道県に、山手線の内側の面積の 5 倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、東京大学の全キャンパス面積の 99% を占めている。 本講義は、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についてのオンライン講義と、千葉県および山梨県に位置する演習林で開講する日帰りのフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れる。 ※受講人数には制限があります。受講希望者が制限人数を上回った場合は 1 年生を優先します。1 年生だけで制限人数を上回った場合はセレクションを行います。 ※オンラインでの講義と、日帰りのフィールドワークを行います。フィールドワークは以下の 2 つから 1 つを選んで参加します。2 つにはそれぞれ定員がありますので希望の場所・日程で行けるとは限りません。また、もし空きがあれば、両方のフィールドワークに参加することもできます。 1. テーマ：森と癒し 場所：富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村） 日程：6 月 12 日（土）または 13 日（日） ※同じ内容です。どちらか一方に参加ください。 定員：各 10 名、2 日間合計 20 名 2. テーマ：森の最終形 場所：千葉演習林（千葉県鴨川市） 日程：6 月 19 日（土）または 20 日（日） ※同じ内容です。どちらか一方に参加ください。 定員：各 15 名、2 日間合計 30 名（予定）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31431	S	水と土の環境科学	吉野 邦彦、高木 強治、細井 文樹、 濱本 昌一郎、西村 拓、吉田 貢士、 吉田 修一郎、溝口 勝、橋本 禅	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	食をささえる水と土の環境科学 2050 年までに 90 億人を越えようとしている人口を養っていくためには、食料生産の維持・増大は欠かせない。2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs を達成するためには、自然環境との調和を図りつつ食料生産の基盤を整備するとともに快適な地域空間を創出する必要があるが、これは容易ではない。様々な個別の問題を自然と社会の法則性や物質の普遍的な特性に基づいて解明し問題解決をすることを可能にするような高度の科学性と専門性が求められる。特に、植物の生育と生態系を条件づける水と土、さらに地域空間における物質循環に関する科学と技術が不可欠である。また、日本国内に限定すると今後、人口減少と高齢化が進むことも考慮すべき重要な事項となる。 この講義では、食料生産、いわゆる農業について、生産効率向上の工夫や持続的な農業生産に関する課題を紹介するとともに農業に関連して生じている様々な環境問題やそのメカニズムを社会的背景と物質循環についての基礎知識やモニタリング技術を含めてわかりやすく解説する。 この講義によって、普段気にしていない水と土を巡る物質循環の科学の私たちの社会・生活における重要性が理解できるようになることを期待する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31432	S 1	住環境の科学	稲山 正弘、恒次 祐子、 青木 謙治、井上 雅文	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	人と木と木造建築 地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31748	S	心身の実践科学	佐々木 司	教育学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代の社会を生きる心身の知恵 この授業は、急速に変化する現代社会を生きていく上で、またそのような社会の中で相互扶助による貢献を第一義とする市民的エリートとして成長するために不可欠な心身の実践科学とその知識について、理論と実践両面から学ぶことを目的とします。インターネットや SNS の急速な普及（四半世紀前にはこの世に存在しなかった）と情報氾濫、生活の 24 時間化・国際化、産業構造の変化、これらに伴う対人関係の変化など、現代のわれわれを取り巻く環境と状況は加速度的に変化し続けています。このような変化は、当然ながら、心身の健康、ストレス、学習に大きな影響を及ぼし、人間関係、将来設計、社会での適応のあり方、精神疾患などにも影響を及ぼしています。これらは学生の皆さんの現在の生活のみでなく将来の社会人としての活躍にも当然ながら深く関係する問題です。この授業では、教育学部身体教育学コースでの研究内容を紹介しつつ、生活習慣、学習、脳、精神医学、社会など様々な観点からこれらの問題について考えていきます。この中には、相談支援研究開発センターの教員が担当して行う、学生支援の実践した講義も多数含まれます。この講義での学習を通じ、学生生活における健康の維持・向上とともに、将来の社会での活躍のあり方について考えを深める上でも必要な知識とスキルを習得してもらえればと思います。 なお平成 27 年度から開始された学生同士の相互扶助を目的としたピアサポートプログラムに参加希望の学生には、特に履修を勧めます。学生ピアサポーター（一定の研修プログラムを修了した本学学生を相談支援研究開発センター長が認定）として必要な基礎知識の習得に必須の講義が含まれます。当然ですが、それ以外の学生の履修も大いに、かつ平等に歓迎します。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30363	S 1	システム論	福永 アレックス	情報・図形	火 2, 金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		システム論 「システム」とは、相互に影響を及ぼしあう要素から構成されるまとまりや仕組みであり、その概念は分野横断的に幅広く応用されている。例えば、国や企業等の社会システムはたんなる人の集合ではなく、複雑な社会システムである。一方、インターネット等の複雑な人工物も、たんなるコンピューターの集合でなく、「システム」である。 本授業ではこのような複雑なシステムを理解、構築、操作する為に役立つ汎用モデル化技術を紹介する。一方、これらのモデル化技術の本質的な限界についても考察する。				

総合科目 E（物質・生命）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30030	S	振動・波動論	加藤 雄介	物理	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		振動・波動論 音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で碎けるのだろうかなど。また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30364	S	振動・波動論	鈴木 康夫	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		振動・波動論 音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。 音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。 たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で碎けるのだろうかなど。 また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。 その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論 2. 1 自由度系の振動 ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動、共鳴、Q 値 ＊パラメーター励振 ＊簡単な非線形振動 3. 連成振動 ・2 自由度系 ・基準振動、うなり ・N 自由度系 4. 1 次元の波動 ・弦、弾性体、気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 ＊波のエネルギー ＊インピーダンス 5. フーリエ級数、変換の方法 ・考え方、基本事項、線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 ＊不確定性関係 ＊6. 2, 3 次元の波 ＊波動方程式 ＊平面波 ＊球面波 ＊水の表面波 ＊反射と屈折 ＊干渉、回折				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30267	S	相対論	大川 祐司	物理	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	特殊相対性理論 特殊相対性理論の基礎についての講義を行う。 相対性の概念、相対論以前の光の伝播の問題、相対論における異なる慣性系の間の座標変換である Lorentz 変換、テンソルを用いた共変的な記述、相対論的な力学、Maxwell 方程式の相対論的共変性などについて、基本的に教科書に沿って講義を行うが、教科書がなくても理解できるような講義ノートを配布する予定である。 高校で習う数学および物理学の知識を前提とし、大学で力学や電磁気学を履修していなくても十分に内容が理解できるように講義を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30365	S	量子論	加藤 雄介	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子力学入門 量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを、基礎的な物理系の学習を通して体験する。また、発展的な例を通して、量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する。これによって量子論の概要を正しく把握し、今後の学習の基礎付けとすることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30810	S	統計物理学	堀田 知佐	物理	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計物理学 統計物理は、自然界の身近なマクロな現象をミクロなレベルから解き明かす、現代物理学の基礎的な学問である。鉄は何で磁石に引かれるのだろうか？ゴムは良く伸びるけど、手を離せばもとに戻ってしまう、そんな身近な疑問も、分子、原子、電子といったミクロな構成要素が 無数に集まって統計的にどう振る舞うかを定式化すれば 簡単明瞭に理解することができる。 熱力学では抽象的なマクロ変数をもとに熱平衡という概念を扱った。その際にエントロピーという一見正体不明の物理量が出てきただろう。 ところが統計物理の言葉では、そのエントロピーの正体も少数の原理を仮定するだけで、実に明快に定義することができるのである。 本講義では、統計物理の枠組みを初歩から理解し、そのうえでゴムや磁石などの問題を具体的にに取り上げ、物理学の面白さを知ってもらい、また物理的なものの見方を理解してもらうことを目標にする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31101	S	現代物理学	押川 正毅	物理	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	変分法と変分原理 物理学を含む科学では、「何らかの量を最小化（または最大化）する状態を求める」という問題がしばしば出現する。このような問題を解く手法が「変分法」である。また、物理法則を、「状態が何らかの量を最小化（または最大化）する」という形で定式化することができる場合がある。たとえば、光の伝播に関するフェルマーの原理や、古典力学における最小作用の原理などである。このようなものを「変分原理」と呼ぶ。たとえば古典力学の場合、運動方程式による定式化と最小作用の原理は等価で、どちらから出発してもよいが、最小作用の原理によって新しい見方が与えられる。 このような変分原理や変分法を手がかりに、異なる問題や分野に共通する普遍的な構造を見出していく。 「現代物理学」は 2020 年度まで立川裕二氏（Kavli IPMU）が担当したが、今年度は 2017～2019 年度に続いて押川が担当する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31102	S	物理科学I（文科生）	池上 高志	物理	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	生命の理論から考える現代の科学 2010 年を堺に、科学は story telling なものから、Data 駆動形のものへ、あるいは小さなモデルから大きなモデルへと変貌を遂げた。わたしたちは、新しいこのパラダイムの中でどのような知識と理解を気づいていけばいいのか。そこで、2010 年の科学パラダイムの転回(1)から始め、下の計画にあるような講義を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31103	S	物質化学（文科生）	渡辺 正	化学	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	化学の知恵をもとに、日常生活（食品・体のしくみ・身近な製品・環境）を見つめ直す。 中学校理科と高校『化学基礎』程度の知識から「本物の化学」へと歩み出し、それをもとに、命や暮らしと化学のかかわりをつかむ。 原子・分子のミクロ世界を想像する力をつけ、生命のしくみや、暮らしを支える多彩な製品の特性、環境中で進む出来事の素顔を（エネルギーの出入りにも注目しつつ）理解する。 化学用語（和・英）に関心をもつ姿勢も養う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31420	S	基礎方程式とその意味	岡田 康志、 日下 暁人	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	基礎方程式とその意味を考える 物理学がもつ「基礎方程式」（基本法則といってもよい）を掘り下げその意味を考える。 本講義では現代物理学の大きな柱として、相対論と量子力学を扱う。 高校までの知識をもとに、それらの基本方程式を導くとともに、具体的な現象への応用例を通じて、方程式の背後にある物理的な意味の理解を目指す。 これらの基礎方程式は、これまでの古典的なイメージと大きくかけ離れたものであるが、学生の皆さんの新しい知的冒険を始める一助となるものとしたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31421	S	分子化学概論	合田 圭介、 小澤 岳昌、 磯部 寛之	理学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	分子化学概論／Introduction to Molecular Chemistry ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなどの新しい技術の誕生・発展に伴って、物質や生体が機能を発現するメカニズムを分子レベルでとらえ、制御することができつつある。一方で、化学を基盤とした基礎・応用科学の急速な発展に伴って、高校の化学と専門課程の化学のギャップは大きくなる一方である。本講義では将来、化学のみならず生物科学や物質関連科学を志向する 1～2 年生にとって不可欠である最新の化学の考え方を理学部化学科の教員がわかりやすく解説する。レーザーと分子イメージング、分子デザイン、生物を観る・測る・操作する分析化学などを具体的なテーマとして取り上げ、学部初年のレベルから化学研究の最前線に至る道筋を明らかにすることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31441	S 1	化学薬学概論	清水 敏之	薬学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ケミカルバイオロジーI（化学からみたケミカルバイオロジー） 医薬を創製し、人類の健康を守ることは薬学の大きな目標の一つである。この目標のために、薬学では、生体や疾患の仕組みを解明するための研究、薬や毒などの物質と生体との相互関係を解明するための研究、生体に有用な物質を創製するための研究などが、互いに連携をとりながら日夜進められている。本講義では、薬学研究の中から主として有機化学あるいは物理化学研究を取り上げ、これらの研究が新薬の創製にいかに関与しているかを平易に解説する。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30366	S	超分子化学	平岡 秀一	化学	火 2	2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		分子認識と分子自己集合 殆どの場合、分子は孤立して存在するというより、常に他の分子と相互作用している。特に溶液中では、必ず分子間における相互作用が存在する。このような分子間相互作用は分子骨格を形成する化学結合（共有結合）に比べとても弱いですが、分子間相互作用が生命系の複雑な仕組みと深く関わり、秩序立ったシステムの形成・維持に寄与している。本授業では、ほぼ全ての分子間相互作用を扱い、さらに分子間相互作用の理解を深めるため、分子軌道により解釈される共有結合との比較も行う。 水素結合やファンデルワールス力は分子間相互作用の一つで、高校化学の教科書でも取り扱われている。しかし、分子間相互作用について、いくつかの基本的な疑問がある。水素結合はどのような元素間で形成されやすく、なぜそうなるのか？DNA の塩基対は水素結合で形成されているが、AT ペアより GC ペアの方が強いのはなぜか？単に水素結合の数だけで説明して良いのか？タンパク質はポリペプチドから形成され、アミド間の水素結合により一義構造へ折り畳まれるが、なぜアミド結合が選ばれたのか？なぜ水に溶けにくい物質は水を嫌って集合化するのか？また、水以外にこのような特性を示す溶媒は存在するのか？ファンデルワールス力は分子間相互作用の中で最も弱いですが、無視できるほど弱いのか？分子が自発的に集合し、秩序構造を形成する自己集合という現象は、生命システムの形成に欠かせないが、どうやって自己集合体が形成されるのか？自己集合も化学反応の一つだが、その反応機構は、一般的な化学反応と同じような考え方で解釈できるのか？ 本授業では、これらの問題について「分子間相互作用」というキーワードをもとに合理的に考え、結論を導き出していく。				

基礎化学		開講区分	S
授業の目標・概要		「化学」は単に物質の名前を覚えたり、反応式を暗記するような学問ではなく、基礎的な概念に基づいて、多様な物質の構造や性質を体系的かつ包括的に扱う学問である。本講義では、高校で学んだ化学の知識を基礎として、化学に関わる身近な現象や最先端の技術を題材にしながら、その根底にある化学的な概念をできるだけ平易に解説する。これによって、化学の学問体系を大づかみに理解するとともに、化学の面白さを学ぶことを目標とする。また、本講義は、化学系の基礎科目や専門的な内容を扱う総合科目を学ぶための入門的な役割をもつ。本講義で扱う主な項目を以下に示す。 1. 物質の構成（原子の構造、分子の形成、固体の構造と物性、光と分子） 2. 物質の変化（熱力学の法則、化学平衡、反応速度論） 3. 有機化合物（構造と結合、有機電子論、分析化学、触媒化学） 4. 機能性分子と生体関連分子（高分子化学、超分子化学、核酸、タンパク質）	
成績評価方法 教科書		各担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30237	月 5	佃 達哉、野崎 京子	1 年 文科 理一(1-12)理二三(1-8)
30310	火 2	山口 和也、寺尾 潤	1 年 文科 理一(13-21)理二三(14-18)
31059	金 2	高鍋 和広、寺尾 潤	1 年 文科 理一(31-39)理二三(19-24)
31215	金 5	内田 さやか、金井 求	1 年 文科 理一(22-30)理二三(9-13)

有機反応化学		開講区分	S
授業の目標・概要		理科生はクラス指定された曜日・時間帯で受講する。この科目では、有機化合物の構造・性質・反応・機構について学ぶ。以下に標準的な講義項目を示す。ただし、項目の順序や内容は各教員によって若干異なる。 1. 序論 ・物質化学における有機化学の位置づけ。 2. 炭素が関与する化学結合 ・炭素の原子価状態、正四面体モデル、混成軌道、電気陰性度と結合の極性 ・メタン、エチレン、アセチレンの分子軌道（ σ 軌道と π 軌道） 3. 異性現象と立体化学 ・異性体、立体配座、立体配置、不斉現象、キラリティー、RS表示 4. 有機化合物の性質 ・分子間力、水素結合、分散力、酸と塩基、共役系、芳香族性 5. 有機化合物の反応およびその機構 ・脂肪族求核置換反応、脱離反応、付加反応、付加環化反応、転位反応、芳香族求電子置換反応、カルボニル化合物の反応 ・一次反応、二次反応、反応中間体、反応遷移状態、化学平衡 6. 目的化合物の合成 ・逆合成解析、生理活性物質の合成、機能物質の合成	
成績評価方法 教科書		担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30002	月 1	加藤 敬行	2 年 文科 理一(11,13-19)理二三(10-13,19,22)
30784	水 5	滝川 浩郷	2 年 文科 理一(1-3,5,8-10,22,27-29,32)理二三(1-4,7,9,20-21)
31041	金 1	福島 和樹	2 年 文科 理一(4,6-7,12,20-21,23-25)理二三(16-18,23-24)
31058	金 2	浦野 泰照	2 年 文科 理一(26,30-31,33-39)理二三(5-6,8,14-15)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31400	S	物質・生命工学基礎IA	竹中 充	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ナノ物理・情報エレクトロニクスの基礎 ナノテクノロジー、情報化社会、エレクトロニクスという言葉聞いたことがあるだろう。これらの先端技術は、electron（電子）のもつ性質を自在に活用し、工学として人間社会に役立てるという考え方の上に成り立っている。エレクトロニクスは、現代社会のあらゆる方面にわたって不可欠な基盤技術であるだけでなく、今後到来すると予想される人工知能社会や量子情報社会においてもそれらを支える必須の基盤技術として、その重要性は増す一方である。この発展を支えているのは、トランジスタを多数組み合わせたプロセッサやメモリなどの集積回路(VLSI)であり、半導体レーザー、光スイッチ、光ファイバなどを用いた光エレクトロニクスである。半導体集積回路(VLSI)は、コンピュータや携帯端末などあらゆる電子機器の心臓部であり高機能化をめざして活発な研究が続けられている。また、光通信や光情報処理技術の必要性が増すと共に、光ファイバ、半導体レーザーなどの光エレクトロニクスデバイスも急速に発展しつつあり、グローバルな通信ネットワークを支えている。これらのシステムやデバイスの基盤となる半導体結晶や新しい光・電子材料の開拓など、ナノテクノロジーも含めた基礎物性の分野（物性科学との境界領域）も重要である。特に次世代のデバイスは、ナノメートル(10 ⁻⁹ m)スケールの物理学（ナノ物理）を理解することなしにありえない。本講義では、工学部電気電子工学科の教員が現代社会を支える情報エレクトロニクスの基礎をわかりやすく解説し、AI や量子コンピュータ等にもつながる研究の最前線の状況についても紹介したい。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31402	S	物質・生命工学基礎IB	古澤 明	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子コンピューター入門 量子コンピューターの研究は、微細加工技術が進歩し、情報処理を担う「素子」が原子レベルに近づきつつある今日、当然の流れと言えよう。「素子」が原子レベルに近づくと、その動作はニュートン力学ではなく量子力学という運動法則に支配される。そこでは、アインシュタインとボーアの論争に代表されるシュレーディンガーの猫状態やEPR相関（一種のテレパシー??）が実際に起こる。量子コンピューターでは、これらの摩訶不思議な「量子効果」を用いて、情報のやり取りや情報処理を行う。この講義では、量子コンピューターの原理と現状についての入門的な講義を行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30367	S	動物科学	道上 達男	生物	火 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	大学教養で学ぶ動物科学 本講義では、1年生で履修した生命科学Ⅰ及びⅡの内容を踏まえた上で、動物の機能・構造・分類などに関する内容を概説する予定です。具体的には授業計画に記載した内容（おおむね「キャンベル生物学原書 11 版」の 32-34 章、40-51 章に対応）を予定していますが、順序や区切りは変更される可能性があるので、初回時に説明します。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31104	S	動物科学	伊藤 暢	生物	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	動物科学： 動物の発生・再生の仕組みと、再生医療への応用 ヒトや動物の個体を構成する様々な組織・臓器がいかにして形作られ、機能を発現し、個体の生涯にわたって維持されるのかという「発生・再生」の仕組みについて、基礎的な内容を概説する。基本的なコンセプトの理解に重点をおきながら、基盤となる研究の内容や実験手法、関連する最近のトピックなども紹介する。発生・再生の基礎学問的な知見が、再生医療などの分野にどのように応用され貢献しているのかについて解説し、我々の社会生活とのつながりについて考えるヒントを提供する。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30368	S	植物科学	阿部 光知	生物	火 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物の形作りを知る 植物の発生現象に関するさまざまな内容を理解することを目標とする。 植物特有の発生現象に焦点を当て、環境に応じて姿・形を変えていく植物の発生の面白さを学んでいく。単なる知見の紹介にとどまらず、研究の内容や歴史に触れながら講義を進めていく。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31105	S	植物科学	和田 元	生物	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物科学 植物学の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りである。 1. 生物の系統 真核生物と原核生物、共生説、植物・動物・菌類 2. 植物の構造 細胞壁、原形質連絡、細胞間隙、液胞、分裂組織、維管束、根・茎・葉 3. 水と溶質の吸収と移動 吸水、移動、蒸散、気孔の構造と機能、同化物質の転流 4. 成長と分化 発芽・伸長と分裂の制御、組織培養法、分化の全能性、植物ホルモン 5. 生殖 花の構造、重複受精、自家不和合性 6. 環境応答 屈性、青色光反応、フィトクローム、ストレス応答、生体防御、 二次代謝 7. 窒素代謝 窒素同化、窒素固定、アミノ酸の合成、根粒形成 8. 光合成 光合成細菌、ラン藻、葉緑体の構造と機能、光化学系I、II、 光リン酸化反応、 カルビン回路、C 3 植物と C 4 植物、光呼吸、ペルオキシゾーム				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30369	S	進化学	嶋田 正和	生物	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		進化生物学 進化生物学の全貌を、生体分子と遺伝子、個体と群れ・血縁集団、赤の他人からなる社会など、階層を縦断して学びます。 まず、生物進化における適応現象、自然選択理論の3つのレベル（遺伝子・個体・集団）、遺伝的浮動と純化淘汰による分子進化の中立説などの基本的理論を説明します。次に、動物の群れ行動や社会的行動の血縁選択理論、進化のゲーム理論を解説し、生物多様性の進化（種分化）を学びます。さらに赤の他人と協力しながら生きるヒト（人間）の社会行動や心理の進化論的解釈も含めて理解しよう。このような授業内容を踏まえ複眼的に進化生物学を学ぶことで、優生思想、性差別、遺伝的決定論による差別を批判的に考察できるようにしたいですね。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40125	S 2	現代生命科学I (文科学、理一生)	坪井 貴司	生物	金 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		人体の不思議をめぐる旅 生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、など、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31239	S 1	現代生命科学I (文科生、理一生)	笹川 昇	生物	金 5	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		ヒトを中心とした生命科学 われわれ人間にとって一番身近な生き物はヒトです。この講義ではヒトの話題を中心として、生命科学の現在の進展状況について概説していきます。総合科目の観点から、このくらいのことは知っておきたいという内容を授業で取り上げ、それについて科学的に論じられるようになることを目標とします。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40026	S 2	現代生命科学II (文科生、理一生)	渡邊 雄一郎	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		現代社会の問題を生命科学、植物、食品、病原体から考える。 教科書の内容を参考にしつつ、皆さんの将来に想定される問題を考える知的基礎体力を磨く				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31422	S	現代生物学	國枝 武和	理学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代生物学/Modern Biology 現代生物学の目標は、生命現象の基本原則（普遍性）と多様性がどのような仕組みで生み出され、また、それらがどのような過程を経て進化してきたのか、という問題について、本質的理解を得ることにある。このため多様な生命現象を対象として、分子・ゲノム、オルガネラ、細胞、組織、器官、個体、集団に至るさまざまなレベルで研究がなされている。本講義では、今まさに進展しつつある最先端の生物学について、その基礎と発展を学ぶ。具体的には、理学部生物学科で人類学・動物学・植物学の各分野を担当する教員が、それぞれの専門研究分野について概説した後、当該分野の最新の研究成果を紹介し、今後、解決されるべき重要課題について講義する。この講義を通じて生物学の面白さを見出し、人類発展における生物学の意義を考えてもらうことを期待している。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31423	S	人類科学	井原 泰雄	理学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間の本質にせまる科学 生物としてのヒトをあつかう自然人類学の視点から、人類の進化、ヒトの特異性、現代社会におけるヒトの科学について学習し、我々自身に関する理解を深める。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31424	S	生物情報科学	角田 達彦	理学部	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生物情報科学 生命科学の最先端の分野である生物情報科学についての基礎をオムニバス形式で紹介する。生物情報科学研究に必要とされる生命科学と情報科学の双方の基礎的な知識と技術を習得する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31747	S 1	生物薬学概論	堀 昌平	薬学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ケミカルバイオロジーⅡ（生物系薬学からみたケミカルバイオロジー） 医療が発達したといわれる現在においても、治療が難しいあるいは治療手段すらない病気が多く、これらの疾患に対する新しい医薬品の開発・創製（創薬）が切望されています。創薬の出発点は治療標的の同定、すなわち病気の鍵となる標的分子の発見とその作用機序の解明にあります。この理解に基づき医薬品の候補となる化合物（低分子有機化合物から生体高分子までを含む）を探索し、安全かつ有効な医薬品が開発されていきます。こうした研究には、「化学的観点あるいは化学的手法を用いて生命現象を解明すると同時に、生体機能を制御する学問分野」であるケミカルバイオロジーの視点が極めて重要です。 病気は身体の中で日常的に営まれている正常な生命活動の破綻により惹起されます。つまり病気の理解のためには正常な生命活動のメカニズムを十分に理解することが不可欠です。実際、生命科学研究の進展により新しい病気の発症機構が次々と明らかになっており、生命科学研究の最先端が薬学研究のフロンティアでもあります。本授業科目では、ケミカルバイオロジーの視点から、生物系薬学分野での最先端の研究結果を織り交ぜながら紹介し、創薬への貢献について解説します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30370	S	惑星地球科学I(理科生)	清水 久芳	宇宙地球	火 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目		固体地球科学概論				
授業の目標概要		固体地球および惑星を支配している物理化学的な枠組みを概説し、身近な自然現象として火山と地震について学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31106	S	惑星地球科学I(理科生)	小河 正基	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		地球型惑星内部のダイナミクスと進化 地球の内部構造やそのような構造を持った地球の形成過程からプレートテクトニクスまで、地球内部の基本的な知識について解説を行った後、過去 45 億年間の地球やその他の岩石で出来た惑星（月、水星、火星、金星）の進化の歴史について近年観測から明らかになった事柄を概観し、惑星内部のダイナミクスの立場からこれらの進化の歴史のからくりがどのように理解されるかを解説する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30106	S	惑星地球科学II(理科生)	中村 尚	宇宙地球	月 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		地球気候の形成・変動と大気海洋システム ノーベル平和賞にも輝いた 2007 年発表の IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第 4 次評価報告書は、地球温暖化と環境変化に関する社会の大きな関心と呼んだ。だが、2011 年の原発事故を経て、地球温暖化への日本社会の関心は一見低下したかに見えた。一方、2018 年夏、2019 年秋、2020 年夏に経験したように、社会に大きな影響を及ぼす猛暑・冷夏、暖冬・寒冬、豪雨・早魃などの異常気象への関心は防災・減災上の観点から益々高まりつつあり、異常気象と地球温暖化との関連性が依然として議論されている。こうした折、最近 IPCC から特別報告書が発表され、地球温暖化への関心が再び高まりつつある。人間活動に伴い CO2 など大気中の温室効果気体の濃度が増加し、地上気温に見られる顕著な上昇傾向は紛れもない事実である。IPCC 評価報告書では、今世紀末までに顕著な温暖化が予測されており、海面上昇や海水域の顕著な減少、海洋の酸性化、亜熱帯・中緯度大陸の乾燥化など、地球環境に及ぼす深刻な影響が懸念されている。国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成も、地球温暖化・気候変動問題の解決なくては困難であろう。我が国でも原発事業が縮小される中、再生可能エネルギーへの移行が順調に進まない限り、温暖化リスクがさらに高まる可能性も否定できない。そうした中、2015 年末に「パリ協定」が締結されて地球温暖化に対する世界的な取組みが開始され、日本政府もようやくその方向に舵を切った。 このように、地球温暖化に対する様々な緩和策や適応策が採られつつある中、まず求められるのは地球気候の成立ちとその過去から現在に至る変遷、さらには温暖化のメカニズムと予測される気候の将来変化に関する科学的理解である。本講義の目的は正にそれであって、地球温暖化を環境問題として社会倫理の観点から論じたり、温暖化の事実のみ盲目的に受け容れた上でその対策について論じたりすることでもない。平均状態として温暖化しつつある大気海洋系も、内在する自然変動のために常に揺らぎ、過去に例のない極端な天候が生じやすくなっている。最新の研究により、温暖化シグナルがこうした自然気候変動パターンの変化として現れやすいこと、それ故に温暖化シグナルの地域予測にある程度の不確実性が不可避なこと、さらには 10 年規模の長期自然変動により地球温暖化が加速したり停滞したりすることなどが示唆されている。よって、気候系の自然変動や天候変動のメカニズムの理解を深めることも、温暖化した将来の防災・社会適合上の観点からも重要である。 本講義では、受講者が高校で地学を履修してこなかったことを前提とし、地球気候の成り立ちや大気・海洋の循環やその変動のメカニズムの基礎を解説したのち、地球温暖化やオゾンホールに代表される人為的気候変化のメカニズムや予測されている気候への影響について解説する				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31425	S	地球惑星物理学入門	橘 省吾	理学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物理で理解する地球惑星科学 地球惑星でおこる多くの現象は、物理学的なアプローチで研究されている。たとえば、気象は流体力学、地球内部は固体物理学、宇宙空間はプラズマ物理学、惑星形成は天体力学などを基礎としてさまざまに展開している。本講義では、このような物理学について基礎方程式を示すとともにその背景にある物理的意味を詳説し、具体的にそれがどのように最新の地球惑星物理学研究の中で使われているかを講義する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30181	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	月 3, 月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通し体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 今期はオンラインでの開講となります。使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(10 組)を超えた場合は、初回授業時に抽選等による選択を行います。 月曜日、火曜日の 2 回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は 3, 4 限の 2 コマ続きで行います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30459	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	火 3, 火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(10 組)を超えた場合は、初回授業時に抽選等による選択を行います。 月曜日、火曜日の 2 回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は 3、4 限の 2 コマ続きで行います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30811	S	宇宙科学I（理科生）	鈴木 建	宇宙地球	水 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		天文学・宇宙物理学の基礎的内容 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30812	S	宇宙科学Ⅱ（理科生）	松原 隆彦	宇宙地球	水 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	宇宙論の基礎と概要					
授業の目標概要	宇宙は全体としてどのようなものなのか、どのようにして今の姿になり、どのような成り立ちをしているのかを明らかにしようとする宇宙論について、入門的な基礎と概要を講義する。私たちは宇宙の中でどのような場所にいるのか、現在までに明らかになっている科学的知識の範囲を学ぶ。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30233	S	宇宙科学実習I	吉田 慎一郎	宇宙地球	月 4, 月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	観測データの解析と数値計算による宇宙科学実習 この授業では国内外の天体望遠鏡による天体の観測データを用い、受講者が実際に手を動かして天体の物理的情報を引き出す方法の基礎を学びます。また、数値計算による理論天文学の基礎を体験します。 総合科目のため、Zoom によるオンライン授業とします。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31387	S	宇宙科学実習I	吉田 慎一郎	宇宙地球	金 4, 金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	観測データの解析と数値計算による宇宙科学実習 この授業では国内外の天体望遠鏡による天体の観測データを用い、受講者が実際に手を動かして天体の物理的情報を引き出す方法の基礎を学びます。また、数値計算による理論天文学の基礎を体験します。 総合科目のため、Zoom によるオンライン授業とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30782	S	宇宙科学実習Ⅱ	谷川 衝	宇宙地球	水 4, 水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い、観測によって得られた星、星団、銀河、宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や、天体の運動に関する数値計算を、自ら行うことにより、現在明らかになっている宇宙像を認識する。また、それに伴いプログラミング言語やグラフィックスの初歩を学習する。データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない。プログラミング言語には主に python を用いる。 2 0 2 1 年度の実習は全てオンラインで行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30998	S	宇宙科学実習Ⅱ	谷川 衝	宇宙地球	木 4, 木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い、観測によって得られた星、星団、銀河、宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や、天体の運動に関する数値計算を、自ら行うことにより、現在明らかになっている宇宙像を認識する。また、それに伴いプログラミング言語やグラフィックスの初歩を学習する。データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない。プログラミング言語には主に python を用いる。 2 0 2 1 年度の実習は全てオンラインで行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31107	S	惑星地球科学Ⅰ（文科生）	小宮 剛	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		地球惑星科学概論 Ⅰ 人類が生活する惑星地球の構成および進化の基本を理解する。地学の基礎を包括的に学ぶ授業として、惑星地球の全体像と進化を説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31108	S	宇宙科学Ⅰ（文科生）	榎戸 輝揚	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学入門：天文学の謎と現代の宇宙像 観測に基づく最新の宇宙像を理解してもらうのが目標である。宇宙科学の多様なテーマを各回の講義で概説する。純粋な知的好奇心の発露として、私たちがどんな世界に生き、どんな宇宙に住んでいるかを知り、ひいては自分や人類を客観的にとらえ、宇宙科学の発展史や科学研究の営みに理解を深める。文科生向けに数式操作などは極力避ける予定である。毎回で完結する聞き切り型ですすめる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31433	S	微生物の科学	勝山 陽平、山田 千早、川崎 寿、堀内 裕之、有岡 学、新井 博之、福田 良一、手塚 武揚、足立 博之	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		微生物のバイオテクノロジー バイオテクノロジーは、ヒト以外の生物、特に微生物が保持する様々な能力を人類のために役立てることを目的とした科学技術である。アルコール飲料の醸造に端を発するこの技術は数千年の歴史を持つ。現代では食糧生産、環境浄化、医薬品生産などを通じて社会を支える重要な科学技術である。また、最近では遺伝子組換え技術の発展に伴い、進化工学や合成生物学、ゲノム編集といった新たな概念が生まれ、バイオテクノロジーの応用範囲は広がりつつあり、持続可能な社会を構築する上で重要な技術の一つである。本講義では、バイオテクノロジーを支える主要な学問である応用微生物学を中心に、これが食糧、医薬そして学問の発展などに果たしている意義を、私たちが現在行っている研究を例に挙げつつ講義する。それを通してバイオテクノロジーの中身を正確に理解し、応用微生物学 (バイオテクノロジー) と現代社会の関係を把握することを目標にする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31434	S	植物医科学	山次 康幸、難波 成任、前島 健作	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物医科学概論 世界人口は、2050 年には 90 億を突破すると予想されていますが、それを養う食糧生産の増加率は鈍り、人口増加率の半分にも達しません。そんな中で世界の食糧生産のうち三分の一が微生物病や害虫病、雑草害、生理病、気象害などからなる「植物病」によって失われていることはあまり知られていません。これは世界の飢餓人口を十分に養える量です。この危機的な状況を克服するには、植物を病気から守り、治療する研究を推進する必要があります。一方で、近年の環境問題への意識の高まりとともに、持続性の高い先端農業への転換が強く期待されています。農業や遺伝子組換え作物に変わらうものとして植物圏微生物叢やゲノム編集作物などが注目を集めています。これら幅広い研究課題を担う学問分野が「植物医科学」です。植物医科学は世界が協調して取り組むべき開発目標 SDGs の 17 のゴールのうち、生産、陸上資源、イノベーション、エネルギーなど実に 10 のゴールに密接に関連する重要な研究分野です。 植物医科学は「植物基礎医科学」と「植物臨床医科学」の二つの側面を持ちます。植物病を防ぐには「なぜ植物は病気にかかるのか」という根本的な疑問についてメカニズムを徹底的に究明する必要があり、そのために最先端の分子生物学、ゲノム科学、AI、バイオイメージング、バイオテクノロジーなど多面的なアプローチにより日々研究が進められています。これらを包括する学問領域が「植物基礎医科学」です。 一方、我が国だけで 2 万種類以上もある植物病を診断し、治療・予防する学問領域が「植物臨床医科学」です。この領域では、「植物基礎医科学」で得られた基礎的な知見を農業現場に活かすことを目的に、最先端の遺伝子組換え技術、ゲノム編集技術、バイオインフォマティクスなどを駆使して、植物病の診断・治療・防除・予防のための高度先端臨床技術の開発を行います。さらに、生産現場で発生する植物の病気を診断し治療する「植物医師」の養成と組織化を担う社会科学的研究分野をも包含します。 本講義では、植物学、微生物学から社会科学までを含む極めて幅広い学問領域である「植物医科学」について、基礎から最先端にわたり易しくかみ砕いて紹介し、「植物医科学入門」の講義構成を心掛けました。植物・微生物・昆虫の関わりについて、分子レベルの課題から有機農業、ゲノム編集作物、環境保全など社会的課題に至るまで平易に紹介し、広く普遍的な生命現象を俯瞰できるように構成しています。この分野にはこれまで触れたことのない方々が多いと思います。この講義を通じて皆さんが日頃見過ごしているに違いない身近にたくさんある植物の病気や植物環境微生物に興味をもって頂き、食糧・環境問題にそれらが深く関わっていることを知って頂きたいと考えています。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31435	S	応用動物科学I	村田 幸久、片岡 直行、桑原 正貴、 武内 ゆかり、田中 智、山内 啓太郎、 李 俊佑、伊藤 公一、清川 泰志、杉浦 幸二、 後藤 康之、内藤 邦彦、角田 茂、高橋 伸一郎	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		動物生命科学へのいざない 哺乳動物が持つ複雑で雑多な生命現象、新たなバイオテクノロジーについて最新の情報を含め、オムニバス形式で解説する。授業内容は、哺乳類生殖学・感染症学・ペットの問題行動・発生工学・記憶と学習・アレルギーの科学・栄養学・RNA 学・ワクチンの科学などが挙げられ、広範な話題が提供される。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31436	S 1	食の科学	佐藤 隆一郎	農学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		食に関する生命科学 食はヒトの生命活動に不可欠であり、栄養素の供給のみならず香り、味覚を介して感覚を刺激し、さらに体内において疾病の発症を遅延・予防する機能性を発揮する。食の持つ機能を多面的角度から学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31437	S 1	天然物の科学	高山 誠司、中嶋 正敏、浅見 忠男、 鈴木 道生、永田 宏次、藤井 壮太	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生命を支える生理活性物質 生物が作り出す分子の実体解明から天然物科学がスタートした。それらの中には、生殖、発生・分化、成長、恒常性維持などにおいて、きわめて微量で特有の作用を示すものがある。これらを総称して、「生理活性物質」と呼んでいる。農学部ではこれまで、最先端の精製・構造解析技術を取り入れることで、ビタミン、薬理活性物質、ホルモン、フェロモンなど様々な生理活性物質の発見に成功してきた。新たな生理活性物質の発見は、生命の理解を飛躍的に深化させると同時に、人類の生活の向上に大いに貢献する。そして今日では、生物に関するゲノム情報など多彩な情報の蓄積に伴い、生理活性物質の探索は新たな局面を迎え、従来では全く想定されなかった分子が次々と発見されるに至っている。本科目では、新たな生理活性物質の発見に挑戦している教師陣による講義を通じて、生理活性物質化学の考え方と研究の現状について学ぶ。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31438	S 1	生物素材の科学	齋藤 継之、山口 哲生、五十嵐 圭日子、 岩田 忠久、横山 朝哉	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		バイオマスの科学 「バイオマス」とは、動植物などから生まれた生物（bio）資源（mass）の総称で、再生可能素材・再生可能エネルギーの原料として、近年急速に注目が集まっています。地球温暖化対策，循環型社会の構築，農山村の活性化，地域環境の改善など様々な方面での活用が望まれており、化石資源の乏しい我が国において次世代社会での利用が期待されている重要な資源です。 本講義では、高校までの勉強で触れられることがなかったバイオマスに関する基礎を学ぶことができ、さらに地球上に存在する様々なバイオマスの化学的・生物学的変換に関する最新の研究およびバイオマスを材料として利用するための最先端の技術などに関して知識を深めることを目標としています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31439	S	森の生物学	久保田 耕平、福田 健二、益守 眞也、 丹下 健、松下 範久、鎌田 直人	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	森の生物学：共存する森林生物 授業の目標、概要 森林は、生物多様性のもっとも高い生態系のひとつである。そこでは、多種多様な植物、動物、微生物が互いに影響（相互作用）し合いながら、それぞれを取り巻く環境条件に適応して繁殖し、共存している。 森林内の植物は、取り巻く光環境や水環境に自らを適応させ、光合成により有機物を生産して、森林全体の物質収支を支えている。動物は、その植物を食べて有機物を得ている。さらに、植物や動物の遺体を分解して有機物を無機化するの は、菌類などの微生物の役目である。分解された有機物は、やがて再び植物によって有機物へと合成されていく。こうし て、森林内で主役を演じる三者の間を有機物が巡っていくが、有機物の受け渡しに平行して、三者の間では、様々な相互 作用が起こっている。例えばナラ類は、異なる光条件下でそれぞれの環境に適するよう、生理機能や樹形を変化させる。 また、ブナアオシヤチホコやスギカミキリはブナやスギの葉や幹を餌にするが、樹木は摂食を防ぐ様々な仕組みを発動し て危害を抑制する。森林内には、植食性動物だけでなく、動物や菌類を捕食したり寄生したりする動物も多数生息して おり、それらの間でも多種多様な相互作用が繰り返されている。一方、林床の落ち葉や枯れ木には、腐朽菌が生息して おり、有機物の分解を進めている。その他微生物には、マツタケのようにマツの根に共生して植物の生長を助けたり、逆 にならたけ病菌のように様々な樹木に甚大な病害を与えたりして、直接的に樹木と相互作用するものもいる。 この講義では、このような森林で見られる樹木の環境への適応と植物－動物－微生物間の複雑な相互関係を、多面的に紹 介し、解説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31240	S	自然現象とモデル	長谷川 宗良	統合自然科学科	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然現象とモデル 授業の目標、概要：自然科学では様々な現象のモデル化を行い、観測結果とモデルに基づいた計算結果を比べることで、 モデルの成否を判断し、良いモデルは科学理論として受け入れられる。本講義では、物質の性質、すなわち物性科学にテ ーマを絞り、自然現象がモデルによっていかに説明されるか学んでもらう。 例えば、リニアモーターカー、スーパーコンピュータ、量子通信技術といった最先端の科学技術は、物質の性質、例 えば電気伝導度、比熱、屈折率、磁性などを巧みに制御することによって機能している。これらの性質は、物質中の電子 の応答の結果である。 しかし、物質中の電子は、莫大な数があり、直感の通じない量子の世界にあるため、物質の性質と電子応答を関係づける のは困難である。このため、電子の応答を上手にモデル化し、また多数の粒子に特有な現象をモデル化することで、物質 の性質と電子の応答の関係を解説する。 本講義は、統合自然科学科・物質基礎科学コースの物理・化学の教員により行われ、実験を専門とする教員は演示実験を 取り入れ、理論を専門とする教員はエレガントな学問体系や理論モデル、コンピュータを利用した先端的な科学について 分かりやすく解説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31109	S	先進科学Iα	野口 篤史	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子技術と量子コンピュータ（アドバンスト理科） 近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータの開発や応用を目指した研究を進めており、 夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が音を立てて近づいてきている。量子コンピュータが扱う量子 情報を担う物理系は、分子や原子からなるものから、超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究さ れてきた。この講義では、量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が 提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子アルゴリズムを実際にプログラム し、量子コンピュータにて実行する演習を行う。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの 仕組みやその他の量子技術について解説する。 最終日の授業には、実際に超伝導量子コンピュータの研究をおこなっている実験室の見学をする。 python の記述経験や量子力学への知識の有無は問わないので、量子コンピュータ・量子力学に興味のある学生を歓迎し ます。 受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時にレポート課題によって数学などに関する基礎学力の確認と量子力 学への学習意欲に関する調査を行い選抜する。その結果、受講対象者をアドバンスト理科のホームページに掲載する。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30813	S	先進科学Ⅱα	市橋 伯一	先進科学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生命進化概論（アドバンスト理科） 「生物学は進化という観点がないと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。いまや自然界はスケールの異なる無数の生物で埋め尽くされている。なぜ生物は進化するのだろうか？ いかなる仕組みでこんなにも多種多様に進化し得たのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ そこにはどんな法則や傾向があるのだろうか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。これにより進化という現象を計算機の中に再現できるようになり、生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。 本講義では講義とあわせて受講者に python を使って進化シミュレーションを行ってもらう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。進化という現象は生物学を学ぶだけではなく、最適化のアルゴリズムとしても、そして私たち人間の特性を知るためににも重要な知識である。生物の知識の有無や理系文系を問わず意欲のある受講者を歓迎する。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を発表する。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31110	S	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物理学による生命の記述（アドバンスト理科） 「生命の神秘」を見たとき、それを物理学で説明できたならば、その「神秘さ」は失われてしまうのでしょうか。あるいは、「物質の神秘さ」をもたらすでしょうか。皆さんの答えがそのどちらであったとしても、生命現象の根底には数多くの物理法則が存在しています。例えば、細胞運動ではタンパク質溶液の液体－固体相転移（ゾルーゲル相転移）やタンパク質の反応拡散波が鍵となります。また近年、細胞内ではタンパク質や核酸が会合し、膜を持たないオルガネラとして機能することが分かってきました。相分離と呼ばれるこの現象の原理は、ドレッシングにみられる水と油の分離と同じものです。しかし、理論的に記述できる試験管中での相分離や相転移と細胞内での振る舞いには違いがあり、説明できない点も多く存在します。こうした溝を埋めるべく、生物学と物理学が協力して研究を展開してきています。本講義では、物理学で説明できる（はずの）物質と生物の境界を明確化することで、現在の物理学で説明できる「物質の神秘さ」や説明できない「生命の神秘さ」を味わうことを目指します。そのため、物理学は得意ではないけれど好きな生物学を極めたい、あるいは、生物学は得意ではないけれど物理学を極めたい、という方を歓迎します。 本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解します。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現します。さらに、状況が許せば、物質である人工細胞と生細胞を実際に観察したり、マイクロキャピラリーと呼ばれる非常に細いガラス管やレーザーピンセットを直接操作する、生物らしさの体験も行います。 授業では、講義に加えてデモ実験も行うため、人数を 20 名程度に制限します。そのため、受講希望者が 20 名を超える場合には、ガイダンス時に基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査による選抜を行います。提示した課題は、以下に書いた通り ITC-LMS に掲示されていますが、見られなかった人は柳澤へメール（myanagisawa[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp）にて問い合わせてください。また選抜試験を行った場合、優 3 割ルールの適用外となり、成績は 3 割を超えて有を与える場合があります。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30031	S	先進科学IVa	加藤 英明	先進科学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	構造生命科学概論（アドバンスト理科 IV） 我々ヒトは約 2 万種類の遺伝子を持っており、遺伝子によってコードされたタンパク質は驚くほど多様な機能を発揮する。例えば我々が眼で物を見ることができるのはロドプシンと呼ばれる膜タンパク質が光を受容し、その情報を細胞内に伝えるためであり、我々が記憶や情動といった複雑な脳機能を発揮するのは、元を辿ればカリウムイオンチャネルやナトリウムイオンチャネルといった膜タンパク質が適切なタイミングで特定のイオン種を細胞内外へ輸送するためである。しかし、タンパク質が「光を受容し、その情報を細胞内に伝える」とは一体どういうことだろうか。タンパク質が「適切なタイミングで特定のイオンだけを輸送する」とは、原子レベルで考えた時に一体何が起きているのだろうか。化学的に見ると「20 種類のアミノ酸が連なった鎖」に過ぎないタンパク質がこれだけ多彩な機能を示すのは、タンパク質がそのアミノ酸の種類や並び方によって特定の立体構造に折り畳まれ、その複雑な形に応じて機能を発揮するためである。タンパク質の複雑な機能を理解するためにはその形を理解することが肝要であり、それを可能としてくれるのがタンパク質立体構造解析であり、構造生物学（構造生命科学）である。本講義では、タンパク質立体構造解析の手法の中でも、その手法開発や関連研究について 20 以上のノーベル賞が送られている X 線結晶構造解析、クライオ電子顕微鏡法に焦点を当て、その原理や実例を紹介する。さらには、タンパク質の構造から一体どういった情報を読み取ることができるのか、タンパク質の構造情報を用いることで一体何ができるようになるのか、タンパク質エンジニアリングや創薬などを例に交え、講義と簡単な演習を行う予定である。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学や生物物理への興味と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号をアドバンスト理科のホームページに掲載する。					

総合科目 F（数理・情報）

微分積分学続論		開講区分	S
授業の目標・概要		多変数の微分積分学における様々な基本的手法を取り上げ、例を中心として必要な理論を学び、具体的な問題を扱えるようにする。 数学・物理学はもちろんのこと、幅広い理学・工学で用いられる重要かつ有用な手法を取り扱うので、将来少しでも数学的道具を使うのであれば必須の内容である。	
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。	
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time	
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/advanced_calculus.html	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30371	火 2	権業 善範	2 年 文科 理科
30372	火 2	三竹 大寿	2 年 文科 理科
31021	木 5	中野 雄史	2 年 文科 理科
31022	木 5	三竹 大寿	2 年 文科 理科

常微分方程式		開講区分	S
授業の目標・概要		種々の量の時間発展は、多くの場合、常微分方程式を用いて記述できる。また、電柱の間にぶら下がった電線の形状や屈折する光の経路をはじめ、さまざまな曲線の幾何学的性質を常微分方程式によって特徴付けることができる。常微分方程式は、自然科学や工学、社会科学などの多くの分野で重要な役割を演じている。この講義では、常微分方程式の理論的基礎を学ぶとともに、幾つかの重要な具体例を取り上げ、それぞれの方程式の解法と解の性質について解説する。これらの内容の理解には、微分積分学、および線型代数学で学んだ固有値・固有ベクトルに関する基礎知識が必要となる。したがって、本講義はこれらの知識の総合的応用篇であるとともに、進んで偏微分方程式論を学ぶための入門篇でもある。	
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポート等を含めて評価する場合がある。	
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time	
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ode.html	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30819	木 1	志甫 淳	2 年 文科 理一(1-10)
30820	木 1	植田 一石	2 年 文科 理一(11-17)
30821	木 1	坂井 秀隆	2 年 文科 理一(18-24)
30822	木 1	緒方 芳子	2 年 文科 理一(25-32)
30823	木 1	長谷川 立	2 年 文科 理一(33-39)
30824	木 1	松尾 厚	2 年 文科 理二三(1-2,5,7-11,17)
30825	木 1	三竹 大寿	2 年 文科 理二三(3-4,13-16,18,21)
30826	木 1	柏原 崇人	2 年 文科 理二三(6,12,19-20,22-24)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30268	S	解析学基礎	金子 宏	数学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	解析学基礎 解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である。この講義では、実数の連続性と ϵ - δ 論法に基づき、数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30814	S	解析学基礎	吉野 太郎	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	解析学基礎 解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である。この講義では、実数の連続性と ϵ - δ 論法に基づき、数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30843	S	数理科学概論I(文科生)	小林 俊行	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	数理科学概論I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30373	S	数理科学概論III(文科生)	稲葉 寿	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	個体群ダイナミクスの数理と歴史 現在流行中の新型コロナ感染症はどのように流行するのか、あるいは、ヒト集団はどのような法則で増加してきたのか、将来の人口どうなるのか、遺伝はどのようにおきるのか、というような個体群（人口）に関する変動法則(population dynamics)の数学は古くから研究されてきました。現在では、生物学、医学、社会科学などで広く利用され、生命・社会現象を考えていく基礎になっています。このような数理モデルを、13 世紀ころから、その歴史的発展にそって、重要なトピックスをとりあげて、初等的な数学を用いて理解することを目標にします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30374	S	統計データ解析II	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	データサイエンス入門 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析IIでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30815	S	統計データ解析II	小池 祐太	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データサイエンス入門 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析IIでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31113	S	統計データ解析II	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計データ解析II ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析IIでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30107	S	ベクトル解析	加藤 晃史	数学	月 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があらわれ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30108	S	ベクトル解析	足助 太郎	数学	月 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があらわれ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31111	S	ベクトル解析	清水 勇二	数学	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが，よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ，実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31112	S	ベクトル解析	坂井 秀隆	数学	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが，よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ，実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．				

図形科学 B		開講区分	S
授業の目標・概要		3次元立体形状の図的表現および形状処理について、手描作図に基づいた図法幾何学を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。 主な項目は以下のとおり。 1.投影法 1.1 投影—投影の原理,各種投影法 1.2 軸測投影,透視投影 2.正投影による空間図形の表現と解析 2.1 点・直線・平面—主・副投影,直線の実長,平面の実形,交わり 2.2 基本的立体—多面体,(円)錐,(円)柱,球,その他の曲面 2.3 基本立体の交わり—切断,相貫	
成績評価方法 教科書		出席点、講義期間中に課したレポートおよびセメスター末試験。 授業中に指示をする。／Will specify at class time	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30078	月 2	横山 ゆりか	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(5-6,8,29)理二三(1-3,6-9,20-22)
30657	水 2	奈尾 信英	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(12-14,38)理二三(5,12-13,16,18-19,24)
30736	水 3	金井 崇	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(10,15,18,22-23,27-28,30)理二三(23)
30765	水 4	椎名 久美子	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(7,11,16-17,19,24,36-37)
30939	木 3	腰原 幹雄	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(1-4,9,21,26,31-34,39)
31192	金 4	齋藤 綾	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(20,25,35)理二三(4,10-11,14-15,17)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30001	S	基礎統計	安藤 雅和	経済・統計	月 1	1 年 文科 理一(1-10) 理二三(1-6,8,13) 2 年 文科 理一(1-7,36-38) 理二三(6,8,14,16)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 統計学は、日常生活や社会で起こる様々な現象を観察し、そこから得られる数値データを分析（記述、検証など）して、その現象の法則性を探っていくことを目的としている。近年のコンピュータの普及に伴い、容易にソフトウェアを用いてデータ分析ができるようになってきたが、データの特性や分析の目的に応じた統計手法を用いるためには、統計学の基礎的概念を理解し、数値結果を適切に評価する能力を身につける必要がある。そこで、本講義では、統計学の基礎的概念と統計手法について解説し、どのように現実の問題に適用されているのかを身近な例を用いて説明する。通常、データには対象について知りたいと思う性質とは無関係な変動が加わる可能性があり、そのような偶然的な変動は、確率論の法則に従うものと考えられるため、確率論についても取り上げることにする。そして、確率論を背景にして体系づけられた統計的推測について、推定と仮説検定を通して学ぶ。受講後には、新たな問題に直面した時に自ら統計分析を行い問題解決ができるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30238	S	基礎統計	来島 愛子	経済・統計	月 5	1 年 文科 理一(26-33) 理二三(12,21-24) 2 年 文科 理一(23-27,29-30,39) 理二三(5,12-13,24)
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 コンピュータの発達により非常に多くのデータを収集し、分析することが可能となった現在、自然科学や社会科学、多くの分野において統計学の考え方や統計的方法を正しく使うことが必要不可欠となっている。本講義では統計学の基礎となる概念、考え方を解説する。統計学において確率論も重要な基礎であり、記述統計（データの収集・要約）、推測統計（推定・検定）と合わせて扱う。大学の専門課程などにおいてデータを統計的に分析することができるように考え方を身につけることが目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30979	S	基礎統計	小林 正人	経済・統計	木 4	1 年 文科 理一(13-17) 理二三(7,11,14-16) 2 年 文科 理一(20-22,31-35) 理二三(17-18,23)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 確率論や推定・検定などの統計的推論の基礎は、理系、文系を問わずデータを扱う学問・技術には不可欠であり、共通言語となっている。この講義では、社会に出た後や後期課程に進学してから必要な統計学の知識と技術を提供することを目指している。数学的な取扱いは省略し、データを用いた推論の実際の手続きに限定して解説する。回帰分析については教科書の内容を超えた内容も講義をおこなう。 確率現象の理解のため補助的に R を使うので、講義の中でその使い方を簡単に説明する。 できるだけ、架空の数値ではなく、実例を用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31057	S	基礎統計	倉田 博史	経済・統計	金 2	1 年 文科 理一(11-12,18-25) 理二三(9-10) 2 年 文科 理一(8-10,13-14,28) 理二三(1-4,7,9-10,19)
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布（＝現象のモデル化）、独立同一分布性（＝同一条件の下での繰り返し実験）、統計的推測（＝データから母集団への推論）の考え方を理解することに焦点を当てる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31214	S	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	金 5	1 年 文科 理一(34-39) 理二三(17-20) 2 年 文科 理一(11-12,15-19) 理二三(11,15,20-22)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 統計学とは、調査や実験で得られたデータを基に、そのデータを生み出した背景因子の関係を推測する方法を提供する学問である。本講義は、統計学に初めて触れる初学者を対象に、統計学とデータ解析の基本的な概念と手法を紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30269	S	計算機プログラミング	山口 和紀	情報・図形	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		プログラム構成論 本講義では、プログラミングの基礎となるデータモデルの考え方を理解し、代表的なデータモデル、例えば、リスト、スタック、キュー、集合、木、グラフ、論理などについては、活用できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31427	S	計算機プログラミング	森 純一郎	理学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データマイニング入門 ビックデータ解析技術、人工知能技術の利活用が社会で進む中で、それらの基礎となるデータ分析技術は情報処理技術を学ぶ上で重要となっている。本授業では、データ分析・データマイニングの基礎について学ぶとともに演習を通して実際にデータを分析するプロセスを学ぶ。本授業は、学部後期課程におけるデータサイエンス、人工知能、機械学習、自然言語処理などの関連授業との接続を念頭に、それらの基礎となる知識を習得することを目標とする。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30376	S 1	計算機システム概論	森畑 明昌、 千葉 滋、須 田 礼仁	情報・図形	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		計算機システム概論 計算機システムは現代の情報化社会の基盤となっています。本講義では、計算機システムについて、様々な側面から、それがどのように構成されているか、それを設計・利用する上で理解しなければならない基本原理は何か、ということ学びます。 具体的に扱うトピックは以下の通りです。 1. 計算機アーキテクチャと高速化技術 2. Operating System 3. データベースシステム 4. 分散・並列処理 5. 科学技術計算 6. 人工知能 7. セキュリティ 8. プログラミング言語				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31426	S	計算の理論	今井 浩、 小林 直樹	理学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		計算の複雑さと形式的意味論 計算は、小学校で学ぶ四則演算から始まって、高校までに多項式・関数そしてその微分・積分など様々なものを学ぶ。高校では、教科情報でコンピュータによる計算も少し学び、プログラミングも経験しているだろう。大学では、より高次の計算を対象として学び、情報科学技術が社会基盤となった現代における基盤の学問として理工系分野ではどの分野でも、社会科学分野でもかなりの分野で勉強していくことになる。 本講義は、情報科学の立場から、計算を科学していく。計算とは、何らかの機構を用いて入力情報から所望の条件を満たす出力情報を得る過程であり、人間が自ら能動的に得ることができる操作である。その立場からは、自然界の種々のことも計算という観点で解釈して、新たな世界を開くこともできる。ここでの計算は、高校までのものと違い、理論として確固たる基盤をもつ対象であり、その神髄を知ることは次世代の情報科学技術を創出し、今とは違った情報社会を構築していくことにつながる。 講義は、大学1、2年次の学生を対象に、このような計算の理論をわかりやすく講究し、人類が自ら操作して得る新たな科学としての情報科学を理解することを目指す。計算の理論を学ぶことにより、知能に関する研究も自らの視野に入れることができるようになり、そのような方向も示すことにより、初学者を計算と知能を最先端で研究する情報科学の理論にいざなう。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31401	S	情報システム基礎I	古関 隆章	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		情報システム基礎I 「足からロケットまで---走る／飛ぶ／探る科学入門」 人や物を効率良く運ぶことが、文明社会の成立に欠かせず、移動手段を提供する技術が、我々の生活の基本を支え、そして生活を楽しく豊かにするために大切です。実際、日常的な生活の中で、自動車や鉄道などの身近な交通は不可欠なものとなっていることを実感しているでしょう。人々は太古の昔から、速くて、快適で、便利な移動手段を求めてきました。近年は、これに加えて、安全性への意識も高まっており、環境への負担の少ない交通、高齢社 会への移行に伴い「交通弱者でも移動の自由が奪われない」バリアフリーに対応した交通など、移動手段の「質」に対する要求もさらに高いものとなっています。このような様々な要求に応える「運ぶ」営みのために、電気や情報の技術が貢献できることは多く、交通における電気・電子・情報技術の役割はますます大きくなっています。 本講義では、このような視点から、電気エネルギーおよび情報通信や計算機技術を積極的に用いて人や物を「うまく」運ぶ方法論をオムニバス形式で解説します。高校や教養学部で習う物理や数学の延長上にどのようにこれらの技術が構築されているかをできるだけわかりやすく具体的に解説するとともに、最新の研究動向を紹介します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31408	S 1	モデリングとシミュレーション基礎I	菅野 太郎	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	コンピュータモデルで社会を観る－社会システムデザインのための科学的アプローチ 社会問題の解決や社会制度設計に役立てるために、人の行動データや WEB 上のビッグデータから統計、数理、認知科学、社会科学、計算機科学などの原理に基づいて様々な人間集団や社会のモデルを構築し、エージェントシミュレーション、ネットワークシミュレーション、インタラクティブシミュレーションなどのコンピュータシミュレーション技術を用いてその振舞いをダイナミックに予測、解析する手法が注目されつつある。本講義では、こうした社会モデリングとシミュレーション技術を活用した社会システムデザイン・分析の代表例と最新の適用事例について紹介しその可能性について議論する。 1「社会システムのモデリングとシミュレーションのための基礎知識」 1.1 基本用語と社会システムデザインの概要 1.2 ヒューマンモデリング I（ヒューマンモデルとは） 1.3 ヒューマンモデリング II（チーム・組織・インタラクション） 1.4 コンピュータシミュレーションの使い方（理解・予測と検証、発見と共創） 2「基本モデルの紹介」 2.1 ライフゲームと創発性 2.2 社会心理モデルとゲーム理論 3「応用例の紹介（金融市場のモデリングとシミュレーション）」 3.1 金融市場の特徴と金融データの統計解析 3.2 金融市場のモデリング 3.3 金融市場のコンピュータシミュレーション 3.4 金融市場制度設計に向けて 4「まとめ」 4.1 まとめ					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31405	S	モデリングとシミュレーション基礎I	神原 淳	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	モデリングと未来予測入門 ～シミュレーションと機械学習でマテリアルの未来を予測する～ 高効率なエネルギー利用や、地球温暖化、資源セキュリティなど、今日の日本は数多くの課題に直面しています。これら不確実な将来と向き合い、安全で快適なそして環境に優しい社会を構築していく必要があります。どんなに複雑な事柄であっても、それらをモデル化し、単純な数式で表現することで、将来起こりうる事のある程度の確度で予測することが可能になります。対象の大小、時間の長短に関わらず取り組む方法は基本的には同じです。 そこで本講義は、身の回りで起きている様々な事象をモデル化、シミュレーションして、未来を予測する基本アプローチを実践的に修得することを目的とします。題材には、実験装置の中で起こる反応の原子・分子の動きから、実際の材料生産現場などで制御する熱伝導現象、地球規模での環境問題や市場発展など、1 ピコ(1 兆分の 1)秒から数分、数 10 年の時間スケールを取り上げます。さらに、機械学習などのデータ駆動型手法を用いて新たな材料開発・プロセス開発を進める最新のマテリアル・インフォマティクスのアプローチをに繋がる機械学習の基礎についても紹介します。また、得られた結果をただ「見せる」だけでなく「魅せる」ためのプレゼン技術についても言及し、文系理系を問わず多くの皆さんにモデル化と未来予測の全体像から利用の仕方、楽しさを学んでもらうことを目的としています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30375	S	図形科学演習I	舘 知宏、三木 優彰	情報・図形	火 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ボロノイ図、透視図、曲線折紙 目標： 形状を用いた思考は、言語や数式を用いたものとは本質的に異なるプロセスで理解や創造を飛躍的に手助けする。また図や模型製作による表現は、設計（デザイン）・製造分野における共同作業に欠かせないコミュニケーション手段でもある。本授業では、手描き製図と模型制作を通じて諸概念の図形的理解を深め、設計および、形を通した諸科学現象の解明のための基礎技能を修得する。 概要： 1. 様々な物理現象に現れるボロノイ図について幾何学的理解を深め、平面図形のオフセット、二次曲線でできた Medial Axis の作図を行う。 2. 視覚における透視投影の仕組みについて理解し、実際に立体形状の透視図を作成する。 3. 線織面・可展面について学び、立体の切断と可展面の展開の作図、曲線折紙の製作を行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30816	S	図形科学演習II	山口 泰	情報・図形	水 5	2 年 文科 理科
講義題目		グラフィクスプログラミング				
授業の目標概要		Python プログラミングを通じて、2 次元および 3 次元コンピュータグラフィクスの基礎について学習する。				

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31658	S 1	これからの食糧生産を支える 植物・土壌科学	藤原 徹、妹尾 啓史、 大塚 重人、浅見 忠男、 小林 奈通子、柳澤 修一、 岡田 憲典	農学部	月 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		今世紀半ばには 90 億人を超えると予想されている世界の人口を支えるためには作物生産性の向上が必須である。そのためには、土壌が有する物質変換や肥沃度維持の仕組み、植物の養分吸収や栄養環境適応の仕組みを明らかにして生産性向上に結び付けることが必要である。また、問題土壌や環境変動下での作物生産、雑草を克服した作物生産は今後の重要課題であり、劣悪な土壌や病害虫などのストレスに耐性を持つ作物の育種や、根寄生雑草を防除する新たな化学的手法が開発されている。一方、生産性向上と環境保全を両立した農業技術の開発が地球環境と地域環境の保全のために重要である。本授業科目では、このような研究に携わっている農学部ならびに生物生産工学研究センターの教員による最先端の講義を行う。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31633	S	化学システム工学で拓く未来 社会	杉山 弘和、高鍋 和広、 天沢 逸里、太田 誠一、 戸野倉 賢一、 大久保 將史、酒井 康行	工学部	月 5	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		化学システム工学科の教員が、持続可能な未来社会を創るための化学を、分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。 【環境・エネルギー分野】 ・光触媒で太陽エネルギーを水素に変換する ・大気環境汚染を計測し、解決する ・「環境にやさしい」を工学的に検証する 【医療分野】 ・化学とバイオの力で病気に立ち向かう ・診断・治療ナノシステムを化学で創る ・化学と工学で創薬にイノベーションを起こす 「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には本郷キャンパス・化学システム工学科研究室見学会も案内します（参加は自由です）。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31640	S	サイバネティクス入門ー物 理・人・社会を繋げる情報科 学の先端ー	川嶋 健嗣	工学部	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 サイバネティクスとは、生物を含む自然系、機械を含む人工物、さらにはこれらを含む社会について、その基本構造を統一的に捉えることを指向した科学技術の概念である。生物が環境中の情報を計測し、処理し、自ら行動として環境に働きかける一連の流れを、信号処理、通信、さらにフィードバック制御に関わる数学で捉える。その上で、この原理を人工物に応用することで、自ら考え、判断・学習し、行動できる知的な機械を実現する方法論へ展開する。数学者ウィーナーによって 1947 年に創始されたこの学問体系は、生物、機械、社会を含むあらゆる物理的現象に関わる基本構造の抽出と、機能の設計・解析・制御などの方法論として今でも発展し続けており、脳工学、生体工学、バーチャルリアリティ、システム科学、人工知能（AI）などの現代的工学技術の礎のひとつとなっている。 この授業は、最先端の工学技術に関する講義と研究室の見学を通して、サイバネティクスの基本概念を理解してもらうことにある。様々な事象に対して、数学・物理学・情報学を駆使した現象の解析やモデル化を通し、新しい原理や方法論あるいは機構やシステムを創り出し、様々な分野での応用を可能にする工学の考え方や実際の最先端の研究に関し、工学部計数工学科システム情報工学コースの教員がオムニバス形式で紹介する。ブレインマシンインタフェース、バーチャルリアリティ、ロボティクス、音声・画像信号処理、生体医用工学といった最先端かつ広範な話題に触れることができ、しかも、それらが計測・解析・制御というサイバネティクスの共通の原理で語られることに驚きを覚えるであろう。人間の能力をいかにして機械などの人工物が獲得できるかを知る上でも、数学・物理学・情報学の基礎がどのように実践され役立つかを学ぶ上でも、人間と AI を含む機械が共生する将来像を考える上でも、この科目は充実した学識に触れる良い機会を提供できる。また、実際の研究現場を見学することにより、講義内容がどのような環境で着想され、育てられ、発展しているのかを見ることが出来る。 具体的には以下に挙げるような、認識、行動、物理、情報、総合の 5 分野にわたるテーマに関する講義と研究室見学を行う。具体的な講義の内容の詳細と日程およびレポートの提出要領二関しては、掲示および初回の講義で案内する。 ***** 工学部合同説明会の替わりとなるホームページが完成しました。 以下の URL より内容をご確認ください。 http://iiice.t.u-tokyo.ac.jp/InnovSoc/news/20200403.html *****							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31709	S	環境安全衛生入門－身のまわりのリスクから学び、安心へつなげる－ Introduction to Environmental Health and Safety	飯本 武志	環境安全衛生部	水 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		ふと目を向ければ、私たちの身のまわりには様々なリスクがあることに気がきます。いつも使っている駅のホーム。やや狭いうえ柵もないホームの横を急行電車が猛スピードで走り抜けていきます。これまで事故が起きなかったからこれからも起きないという保証はありません。そこには常にリスクが存在しています。では、そのリスクを低減するためにはどうしたらよいのでしょうか？ 安全で安心な社会の実現には、身のまわりの環境や安全についての多角的な視点と理解が必要です。本講義では、身近な話題から自然災害に至るまで、現在我々が抱えている諸問題とその解決に向けたアプローチについて、各分野の専門家が対話形式を盛り込んでわかりやすく解説します。文系・理系を問わずすべての学生を対象とし、将来の我が国を担う皆さんが環境と安全の分野に対して正しく興味をもち、安心へとつながる道筋を自分で考えることができるようサポートします。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31686	S	数理科学の研究フロンティア：宇宙、物質、生命、情報	河東 泰之	数理科学研究科	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		本講義では、宇宙の起源、物質の起源、生命の進化、情報と人工知能などの現代科学のフロンティアを、最前線の若手研究者が数理科学という切り口で俯瞰する。授業担当教員がモデレータとなり、理化学研究所の若手研究者をゲストに招き、以下の話題を議論する。ゲスト氏名と話題は、土井琢身「計算機入門 - スパコンの世界に触れてみよう」、長瀧重博「一般相対性理論で宇宙はどこまで分かるのか」、宮崎弘安「抽象化から見る整数論の進展」、矢崎裕規「シーケンスの誘惑：遺伝子配列から見る生物の進化」、濱崎立資「ミクロとマクロを繋ぐ」、菊地健吾「素粒子論と場の理論」、松浦俊司「量子計算の幕開け」である。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31710	S	心に挑む―東大の心理学	岡ノ谷 一夫、 菊池 由葵子	心理・教育学	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		東京大学の心理系教員によるオムニバス形式の講義である。心理学を目指す諸君には、東京大学における心理学研究の多様性と深みを知り、進路選択の参考にしてほしい。その他の学生諸君には、現代心理学がどのような方法で心の理解に挑戦しているのかを学ぶきっかけとしてほしい。それぞれの話題は最先端でありかつ親しみやすいことを目指す。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31694	S	歴史資料と地震・火山噴火	加納 靖之	地震火山史料連携研究機構	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【概要】 東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。この連携研究機構が提供する講義では、歴史資料（史料）を用いた地震・火山噴火の研究について、背景となる知識やこれまでの成果、今後の展望について解説する。全体を理解するために必要な概論ののち、東北地方太平洋沖、南海トラフ、内陸活断層の地震、首都圏の地震について、具体的な事例－貞観の地震と富士山の噴火、明応の南海地震、慶長の豊後地震と畿内（伏見）地震、宝永の南海地震と富士山噴火、安政の江戸地震など－を取り上げ、歴史学および地震学・火山学のそれぞれの立場から説明する。どのように歴史資料を読みとき、どのように現象を理解するのかを学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 授業は、佐竹健治（地震研究所）・榎原雅治（史料編纂所）・杉森玲子（史料編纂所）・加納靖之（地震研究所）が分担する。 【目標】 ・歴史学や地震学の基礎を、具体的な事例を通して学ぶ ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える 【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 （参考）地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31687	S	現代の数学 ― その源泉 とフロンティア ―	齋藤 秀司、宮本 安人、 佐々田 慎子、権業 善範	数理科学研究科	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。 高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということ、を、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31639	S	数理工学のすすめ	武田 朗子	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		数理工学とは、工学的問題解決のための数理的手法を（必要とあれば新しい概念や原理も）創り出す学問のことです。 (http://www.keisu.t.u-tokyo.ac.jp/ も参照してください。) 本講義では、数理工学において、どのようにして、新しい原理や数理的手法が開発され、発展していったか（発展しつつあるか）について、実例を交えて解説します。とくに、以下の7つの話題を扱います。 ・連続最適化入門 連続最適化問題とは「与えられた制約の下でよりよい目的を達成するための数理モデル」です。実社会における連続最適化問題の例とその解法について簡単に紹介します。 ・計算代数統計 統計的データ解析で必要となる積分計算において、抽象代数がどのように役立つか、例を交えて説明します。 ・機械学習の数理 機械が学習するということはどういうことか？ 数理工学の立場からその基本原理を紹介し、現実のデータサイエンスや知識発見への応用例を示します。 ・計算幾何入門 科学・工学の諸問題に現れる幾何データを計算機上で効率的に取り扱うための理論やアルゴリズムを、いくつかの例を用いて解説します。 ・動的現象のモデリング入門 自然，人工物，社会には複雑な動的現象が多く存在し，それらを理解・制御するためには数理モデリングと解析が不可欠です。モデリングがどのようになされるか，またどのような解析方法があるのか，いくつかの例を用いて解説します。 ・簡潔データ構造 データを圧縮したまま処理できる簡潔データ構造の基本について紹介します。 ・数値計算の数理 科学・工学の諸問題に現れる数学的問題の解を計算機上で近似計算する手法と，それを支える数学理論について，いくつかの題材を取り上げ，例も交えて解説します。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31648	S	エコで安全で健康な社会を実現する機械工学	村上 存	工学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		機械工学は、エコで安全で健康な社会を実現するための重要な基盤技術として、社会や産業の発展に大きく貢献してきました。そして、機械工学は未来に向けてさらに飛躍的な発展を遂げようとしています。このような機械工学の全貌を機械工学科の教授および外部講師（ソニー，ＪＲ東海，コマツ，トヨタ自動車）により分かりやすく解説します。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31676	S	30年後の世界へ——学問とその“悪”について	石井 剛	教養学部学融合プログラム「東アジア教養学」	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		2019年に発足した東アジア藝文書院（East Asian Academy for New Liberal Arts, EAA）は、「東アジアからのリベラルアーツ」を標榜しつつ、北京大学をはじめとする国際的な研究ネットワークの下に、「世界」と「人間」を両面から問い直す新しい学問の創出を目指す、東京大学の研究教育センターです。学問はわたしたちにただ単に未来を予測させるものではありません。そうではなく、わたしたちは学問をすることによって、わたしたちが意志して望む未来を創出しているのです。そこでわたしたちは、学問のフロンティアであるここ駒場に集う先生方とともに、皆さんが社会の中心で活躍しているであろう「30年後の世界」に向かって、学問的な問いを開く試みを発足当初から行っています。 2020年以来、人類は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の災禍に苦しんでいます。しかし、この災禍は、実は、「すでに気づかれていた弊害」が一気に噴出したものに過ぎないのではないかと、EAAの中島隆博院長は問うています（EAA オンラインワークショップ「感染症の哲学」2020年4月22日）。地球の南北どちらに住んでいるかによって生存条件が大きく異なり、また、1%の人口が他の99%の人々の富の総量を所有しているとすら言われる構造的な格差問題、テクノロジーの高度化による生命倫理の動揺や社会生活の一望監視化、少子高齢化の急速な進行、グローバルな人と経済の流動がもたらすさまざまな摩擦や社会分断などなど。COVID-19の世界的流行が示しているのは、感染によって生じる疾病がみごとにまで、このような「すでに気づかれていた」構造的な弊害を、その構図通りになぞっていることです。コロナウィルスの人類への感染という現象自体が、自然収奪型の近代産業経済が行き着くべくして行き着いた結果であるという声もあります。 「すでに気づかれていた弊害」のひとつひとつをすべて一気に解決する術はどこにもないでしょうし、それを目指したところでよい結果は望めないでしょう。それでもわたしたちは、学問の名において、想像力を解放し、よりよい未来を望むことができるはずです。なぜなら、学問とは「到来すべきもの」を公に向かって告げるものにほかならないからです。未来に進むべき方向を指し示すのが学問によって灯される希望の光であることは、古代ギリシャの昔から変わらぬ真理であるはずです。 しかし、学問を行うわたしたちが、学問こそが善であると頑なに信じているだけでは独善に過ぎません。学問は、そのある部分では、無垢であるどころか、巨大な「悪」に加担してしまっているのではないのでしょうか。もしかすると学問は、「すでに気づかれていた弊害」の構造化に寄与し続けてきたかも知れないのです。例えば、20世紀以来、アウシュビッツや核兵器など、人類は極端な悪を自ら生み出してきました。9.11事件で幕を開けた21世紀にはグローバル資本主義と近代産業システムの功罪が深刻に問われる事態をわたしたちは経験し、「善」と「悪」の二元論では片づかない現実と直面しています。学問はこうした諸事態に対して、どのように諸事態を表象し、分析し、批判してきたのでしょうか。このことを考えるとき、わたしたちはまた、学問がその「悪」に加担してきたという現実から目を逸らすことはできません。なぜかと言えば、学問の限界と難題（アポリア）を知ることこそが、新しい学問の出発点につながるはずだからです。新しい学問の出発点は、新しい社会的想像力の出発点でもあります。わたしたちは、ゼロからでも理想からでもなく、自分たちが背負ってきた知の限界や難題を遺産として受け継ぐことで、「30年後の世界」を自分の手で作り出していくしかありません。 フランスの哲学者ジャック・ランシエールは「人間は知性を従えた意志である」と述べます。意志の出発点は、見ること、聞くこと、手探りすることであり、それらはそのまま、意志するひとりひとりの魂と能力を構成していくと彼は言います。中国の詩人顧城の詩に「闇夜はぼくに黒い瞳を与えた。だがぼくはその黒い瞳で光明を探す。」という一節があります。わたしたちの希望は、「悪」を見定め、「悪」のなかから世界を眼差そうとする意志によってこそ生まれるにちがいありません。 この授業に話題を提供するのは、駒場のいまを支え、東京大学の将来を担う先生方や、東アジアをベースに国際的に活躍する先生方ばかりです。哲学、文学、歴史学、社会学、生物学など、さまざまな分野の教員が集まり、皆さんとともに学問の望みを語る場——それがオムニバス講義「30年後の世界へ」の世界です。 わたしたちは、大学で学ぶことの醍醐味を味わいたいと渴望する多数の学生さんが参加してくれることを待ち望んでいます。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31727	S	調査でみる社会、歴史、アジア	真鍋 祐子	東洋文化研究所 ・社会科学研究所 ・史料編纂所	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 本講義は、学部教育の総合的改革の一つとして、本郷地区キャンパスに設置された社会科学研究所、史料編纂所、東洋文化研究所の本郷文系研究所が連携・協力して開講する、学部前期課程2年生を対象とした、研究擬体体験型の講義である。 3研究所の教員が、それぞれの分野の研究者の立場から、調査とは何か、なぜ調査を行うのか、調査を解釈する上で大切なことは何か、といった問いについて解説する。具体的には各研究所で実際に研究をしている調査事例や調査対象などに直接・間接に触れることで、調査を行う上での基本と醍醐味を学ぶ。 講義を通じて、受講者は後期課程進学後のあらゆる専門教育で必要とされる、調査に関する心構えや基本的な技法(「調査研究リテラシー」)を身につけることを目的とする。文系、理系を問わず、将来研究者となることに関心を持つ学生にとって特に有益な授業である。 【参考 3研究所の概要】 史料編纂所： 古代から明治維新期に至る前近代日本史史料に関する研究所。史料編纂事業の歴史は古く、塙保己一が江戸幕府の援助を得て創設した和学講談所にまで遡る。附置研究所としては1949年に設置。国内外に所在する各種史料の蒐集と分析を行い、これを史料集として編纂・公開する研究事業を通じ、広く日本史研究に寄与することを目的とする。 東洋文化研究所： 「東洋文化に関する総合的研究」を目的として、1941年に創設されたアジアに関する専門研究所。調査の対象は研究者によって多様だが、アジア全域にわたるそれぞれの対象地域について、資料調査と現地調査に基づき、政治、経済、宗教、歴史、考古、文学、美術など、さまざまな角度から、日々精力的に研究を進めている。 社会科学研究所： 敗戦後の東京大学再生のための最初の改革として、南原繁総長(当時)のイニシアティブによって1946年に設置。戦時中の苦い経験の反省のうえにたち、「平和民主国家及び文化日本建設のための、真に科学的な調査研究を目指す機関」として構想された。法学・政治学・経済学・社会学の4つの社会科学のディシプリンを総合して研究を進めている。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31649	S	スタートアップ・トレーニング（駒場）	長藤 圭介	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		東大が企業人・スタートアップ関係者と企画・運営するソニー東大社会連携講座の一環で、初めて講座に参加する 1, 2 年生と現在講座でプロジェクト実施中の学生向けトレーニング。 オンラインでアイデアをカタチにしていくための演習、各自のやりたい活動の相談会や社会人へのヒアリングなどの活動への参加状況に応じて単位を提供する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31635	S	海研究のフロンティア I	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		対面授業（実習）に参加可能な学生のみに履修を制限する 見学は 5 名グループ程度に時間を分けて実施する。 キャンパスにより、オンラインと対面のハイブリッドとする。 本講義は、東京大学海洋アライアンスを構成する教員による、駒場キャンパス、本郷キャンパス、柏キャンパスの実験施設の見学と講義を通して、海洋研究の最先端に触れることが目的である。例えば、海中ロボットの実験施設、船体運動を計測する大水槽、海洋生物などを研究する施設、洋上風車の研究をする施設、海洋の流れのメカニズムを解明する実験装置などを見学することができます。 講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ ※このゼミは 4 月にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。					

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31695	S	中国の音楽思想	田中 有紀	東洋文化研究所	月 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		この授業では、中国の音楽に関する様々なテーマを哲学として捉えなおし、音楽とは何かを考えていく。 以下の3点を目標とする。 ・中国の音楽思想や歴史に関する様々な論文を読み、的確に要約し、批判することができる。 ・中国の音楽思想に関する様々な古典を読み、解釈することができる。 ・音楽とは何かについて自分なりの見解を持ち、表現することができる。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31617	S	『世界開発報告』を読む	森川 想	工学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。 ※本演習は、現地で参加・オンライン参加の双方で受講可能です。第1週については、教養学部の指示により、オンラインで実施します。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31706	S	サイバーセキュリティ	宮本 大輔	情報基盤センター	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		昨今、社会におけるサイバーセキュリティを脅かす事件や事故が毎日のように発生している。それらがどのような形で発生し、その裏側でどんなことが起きているのかについて、本学の情報セキュリティ教育研究センターの教員、ならびに、企業からお招きするセキュリティ専門家が、わかりやすい言葉で解説していく。 はじめにセキュリティの概論や総論について、技術・経営・法律・人材育成などの観点から解説する。その後、セキュリティの最新のトレンドを形成している分野（オリンピック関連、AI、Fintech等）や、サイバー社会の多種多様なサービスと、セキュリティとの関係を解説する。それぞれの分野とセキュリティがどのように関係し、安心・安全なサービスを提供するためにどのような努力がなされているかについては、企業の現場の事例を基に、リアリティのある話題を、わかりやすく解説していく。 授業は講義形式で実施し、毎回提出する講義レポートにより成績評価を行う。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31653	S	ドイツ文学へのいざない	宮田 眞治	文学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		近・現代ドイツ文学のテキストの抜粋を原文で読む。ドイツ語の読解力の増強を図り、ドイツ語圏の言語文化に触れる機会とする。文法事項の復習や詳細な説明などにも力を入れる。特別に文学に関心がなくても参加でき、ドイツ語の理解が深まる授業となるよう心掛けたい。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31683	S	モジュラー曲線と数論幾何学	三枝 洋一	数理科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		モジュラー曲線とは、複素上半空間（虚部が正である複素数全体）を「折り畳んで」得られる図形のことである。一見全く明らかではないことであるが、モジュラー曲線の背後には多くの代数的・整数論的な現象が隠れている。この講義では、具体的なモジュラー曲線を通して、ヴェイユ予想、フェルマー予想、佐藤・テイト予想、ラングランズ予想、バーチ・スウィンナートン＝ダイアー予想といった、整数論における大定理・大予想がどのようなものであるかについて解説し、数論幾何学と呼ばれる分野への入門を試みる。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31711	S	実践的プログラミング	金子 知適、 中丸 智貴	情報・図形	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、適切なアルゴリズムを考えることと、それを正確にプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出題された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。プログラミングの経験を受講の前提とする(授業では文法等は解説しない)。詳細は http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/ を参照のこと。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31661	S	動物細胞研究法入門	高橋 伸一郎、片岡 直行、 田中 智、伯野 史彦、 杉浦 幸二、後藤 康之	農学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		動物の生命現象を解明しようという努力は、個体の観察から始まったことは言うまでもない。これが組織、そして細胞へと機能の解析が進んだのは、「細胞培養」という技術が開発されたことに依るところが大きい。細胞は、分離して培養することができる生物の最小単位と言われている。これらの細胞を用いて、それぞれの細胞に特異的な生命現象や、普遍的な現象の機構などを検討できるようになったのは大きな進歩である。その後、遺伝子工学技術が開発され、動物細胞に外来遺伝子を導入し高発現したり、内在性遺伝子の発現を抑制したりすることも可能となった。この技術の開発により、細胞レベルで、興味がある遺伝子の機能、これがコードするタンパク質の機能などを調べることができるようになり、細胞生物学的研究が開花した。本講義では、このような動物細胞を用いた研究の原理と手法、事例などを紹介、動物細胞を用いた研究で何ができるのかを知ることを目標とする。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31723	S	平和のために東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		*この授業はオンラインで実施する ----- 戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。 今学期は、SDGs（持続可能な開発目標）の Goal16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題を「体制移行国の課題」として取り上げる。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する予定である。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31714	S	SDGs を学べる授業をつくろう	中澤 明子、伊勢 坊 綾、中村 長史	教養教育高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		持続可能な開発目標（SDGs）は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として 2015 年の国連総会で採択され、17 の目標が定められている。MDGs が途上国の貧困削減や社会開発に焦点を当てていたのに対し、SDGs は世界中の国々の経済・社会・環境といったより広い問題を扱うものである。その広さゆえ総花的であるという批判もある一方、多くのアクターを巻き込めるという利点も指摘されている。 この授業では、このような SDGs について高校生が効果的に学べるオンライン授業を設計してみることで、SDGs についての自分自身の学びを深めることを目指す。他者に教えることは、本人にとって最も身につく学びとなる。また、この授業では「効果的に学べる」ためにアクティブラーニングという手法を用いたオンライン授業を設計することを目指す。 具体的な到達目標は、以下の通りである。 ①SDGs が作成された背景について説明することができる ②SDGs の意義について説明することができる ③SDGs の課題について説明することができる ④SDGs の 17 の目標について説明することができる ⑤学習者の学びを深める授業の方法について説明できる ⑥SDGs について学習者の学びを深める 50 分間のオンライン授業を設計することができる					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31678	S 1	プロジェクト志向の翻訳と MT「実用化」時代の翻訳者コンピテンス	影浦 峽	教育学部	火 3, 火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		2016 年に Google が日本語に関わるニューラル MT を公開して以来、MT の実用性に関して（ほとんどの場合特に取るに足らない）議論がなされてきた。一方、翻訳論の領域では、翻訳者に必要なコンピテンスの概念が外在的に定式化される傾向にあり、それと翻訳の品質管理の関係も議論されている。本ゼミナールでは、プロジェクト志向の翻訳（実際のプロによる翻訳の大部分はプロジェクトとしてなされる）に必要な翻訳コンピテンスの概要を理解し、入門的にその一部を体験する。 ※履修人数を 20 名に制限する					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31750	S	現代中東基礎講座 I	鈴木 啓之	中東地域研究センター	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【授業の目的】 この授業では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。 【到達目標】 (1) 中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。 (2) 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。 (3) 関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。 (4) 任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。 (5) 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。 (6) 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31615	S	Medical Biology 入門	尾藤 晴彦	医学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		Medical Biology 入門：生命現象から病気の治療へ 多様な医学研究 当講義は、文系理系を問わず全科類の学生に向けて、医学部の教員によって行われる講義である。本学医学部では、「説明されていないこと、解決法が求められていることに対して新しい医学を発信する」、すなわち広い意味で医学研究を推進する人材の育成を目指している。本講義はその一環として行われる。 昨年は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより社会が大きな変革を迫られたが、一方で人工知能や IoT を用いた感染拡大のシミュレーションや mRNA ワクチンなどの新しい技術によってこれまでにない速いペースで感染症の克服が進んでいる。また、ゲノム編集を用いた病態解明や遺伝子情報を活用したテーラーメイド医療など、医学研究の発展とそれに向けられた興味は学際的で多岐にわたる。こうした最先端の医学研究の背後には長年にわたる地道な基礎研究の積み重ねがあるが、そこに携わる研究者から直接研究についての考え方やより深い背景を学ぶ機会は驚くほど限られている。高校まではこうした最先端の医学研究を研究者自身が深く紹介するカリキュラムはほとんどなかったのではないだろうか。そこで将来多方面で活躍するだろう本学みなさんに、この大学の医学系研究科で行われているこれらの研究活動についてなじみを持ってもらいたいと考え、本講義を企画した。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31783	S	Road to 2050 脱炭素社会に向けた戦略	瀬川 浩司	教養教育高度化機構	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		2020 年 10 月 26 日の国会所信表明演説で、菅内閣総理大臣は「2050 年カーボンニュートラル」を宣言した。これは、ESG 投資の広がりや RE100 宣言企業の増加に加え、コロナ禍からの回復を見据えたグリーンリカバリーに向けて、この時点しかないというタイミングで発表されたものである。一方、2050 年カーボンニュートラル達成は、そんなにたやすいものではないことも事実である。本自由研究ゼミナールでは、2050 年カーボンニュートラルに向けた戦略を議論する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31652	S	現代世界のグローバル化とメディア	高山 博	文学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国外のメディアから出される情報を検討しながら、現代世界のグローバル化を考察する。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。 最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由を A4 サイズの紙一枚にまとめ、4 月 20 日 24 時までに私のメールアドレス(tkymh1[at]l.u-tokyo.ac.jp)に添付ファイルで送付すること。※@の前は数字の 1（いち）、@の後はアルファベットの小文字 1（エル） ※履修人数を 18 名に制限する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31657	S	考える力を養う／コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		コントラクトブリッジを基礎から学び、判断力・分析力を駆使し、確率に基づいた最適プレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。 コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織（WBF＝World Bridge Federation）には100か国以上が加盟している。担当教員は日本リーグに参加している上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31690	S	作曲・指揮	伊東 乾	情報学環・学際情報 学府	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		音楽の作曲、ならびに西欧古典音楽の演奏・指揮の実技演習。いずれも私自身の方法を教授する。作曲については自由なポスト・セリエール、指揮についてはブルーーズ＋わたしのスペクトラル・コンダクティングの基礎。東京芸術大学生とシャフルして行う場合がある。担当者は本学理学部出身だが、東大着任直前まではフリーランスの音楽家として生計を立て「題名のない音楽会」というテレビ番組の芸術監督などを務めていた。趣味や評論、副詞・形容詞や感想で音楽をもてあそばない。職業人として向き合う芸術実技を教授する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31701	S	生命科学の最前線	胡桃坂 仁志	定量生命科学研究所	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		定量生命科学研究所で行われている研究を題材に、その分野の歴史や最新の知見をオムニバス講義形式で紹介する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31659	S 1	微生物研究の最前線～東大生の必須知識～	石井 正治、亀谷 将史、 西村 慎一、浅水 俊平、 森脇 由隆、鈴木 千穂、 青野 俊裕、佐々木 栄太	農学部	火 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		食品、医療、環境、農業分野など、微生物は私たちの生活と密接に関わっています。本講義では、本学大学院農学生命科学研究科に所属する若手教員が、それぞれの専門分野における微生物研究に関して最先端のトピックスを紹介します。諸々の最先端手法を駆使して、多様な微生物についてどのような研究が行われているかを知る絶好の機会となることを請け合います。 履修の制限はありませんが、微生物に興味を持っている学生諸君の積極的な履修を期待します。 微生物のことをあまり知らないのだけれど、という人も心配ご無用！ガイダンスにて、微生物学の基礎も講義いたします。（ガイダンス実施教員は、【若手】ではありませんが・・・）					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31623	S	物理学汎論	沙川 貴大	工学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		物理学は、力学、熱力学、電磁気学、量子力学、...等といくつもの科目にわけて講義されることが多いが、実際は人類の膨大な思考の積み重ねによって、一つの統一された学問を形成している。そこで本講義では、歴史と最新の発展をふまえて、物理学の全体像を三部構成で俯瞰することを目標とする。 まず第一部では、相対性理論を解説する。時間の遅れやローレンツ収縮などの不思議な現象を通して、時空や対称性といった物理学の基本的な考え方を学ぶ。 第二部では、「光子」を題材にして量子力学をゼロから学び、ミクロな世界の物理法則が如何にマクロな世界とは異なっているかを議論する。さらに、量子暗号や量子テレポーテーションなど、量子力学の性質をフル活用した最先端の量子情報技術の紹介を通して、量子力学をより深く理解することを目指す。 最後に第三部では、統計力学について解説を行い、マクロな自然現象がミクロな粒子の集団的振る舞いによってどのように記述されるかを述べる。さらにフェルミ粒子やボーズ粒子といった異なる統計性をもつ粒子の集団的振る舞いの違いを示すことで、低温状態で現れる超伝導や超流動といった多彩な物性の発現を理解することを目指す。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31692	S 1	豊かな人生設計に必要な金融リテラシーを学ぶ ～実務の最前線で奮闘する官僚が語る～	池田 宜睦	公共政策大学院	火 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		人生 100 年時代の到来や、ライフスタイルの多様化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。加えて、FinTech の台頭や、低金利環境の長期化など、現在の金融をめぐる状況も急速に変化しています。こうした中で、豊かな人生を送る上では、金融についての正しい知識（金融リテラシー）を身に付け、安定的な資産形成を行っていくことの重要性が以前にも増して高まっています。 本講義では、金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招き、昨今の経済社会や金融をめぐる環境変化を踏まえながら、私たち一人一人が豊かな人生を送る上で知っておくべき金融リテラシーについて講義を行います。具体的には、ライフプランニング、資産形成、保険、FinTech、暗号資産（仮想通貨）といったテーマを扱うことを予定しています。 文系・理系を問わず、金融リテラシーに関心のある学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。 <★以下、オンライン化に伴う対応★> 本講義は、春学期にオンラインで実施予定です。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31713	S 1	国連と文化 1	井筒 節	教養教育高度化機構	水 3	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		戦争の惨害から将来の世代を救い、全ての人の人権と尊厳を守り、一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上を促進する決意のもとに創設され、2020 年に 75 周年を迎えた国連。 国連教育科学文化機関（UNESCO）憲章に「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあるように、国際社会では、これまでの軍事・経済・政治を中心とした視点に加え、人間の心のウェルビーイングに目を向けた国際的パートナーシップの必要性に注目が集まっています。 人々の心に働きかけるためには、文化や芸術が大きな役割を担います。よって、この授業では、国連システムの基礎や、2030 年までの国際優先事項である「持続可能な開発目標（SDGs）」について学びながら、心の交流や文化・芸術の力に注目した、未来志向の国際協力について考えます。 *この授業は、S2 タームの「国連と文化 2」夏季 NY 集中講座履修希望者の必須クラスですが、2021 年度は、現在の世界情勢により、「国連と文化 2」夏季 NY 集中講座は中止となりました。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31728	S	「問題解決のための思考法」	宇野 健司	学生による全学自由 研究ゼミナール	水 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		通称「宇野ゼミ」 大手シンクタンク（調査研究機関）の現役プロフェッショナルによるMBA（ビジネススクール）形式のディスカッション授業です。 企業の組織論・経営戦略論、個人のキャリア形成など実践的なテーマを取り上げます。 ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。 また講師の体験談（海外大学院MBA留学、専門スキル習得、就活、転職など）をもとに、「皆さんの将来キャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスをします。 授業の目的は、 （１）ディスカッション・スキルを身に付けること （２）自分のキャリアについて考えること （３）講師・クラスメイトから刺激を受け、意識を高め、将来に向けてより自発的に行動できるようになること 一定の問題意識を持った意欲的な学生の参加を希望します。 ※双方向でのディスカッション授業の性質上、例年、講師・クラスメイトがとても親密になり、授業外でも友好的なコミュニティとなり、卒業後も存続しています。 「海外留学」「進振り」「起業」「司法試験」「資格試験」「就職活動」「イベント企画」「ボランティア」「課外活動」「授業外交流」など、気の合う仲間が多数できると思います。 ※履修希望者が定員（４０名）を大幅に超える場合が多いので、第２回授業までに参加するようにしてください。 定員を超えた場合の対応は、第１回および第２回授業で詳細を説明します。 （それ以降でも、いつでも個別に上記メールで相談して来て下さい）					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31703	S	「経済安全保障」をめぐるビジネスと法 ～最前線的话题を一次資料によって検証する～	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		現代のビジネスは、激動の中にある。 冷戦終結後の約 30 年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を齊一化しようとする WTO 協定が、1995 年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、それでも残る国や地域の特徴を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。その間、わが国はこの変化によく対応できず、国際的地位は低下を続けた。 いまや、この基調が大きく変わろうとしている。それは何より、自由と民主主義を標榜する米国や同盟諸国が、中国の覇権に対して懸念を強めつつあることによる。グローバル化という長年の潮流も逆転する兆しが出てきている。いまや、「国境の復活」こそが時代のキーワードだと言っている。 担当教員（玉井克哉）は知的財産法・行政法を専攻する法学者であるが、この急激な変化を日々感じている。そして、そのかなりの部分が法的な面での変化として表れる。これは学問研究の対象であるのと同時に、関係する知識を着実に獲得する修練を経ておくことは、知的な生活を送るためには必須のスキルである。 演習という授業形式は、わが帝国大学が範としたベルリン大学（1810 年創立）において、その実質的な創設者だったヴィルヘルム・フォン・フンボルトが始めたものである。学生と教師が、ともに学問共同体に所属するという立場から、一定の文書に書かれた意味を厳密に探求しようとするという点では、手法を共通にしている。なお、フンボルトの唱えた「教養」の理念を自らの理念として戦後に発足したのが教養学部であり、全学自由研究ゼミナールというのは、フンボルトの理念を体現する存在である。この演習は、その伝統を強く意識しつつ開講される。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31745	S	基礎は地味だが役に立つ	西増 弘志	先端科学技術研究センター	水 5	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 近年、生命科学の基礎研究の成果を基盤とした予想外の技術革新が続いている。本ゼミナールでは、新型コロナウイルスに対する mRNA ワクチン、および、CRISPR-Cas9 を利用したゲノム編集技術（2020 年ノーベル化学賞）を例に、基礎研究の成果がいかにして技術革新につながったのかを解説する。講義ではまず、これらの理解に必要な生命科学の基礎知識（セントラルドグマ（DNA→RNA→タンパク質）やタンパク質の立体構造）から説明する。また、原著論文の読み方や実際の研究生活に関しても紹介したい。 第 1 回にガイダンスを行い、希望者が多い場合は、ガイダンスの際に書いてもらう作文によって履修者を決定する（最大 100 名）。 参考 コロナウイルスへのメッセンジャーRNA ワクチン https://www.rnaj.org/component/k2/item/856-furuichi-28 CRISPR そしてゲノム編集へ... https://www.rnaj.org/component/k2/item/844-nishimasu-1 Cas9-ガイド鎖 RNA-標的 DNA 三者複合体の結晶構造 http://first.lifesciencedb.jp/archives/8416							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31660	S	昆虫と節足動物の生物学	松尾 隆嗣、東原 和成、 星崎 杉彦、久保田 耕平、 勝間 進、深野 祐也、宮下 直、 鈴木 雅京、木内 隆史、 鎌田 直人	農学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 「昆虫採集」や「夏休みの自由研究」、あるいは「ファール昆虫記」といった接点で昆虫や節足動物に子供のころ親しんだ経験を持つ人も、その後は疎遠になってしまうことが多いのではないだろうか。昆虫と節足動物は種数で動物全体の約8割を占めるグループであり、生態系で果たす役割や人間の社会に及ぼす影響はおそらく皆さんが考える以上に大きい。東大農学部では多くの研究室で昆虫や節足動物を対象にした研究が行われている。本ゼミナールでは、実際に昆虫や節足動物を扱っている農学部の教員がそれぞれの専門分野からトピックを紹介する。大学1・2年生にとっては高度な内容を含むこともあるが、昆虫と節足動物がいかに多様な観点から注目され研究されているのかを学んでいただきたい。予定している各回のトピックは以下の通り（変更する可能性があります）。 ・ 昆虫の闘争行動 ・ 遺伝子組換え昆虫による害虫防除 ・ 昆虫に学ぶオスとメスの生物学 ・ 農業をする昆虫：養菌性キクイムシ ・ 幼虫は、変態することをいつどのように決めるのか？ ・ 次世代の養蚕 ・ 害虫管理に対する昆虫の多様な進化的応答 ・ 昆虫ウイルスとバイオテクノロジー ・ 昆虫における匂い・味・フェロモンの受容体 ・ クモ類の生態と進化 ・ 昆虫の生殖隔離とその進化 ・ 昆虫の個体群分化と種分化 原則として、第1回目の授業に参加した人のみ履修を認めます（2回目以降からの履修を認めない）。事情により1回目の授業に参加できなかった人は、代表担当教員（松尾）までメールで連絡し、以後の履修の許可を得てください。 履修希望者が多数になった場合は、何らかの方法により選抜することがあります。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31654	S	最新の宇宙像	峰崎 岳夫	理学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 近年、宇宙観測の技術は急速に発展を遂げており、私達人類が持つ宇宙像は、大きく塗り替えられている。最先端の宇宙観測とその成果を、理学系研究科附属天文学教育センターに所属する様々な分野の専門家がわかりやすく紹介する。天体現象だけでなく観測の手法についての解説も行う。天文学の知識を系統的に与えることが目的ではなく、多様な宇宙の姿やその観測技術・研究手法に興味を持ってもらい、科学的な思考方法に慣れてもらうことに主眼をおく。							

[illegible]

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31720	S	20 年先輩のリアルを知りにい く - きくこととつたえること のワークショップ	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		◆ゲスト講師 浅利雅士（楽天株式会社） ～2003 年東京大学教育学部卒。数社での勤務経験のなかで、他人の話を聞いてサービスを考えたり、社内のメンバーの話を聞いてプロジェクトマネジメントに活かしたりする作業を多く行ってきたそうです。自身でもさまざまな研修やワークショップに参加し、他人の話を聞くということを大事にしてきたという経験を活かし、ご協力いただいています。 ～ <概要> このゼミでは、受講者の多くのみなさんよりおよそ 20 年先輩である東大卒業生に会いに行き、入学からこれまでの 20 年間の振り返るような話をきいてきてもらいます。仕事の話やプライベートの話、趣味の話などなど、何が話題の中心になるかわかりませんが、話をきいてきた上で、みなさんにゼミでその話を共有していただきます。受講生一人が卒業生一人の話をききにいき、クラス全体できいてきた話をできるだけ、そのまま伝えるという作業をします。最終的には受講者数と同じ数だけの卒業生の過去 20 年の話をできるだけ知っている状態になることを目指しています。 さて、「きく」ということをあなたは普段どれくらい意識的に行っているでしょうか。また、他人の話をどれくらい「きく」ことができているのでしょうか。そして、他人の話を聞く際に、どのような姿勢で、どのような考えを持って聞き、どのようなリアクションをしているのでしょうか。 卒業生の話をききに行く前に、このゼミでは、「そもそも私は他人の話をどのようにきいているのだろうか」という、素朴な疑問を基に、自分自身がどのような話のきき方をしているかを徹底的に知ることを目指します。「正しい」聞き方やコミュニケーションスキルを磨くというようなことを目指しているわけではありません。もしかすると、このゼミを受けたあとに、受講者の皆さんそれぞれにとっての「正しいきき方」や「より良いきき方」というものができるようになるかもしれません。が、それ自体はこのゼミの目的ではありません。あくまで、自分のきき方の「現在地」を知る、それがこのゼミの目指すところです。 <授業の目標> ・自分が他人の話を聞くときに、どのように聞いているかを知る。 ・話の聞き手の姿勢や態度が話し手にどのような影響を与えるかを知る。 ・話し手、聞き手によって、話の内容がどのように変化するかを理解する。 ・自分が持っているフレームワークや仮説から離れて他人の話をきけるようになる。 ・相手の話に対して、要約を試みたり、評価をしたり、アドバイスをしたりせずにきけるようになる。 ・一緒にゼミに参加する人の話をできるだけありのままきく。 ・できるだけ多くの先輩の東大入学後からこれまでを振り返った話を知っている状態になる。 ・“20 年先輩”から聞いた話を、他人に伝えられるような形でまとめる。 <ゲスト講師からのメッセージ> 駒場を離れてから、だいたい 20 年くらいになります。自分も周りの友人も、本当に多様な人生を歩んでいます。大学生の頃には、卒業後の生活にこんなにも多様なストーリーがありうるなんて全く想像もつきませんでした。仕事の肩書だけを見れば、民間企業で働いていた、起業していた、弁護士だったり公務員だったり研究者だったりします。でも、どんなことを得意として働いているか、それまでどんな経験をしてきたか、それを純粹にきいてみると、それぞれに全く異なる多様な働き方・生き方があったりします。そうした先輩のリアルを駒場の頃の僕が知っていたら、今とはまた異なるかたちでの人生の選択があったかもしれない。そんな思いからこの講義を企画しました。 みなさんにはこの 1 3 回の講義を通じて、できるだけ多くの先輩のできるだけリアルな卒業後のストーリーを知ってほしいと思っています。しかも、先輩の”かっこいい”プレゼンテーションや完成されたインタビュー記事からではなく、みなさん自身が話をききにいき、この場所でシェアすることを通じて。そうすることで、できるだけリアルな部分が残った、みなさんからの距離が近いストーリーが知れるんじゃないかと思っています。 ただし、「話し手が言いたいことは何か」と要約することに集中したり、事前に立てた仮説を検証したり、内容の良し悪しや優劣をジャッジしたりするようなききかたでは、そうした話はとらえられません。だから、どうすればありのままの話がきけるのかを数回に渡って一緒に考えるところから、講義をスタートしていくつもりです。その後、僕たちが用意した先輩リストの中からみなさんに対象を選んでもらい、各々でストーリーをきいてきてもらおうと思います。その結果をここにいるみなさんが何らかの方法でシェアしあって、結果としてみなさんができるだけ多くの先輩のリアルを知っている状態になる。というのが理想の進み方です。 基本的にはこの手順通りに、事前に毎回やることを決めて進めていきますが、様子をみながら変えていく可能性はありますのでご了承ください。 また、きくゼミといっても、インタビューのテクニックの講義ではないですし、先輩から将来へのアドバイスをもらおうというものでもないです。なので、すぐに役立つ類の話はないかもしれません。でも、人の話をじっくりきいてみることやその話をもとにみなさんで対話することを通じて、何かが強く心に残るだろうということだけは保証します。 概要は以上です。これから約 3 ヶ月間、20 年のリアルを一緒に味わってみましょう。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31743	S	難民から学ぶ「人間の安全保障」：WITH コロナ時代のSDGsを考える	佐藤 安信	「人間の安全保障」 プログラム	木 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		日本が外交の原則とし、政府開発援助(ODA)の指針ともしている、「人間の安全保障」を理解し、実践するための入門的なセミナー。とりわけ、その中心的な地球規模の課題の1つである、「難民」に焦点を当てる。ゲスト講師として難民やそれに準じる方々や、関係する国際機関、政府機関、弁護士や NGO など支援者らを招き、その体験談や実践、政策上の課題、支援の現状報告をいただき、難民など「人間の安全保障」を脅かされている人々の生活や、その支援の実態を知り、可能な解決と予防について考え、質疑をし、討議をする。とりわけ、新型コロナウイルスのパンデミックや最近の国際政治状況による影響とそれへの対応についても考え、議論する。参加者は、グループで様々な難民や関連機関、支援団体などについて、調査し、可能なならば、難民や庇護申請者などからの聞き取りをし、意見交換や議論をし、提言を含めた発表を行う。英語のみで行う場合もある。					

[illegible]

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31691	S 1	国家のグランドデザインを描く ～政策立案シミュレーション～	仲 浩史	公共政策大学院	木 4	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		現在、日本の経済・社会構造はかつてない変化を遂げており、次世代を見据えると、社会保障制度、国と地方のあり方等、様々な制度について改革が求められています。同時に世界経済の情勢も日々刻々と変化し、国際社会との関わりも新しいフェーズに入っています。そうした中、それらの構造変化への処方箋が「政策」になります。本講義では、国家財政という視点を踏まえ、日本の将来を考えつつ、様々な課題にどのように対応していくか、現役の財務省職員とともに、政策立案の体験を通して考えていきます。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31718	S	こまとちゃんゼミナール ～ 駒場図書館で学ぶ大学生の為 の情報検索・収集・発信スキル	山上 揚平	教養教育高度化機構	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		「こまとちゃんゼミナール」は、教養学部生のホームライブラリーである駒場図書館を活用しながら、大学での学習、研究はもちろん社会に出てからも役に立つ、情報の検索収集、そして活用の技術を身に付ける為の授業です。駒場図書館や東大情報システム部の協力のもと、大学図書館の様々な機能や学内で利用できる膨大な情報リソースの使いこなしを、グループワークを含む課題実習を通して学びます。 また他図書館の見学やバックヤード・ツアーなどを通して、図書館という施設や制度自体についての見識も深めることが目指されます。 学期の終わりには、授業で磨いた情報検索・収集スキルを活かして、駒場図書館所蔵の資料を発信する実習を行います。駒場図書館内の展示スペースをお借りして、会期 2 週間ほどの展示企画(公開)の開催を目指します。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31730	S	「未来シナリオとリーダーシップ」	原田 武夫	学生による全学自由 研究ゼミナール	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		このゼミにおける目的は参加学生の皆さんが情報リテラシー（information literacy）を完全に体得することです。情報化・デジタル化が高度に進み、同時に不安定性がますます増す現代社会とこれからにおいて、皆さんが目標設定とその達成を出来るのみならず、我が国、さらにはグローバル社会全体に対してリーダーシップを発揮する有意な人財となることを通じ、この難局を乗り越えていくことに貢献するようになることを目標としています。この目標の達成に必須なのが上記の目的の達成に他なりません。 そうした観点からこのゼミでは常に「既存の枠組みの外側」を直視し、それについて自由闊達に議論をして行きます。このゼミにおける主役はあくまでも参加学生の皆さん一人一人です。講師からの一方通行のインプットではなく、双方向といったレベルを越えて、教室の中でぐるぐると議論が周るような、そんな「知の現場」を創り出して行きます。皆さんの積極的な参加を心から期待しています。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31689	S	Artificial intelligence and society AI と社会を考える	林 香里、 矢口 祐人、 板津 木綿子	情報学環・学際情報 学府	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		In the last few years, we have seen a remarkable advancement in artificial intelligence (AI). This technology has seeped into our daily lives in both visible and invisible ways. The algorithm used in machine learning and deep learning are designed by humans and they often reflect the societal assumptions about a population. The data fed into these algorithms are also collected by humans and are not untainted, objective data. These data often reflect unconscious biases about gender, age, race and ethnicity, for instance. This course offers the opportunity to think about how bias can be embedded in data, the ramifications of these bias, and methods to mitigate the perpetuation of inequity in AI. The learning objectives of this course is as follows: -Understand AI and its developments as it is discussed in the humanities and social sciences -Nurture the ability to understand data with a critical perspective. -Deepen one's understanding of stereotypes and unconscious bias embedded in data bias -Deepen one's understanding of the inequities that exist in society and how it can be embedded in AI -Enhance one's thinking on strategies to correct data bias					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31708	S	週刊・福島復興知学講義	秋光 信佳	アイソトープ総合セ ンター	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、放射性物質による環境汚染はもとより、それに付随した超学際的な諸問題が発生した。この間、東京大学を含めた全国の大学関係者が福島を中心とした被災地に赴き、多様な復旧・復興活動を行った。その過程で多くの智恵と知識（これらを「復興知」と定義する）が蓄積された。本講義では、被災地で活動してきた各分野の専門家が、①放射線に関する基礎的知識、②社会科学的視座からの諸課題の分析、③実践的アプローチ（復興農学、廃炉研究、まちづくり、放射線利用研究、ドローンなどの新産業創出の取り組み、など）を通じた次世代型復興学、について体系的に講義する。この講義を通じて、専門課程に進学する前の学生に、社会科学、災害研究、リスク・コミュニケーション研究、政策研究、農学、工学、理学、医学、放射線影響学、など多様な分野を融合した「復興知学」を身につけてもらい、災害の多い日本の未来を総合的に設計できる人材育成を目指す。そして、日本ならではの新しい学問領域を世界に発信できる人材の育成を目指す。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31729	S	障害者のリアルに迫る	野澤 和弘	学生による全学自由 研究ゼミナール	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		「障害」は社会にあふれている。 それは身体的な不自由さだけでなく、偏見や先入観に伴う生きづらさ、価値観や言語が異なる人との分かり合えなさ、社会的な制度の障壁など、違いを持つ私たちの身の回りにあるものだ。当ゼミでは、そういった様々な「障害」と向き合い、時には「違うこと」の面白さを語り合いながら、そのリアルに迫る。 これまでは、「ジェンダーとセクシュアリティ」や「ALS」、「うつ病」「ホームレス」などをテーマに当事者のライフストーリーをお伺いしながら、授業を行ってきた。8 年目の今学期は、「教育」や「依存」、「コミュニケーション」「ヤングケアラー」などをテーマに、様々な分野の当事者、実践者、専門家の方をお招きし、受講生が知識を得るだけでなく、自分ごととして関わり、講義で生まれた悩みや疑問を自由に考え、タブーなく話すことのできる場を目指す。 講義は、基本対面で行う。履修者が多い場合は、受講生に対して対面で参加したい回を聞き、対面のメンバーを入れ替えながら、人数を絞ってオンラインとの併用で行う。 （状況に応じて変更の可能性あり）					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31704	S	大気海洋科学の最前線	河村 知彦	大気海洋研究所	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		地球規模の気候変動による災害の増加や生態系の変化が地域的・国際的に大きな問題となっています。大気海洋研究所では、地球表層を覆う海洋と大気に関する様々な基礎的研究を推進し、地球環境の変動機構や生命の進化など、人類と生命圏の存続にとって重要な課題の解決につながる研究を展開しています。本ゼミナールでは、大気海洋研究所で行っている幅広い研究の中から興味深いトピックスを集めました。地球と人類の未来を左右する気候や海洋、そして海の生き物や生態系についての理解を深めることにより、地球環境と我々の将来について考えるきっかけを提供します。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31663	S	農作物を知る	河鱒 実之、本多 親子、郭 威、 内田 圭、細井 文樹、矢守 航、 海津 裕、深野 祐也、米川 智司	農学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		普段何気なく食べ、また觀賞する農作物はいったいどのようにつくられ、またどのような特徴があるのだろうか。それらの植物としての特徴、伝統的な栽培から最新の技術、生態系との関わり、社会文化との関わりなどを交えながら、文系の学生にもわかりやすく説明する。本セミナーを通して、人類にとって必須の食料・農産物の持続的生産に関する課題、新しい農業への取り組みなどをより具体的に知り、農業問題について身近に感じて考えてもらいたい。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31717	S	模擬国連で学ぶ国際関係と合 意形成I	星埜 守之、 中村 長史	教養教育高度化機構	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすること もできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の 解決策を考えられるようになってほしいと考えています。 この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決 法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連 会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を 固定されている点ではディベートと同様です。しかし、 相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬 国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視 し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、 ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。 2019 年度 A セメスターから開講してきましたが、4 度目の開講となります。 具体的な到達目標は、以下の通りです。 ①国際問題の構造や原因を説明できる【レポート 1,2 で評価】 ②国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【レポート 1,2 で評価】 ③国際問題の解決・管理における妥協の重要性を説明できる【レポート 1,2 で評価】 ④国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート 1,2 で評価】 ⑤国際問題の解決策・管理策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示 すことができる【レポート 1,2 で評価】					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31685	S	証明と計算機	植田 一石	数理科学研究科	金 1	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		アリストテレスは「ニコマコス倫理学」で、「主題に応じて厳密さの程度を使い分けることは、教養ある人間の証であり、 数学でいい加減な証明を認めるのは、修辞学に厳密性を求めるのと同じくらい愚かなことである」と言った。 しかし、数学における「厳密な証明」の概念は時代とともに変化している。現時点で最も厳密だと考えられている概念 として形式的証明(formal proof)があるが、高度な厳密性の代償として、自明に思われる主張の証明も長大なものになる。 従って、数学をこのレベルで厳密に記述するには、計算機の使用がほぼ不可欠になる。 このゼミナールでは、計算機を用いた形式的証明について学ぶ。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31681	S	「小林昭七 曲線と曲面の微 分幾何」を読む	小木曾 啓示	数理科学研究科	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		小林昭七先生の名著「小林昭七 曲線と曲面の微分幾何」を参加者による輪読形式（人数により一講義時間当たり 1 名ま たは 2 名による解説）読む。 また、この本を通じて、1 年次に学ぶ微分積分とその拡張が実際の幾何学に以下に有機的に使われるかを 本書を読むことで学ぶ。					

時間 割 コ ード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31684	S	カオス力学系入門	林 修平	数理科学研究科	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		決定性の中に潜む予測不可能性や不確定性を扱うカオス理論は自然科学のみならず広範な分野に登場します。この講義で は、教養 1 年生程度の予備知識を前提として、数学としてのカオス力学系理論の重要なアイデアや手法を、下記の教科書 前半の輪講を通して学びます。初等的な 1 変数関数を繰り返して適用するだけで豊かなカオスの数学理論が展開されるこ とを示したこの本は、カオス力学系を数学的に扱った最初の入門書として世界的に好評を博してきました。例えば、 $f(x)=ax(1-x)$ のような簡単な 2 次関数を通して、 一般の非線形力学系においても重要な概念が提供されるので、必ずしも 数学科志望でない学生にとっても近づきやすい内容になっています。 ※ 履修人数を 20 名程度に制限する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31662	S	地球医のすすめ：タネ 蒔く農学部有志	高橋 伸一郎、吉岡 拓如、藤本 優、 加藤 洋一郎、萬木 孝雄、田中 智、 福田 良一、五十嵐 圭日子、 吉田 修一郎、関澤 信一、 永田 宏次、清水 謙多郎、潮 秀樹、 橋本 禪	農学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 本講義は、『農学』とは何か？『農学部』は何を教育・研究しているところか？そんな素朴な疑問を持たれている学生の皆さんと一緒に、農学の観点から地球の未来を考えることを目標としています。 『農学』とは、有限な資源を前提として、人類の安定した生存と心地よい生活に貢献する「実学」です。生物が生息している空間は、すべて農学がカバーすべき学問領域であり、分子、細胞、組織、個体レベルは言うまでもなく生態系、そして地球レベルに至るまでが、研究対象となっています。農学では、自然科学だけではなく、社会・経済学、そして人文学の手法も動員して、総合科学的に問題を捉える必要があります。 人類は誕生以来、微生物、植物や動物、鉱物など、地球上のあらゆる「もの」を利用して生きてきました。この活動は人類の生活を豊かにすると同時に、経済価値を優先した産業開発が、私たちのかけがえのない地球に大きなダメージを与えてきたことは、皆が認めるところだと思います。この危機に行政的には、生物多様性の観点から「愛知目標」や「科学と政策の統合（IPBES）」、人間活動の観点から「持続可能な開発目標（SDGs）」などが設定されました。人類の衣食住を多方面から支えてきた学問領域『農学』においても、持続可能で環境調和型の科学技術の確立が喫緊の課題となっています。そういう意味では、ヒトを含めた生物の共存共生のため、地球上の生物資源を利用することで起こした問題を俯瞰的に洗い出して、総合科学の力で解決していくことが、「農学」の使命といえます。こういう観点から、農学部では、100年後の地球を考える、One Earth Guardians 育成プログラムを推進しています。 農学部は多くの専修や専攻、附属施設から構成されています。この講義は、農学部の広報室メンバーの教員を中心に、農学部教員の有志が担当します。本講義では、生物の共存共生に今後我々人類が何をしていくべきかを抽出した後、いろいろな専修・専攻・附属施設の教員が、それぞれの課題の解決法につながるような農学領域の情報を提供し、これを基に出席者が農学を通じて地球のために何ができるかを考え、議論、解決法を提案することを最終ゴールとしています。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40276	S 2	耳を啓く、音を創る ～感性 と知性の協働のためのサウン ドデザイン入門	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 「耳を啓く、音を創る」は、様々な社会的・文化的な音に囲まれて生きる現代の我々にとっての「聴くこと」を深く理解する為に、世界に耳を澄ますと共に、自ら世界に音を付けてみるというアプローチを試みる授業です。実際に社会の一線で「音付け」に携わる方々をゲスト講師としてお招きし、ワークショップや創作実践を通して、様々なサウンドデザインの思想と技術とを学びます。感性と知性とを協働させるデザインの実践体験から、自分と社会（或いは自然）との「音」を介した関わりに新たな気づきを得ることが一つの目標となります。 今期は映像とビデオゲームの2ジャンルを取り上げます。 ●ゲスト講師紹介 西岡龍彦（第2～3回） 作曲家、東京藝術大学名誉教授。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科創設に関わり17年間勤務。コンサート作品、コンピュータミュージック、環境音楽、イベントや映像のための音楽を作曲。牟岐礼のペンネームでNHKのドキュメント番組、美術番組、ドラマ、放送技術研究所の22.2マルチチャンネル音響システムによる音楽を担当。 田中治久（hally）（第5～6回） ゲーム史／ゲーム音楽史研究家。チップチューンと呼ばれる領域を専門に作編曲家やエンジニアとしても活動しており、ビデオゲームへの楽曲提供、ライブ活動、音楽配信プロデュース、サウンドトラックCD制作協力など多方面に実績がある。主著に『チップチューンのすべて』（誠文堂新光社）、『ゲーム音楽ディスクガイド』（監修,P-VINE）など。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31731	S	グラフィックデザイン概論	保田 容之介	学生による全学自由 研究ゼミナール	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 講義の目標：デザインの本来の意味である「設計」という機能的な側面を概論的に解説し、基礎教養とすることで、将来各分野を牽引していく学生がデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。 講義の概要：機能性と美しさを両立するという狭義の意味での「デザイン」はますます日常生活と切り離せない身近な存在になりました。例えばそれはみなさんが近い将来に頻繁に使用するプレゼンテーション資料のレイアウトなどでも感じ取ることが出来るでしょう。 本講義では現役のデザイナー / クリエイティブディレクターにより、論理的・学術的な視点で「デザイン」をひもといていきます。 座学としてグラフィックデザインの歴史から始まり、色などの基礎教養、書体解説、写真技法、デジタルツール解説などのデザインの実務で使用する知識や、UI/UX などの基礎知識を学び、積極的に手を動かして考えを発表するワークショップやフィールドワークも行います。 それによって講義の外でもデザインを楽しみ、将来各分野を牽引していくみなさんがデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。 是非本講義を経る前と後の視点の変化を実感してください。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31712	S	情報システム利用入門	山口 和紀、 中丸 智貴	情報・図形	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		一般的な情報システムの利用方法を初歩から学ぶ。情報システムのモデル、端末の操作方法、応用ソフトウェアの基本的な利用を中心とする。情報に関する深い理解や高度な機構の理解は対象としない。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31620	S 1	3次元スキャナ・プリンタを使ったデジタルものづくり体験	中川 桂一	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		物体の形状をスキャンする装置を用いて、3次元形状をコンピュータに取り込み、そのデータ処理について実習する。また、処理したデータを3Dプリンタで出力し、オリジナルの物体との比較をし、再現性の確認を行う。 ※このゼミは4月6・7日6限にオンラインにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31621	S 1	ウェアラブル体感型 VR システムを作ってみよう	中川 桂一	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		布などウェアラブルな基板のうえに電子回路を精密に配線、実装する精密組み立て技術の基礎を学ぶ。さらに、この精密組み立て技術で作ったウェアラブルセンサ、アクチュエータを用いて、振動等をフィードバックする体感型 VR システムの構築を試みる。講義と実習を交えた体験型講義形式で学ぶ。 ※このゼミは4月6・7日6限にオンラインにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31732	S	タイ医学ゼミナール	宮原 由佳	学生による全学自由 研究ゼミナール	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【こんな方にオススメのオンライン集中講義です】 ・UNESCO 認定：無形文化遺産（タイ古式マッサージ）＆世界の記憶（ルーシーダットン（タイ古式ヨガ））のエッセンスを学びたい！ ・タイの伝統医学に興味がある！ ・タイ古式セルフケアで、自分の肩こりや疲労を癒したい！ ・ヘルスプロモーションに興味がある！ ・タイの医療の現状について知りたい！ ・タイ文化について知りたい！ 今年度のゼミは、全時間オンラインにて開講予定です。 タイ伝統医学について学び、統合医療またヘルスプロモーションにおけるタイでの活用法を通じ、日本での今後の統合医療のあり方について考察していきます。 座学と共に、実技編としてタイ伝統医療の中で行われているセルフケア療法（ルーシーダットンと呼ばれるタイ古式ヨガやタイ古式マッサージのセルフバージョン）を紹介します。日常生活の中で、自分で自分の疲れや凝りを癒し、自己免疫力を高めてくれる‘古の智慧’が詰まったタイ伝統セルフケア療法です。 ワットポー タイトラディショナル メディカルスクール（タイ王国第一級王立ワットポー寺院）にて、外国人として初めて伝統に基づいた本格的な修養を積み講師として認定された宮原が、多国籍にわたる方々への施術・指導経験をベースに行う東大生のためのスペシャルゼミです。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31619	S 1	ナノマイクロ 3D アートを探 求しよう	中川 桂一	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		1. バイオミメティクスおよびナノマイクロ 3D 構造創製法の基礎を学ぶ 2. 自然界のマイクロ 3D 構造を、先端顕微観察機器で、高分解能観察し、その芸術性を堪能するとともに、物理的機能を考察する。 ※このゼミは 4 月 6・7 日 6 限にオンラインにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31719	S	ブランドデザインスタジオ 23 「新しい『ご近所』のブラン ドを創る」	真船 文隆、宮澤 正憲、山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		●プログラムについて 『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE（理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランド・イノベーションデザインのコラボレーションにより学んでいただきます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/ ●今期のテーマについて 新型コロナウイルス感染症の流行で通学や通勤が制限され、オンライン授業やリモートワークが浸透することによって、私たちの「移動」や「一日を過ごす場所」は大きく変わりました。通学先・通勤先の街や都心の繁華街ではなく、自分が住む街、自分の「ご近所」で過ごす時間が増えたという人も多いのではないのでしょうか。 世界でも、ニューノーマルの時代に街のあり方、人々の生活空間のあり方がどう変わっていくのか、盛んに議論されています。たとえば、オーストラリア・メルボルン市の「20 分生活圏：20-minutes neighbourhoods」構想やフランス・パリ市の「15 分の街：ville du 1/4d'heure」構想。「自宅から徒歩や自転車で 15 分から 20 分の範囲で、働く場所、学校、買い物、公園、病院など、ひととおりの都市機能にアクセスできるようなまちづくり」というコンセプトが注目を集めています。また、ジャーナリストの吹田良平氏は、「都市のサイズでは知の連携進化を果たす街の実現は難しく、都市よりも二回り程小さいネイバーフッドレベルで捉えるのが適当なのではないか」として「クリエイティブ・ネイバーフッド」という考え方を提唱し、そこで街の触媒機能を加速させるテック・サービスを「NaaS（Neighborhood as a Service）」と名付けて、その可能性を探っています。 今回のブランドデザインスタジオは、さまざまな捉えなおしが進む、「ご近所」をテーマとして取り上げ、「ご近所」に関する新しいブランドを創り出すことをゴールに置きます。参加いただく皆さんには、テクノロジーの進化や社会の変化などの未来を見据え、多様なリサーチや議論を通じて、「ご近所」を多面的に捉え直してもらいます。その後、集めた情報を分析・統合し、未来に向けて生活者が抱える課題や期待する価値を深掘りし、そこに立脚して新しいアイデアを創出していただきます。「ご近所」に関する新たな商品やサービス、空間やイベントなど、アイデアは自由に発想してください。チームで協力し、私たちはこれから「ご近所」でどう生活するのか、何が課題であり、どんな可能性があるのかを探求してください。そして、それを起点にしてどのような新しいブランドが創りうるのかを世に問うていただきたいと思います。 本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31693	S	駒場すずかんゼミナール『学 藝饗宴』	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 爛熟期を迎えた 19 世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を総合する教養教育を目指すものである。 「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017 年度より新たに本題にて開講されている本ゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記の Facebook ページにて確認してほしい。2020 年度 A セメスターでは《ドラマトゥルギー》と《残響》というテーマを始点として、ありとあらゆる空間に見出される舞台の上で取り結ばれる関係性とそこにおいて零れ落ちてしまうものに向き合うことから、個々のゼミ生がより遠く、新たな境地まで跳躍することを試みたい。 今年度 S セメスターのテーマは《オキシモロン》と《雫》である。「触れられない他者との距離になお手を伸ばす、祈りという定型の技法。その撞着の最中で、必然性が現出する一点を探ること」と「いのちの境界がその張りつめた極限において凝集し、もはやわたしでもあなたでもないそのものとしての境界を自律的に更新しながら落してゆくこと」という、生命を脅かす脅威に身を曝しながら様々な場面で二律背反の板挟みが生じている現在の世界に格好の両概念の吟味を端緒に、自然科学、人文科学、社会科学といったあらゆる知の横断を試みながら、間断なく訪れる新たな地平との邂逅を言祝ぎたい。 本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさには好奇心を抱き、それを自らの血肉としてゆっくりと結実させようと試みるような学生を歓迎する。 ※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・OB/OG・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日 19～21 時に行われる。集中講義も基本的に同時間帯である。 ※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。 ※過去の選考課題、その他の詳細は Facebook ページ（https://www.facebook.com/MinervaKomaba/）を参照すること。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31647	S	空飛ぶ車を実現するための機械工学	柳本 潤	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		空飛ぶ車には、社会インフラ、法制度のみならず、「車」そのものをどのようにして実現し製造するのか？を考え、技術開発を進めねばなりません。機械である「車」を実現するための機械要素、センシング、材料、について、以下の1～3の項目から1件、4～6の項目から1件選択して、調査、設計、解析を行います。 1. 歯車が加工される瞬間の温度を捉えるためのセンサを開発する。 最高温度が1000℃に達する中、応答速度を1msまで短くするためには、素材の力学・熱特性を十分に検討して提案・設計する必要があります。 2. レーザ光が物質の中を光速で進む様子を捉えることのできる、超スローモーションカメラを開発する。 このカメラを使って、レーザ光がフェムト秒の時間スケール（1フェムト秒は10-15秒）で進みながら引き起こす物理現象を映し出し、光の特性を探っていきます。 3. 筋電位（EMG）信号に基にした外骨格を開発する。 外骨格は、運動障害を持つ人が物をつかんだり歩行することを可能にし、体力、持久力と術後のリハビリテーションを向上させる。 4. 空飛ぶ小型トラック・自動車に利用される骨格・スキン材料を開発する 空飛ぶ小型の個人用移動体に利用できる骨格・スキン材料を開発します。軽量、高い強度、安全性、量産性と価格など考慮する必要があります。 5. ばねの変形と疲労を考えよう 機械の中には歯車、ばねが多用されます。ばねに作用する力を考察し、変形を考え、疲労破壊を勉強し、壊れないばねにするための方法を考えます。 6. Computer Aided Engineering による棒線材圧延工程設計 非線形FEM を利用した使いやすいCAE 解析システムを利用して、長大橋や自動車用部材の素材である棒線のための、圧延工程設計を体験します。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31675	S	昆虫の野外生物学	土畑 重人、奥崎 穰	教養学部学際科学科	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		生物の生態を理解するためには、野外での分布と活動のパターンを明らかにする必要がある。本実習では、昆虫を対象とした野外でのデータ取得の実習を行い、野外生物学の基礎を習得する。 駒場キャンパス内の緑地を調査フィールドとする。実習の前半では、捕食者の分布を餌生物の個体数密度で説明されるかどうかを確かめるために、甲虫オサムシの生息状況とその餌であるミミズの個体数を調査する。後半では、社会性昆虫であるアリを対象として、種多様性と構成種の特性、生息地微環境との関連を調査する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31674	S	最先端の生命科学研究を駒場で体験する	大杉 美穂	教養学部統合自然科学科	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓している。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらう。 研究の進め方は教員と相談して決める。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合がある。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する。 統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、26もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。 生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。 担当教員と研究テーマ： 大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学 道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどうに関わるか					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31664	S	獣害問題とは何の問題か（自由自主の企画系伊豆に学ぶ） ※対面講義を行います。日帰りで南伊豆を訪ね、獣害の現場を視察し、罠を作り、仕掛けてみましょう。	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		獣害問題に詳しい人向けのゼミではありません。獣害問題について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまうという、普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミです。 ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を学園祭に作ることを一つの具体的な目標とします。 本自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを、伝えてきました。しかし、新型コロナ禍にあって、従前のスタイルで学園祭にて演示することができなくなりました。2021年Sセメスタも「新型コロナ時代版」として、獣害問題と向き合う機会を提供します。 講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。 なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。 「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」という話を耳にすることがあります。 問題はそれほど単純ではないと思われます。 少なくとも、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合わなくてはならないでしょう。 ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢は生じないのかという素朴な疑問が付きまとうでしょう。 「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなど、重要な気付きを得られたと思います。 ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。 本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。 この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決策を提案することではありません。 複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。 答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。 大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手ことは得意でしょう。 皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないかも知れません。 答えが出せない複雑な問題は、うまく避けて通ればよいのでしょうか。 新型コロナ禍により宿泊を伴う実習がままならない状況にあります。 本ゼミでは日帰りで、南伊豆を訪ね、獣害の現場を視察し、罠を作り、仕掛けてみます。せっかくなので手作りイノシシソーセージを試食していただきましょう。 従来は、東京大学体験活動プログラム「伊豆の体験活動 獣害編」によってゆっくりと向き合う時間を取ってきました。 本ゼミではその一部分だけ掻い摘んで体験してもらいます。 さて、前述した様に、このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。 問題の本質が何であるのかと一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。 Sセメスタ開始後すぐに五月祭（5／16，17）があります。 五月祭ではゼミの先人が用意してくれ企画に乗っていただきます。 君たちの本番は次の駒場祭です。 駒場祭企画をどうするか、好きなように創作していきましょう。 ※受講人数：10人（南伊豆には、数人ずつ複数回に分けて行く） ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。 ※講義：オンライン(Zoom)で隔週で1時間程度 ※学園祭に自分たちの企画を出展することを目標とする ※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。 ・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。 ・件名を「自由自主の獣害問題ゼミ」としてください。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31646	S	電池レス IoT デバイスのためのエネルギーハーベスティング	鈴木 雄二	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 近年、IoT（モノのインターネット）が注目され、ばらまき型の無線センサやウェアラブルデバイスが我々の生活で使われ始めようとしています。これらのデバイスの電源には、ボタン電池などが用いられていますが、頻繁に交換や充電をしなければなりません。ある報告によれば、IoT への応用の 90%が電力供給に課題があるとされており、普及の大きな障害になっています。 本ゼミナールで対象とするエネルギーハーベスティング（Energy Harvesting、環境発電）は、環境の中に薄く広く存在する振動や熱などのエネルギーから微弱な電力を取り出すもので、無線センサやウェアラブルデバイスを電池なしに駆動できる技術として最近多くの取り組みが行われています。 本ゼミナールでは、特に、環境の振動を用いた振動発電、熱・温度差を用いた熱発電をとりあげ、講義と実験を通じて発電原理・しくみの理解と、腕時計型ウェアラブルデバイス、農業用無線センサなど、応用デバイスの社会への展開について学習します。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31655	S	未来を拓く化学	小澤 岳昌	理学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		地球レベルから生命現象までの広範な物質世界を、分子レベル、分子集合体レベルで解明し、新しい自然観を探究する現代化学のフロンティアを講ずる。化学の各分野の教員が、最先端の研究について易しく解説し、化学の未来について考える。講義中に研究室見学を行う。 ガイダンスは行わない。資料が ITC-LMS にアップしてあるので参照すること。					

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31682	S	数理物理への誘いー解析力学と相対性理論ー	加藤 晃史	数理科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 現代的な物理学は難しいと考えられがちだが、数学的構造と物理的内容を区別してそれぞれをきちんと理解すれば、教養レベルの数学と物理の知識で十分に理解可能である。本ゼミナールは、解析力学と相対性理論を題材として数理物理の広大な世界への入門としたい。 予備知識としては1年次に学ぶ力学、線形代数、微積分、微分方程式などの基礎的な知識（特にテイラー展開や合成関数の微分の連鎖律など）を仮定するが、未修であっても必要に応じて適宜解説する予定である。 わずかな基本原理を仮定し、論理的な考察によって驚くべき結果を次々と見出したアインシュタインら先人達の驚きを追体験しよう。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31726	S	ICT は教育をどう変えるか	坂口 菊恵、 開 一夫	教養教育高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日本でもようやく教育への ICT 活用に本腰が入られようとしてきています。その展望は本来、授業のオンライン化や学校現場への PC・タブレット配布にとどまるものではありません。デジタル化により取得される個人の学習データに基づく学習カリキュラムの導入は、これまでの「学校」や「教室」のあり方を革新する潜在的なパワーを持っています。データにもとづく効率的なサービスの提供には、教育の場面でもパーソナルデータの考え方が不可欠です。すなわち、何らかの個人番号をキーとしてさまざまなサービスを結びつけ、教育や研究活動を円滑化するための個人情報利用のレギュレーションをつくり、個人がそれに同意・参加したいと思うようなシステムをつくっていく必要があります。こうしたデータ利用の合意が取れた先には、どのような変革の展望が見られるか予想してみましょう。 多くの知的作業が急速に自動化され、激しく変革していくことが予想される社会でも通用するものとして、イノベーション教育が注目を集めています。パーソナルデータの中でも、学習の生理的プロセスを脳機能イメージングなどを用いて可視化していくことにより、個人にとって最適な学習効率の向上が期待されます。イノベーション教育をニューロフィードバックによって補助することにより、学術的生産性の向上のみならず、生き方の多様性・レジリエンスのスキルを身に付けさせることが、教育のとりくみとして重要性を持つてくることも考えられます。 本ゼミナールでは、こうした変革をもたらすであろう基礎技術のひとつとして、異なる知的活動を行っている状態での脳波や行動の分析を体験し、教育がもたらす社会の変革を議論します。個別最適化を支援する実践家の方を招いた討論も行います。既に教育実践に取り組んでいる学生の経験の共有の機会も設けます。 授業形態はオンライン主体で一部対面を予定しています。秋季休業期間中に教育実践現場への任意参加の見学ツアーも企画します。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31697	S	工学研究の最前線を支える実験装置を体感・体験する	長谷川 洋介	生産技術研究所	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 大学における基礎的学習やこれをベースに展開する研究が、その後どのように社会に還元され実装されるかを実感する機会は今まであまり無かったであろう。本体験ゼミナールでは、工学研究を対象に、これが実社会とどのように結びついているか、その社会実装に向けてどのような工夫がなされているかについて、工学研究の実験的・実証的研究のために本学で活躍している試験装置や、普段は見かけることのあまり無い実験機器、可視化装置を実際に間近に見て体験することにより、工学研究の最前線・最先端の現場をより身近に臨場感を持って知り、理解を深めることを目的とする。本体験ゼミナールでは、これらの装置やそこから生み出される研究成果の理論的内容や背景を理解するというより、むしろこのような装置から社会に直接的・間接的に役立つアウトプットが生み出されている実態を「知ってもらふ」ことに主眼を置いており、したがって文系、理系を問わず、実物を間近に見て体験することに興味を持つ学生諸君の参加を期待している。 ※ガイダンスは4月12日（月）および4月14日（水）の12:20～12:45にオンラインで行う。 ※受講人数を15名に制限する。 また、体験型講義であるため、現地実習に参加可能な学生のみに履修を制限する。 なお、15名を超えた場合は受講者の公平を期してくじ引き等で受講生を選抜することがある。また、新型コロナウイルス感染拡大等の状況に応じて、実習スケジュールの変更や演習自体の取り止めの可能性があるので、ガイダンスでの情報提供や UTAS からの情報等に注意されたい。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31638	S	UT チャレンジャーズ・ギルド A	廣瀬 明	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい!」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。 まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。 ※受講人数：10 名 ※開講場所： 駒場 KOMCEE 3 階 K301 号室 （オンライン講義の可能性がありますが） 受講を希望する学生は、廣瀬 (ahirose[at]ee.t.u-tokyo.ac.jp) までメールで申し込みこむこと。(希望者多数の場合には抽選) ガイダンス/ Guidance： 工学部の合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加するほか、第 1 回講義で行う。個別ガイダンスは 4 月 6 日 18：45 から行う。以下の Zoom リンクから参加のこと。 【UTAS を参照】					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31707	S	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る&動く～	高野 明	相談支援研究開発 センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。 この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得・体験することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。 なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31618	S	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である。室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度、重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計、製作し飛行させることを目標とする。小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており、講義、実習を通じてこれを理解する。 このゼミは工学部合同説明会への参加を予定しています。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40272	S 2	徹底検証・スギ&ヒノキ～もつ と知ろう木材のこと～	石橋 整司、齋 藤 暖生、當山 啓介、安村 直 樹、藤原 章雄	農学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 日本には「森林の文化」、「木の文化」があるといわれる。たしかに日本の国土は森林が成長するのに適した温暖多雨な気候であるため、高山などの一部の地域を除いて森林に覆われており、自然が少なくなったといわれている現在でも国土の約 7 割を森林が占めている。古来日本人はその生活の中で森林と密接な結びつきをもち、衣食住に関わるさまざまな資源を得る場として、また生活空間の一部として利用してきた。 こうした日本の「森林の文化」、「木の文化」を支えてきた代表的な樹種である「スギ」や「ヒノキ」は今でも国土の森林の多くの面積を占めており、日常的に森林や木材に関わることの少ない人々の間でもよく知られた樹種である。しかし、「スギ」や「ヒノキ」が日本で育まれてきた「木の文化」にどのように貢献してきたのか、日本人は「スギ」や「ヒノキ」の何に価値を見出して利用してきたのか、そもそも「スギ」や「ヒノキ」とはどのような特性を持つ樹なのか、という一歩踏み込んだ知識を持っている人は意外に少ない。 全学体験ゼミナール「徹底検証・スギ&ヒノキ～もつと知ろう木材のこと～」では、「スギ」や「ヒノキ」という樹種の特性や日本人との関わり方の歴史、実態について広く学ぶことを通して、日本の「森林の文化」、「木の文化」そして日本人と森林との関係を学ぶものである。 本ゼミナールはガイダンスを含む駒場での 5 回の講義（木曜日 5 限）と千葉演習林と都内における 2 回の日帰り現地講義で構成されている。講義の日程（予定）は以下の通りであるが、各回の講義内容や講義の順番は変更となる可能性があるのでガイダンスで確認してほしい。 6 月 10 日（木）ガイダンス 6 月 17 日（木）第 1 回講義「日本人とスギ&ヒノキ」 6 月 24 日（木）第 2 回講義「スギとヒノキの林業経営」 6 月 26 日（土）千葉演習林での現地講義「スギとヒノキを育てる現場」 7 月 1 日（木）第 3 回講義「木工素材としてのスギとヒノキ」 7 月 3 日（土）都内での現地講義「林業、スギとヒノキの使い方」 7 月 8 日（木）第 4 回講義「スギ花粉症と外部費用」 7 月 15 日（木）第 5 回講義「スギとヒノキを活かす」 現地講義の際の交通費や施設見学料は自己負担となる。詳細な講義日程等についてはガイダンスの際に説明する。 履修者数は COVID-19 対策などの関係から最大 9 名とする。希望者多数の場合は選抜を行う。 ※このゼミは 4 月 日（6 限（18：45～）に駒場キャンパス 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31680	S	多変数関数の微分	齋藤 秀司、 清野 和彦	数理科学研究科	金 2	2	1 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 理系の 1 年生が S セメスターに学ぶ熱力学では、物理的な状態を表す関数が多変数関数であるため、状態の変化は多変数関数の微分によって表されます。しかし、大学に入学したばかりの 1 年生のほとんどは多変数関数の微分どころか多変数関数にさえ触れたことがありません。一方、多変数関数の微分が数学の講義で扱われるのは S2 タームの後半から A セメスターのはじめにかけてです。そこで、このゼミナールでは多変数関数の微分についてゆっくりと学びます。必要なことは熱力学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって熱力学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見ただけで数学の記号が出てきただけでめまいがして熱力学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。 なお、熱力学の物理学としての内容には一切触れませんし、熱力学で使う数学のすべてを網羅するものでもありません。逆に、熱力学には直接出てこない内容も扱います。あくまでも数学の授業ですので、誤解のないようにお願いします。また、1 変数関数の微分をよく理解していることを前提にしませんので、多変数関数の微分とはどんなものかということに興味のある文系の学生も歓迎します。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40278	S 2	英語で拓く工学世界への扉 / Gateway to the World of Engineering	秋山 友香	工学部	金 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本ゼミナールでは、日本の誇る科学技術を世界に発信するために戦ってきた先駆者や、国外の機関で留学・研究・技術開発の経験を積んだ講演者の方々をお招きし、彼らの成功秘話や失敗談について語る。また、国際交渉の仕方、第二言語習得論、言語学習のストラテジー、英語の履歴書や E メールの書き方、グループプレゼンテーションの仕方なども授業で扱う予定である。このような活動を通して、世界への扉を拓くのに不可欠な英語力、異文化間能力(intercultural competence)を習得し、工学の分野での世界展開に興味を持ってもらうことを目的としている。授業の使用言語は英語であり、教員との連絡もすべて英語で行う。 ※1. このゼミは 4 月 6 日(火) 6 限に Zoom で行われる工学部合同ガイダンスへの参加を予定しています。 ※2. ハイブリッド式の授業形態を予定していますが、コロナの状況や講演者の方々の希望などにより、完全にオンラインで授業をする可能性もあります。 ※3. 履修者の上限は 25 人です。感染対策のため、対面授業の履修者の上限は 18 人としします。残りの 7 人には同時中継で参加してもらいます。 ※4. 履修希望者が 25 人の上限を超えた場合、授業初日に行うアンケートの内容を考慮し、2 週目の授業までに教員が選抜し、その結果をメールします。 ※5. 第 1 週はオンラインで行います。興味のある学生は必ず参加してください。 In this seminar, we will hear lectures by world-famous engineers who have striven to disseminate their knowledge to the world and those who have engaged in study, research, and technical development outside of Japan. We will discuss their success stories as well as challenges in working with engineers from other parts of the world. The class will also cover various topics including how to manage international negotiations, how to learn a second language and how to do so strategically, and how to write a resume/CV, email, and give a presentation in English. Through these activities, students are expected to acquire the English skills that are essential for "opening the gateway to the world of engineering" and develop a deeper understanding of engineering and its development overseas. English is the common language used in this class, and students are expected to communicate with the instructor and invited lecturers in English. *If you are interested in taking this class, please attend the guidance via Zoom on April 6th (Tue) in the 6th period.							

全学体験ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31679	S	じっくり学ぶ数学 I	齋藤 秀司、 牛腸 徹	数理科学研究科	金 5	2	1 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということになるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。 一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。 ※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31724	S	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 囲碁は、古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく、国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは、囲碁のルールを学び、お互いの実戦を通じて、判断力、分析力、洞察力、集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として、基本のルールから教える。 第 1 回にオンラインでガイダンスを行い、履修希望調査（ITC-LMS で提出）をふまえ受講者「24 名」を決定する。 ※受講可能人数は 24 名（密を避けるため例年より少ない） ※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る ※ガイダンスはオンラインで、セレクション後の講義は対面で行う。オンラインでの参加はできない。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31688	S	極限的プラズマの世界―核融合から宇宙まで―	吉岡 和夫	新領域創成科学研究科	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 宇宙空間の物質のほとんどの原子は、イオンと電子に分離した「プラズマ」状態にあり、惑星磁気圏や恒星表面、さらにはブラックホールなどの環境下においてプラズマの振る舞いが重要な役割を果たしている。また、日常生活範囲内においても、蛍光灯やディスプレイだけでなく、半導体プロセスや医療分野、さらには電気推進ロケットや核融合発電においてもプラズマが応用されている。本ゼミナールでは、入門的なプラズマの講義を行った後に、日常では見られない極限的なプラズマとして核融合実験装置での実験および地球上層大気での流星プラズマの観測を中心とした体験学習を実施する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31642	S	ロボット競技を体験しよう C	國吉 康夫、新 山 龍馬	工学部	金 6	2	2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系能力も不可欠である。 本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。 専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。 本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される。A に参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。 発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。 講義はオンライン実施予定である。対面講義の実施が可能な状況の場合、機械加工に関する安全講習および実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。 ※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31627	S 1	1 分子デジタルバイオ分析	鈴木 康介	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本授業の目的は工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深める。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31628	S 1	ナノ化学による匂いと健康状態 のデジタル化	鈴木 康介	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本授業の目的は工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深める。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31626	S	バイオマテリアル作り体験	吉田 亮	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 人工臓器に代表される医療機器の材料をバイオマテリアルと呼ぶ。バイオマテリアルの中には、骨などを代替するセラミックス、金属材料、さらには血管などに使われる高分子材料がある。本講義では、高分子で機能性バイオマテリアルをつくる体験をする。また生体と材料が接した際に起こる反応を細胞実験を通して学ぶ。 (内容は年によって若干変わります)。					

[illegible]

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31669	S 1	伊豆に学ぶ（夏）伊豆編 S1 伊豆日帰りの炭焼き体験 【注意】オンライン受講はできません	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 見え易い目標として、伊豆に学ぶ（夏）東京編で石窯料理に使用する竹炭を自分で焼くことが上げられる。表向きはそれで構わないが、少し見えにくい目標がいくつもあると思って本ゼミに臨んでいただきたい。 近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができていますでしょうか。 日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？ 山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？ そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。 【注目ポイント】 本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずです。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。 大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。（2年生でも間に合いますが、）1年時の受講をお奨めします。 ※「伊豆に学ぶ（夏）東京編」「伊豆に学ぶ（夏）伊豆編」をセットで履修することをお勧めします。 ※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらっておりました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組みれば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。 コロナ渦中であって、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021 年度 S セメスタは宿泊を伴う講義を実施できません。その状況は、必然的に伊豆でしかできないことと東京でも何とかできることの仕分けを迫ります。 「伊豆に学ぶ（夏）東京編」は伊豆にお連れしなくても実施可能なアクティビティで構成します。ここまでの流れから、伊豆でなくても実施できると書いてしまうと、あまり重要ではないアクティビティの寄せ集めではないかと訝しく思うかもしれません。 心配はご無用です。伊豆で実施して来たアクティビティを東京に持ち込んで実施できそうだという話です。具体としては、薪割りの体験と石窯料理（イノシシピザ）体験を実施する予定です。 一方の「伊豆に学ぶ（夏）伊豆編」では伊豆の地でないと実施困難なアクティビティを実施します。日帰りとなるので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。（伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。） 東京編・伊豆編のどちらかが優れているということはないと思っています。是非、両方とも受講していただきたいというのが本音です。 以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。 樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称:伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人の繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあるだろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるのもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31668	S 1	伊豆に学ぶ（夏）東京編 S1 弥生で薪割り&石窯ピザ体験 ※この講義は対面形式で実施します。	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 見え易い目標として、伊豆に学ぶ（夏）伊豆編 S1 で自分で焼いた竹炭を実際に石窯料理に使用することが上げられる。表向きはそれで構わないが、少し見えにくい目標がいくつもあると思って本ゼミに臨んでいただきたい。 近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができていますか。 日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？ 山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？ そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。 【注目ポイント】 本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずで、理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。 大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。（2年生でも間に合いますが、）1年時の受講をお奨めします。 ※「伊豆に学ぶ（夏）東京編」「伊豆に学ぶ（夏）伊豆編」をセットで履修することをお勧めします。 ※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらってありました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組みれば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。 コロナ渦中において、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021 年度 S セメスタは宿泊を伴う講義を実施できません。その状況は、必然的に伊豆でしかできないことと東京でも何とかできることの仕分けを迫ります。 「伊豆に学ぶ（夏）東京編」は伊豆にお連れしなくても実施可能なアクティビティで構成します。ここまでの流れから、伊豆でなくても実施できると書いてしまうと、あまり重要ではないアクティビティの寄せ集めではないかと訝しく思うかもしれません。 心配はご無用です。伊豆で実施して来たアクティビティを東京に持ち込んで実施できそうだという話です。具体としては、薪割りの体験と石窯料理（イノシシピザ）体験を実施する予定です。 一方の「伊豆に学ぶ（夏）伊豆編」では伊豆の地でないと実施困難なアクティビティを実施します。日帰りとなるので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。（伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。） 東京編・伊豆編のどちらかが優れているということはないと思っています。是非、両方とも受講していただきたいというのが本音です。 以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。 樹芸研究所と聞いて何する所?と思われるだろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称:伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人の繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあるだろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31637	S 1	医工学ってなんだろう？！	松永 行子	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 予防・診断・治療が一体化した未来型医療システムの創成に貢献する学問分野として「医工学（バイオメディカルエンジニアリング）」があります。医工学は物理・電気・機械・化学・材料・生命科学の学問分野を有機的につなぎ、革新的な医用技術を通じ、人類の健康と福祉の増進に貢献することを目指す分野です。本講義では、本学工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻の教員が中心となり実施します。3つのキャンパスを訪問し（*）、生産研、医科研、本郷で行われている医工学研究について学ぶことを目標とします。 *ガイダンスは全学ゼミ工学部同業ガイダンス 4/6 or 7 にオンラインで実施 体験ゼミ自体は3つのキャンパスで少人数で対面で行う。場合によってはオンラインの可能性もあり。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31631	S	化学システム工学が拓く 医療・バイオを体験しよう！	伊藤 大知	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 化学システム工学のアプローチを用いた様々な医療・バイオ研究の最前線を体験する。 以下の 4 つの研究テーマから一つを選んで体験してもらう予定です。 1) 人工臓器：ECMO (extracorporeal membrane oxygenation：体外式膜型人工肺) の運転を見学する。 2) ナノ医療診断：発光するナノ粒子を用いたがん診断を体験する。 3) 生体分子解析：色の変化で毒を検出することができるバイオセンサを作成する。 4) 細胞アッセイ：培養細胞を用いてマイクロプラスチックの人体影響を予測する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31630	S	化学システム工学が拓くエネルギーを体験しよう！	山田 淳夫	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 「化学システム工学のアプローチを用いたエネルギー分野の研究の最前線を体験する」 具体的には、“リチウムイオン電池”と“水の電気分解”を取り上げ、それぞれどのようなデバイス・技術なのか、エネルギー問題の解決にどのように貢献するのか、について学びます。 リチウムイオン電池は、スマートフォンやノートパソコンなどに使われている繰り返し充電可能な電池です。最近では、電気自動車や電力貯蔵用途としての採用も進んでおり、貯蔵エネルギー量の更なる増加が求められています。本ゼミでは、まだ実用化されていない新材料を含むさまざまな電極を用いてリチウムイオン電池を作製し、その充放電特性の違いを評価します。それにより、リチウムイオン電池の構造と反応メカニズム、更なる高性能化に向けた課題について学びます。 一方で、電気エネルギーを化学エネルギーに直接変換するプロセスとして電極触媒反応があります。電極触媒を用いることで、例えば再生可能エネルギー由来の電力を駆動力とし、水から水素を製造することができます。本ゼミでは、その水電解プロセスのうちアノード反応である酸素生成反応に焦点をあて、種々の電極触媒を実際に調製し、かつその電極としての性能を評価します。その体験を通じて、電極反応やその反応機構についての理解を深め、本プロセスの課題について学びます。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31629	S	化学システム工学が拓く環境を 体験しよう！	脇原 徹	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 「化学システム工学のアプローチを用いた環境分野の研究の最前線を体験する」 具体的には、ナノ空間材料”ゼオライト”を取り上げ、現在の環境問題にどのように貢献しているのか、また、今後どのような貢献が期待されるかを学びます。 “ゼオライト”は、シリコン・アルミニウム・酸素から構成され、その構造の中に分子サイズの空間を持っている結晶材料です。その空間を制御することで、触媒・吸着・イオン交換などの様々な機能を持たせることができ、人類が直面する様々な環境問題への応用が期待されています。 本ゼミは、本郷キャンパスにある大久保・脇原研究室、駒場Ⅱキャンパスにある小倉研究室の2か所で行います。状況が許せば講義は駒場Ⅱキャンパス、対面演習・研究室見学は本郷キャンパスで実施したいと考えており、4月の段階で詳細を決定する予定です。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31656	S	化学の最前線を体験する	佃 達哉	理学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 数人のグループを単位として理学部化学科の研究室に加わり、教員の指導の下、最先端の化学に関する実験を経験する。通常の学生実験とは異なり、各研究室において、現在研究が繰り広げられている、まさに「生きた」化学を体験する。本ゼミにより、化学研究のフロンティアに触れるとともに、基本的な研究の進め方や考え方、最新の実験設備の使用法や付随する技術を学ぶ。実験終了後には、成果発表会を開き、グループごとに研究の意義、実験の結果などについて報告する。同報告会を通し、研究成果のアピールの仕方やプレゼンテーションに関するスキルについても会得する。 ※受講人数：20名程度 ※ガイダンス：4月5日（月）6限（18:45～）にオンラインで行う。 ※開講場所：理学部化学本館、西館、東館 ※開講期間：8/4(水)、8/5(木)、8/6(金)の3日間を予定している。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31636	S	海で学ぶー臨海実験所における海洋体験実習ー	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】対面授業（実習）に参加可能な学生のみに履修を制限する 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意して下さい。 海洋という幅広い分野を総合して考えることの出来る人材の育成および、海洋関連研究者・大学院生の活動を支援することが、機構「海洋アライアンス」の目的である。本講義は、海洋アライアンスに関連する教員が、東京大学三崎臨海実験所において行う学部1・2年生を対象とした体験ゼミナールである。臨海実験場は1886年にわが国最初の、世界でも最も古い臨海実験所の一つとして設立された。本講義では、海洋生物学だけでなく、広く理学・工学・農学における海洋分野の研究に関連する実習演習を、短期集中講義（宿泊施設を利用した合宿）として実施する。実験所内の最新設備を利用した実習、近隣の海浜における自然観察、定員25名の実習船臨海丸（17トン）における航海実習などを行う。また、専門教員が関連するレクチャーを行う。http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ 以下は平常時に行われている実習内容です。 新型コロナ感染防止のため、オンラインによる講義、学生プロジェクトの実施と、臨海実験所での体験実習のハイブリッドで実施予定。ただし、状況により対面実習が難しい場合は、中止とする。 ・臨海丸による乗船実習(プランクトンネット、ROV 観察) ・臨海丸レーダー・ソナー見学 ・和船の操船実習 ・ROV 操作実習（栈橋にて） ・栈橋での灯火採集 ・採集生物の分類 ・顕微鏡による生物観察 ・海岸での地質見学 ・海水分析 ・油壺マリンパーク水族館見学 ・Short Lecture Series ※受講人数：20名以下に制限する。 ※ガイダンス：4月初め（未定、工学系ガイダンスで紹介あり） ※開講期間：8月―9月の間の3日間 ※開講場所：東京大学三崎臨海実験所					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31625	S	感動体験！ 鉄の世界から未来を眺める	松浦 宏行	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。 ※※※注意事項※※※ 2021年度はCOVID-19の影響をふまえて下記の対応とします。 1) 単位取得要件は講義出席とレポート提出とします。 2) 1)を満たした方から製鉄所見学者を募ります。 3) 製鉄所見学者数を絞りますので、希望されても見学に参加できない可能性があることをご了承ください。 皆さんは「鉄鋼」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。「鉄は国家なり」、「鉄は産業の米」などと言われるように遥か以前より国家・産業・社会の基盤となる重要なキーワードとして捉えられてきました。鉄鋼材料は過去から現在に渡って社会の基盤材料として活躍し、おそらく今後もその位置を維持し続けるものと考えられます。 本講義では鉄鋼材料の製造プロセスを学び、さらにその理解を深めるために、生産現場、つまり「製鉄所」を見学します。日本の製鉄所は100年以上の歴史と技術と先人の努力を蓄積し、世界随一の製造技術と効率を発揮しています。高さ100mにも及ぶ「高炉」や1600℃以上の溶鋼が作り出される「転炉」、総延長1km以上の「熱間圧延工程」など、いずれもテレビで見かけたことがあると思いますが、実際にそこでどのようなものがどのようにして作られ、そして最先端の製造技術が具体的にどうやって活かされているのか現場を通して学びます。 日本の製造業の根幹である鉄鋼材料を生み出す現場とその技術、そしてそこで働く方々の想いを一緒に学びましょう。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31705	S	空間デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 空間デザインを通して「アイデアをカタチにする」体験をするのがこの授業の目標である。概念と形象をつなぐことは、アートやデザインなど多くの創造的活動の根幹をなす作業である。この授業では、受講者自身が空間デザインのアイデアを立案し、具体的なカタチをつくりあげるまでを実習する。概念構築と形態創造における独創的かつ意欲的な取り組みに期待する。空間設計の知識や模型制作の経験は必要としない。文系/理系に関わらず、デザイン・造形・建築などに関心があれば、ぜひ履修してほしい。 ・2021 年 4 月 8 日(木)5 時限(17:05～)に Zoom によるオンラインの授業ガイダンスを実施する。授業ガイダンスの URL は、UTAS シラバスの「オンライン授業内容」の項を参照のこと。 ・当授業の履修希望者は、ITC-LMS に登録された小課題を 4 月 9 日(金)20:00 までに提出すること(必須)。履修希望者が予定数を上回るときは、この小課題によって選抜を行う。選抜を行った場合、4 月 12 日(月)までに ITC-LMS で履修許可者を発表する。 ※履修人数：20 名に制限する。 ※開講期間：2021 年 6 月 12 日(土)、6 月 19 日(土)、6 月 26 日(土) ※開講場所：駒場キャンパスの教室での開講を予定しているが、COVID-19 の状況によっては Zoom を使ったオンライン授業とする。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31634	S	鉱物資源はどこでできるのか？ ーフィールド調査と鉱物採集の旅ー	加藤 泰浩	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 私達の文明の発展は、様々な鉱物資源によって支えられています。また、ある種の鉱物は宝石と呼ばれ、その美しさで私達の心を満たしてくれます。このような「鉱物資源」は、どこで、そしてどのようにして出来るのでしょうか？東京周辺でも、1970 年代までは様々な鉱山が稼行し、鉱物資源が採掘されていました。また実は、美しい鉱物が採れる場所というのも、東京近郊に多数存在しています。そこでこの授業では、東京周辺で日帰りの野外巡検を行い、こうした鉱物資源を実際に採取・観察してもらいます。そして、それを通じて鉱物の魅力に触れてもらうとともに、私達の生活を支える鉱物資源への理解を深めてもらうことを目標とします。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31672	S	春の奥秩父を巡る	山田 利博、坂上 大翼、 平尾 聡秀、浅野 友子	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知るとは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。 本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系の見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然攪乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、かつて薪炭林だった二次林や生産林としての人工林など、過去から現在までの森林利用を学ぶとともに、山村での郷土食作りを体験します。最終的には、手つかずの老齢林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父地域の自然を体験し、経験的に自然を知るという科学の基本的なアプローチを学ぶことを期待しています。 ※対面での現地講義に参加可能な学生のみに履修を制限します。 ※受講人数を 7 名以下に制限します。 ※受講希望者は 4 月 8 日（木）のガイダンスに参加して下さい。 ※担当教員：山田利博・平尾聡秀・浅野友子・坂上大翼 ※このゼミは○月○日（○）18 時 40 分～19 時 45 分に○○にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31667	S 1	森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山 S1 【注意】オンライン受講はできません	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができていますでしょうか。 日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？ 山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？ そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。 【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。 【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。 あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか。 このゼミは東京近郊の身近な山を森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。もともと、夏学期には富良野の大自然の中にお連れして、北海道演習林で林業と向き合うゼミと、冬学期に舞台を東京近郊の低山に移して提供して来たプログラムです。 しかし、新型コロナウイルスの影響により宿泊を伴う実習を実施できないため北海道にお連れすることが事実上できません。富良野にお連れする代わりに、夏学期にも東京近郊の低山にお連れすることにした次第です。 森林・林業を意識する？ 山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それもまたよし。 無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。 私たちが生きる現代社会の特徴 私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるとい、いわば生活習慣によって観察できない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。 このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。 資本主義経済が支配する社会では 資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。 このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。 何か正解を見つけない山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある問題とは限りません。よく考えてみることでそれ自体がこのゼミの目的と言えます。 よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。 新型コロナウイルスが収まりましたら、2022 年度には姉妹ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」も是非どうぞ。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31616	S	全国高校生社会イノベーション 選手権 I	小松崎 俊作	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは、新しい価値を生み出すイノベーションしかありません。世界の人々が賞賛する、日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか。そのためにはイノベーションを生み出すことのできる人材を育てることが重要です。 中等教育においても、創造性を育てることが新たな教育指導要領に盛り込まれ、イノベーション教育が爆発的に広まろうとしています。そこで私たち（工学部社会基盤学科）は、イノベーション創造に取り組む全国の高校生にとって目標とする大会を創出すべく、2018 年度から全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）を開始しました。（2020 年 8 月の第 3 回大会には全国から 92 チームのエントリーがあり、市川高校（千葉県）が優勝、愛光高校（愛媛県）・栄光学園高校（神奈川県）が準優勝となりました。） この全学体験ゼミナールは、駒場生の皆さんにもイノチャン企画・運営に参加していただき、イノベーションを生み出す作法や楽しさを知っていただくこと、自ら新規事業（イノチャン）を興す体験を一度でも得ていただくことを目的としています。 ※全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）は、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻（工学部社会基盤学科）主催事業です。 イノチャンの詳細、ならびに最新情報は、 http://innochan.x0.com/ からご確認ください。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31624	S	超高分解能電子顕微鏡で観る物質中の原子のならび	伊藤 剛仁	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 原子ってどんな姿をしていると思いますか？ 本体験ゼミでは、世界最高性能の電子顕微鏡を用いて物質中の原子像の観察に挑戦します。そして、その原理や仕組みを学びます。物質中の原子1つ1つを並べて、物質の機能や性質を自在にデザインできたら・・・というナノテクノロジーの夢に、少しずつ近づいている最先端技術の一端を実感してほしいと思います。 本ゼミの個別ガイダンス(マテリアル合同、オンライン予定)を別途行います。参加希望者は出席して下さい。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31802	S	東京大学アントレプレナーシ ップ・サマー・ブートキャンプ (UTokyo Entrepreneurship Summer Bootcamp for Freshmen)	各務 茂夫	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 世界が直面する様々な問題の課題解決に主体的に貢献できるベンチャーマインドに溢れた東大生を育成するために、学部 1・2 年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の短期集中プログラム（ブートキャンプ）を実施する。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31673	S	房総の常緑樹林で森林動態を学 ぶ	楠本 大、久本 洋子、當山 啓 介	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■ 全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。一見、変化の無いように見える森林であるが、長期の視点ではダイナミックな変化が起きている。たとえば、草原から森林への遷移初期は強い光を好み成長の早い先駆樹種（陽樹）が優占するが、その後、暗い場所でも生育できる遷移後期樹種（陰樹）が成長し、先駆樹種と置き換わる。一方、森林の樹冠を構成する樹木が老衰で枯死したり強風等で倒れたりすると、林冠ギャップが形成され、林床では実生が発芽したり稚樹が成長する。このようなギャップは森林内でパッチ状に発生し、また遷移段階や構成種の違いから、森林の構造は空間的・時間的にモザイク状を呈している。...などと高校の生物では習ったかもしれないが、その教科書の知識は果たしてフィールドの現場で通用するだろうか？本ゼミナールでは、千葉演習林が位置する房総丘陵のモミ・ツガの針葉樹が混交する常緑広葉樹林を対象として、森林生態学の基本的な調査方法を自ら実施して得られたデータを解析するとともに、実際の森林の観察を通じて、リアルな森林動態を学ぶことを目的とする。 ※最大履修受入人数を 12 名とします。希望者多数の場合は選考を行います。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40266	S 2	アイデアを形にするモノづくり 体験 ～ロボットから家電まで ～	川原 圭博	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全身体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 人工知能や、バーチャルリアリティ、自動運転や 3D プリンタによるものづくり革命など、情報技術が今の時代の社会変革を牽引していると言っても過言では無い。今の時代、社会に出た後、どのような夢を実現するにおいても、情報技術を活用しない訳にはいかない。世界中でソフトウェアエンジニアが枯渇しており、腕利きのソフトウェアエンジニアは高待遇で迎え入れられている。とはいえ、ものづくりやプログラミングで必要となる知識は多岐にわたり、未だ初学者にはハードルが高い存在であることは確かである。 本ゼミは、ものづくりやプログラミングに興味はあるけれど、どこから手をつけていいかわからない、もしくは、初学者から中級者へのステップアップを目指したいと思っている人に、コンセプト立案から、ものづくり、そしてプレゼンテーションまでを一気に体験することができる機会を提供することを目的としている。 作るモノは、参加者一人一人が決める。例えば、日常の不便を解消する IoT デバイスやロボットなどなんでも構わない。ものづくりと、プログラミングの基礎を学ぶために、BBC Micro:bit のような初学者でも取りつきやすいシングルボードコンピュータを活用し、ものづくりのノウハウを体得し、流れを習得することに主眼を置く。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40271	S 2	伊豆に学ぶ(夏) 伊豆編 S 2 伊豆日帰りの竹製川床体験 【注意】オンライン受講はできません	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 見え易い目標として、伊豆に学ぶ(夏)東京編で石窯料理に使用する竹炭を自分で焼くことが上げられる。表向きはそれで構わないが、少し見えにくい目標がいくつもあると思って本ゼミに臨んでいただきたい。 近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができていますでしょうか。 日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？ 山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？ そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。 【注目ポイント】 本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずです。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。 大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。(2年生でも間に合いますが、)1年時の受講をお奨めします。 ※「伊豆に学ぶ(夏)東京編」「伊豆に学ぶ(夏)伊豆編」をセットで履修することをお勧めします。 ※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらっておりました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組みれば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。 コロナ渦中であって、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021 年度 S セメスタは宿泊を伴う講義を実施できません。その状況は、必然的に伊豆でしかできないことと東京でも何とかできることの仕分けを迫ります。 「伊豆に学ぶ(夏)東京編」は伊豆にお連れしなくても実施可能なアクティビティで構成します。ここまでの流れから、伊豆でなくても実施できると書いてしまうと、あまり重要ではないアクティビティの寄せ集めではないかと訝しく思うかもしれません。 心配はご無用です。伊豆で実施して来たアクティビティを東京に持ち込んで実施できそうだという話です。具体としては、薪割りの体験と石窯料理(イノシシピザ)体験を実施する予定です。 一方の「伊豆に学ぶ(夏)伊豆編」では伊豆の地でないと実施困難なアクティビティを実施します。日帰りとなるので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。(伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。) 東京編・伊豆編のどちらかが優れているということはないと思っています。是非、両方とも受講していただきたいというのが本音です。 以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。 樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称:伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違おうとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人の繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあるだろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40270	S 2	伊豆に学ぶ(夏) 東京編 S 2 弥生で薪割り & 石窯ピザ体験 ※この講義は対面形式で実施し ます。	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 見え易い目標として、伊豆に学ぶ(夏) 伊豆編 SI で自分で焼いた竹炭を実際に石窯料理に使用することが上げられる。表向きはそれで構わないが、少し見えにくい目標がいくつもあると思って本ゼミに臨んでいただきたい。 近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができていますか。 日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？ 山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？ そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。 【注目ポイント】 本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずで、理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。 大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。(2年生でも間に合いますが、) 1年時の受講をお奨めします。 ※「伊豆に学ぶ(夏) 東京編」「伊豆に学ぶ(夏) 伊豆編」をセットで履修することをお勧めします。 ※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらってありました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組みれば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。 コロナ渦中であって、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021 年度 S セメスタは宿泊を伴う講義を実施できません。その状況は、必然的に伊豆でしかできないことと東京でも何とかできることの仕分けを迫ります。 「伊豆に学ぶ(夏) 東京編」は伊豆にお連れしなくても実施可能なアクティビティで構成します。ここまでの流れから、伊豆でなくても実施できると書いてしまうと、あまり重要ではないアクティビティの寄せ集めではないかと訝しく思うかもしれません。 心配はご無用です。伊豆で実施して来たアクティビティを東京に持ち込んで実施できそうだという話です。具体としては、薪割りの体験と石窯料理(イノシシピザ) 体験を実施する予定です。 一方の「伊豆に学ぶ(夏) 伊豆編」では伊豆の地でないと実施困難なアクティビティを実施します。日帰りとなるので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。(伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。) 東京編・伊豆編のどちらかが優れているということはないと思っています。是非、両方とも受講していただきたいというのが本音です。 以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。 樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称:伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違おうとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人の繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあるだろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40269	S 2	森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山 S2 【注意】オンライン受講はできません	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができていますでしょうか。 日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？ 山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？ そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。 【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。 【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。 あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか。 このゼミは東京近郊の身近な山を森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。もともと、夏学期には富良野の大自然の中にお連れして、北海道演習林で林業と向き合うゼミと、冬学期に舞台を東京近郊の低山に移して提供して来たプログラムです。 しかし、新型コロナウイルスの影響により宿泊を伴う実習を実施できないため北海道にお連れすることが事実上できません。富良野にお連れする代わりに、夏学期にも東京近郊の低山にお連れすることにした次第です。 森林・林業を意識する？ 山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それもまたよし。 無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。 私たちが生きる現代社会の特徴 私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるとい、いわば生活習慣によって観察できない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。 このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。 資本主義経済が支配する社会では 資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。 このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。 何か正解を見つけない山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある問題とは限りません。よく考えてみることでそれ自体がこのゼミの目的と言えます。 よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。 新型コロナウイルスが収まりましたら、2022 年度には姉妹ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」も是非どうぞ。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40273	S 2	東大の別荘「癒しの森」で心も 体もリフレッシュ	齋藤 暖生、近藤 伸介、 三浦 直子、藤原 章雄、 後藤 晋、浅野 友子	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。現代社会において、職場等におけるストレス対策は極めて重大な課題となっている。厚生労働省によれば、強いストレスを感じている労働者は6割にのぼる。メンタルヘル스에不調をきたし休職や離職を余儀なくされる例、新卒就業者が早期に離職する例が多く報告されている。このようなストレス問題は労働者に限ったものではなく、キャンパス内においても無視はできない。東京大学においても、多くの学生が日常的に不安や悩みを抱えており、メンタルヘル스에問題を抱える学生が少なくないことが報告されている。 このような問題を克服するには、ストレスを生みにくい社会づくりを目指すと同時に、個人のストレス対処能力を高めることも重要である。個人がストレスに対処する上で必要とされる能力として、自らの異変に早く気付けること、そしてそれへの自分なりの解決方法を実行できること、が指摘されている。このような自己対処をセルフケアというが、これはキャンパスライフをより豊かに送るために、また卒業後の人生においても重要な能力となる。 本講義は、各人のセルフケアの能力向上の支援することを目的に、メンタルヘル스에関わる基礎的知識・応用事例について講義し、体験を通じて身近な環境を活用したセルフケアの可能性を学ぶことを目標とする。 本講義は、大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）が中心となって企画する科目である。富士癒しの森研究所は、2011年より「癒し」を軸に森林環境を社会に活かす実践的研究として「癒しの森プロジェクト」に取り組んできた。2021年度からは、「続・癒しの森プロジェクト」として学内での連携強化を掲げており、本講義はその一環として、医学部附属病院および環境安全本部の教員の協力を得て講義を構成する。 新型コロナウイルス感染予防対策のため、富士癒しの森研究所を拠点とした現地講義は1日のみとするが、研究所内に立地する東京大学山中寮内藤セミナーハウスは、東京大学の構成員は誰もが利用することができる。本講義を通じて、自然環境や東京大学の施設をフルに活用したセルフケアの可能性を体験していただきたい。 ※受講可能人数：20名まで。 ※ガイダンス：6月4日の第1回目の講義の際に行う。 ※現地講義開講場所：東京都内、および大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所。 ※現地講義開講期間：9月6日（月）夜から9月8日（水）の3日間（いずれも日帰り）を予定。 ※講義は駒場キャンパスにおける3回の講義（6月4日（金）、6月11日（金）、6月18日（金）の5限に実施予定）と、現地集中講義（オンライン受講不可）として9月6日（月）および9月7日（火）に東京都内、9月8日（水）に富士癒しの森研究所において行う。					

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（１）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（２）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（３）海外の学生との日本国内での研修、（４）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年と開講形態や研修内容等が大幅に異なる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40280	S 2	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、専門家とともに発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、その作業を体験する。国際的なチームによる発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の他の発掘調査や研究機関・考古学博物館・大学を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。 その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")日程は教務課掲示板および教養学部地域文化研究「イタリア地中海コース」の HP で知らせる				

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40281	S 2	中国語サマースクール	伊藤 徳也	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。夏休みを利用した中国語集中特訓講座。 選抜試験、説明会の日程は後日決定します。 「関連ホームページ」を毎日チェックしてください。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40282	S 2	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 フランスのアンジェ市（Angers）でフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカッションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う。 【注意】本国際研修（TLP フランス語夏季研修）は夏休み期間中の実施を予定しているものの、感染状況次第で A セメスターに開講を延期し、フランス現地（アンジェ市）での研修実施かオンライン交流・研修か国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとする。最終決定は遅くとも 6 月下旬を予定する。 【注意】この授業は選抜試験を 5～6 月、夏季研修を 8～9 月頃の実施予定。S2 タームの履修確認訂正期間までに選抜が終わらない可能性もあるため、その場合は、選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。したがって履修登録期間に学生が自主的に登録を行ってはならない。成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。 新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講となる可能性が十分にある。						

国際研修

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40283	S 2	スペイン語 TLP 研修（サマープログラム）	受田 宏之	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。本研修は、スペイン語 TLP2 年生の希望者を対象とするサマープログラムで、9 月前半に 2 週間ほどメキシコに滞在する。 定員を 20 名前後としており、それを超える申請のある場合は選抜を行う。 大学で習得したスペイン語を積極的に使うこと、さらにはそれを通じて協定校の学生ら現地の人たちと交流することを目標としている。 具体的な訪問地として、首都のメキシコシティとグアナファト州を考えている。 メキシコシティでは、2 つの協定校（ELCOLEGIO DE MEXICO と UNAM）を訪問し、UNAM 付属の語学学校にてインテンシブなコースを受講するほか、スペイン語でのプレゼンやミニ講義の受講等の様々な活動に励む。 グアナファト州では、世界遺産であるグアナファト市の旧市街、およびサンミゲルアジェンデ等の近辺の町や村を訪問する。				

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40284	S 2	ボン大学ドイツ語サマースクール	川喜田 敦子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意 1】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。 【注意 2】新型コロナウイルスの感染状況によっては、実施形態の変更や研修自体の取り止めもありうることをあらかじめご了解ください。 「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。 ボン大学 Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指す。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行う。				

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40285	S 2	ソウル大学校韓国語研修サマープログラム	三ツ井 崇	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。なお、不開講となる可能性が十分にあるので、注意してください。 TLP 韓国朝鮮語を履修している 2 年生および共通韓国朝鮮語（前期課程において総合科目 L 系列の韓国朝鮮語）の中級以上の授業を履修している（履修したことがある）者を主たる対象として、ソウル大学校での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、また、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国の社会や文化について学ぶ。				

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30752	S	ことばと文学(PEAK)	武田 将明	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Reading Modern Japanese Short Stories NB. Please download and read handouts 0 and 1 on the page of this class at ITC-LMS by the first class on 7 April. As for the detailed schedule, consult handout 0. If you have any trouble in downloading, please contact me via email. This class introduces the history of modern Japanese literature through reading representative short stories published from 1895 to 2012. We will spend two weeks for a story (or a set of stories). In the first week, I explicate the social and literary background of the story. Then, you are to submit via email a short essay on any of the topics (200-300 words). The second week is mainly dedicated to the discussion based on your essay. Positive contributions to the discussion are always appreciated. All course materials are provided via ITC-LMS as pdf files.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30598	S	思想・芸術II(PEAK)	ダルグリーシュ ブレガム	PEAK 前期	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Political Theory (IPT) Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, make claims upon each other and encounter difference in a global world. It stands to reason that without philosophical reflection upon the core concepts at the heart of the social sciences and humanities, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely for these reasons that IPT introduces students to some of the core concepts that they encounter and deploy in their undergraduate studies.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30781	S	思想・芸術IV(PEAK)	BERGMANN ANNEGRET	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Japanese Theater in Visual Arts Representations of theatrical buildings, plays, and actors form a broad spectrum of decorative sujets in Japanese art. The lecture will focus on the visualization of traditional performing arts such as Bugaku, Noh, Kabuki, and Bunraku in painting and woodblock prints. By looking at art works from the 16th to 20th centuries the lecture introduces Japanese theatre and painting traditions and histories. The aim is to provide the participants with basic tools to recognize and analyze pictorial works in the context of Japanese painting traditions and theater history. The examples will be analyzed less as authentic documents than as iconographic notations of performing arts that still prosper today.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30563	S	歴史(PEAK)	バクスター, ジョシュア	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		History of Modern Japan This course is designed to introduce students to the history of Japan from the Tokugawa period until the end of the twentieth century. As a survey course, the content will focus on major historical events such as the Meiji Restoration, the colonization of Korea, the rise of fascism, the fifteen-year war, the postwar economic recovery, and the bursting of the bubble in the 1990s. The use of translated primary sources and films will be used to supplement the readings. The objective is to offer students a traditional historiography of Japan and to introduce them to prominent historical figures through readings of primary sources. Thus the structure of the course will follow the familiar narrative of western modernization, militarization and the postwar economic miracle so that students will have a strong foundation on which to later form a critique of this history in their senior courses.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30178	S	国際・地域II(PEAK)	曾根 康雄	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		China's Economic Reform and Globalization This course focuses on China's on-going economic reform and globalization. In this course, students will study the historical meaning of China's "Reform and Open-door" since 1978, her socio-economic changes caused by reforms, and challenges China is facing in its economic development. The course will also cover some current issues. Students will build a foundation which is required to understand the second largest economy in the world. The course will be conducted in English. The course will cover the following topics: a) China's political economy, b) reasons of successful economic development, c) challenges China is facing, d) impact of China's rise for the rest of the world, e) China's potential to be a leader of the world order, and f) current issues (political events, US-China relationship, currency policy etc).				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31236	S	社会・制度II(PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Law, Science, Technology and Society (LSTS) This course is an introduction to Law, Science, Technology and Society (LSTS) as an emergent field of study. It focuses on LSTS attempt to (re)think the constitutive and legal framework of democracies in relation to contemporary scientific and technological developments that seem to confront individuals with irreversible decision-making processes with a major impact on their lives. Through interactive lectures and case studies, students explore the multifaceted interplay existing between law, science, technology, ethics and society, taking technological developments (in both life sciences and information sciences) and their consequences as a starting point. In so doing, students acquire a robust grasp of why law and ethics need to keep pace with scientific and technological innovation, and how to address the growing gap between emerging technologies and legal-ethical oversight.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30840	S	社会・制度III(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Economic Policy This course is designed to supplement a standard introductory course of economics and will discuss some of the fundamental concepts of economics, with a focus on policy evaluation and analysis. Drawing on the basics of microeconomics with a reference to some more contemporary frameworks (asymmetric information, game theory, behavioral economics, etc.), the course will provide conceptual foundations for evaluating various types of economic policy, including trade policy, antitrust policy, policy of public good provision (environment, knowledge, etc.), and macroeconomic policies. While the knowledge of advanced mathematics is not required for course participation, the students should note that the lectures will include discussions of some mathematical economic models. Meanwhile, although the course mainly targets students who have already studied introductory economics, it sets no prerequisites for registration and is open to all students.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31100	S	心理(PEAK)	渡辺 安里依	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Psychology This is an introductory course that will provide an overview of psychology. The course introduces basic concepts of psychology, including biological, developmental, and social explanations of human and animal behaviour, and how they apply to our everyday settings. Through discussions on various scientific approaches used in the field of psychology, the course provides opportunities for students to broaden their perspective, to pursue their interest, and to think critically.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30997	S	スポーツ・身体運動実習 I (PEAK)	竹下 大介、宮田 紘平、 結城 笙子	PEAK 前期	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30266	S	身体運動科学(PEAK)	竹下 大介、宮田 紘平、 結城 笙子	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Exercise and health science: Application of physiological concepts for the promotion of fitness and wellness The course is designed to provide a theoretical basis for understanding the physiological responses to exercise and the adaptations that occur during exercise. The lecture/discussion areas include the wellness concept, nutrition and support system of the body (cardiovascular, respiratory, metabolic, musculoskeletal and nervous) function. Upon successful completion of the course, students will understand the physiological adaptations that occur following exercise training, the benefits of exercise and the health risks associated with inactivity.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30529	S	エネルギー工学の基礎 (PEAK)	杉山 正和	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Fundamentals of energy harvesting, conversion and management for using renewable energy as major energy sources This lecture aims at obtaining fundamental knowledge about the conversion of energy from primary energy sources (renewable energy sources and fossil fuel) to secondary energy media (electricity, hydrogen, etc.), and the utilization of such energy sources/media in our energy system. The first objective is to understand the physical/chemical principles governing such energy conversion and the fundamental limit of conversion efficiency. Next, we will discuss how we can facilitate the transition of the energy sources from the conventional ones based on fossil fuel to renewable sources. The largest bottleneck lies in the intermittency of major renewable power sources (solar and wind) and the difficulty in the transportation and storage of the energy harvested from such renewable sources. The strategy for the massive dissemination of renewable energy differs among countries. Also, the role of policy is of tremendous importance to compensate the gap in energy cost between the conventional fossil and the emerging renewable. There is currently no singular answer to this issue and the participants in this lecture are expected to develop intensive discussions on how we can realize carbon-neutral towards 2050.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30182	S	生態学の基礎(PEAK)	リチャード シェファースン	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Fundamentals of Ecology (Basic Ecology) To provide students with a foundational understanding of ecology and evolution				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30817	S	統計学(PEAK)	リチャード シェファースン	PEAK 前期	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Fundamentals of Statistics To provide students with a basic knowledge of probability and statistics, and to introduce students to scientific programming using R, the statistical programming language.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30032	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	ドローネ ジャン ジャック	PEAK 前期	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Classical Mechanics This calculus-based Classical Mechanics course provides the foundation for further study of physics and engineering.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30033	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK) (Identity and Narrative)	ディーエル グレゴリー ロジャース	PEAK 前期	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Identity and Narrative This course focuses on the way people use stories ("narratives") to make sense of themselves and their place in the world. Students will study the sociological and social psychological literature on narrative approaches to identity development, and extend this into broader approaches to narrative cognition and popular, historical, and shared narratives within the Asian context. The course will be situated within the context of similarities and differences in cross-cultural models of narratives and narrative structures.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30109	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK) (An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key ideas from quantum mecha	ウッドワード・ジョナサ ン・ロジャー	PEAK 前期	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key ideas from quantum mechanics, molecular statistics and thermodynamics. Due to the situation with Covid-19, this course will be conducted entirely o This course aims to provide a comprehensive introduction to the key ideas in Physical Chemistry with a focus on Quantum Mechanics and Thermodynamics. By the end of the course, students should be able to 1) Understand the failure of classical mechanics. 2) Explain the key principles of quantum mechanics. 3) Rationalize the structure of atoms based on quantum mechanics. 4) Explain why the periodic table has the form that it has. 5) Describe the models of chemical bonding and use these models to predict the shapes and stabilities of molecules. 6) Understand the structure of gases including the effects of intermolecular forces. 7) Make calculations based on the kinetic theory of gases 8) Understand the relationship between the properties of individual molecules and of bulk samples. 9) Appreciate the significance of the Boltzmann distribution 10) Understanding key ideas in thermodynamic including work, heat, enthalpy, entropy and Gibbs energy. 11) Applying the basic concepts of thermodynamics to chemical equilibria				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30302	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK) (Literary Accounts of Japan in/ and Asia)	HOLCA Irina	PEAK 前期	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Literary Accounts of Japan in/ and Asia This class looks at various ways in which Japanese writers described their experience in Asian countries and/ or engaged with the discourse about Japan's role and position on the continent and in the world, from the turn of the 20th century to the early 1940s. For good measure, it also includes texts by colonial subjects, shedding light on their complex experience of Japan and its empire. By reading the proposed literary texts in conjunction with critical works on wider/ more theoretical topics, students will become aware of the way national literature expands its subject matter and style(s) to reflect changing geographical and political landscapes, while familiarising themselves with literary concepts such as travel writing, modernism, shi-shosetsu, etc. They will be able to use the theoretical and practical knowledge acquired in this class to analyse a wide array of texts, literary and otherwise.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30680	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	前田 章	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Decision Analysis practice This course serves as a practice session of the Decision Sciences course that has been offered in the autumn semester. It is designed to provide students who have taken that course with an opportunity to deepen their understanding of the theory and practice in Decision Analysis. Each student in this course will work on a group or individual project. The goal of the project is to identify, formulate, and solve a real world decision problem. First four weeks are review sessions. On the fifth week, students will start their project work, aiming at final presentations on the last two weeks.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30753	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK) (Introductory course in linear algebra)	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introductory course in linear algebra Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications. Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics. Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30959	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK) (Multivariable calculus)	鮑 園園	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Multivariable calculus This course covers the differentiation and integration of a function of several variables. It mainly consists of three parts: partial derivatives, multiple integrals and vector calculus. Improper integral for single variable function, implicit function theorem will also be taught. Some applications of these mathematical concepts will be introduced. This course is a continuation of the single-variable Calculus that I taught in Autumn of 2020.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31023	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK) (Tokugawa Cities)	バクスター, ジョシュア	PEAK 前期	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Tokugawa Cities This course will explore the three most important cities of Tokugawa Japan: Edo, Kyoto and Osaka. These three cities were among the largest of the early modern world and were home to a vibrant urban culture. Edo, the shogun's capital, was nothing but a small fishing village in the early 1600s but, within a century, grew to probably the largest city in the world with over a million people. Kyoto was the imperial capital, famous for its temples and the arts. Osaka was a merchant's city, full of economic activity dominated by the growth of a money economy. While roaming the streets of these three cities, students will be asked to think about how people lived, worked and played. What did they think about the city around them? Who performed the labour to build such cities? And, where did they go to have fun? In order to explore these questions in class the use of maps, primary sources, screen paintings, prints, films, and short stories will be utilized.				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31212	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK) (Introduction to regionalism: how do states cope with neighbors?)	鈴木 早苗	PEAK 前期	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to regionalism: how do states cope with neighbors? Regions have been increasingly important to analyze international cooperation, partly because each region has distinctive features affecting nature of cooperation. This course aims to understand how states cope with their neighbors. Beginning with introduction of theoretical perspectives on regionalism, this course invites a wide range of issues on regionalism; from security to economic, and other issue areas. It also gives opportunities to share phenomenon of regionalism in various regions; Europe, Americas, Africa, Middle East, Asia.				

